

# 新完全マスター 文法

## 日本語能力試験 N2

西東京にほんご教室  
N i N i C

友松悦子・福島佐知・中村かおり 著

- N2レベルで必要な211の文法形式を学習。
- 問題形式ごとに、必要な知識やスキルを効率的に学ぶ。
- 充実した解説と練習問題で「文章の文法」に対応。

スリーイーネットワーク

## はじめに

日本語能力試験は、1984年に始まった、日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験です。受験者が年々増加し、現在では世界でも大規模の外国語の試験の一つとなっています。試験開始から20年以上経過する間に、学習者が多様化し、日本語学習の目的も変化してきました。そのため、2010年に新しい「日本語能力試験」として内容が大きく変わりました。新しい試験では知識だけでなく、実際に運用できる日本語能力が問われます。本書はこの試験のN2レベルの問題集として作成されたものです。

まず「問題紹介」で、問題の形式とその解法を概観します。次に「実力養成編」で、三つの問題形式別に、必要な言語知識を身につけるための学習をします。最後に「模擬試験」で、実際の試験と同じ形式の問題を解いてみることによって、どのくらい力がついたかを確認します。

### ■本書の特徴

- ①旧出題基準2級を参考に、N2レベルで必要だと思われるものを網羅
- ②文法形式の全体を概観できるように、主観を含む度合いによって大きく三つに分類
- ③やみくもに暗記するのではなく、効率的に整理して学習することを示唆
- ④丁寧な解説と豊富な練習問題（小説、エッセイ等多様な文章から作成）で「文章の文法」を充実

言語を必要とする課題を遂行するためには、言いたいことが伝わる文を、そして、意味のあるまとまりを持った文章を作るための文法的知識が必要です。私たちは日ごろの授業で、試験のためだけではなく、実際の言語生活で役に立つような文法学習はどうあるべきかを考え続けてきました。本書が日本語能力試験の受験に役立つと同時に、日本語を使って学習・生活・仕事をする際にも役立つことを願っています。

本書を作成するにあたり、第一出版部の田中綾子さん、佐野智子さんには鋭いご指摘とご助言を頂きました上、原稿を丁寧に見ていただきました。心よりお礼申し上げます。

2011年6月 著者

はじめに

ほんしょ つか つか かな  
本書をお使いになる方へ..... ix

もんだいしょうかい  
問題紹介

I ぶん ぶんぼう ぶんぼうけいしき ほんだん  
I 文の文法 1 (文法形式の判断)..... 2

II ぶん ぶんぼう ぶん く た  
II 文の文法 2 (文の組み立て)..... 3

III ぶんしょう ぶんぼう  
III 文章の文法..... 4

じつりょくようせいへん  
実力養成編

だい ぶ ぶん ぶんぼう  
第1部 文の文法1

I ことがらを説明する☆

1 課 とき ちよくご  
1 課 ~とき・~直後に..... 8

1. さい  
1. ~際(に)

2. さい  
2. ~に際して・~にあたって

3. さい  
3. ~たとたん(に)

4. おも おも  
4. ~(か)と思うと・~(か)と思ったら

5. さい  
5. ~か~ないかのうちに

2 課 さいちゅう  
2 課 ~している(進行中)..... 12

1. さいちゅう  
1. ~最中だ

2. さいちゅう  
2. ~うちに

3. いっぽう  
3. ~ばかりだ・~一方だ

4. さいちゅう  
4. ~(よ)うとしている

5. さいちゅう  
5. ~つつある

6. さいちゅう  
6. ~つつ

3 課 さいちゅう  
3 課 ~後で..... 16

1. さいちゅう  
1. ~てはじめて

2. さいちゅう  
2. ~上(で)

3. さいちゅう  
3. ~次第

4. さいちゅう  
4. ~て以来・~てこのかた

5. さいちゅう  
5. ~てからでないと・~てからでなければ

4 課 はんい さいちゅう お  
4 課 範囲の始まりと終わり・その間..... 20

1. さいちゅう  
1. ~をはじめ(として)

2. さいちゅう  
2. ~からして

3. さいちゅう  
3. ~にわたって

4. つう さいちゅう  
4. ~を通じて・~を通して

5. さいちゅう  
5. ~限り

6. さいちゅう  
6. ~だけ

5 課 さいちゅう  
5 課 ~だけ..... 24

1. さいちゅう  
1. ~に限り

2. さいちゅう  
2. ~限り(は)

3. さいちゅう  
3. ~限りでは

4. さいちゅう  
4. ~に限って

もんだい さいちゅう さいちゅう  
問題(1課~5課)..... 28

6 課 さいちゅう さいちゅう  
6 課 ~だけではなく・それに加えて..... 30

1. さいちゅう  
1. ~に限らず

2. さいちゅう  
2. ~のみならず

3. さいちゅう  
3. ~ばかりか

4. さいちゅう  
4. ~はもとより

5. さいちゅう  
5. ~上(に)

7 課 さいちゅう さいちゅう  
7 課 ~について・~を相手にして..... 34

1. さいちゅう  
1. ~に関して

2. さいちゅう  
2. ~をめぐって

3. さいちゅう  
3. ~にかけては

4. さいちゅう  
4. ~に対して

5. ～にこたえて

8課 ～を基準にして..... 38

1. ～をもとに(して)
2. ～に基づいて
3. ～に沿って
4. ～のもとで・～のもとに
5. ～向けだ

9課 ～に関連して・～に対応して..... 42

1. ～につれて・～にしたがって
2. ～に伴って・～とともに
3. ～次第だ
4. ～に応じて
5. ～につけて

10課 ～や～など..... 46

1. ～やら～やら
2. ～というか～というか
3. ～にしても～にしても・  
～にしろ～にしろ・～にせよ～にせよ
4. ～といった

問題(1課～10課)..... 50

Ⅱ 主観を含めて説明する☆☆

11課 ～に関係なく・無視して..... 52

1. ～を問わず
2. ～にかかわりなく・～にかかわらず
3. ～もかまわず

4. ～はともかく(として)

5. ～はさておき

12課 強く否定する・強く否定しない... 56

1. ～わけがない
2. ～どころではない・～どころか
3. ～ものか
4. ～わけではない・～というわけではない
5. ～というものではない・  
～というものでもない

13課 ～(話題)は..... 60

1. ～とは
2. ～といえば
3. ～というと・～といえば・～といたら
4. ～(のこと)となると
5. ～といたら

14課 ～けれど..... 64

1. ～にもかかわらず
2. ～ものの・～とはいうものの
3. ～ながら(も)
4. ～つつ(も)
5. ～といっても
6. ～からといって

15課 もしそうなら・たとえそうでも... 68

1. ～としたら・～とすれば・～とすると・  
～となったら・～となれば・～となると
2. ～ものなら
3. ～(よ)うものなら

4. ~ないことには
5. ~を<sup>ぬ</sup>抜きにしては
6. ~としても・~にしても・~にしろ・  
~にせよ

もんだい <sup>か</sup> 問題(1課~15課) ..... 72

16課 <sup>か</sup> ~だから(理由) <sup>りゆう</sup> -1 ..... 74

1. ~によって
2. ~ものだから・~もので・~もの
3. ~おかげだ/~せいだ
4. ~あまり・あまりの~に
5. ~につき

17課 <sup>か</sup> ~だから(理由) <sup>りゆう</sup> -2 ..... 78

1. ~ことだし
2. ~のことだから
3. ~だけに
4. ~ばかりに
5. ~からには・~<sup>いじょう</sup>以上(は)・~<sup>うえ</sup>上は

18課 <sup>か</sup> ~できない・<sup>こんなん</sup>困難だ・~できる ... 82

1. ~がたい
2. ~わけにはいかない・  
~わけにもいかない
3. ~かねる
4. ~ようがない
5. ~どころではない
6. ~<sup>う</sup>得る/~<sup>え</sup>得ない

19課 <sup>か</sup> ~を見て<sup>み</sup>評価<sup>ひょうか</sup>すると・  
~の<sup>たちば</sup>立場<sup>ひょうか</sup>で評価すると ..... 86

1. ~わりに(は)
2. ~にしては
3. ~だけ(のことは)ある
4. ~として
5. ~にとって
6. ~にしたら~・~にすれば・  
~にしてみれば・~にしても

20課 <sup>か</sup> <sup>けつ</sup>結果<sup>か</sup>はどうなったか ..... 90

1. ~たところ
2. ~きり
3. ~あげく
4. ~<sup>すえ</sup>末(に)
5. ~ところだった
6. ~ずじまいだ

もんだい <sup>か</sup> 問題(1課~20課) ..... 94

21課 <sup>か</sup> <sup>つよ</sup>強く<sup>い</sup>言う・<sup>かる</sup>軽く<sup>い</sup>言う ..... 96

1. ~ぐらい・~くらい
2. ~など・~なんか・~なんて
3. ~まで・~までして・~てまで
4. ~として~ない
5. ~さえ
6. ~てでも

### Ⅲ しゅかんの 主観を述べる☆☆☆

22 課 か ~だろうとおもう..... 100

1. ~とみえる
2. ~かねない
3. ~おそれがある
4. ~まい/～ではあるまいか
5. ~にちがいない・～にそうい相違ない
6. ~にきまっている

23 課 か かんそう感想を言う・しゅちやう主張する..... 104

1. ~ものだ
2. ~というものだ
3. ~にすぎない
4. ~にほかならない
5. ~にこ越したことはない
6. ~しかない・～よりほかない
7. ~べきだ/～べきではない

24 課 か ていあん提案する・いし意志を表す..... 108

1. ~（よ）うではないか
2. ~ことだ
3. ~ものだ/～ものではない
4. ~ことはない
5. ~まい/～（よ）うか～まいか
6. ~ものか

25 課 か つよ強くかんそう感じる・  
おも思いがし強いられる..... 112

1. ~てしかたがない・～てしょうがない・  
～てたまらない

2. ~てならない
3. ~ないではいられない・  
～ずにはいられない
4. ~ないわけに(は)いかない
5. ~ざるを得えない

26 課 か ねが願う・かんどう感動する..... 116

1. ~たいものだ・～てほしいものだ
2. ~ものだ
3. ~ないもの(だろう)か
4. ~ものがある
5. ~ことだ
6. ~ことだろう・～ことか

もんだい問題(1 課～26 課)..... 120

### Ⅳ ぶんぼうけいしきの整理 文法形式

- A もと元のことば言葉にちやくもく着目..... 122
- B 「い言う・するする」をつか使ったい言い方..... 124
- C ふる古いことば言葉つかを使ったい言い方..... 126
- D 「ものもの・ことこと」をつか使ったい言い方..... 128
- E 「わけわけ・ところところ」をつか使ったい言い方..... 132
- F 二つのことば言葉をくみ組にするい言い方・  
じよし助詞..... 134
- G ぶんぼうてきせいしつ文法的性質の整理..... 136

だい ぶ ぶん ぶんぼう  
第2部 文の文法2

1 課 文の組み立て-1  
き 決まった形 ..... 140

2 課 文の組み立て-2  
めいし せつめい けいしき  
名詞を説明する形式 ..... 142

3 課 文の組み立て-3  
「～ない」がつく ぶんぼうけいしき  
文法形式 ..... 146

だい ぶ ぶんしやう ぶんぼう  
第3部 文章の文法

1 課 始めと終わりが正しく  
たいおウ ぶん  
対応した文 ..... 150

2 課 時制 ..... 154

3 課 条件を表す文 ..... 158

4 課 視点を動かさない手段-1  
どうし つか かつ  
動詞の使い方、  
じどうし たどうし つか わ  
自動詞・他動詞の使い分け ..... 162

5 課 視点を動かさない手段-2  
「～てくる・～ていく」  
つか わ  
の使い分け ..... 166

6 課 視点を動かさない手段-3  
うけみ しえき しえきうけみ  
受身・使役・使役受身  
つか わ  
の使い分け ..... 170

7 課 視点を動かさない手段-4  
「～てあげる・～てもらう・  
～てくれる」の使い分け ..... 174

8 課 指示表現「こ・そ・あ」  
つか わ  
の使い分け ..... 178

9 課 「は・が」の使い分け ..... 182

10 課 接続表現 ..... 186

11 課 省略・繰り返し・言い換え ..... 190

12 課 文体の一貫性 ..... 194

も ぎ し けん  
模擬試験

だい かい  
第1回 ..... 200

だい かい  
第2回 ..... 204

さくいん  
索引 ..... 208

べつ さい かいとう  
別冊 解答

# ほんしょ　つか　かた 本書をお使いになる方へ

## ほんしょ　もくてき ■本書の目的

ほんしょ　い　か　てん　おお　もくてき  
本書は以下の2点を大きな目的としています。

- ①日本語能力試験N2対策：N2の試験に合格できる力をつける。
- ②「文法」能力の向上：試験対策にとどまらない全般的な「文法」の力をつける。

## に　ほん　ご　の　うり　よく　し　けん　　ぶん　ぼう　もんだい ■日本語能力試験N2文法問題とは

に　ほん　ご　の　うり　よく　し　けん　　げん　ご　ち　し　き　　ど　つ　かい　　し　けん　じ　かん　　ふん　　ち　う　かい　　し　けん　じ　かん　　ふん　　ふた  
日本語能力試験N2は、「言語知識・読解」（試験時間105分）と「聴解」（試験時間50分）の二つ  
わ  
に分かれており、文法問題は「言語知識・読解」の一部です。

ぶん　ぼう　もんだい  
文法問題はさらに以下の三つの部分に分かれます。

- I　ぶん　ぶん　ぼう　　ぶん　ぼう　けい　し　き　　はん　だん  
文の文法1（文法形式の判断）
- II　ぶん　ぶん　ぼう　　ぶん　く　　た  
文の文法2（文の組み立て）
- III　ぶん　し　う　　ぶん　ぼう  
文章の文法

## ほんしょ　こうせい ■本書の構成

ほんしょ　い　か　　こうせい  
本書は、以下のような構成になっています。

### もんだい　しょうかい 問題紹介

じ　つ　り　よく　よう　せい　へん　　だい　　ぶ　　ぶん　　ぶん　ぼう  
実力養成編　第1部　文の文法1

- I　ことがらを説明する☆
- II　主観を含めて説明する☆☆
- III　主観を述べる☆☆☆
- IV　文法形式の整理

だい　　ぶ　　ぶん　　ぶん　ぼう  
第2部　文の文法2

だい　　ぶ　　ぶん　し　う　　ぶん　ぼう  
第3部　文章の文法

### も　ぎ　し　けん 模擬試験

い　か　　し　う　ざい　　せ　つ　めい  
以下に詳細を説明します。

もんだい　しょうかい　　し　けん　　がい　よう　　けい　し　き　べ　つ　　かん　たん　　かい　ほう　　し　　ぜん　たい　ざ　う　　が　く　し　う　　ほ　じ  
問題紹介　試験の概要と形式別の簡単な解法を知り、全体像をつかんでから学習を始めます。

じ　つ　り　よく　よう　せい　へん　　だい　　ぶ　　ぶん　　ぶん　ぼう  
実力養成編　第1部　文の文法1

N2レベルの文法形式を意味機能別に学習します。どんな文脈でどのように使うか、どんな文法的性質を持っているか、どのように整理して覚えるのが効率的かなどを例文と解説を通して学びます。各課に確認の練習問題(a～cの中から最も良いものを選ぶ)があります。また、5課ごとに学習した課までの確認問題が

あります。

## 第2部 文の文法2

文を組み立てるために必要な知識を学習します。決まった接続のし方をする文法形式、決まった言葉と一緒に使われる文法形式、名詞を説明するときの決まった形などの観点から整理して学習します。

## 第3部 文章の文法

視点を統一したり接続表現や指示表現などの助けを借りたりすることで、文章は意味のあるまとまりを持ちます。このような文章にまとまりを持たせるための方法を学習します。

### 模擬試験

実際の試験と同じ形式の問題です。N3のレベルも含め、実力養成編で学習した広い範囲から問題を作っていますから、総合的にどのぐらい力がついたかを確認することができます。

### 凡例

文を作るときは、それぞれの文型に合うように前に来る語の形を整えなければなりません。

本書では接続の形を次のように表示しました。

品詞	接続する形	例
動詞	動ない形	あ 会ってみない + ことには (第1部 15 課)
	動ない	か 買わ + ずにはいられない (第1部 25 課)
	動まず	わ わかり + 次第 (第1部 3 課)
	動辞書形	い 行く + ことはない (第1部 24 課)
	動う・よう形	し しょう + ものなら (第1部 15 課)
	動て形	み 見て + 以来 (第1部 3 課)
	動た形	の 飲んだ + とたん(に) (第1部 1 課)
	動ている形	し している + 最中だ (第1部 2 課)
イ形容詞	イ形い	あ 明るい + うちに (第1部 2 課)
	イ形くて	いた 痛くて + しかたがない (第1部 25 課)
ナ形容詞	ナ形	ふ 不安 + ながら(も) (第1部 14 課)
	ナ形 だ-な	し 正直な + ものか (第1部 12 課)
	ナ形 だ-である	かん 簡単である + に越したことはない (第1部 23 課)
	ナ形 -で	しん 心配で + たまらない (第1部 25 課)

めいし 名詞	名-の	がくせい 学生の +うちに (第1部2課)
	名 差-である	おや 親である +限り(は) (第1部5課)
	名 する (注)	けいざい かいふく 経済の回復 +とともに (第1部9課)
その他	ふつうけい 普通形	す 好きではない・連休だ +からといって (第1部14課) せいこう 成功した +とはいうものの (第1部14課)

(注) 名 する: 名詞に「する」がつく動詞(回復する、普及するなど)の名詞部分 回復、普及

せつぞく かつ た つぎ ひょうじ  
接続のし方は次のように表示しました。

例1 「～にもかかわらず」(第1部14課)

名・普通形 (ナ形 差-である・名 差-である) +にもかかわらず

①名詞に接続します。(名詞に直接接続します。)

例・悪天候にもかかわらず、工事の人たちは作業を続けている。

②普通形に接続します。

例・問題が難しかったにもかかわらず、受験生の成績は昨年より良かった。

・村田選手は途中で足を痛めたにもかかわらず、最後まで走り通した。

③ただし、ナ形容詞と名詞の現在肯定形は「～だ」の形ではなく、「～である」の形に接続します。

例・父は出勤時間が不規則であるにもかかわらず、いつも同じ時間に起きる。

・石井氏は議長であるにもかかわらず、会議に欠席した。

例2 「～ものか」(第1部12課)

普通形 (ナ形 差-な・名 差-な) +ものか

①普通形に接続します。

例・こんな不便なところに住めるものか。

・こんな初級の問題、難しいものか。

②ただし、ナ形容詞と名詞の現在肯定形は「～だ」の形ではなく、「～な」の形にして接続します。

例・あの人が正直なものか。

・わたしが努力家なもんですか。

\* ナ形容詞と名詞の現在肯定形の「～だ」を省略することがある場合は、(だ)で示してあります。

\* 本書では、あまり使われない接続のし方は載せていません。

## ■解説で使われている記号と言葉

⇒ <sup>い み き の う</sup> <sup>つか</sup> <sup>つか</sup> <sup>かた</sup> <sup>せつめい</sup>  
：意味機能やどんな使い方をするかなどの説明

 <sup>せつぞく</sup> <sup>かた</sup>  
：接続のし方

 <sup>ぶんぼうてきせいしつ</sup> <sup>かいせつ</sup>  
：文法的性質などの解説

**硬い言い方** <sup>にちじょう</sup> <sup>ぼめん</sup> <sup>こうしき</sup> <sup>ぼ</sup> <sup>つか</sup> <sup>い</sup> <sup>かた</sup>  
：日常の場面ではなく、公式の場で使う言い方

**話し言葉** <sup>ぶんしよ</sup> <sup>おも</sup> <sup>かいわ</sup> <sup>あわ</sup> <sup>い</sup> <sup>かた</sup>  
：文書ではなく、主に会話に表れる言い方

**書き言葉** <sup>かいわ</sup> <sup>おも</sup> <sup>ぶんしよ</sup> <sup>あわ</sup> <sup>い</sup> <sup>かた</sup>  
：会話ではなく、主に文書に表れる言い方

→第14課-④：「<sup>おな</sup> <sup>かたち</sup> <sup>ぶんぼうけいしき</sup> <sup>か</sup> <sup>い</sup> <sup>み</sup> 同じ形の文法形式が14課の④にあります」という意味

 <sup>なか</sup> <sup>つぎ</sup> <sup>ことば</sup> <sup>ぶんぼうてき</sup> <sup>せいしつ</sup> <sup>がくしゅう</sup> <sup>うえ</sup> <sup>たいせつ</sup> <sup>ことば</sup>  
の中の次の言葉は文法的な性質を学習する上での大切な言葉です。

**働きかけの文** <sup>はたら</sup> <sup>ぶん</sup>

「～てください・～ましょう・～ませんか」など、<sup>わしや</sup> <sup>あいて</sup> <sup>なに</sup> <sup>い</sup> <sup>ぶん</sup> 話者が相手に何かをするように言う文

**話者の希望・意向を表す文** <sup>わしや</sup> <sup>きぼう</sup> <sup>いこう</sup> <sup>あわ</sup> <sup>ぶん</sup>

「～たい・～（よ）うと思う・～つもりだ」など、<sup>わしや</sup> <sup>ある</sup> <sup>こと</sup> <sup>を</sup> <sup>する</sup> <sup>きもち</sup> <sup>も</sup> <sup>持っている</sup> 話者があることをする気持ちを持っていることを表す文 <sup>あわ</sup> <sup>ぶん</sup>

## ■表記

<sup>きほんてき</sup> <sup>じょうようかんじ</sup> <sup>ねん</sup> <sup>がつないかくこくじ</sup> <sup>かんじりょうき</sup> <sup>ちよしゃ</sup>  
基本的に常用漢字(1981年10月内閣告示)にあるものは漢字表記にしました。ただし、著者の  
<sup>はんだん</sup> <sup>ひょうき</sup> <sup>ほう</sup> <sup>よ</sup> <sup>おも</sup> <sup>れいがい</sup> <sup>ひょうき</sup> <sup>れいぶん</sup>  
判断でひらがな表記の方が良いと思われるものは例外としてひらがな表記にしてあります。例文  
<sup>ひつよう</sup> <sup>おも</sup> <sup>かんじ</sup> <sup>ふ</sup> <sup>が</sup> <sup>な</sup> <sup>ふ</sup> <sup>かいせつ</sup> <sup>ぶん</sup> <sup>かんじ</sup> <sup>ふ</sup>  
は、このレベルで必要と思われる漢字に振り仮名を振りました。解説部分はすべての漢字に振り  
<sup>が</sup> <sup>な</sup> <sup>ふ</sup> <sup>ぶんしよ</sup> <sup>ぶんぼう</sup> <sup>もんだい</sup> <sup>げんてん</sup> <sup>したが</sup> <sup>ふ</sup> <sup>が</sup> <sup>な</sup> <sup>ふ</sup>  
仮名を振っています。「文章の文法」の問題は、原典に従って振り仮名を振っています。

## ■学習時間

1課あたりの学習時間の目安は以下の通りです。ただし、<sup>ていねい</sup> <sup>すす</sup> 丁寧にゆっくり進むかスピードアップ  
するかによって時間数を加減することはできるでしょう。

第1部 1課～26課	1課につき	50分授業 × 2コマ
第1部 A～G	1課につき	50分授業 × 1コマ
第2部	1課につき	50分授業 × 1コマ
第3部	1課につき	50分授業 × 2コマ

# 問題紹介

にほんごのうりよくしけん ぶんぼう  
日本語能力試験の「文法」では

I ぶん ぶんぼう ぶんぼうけいしき ほんだん  
文の文法 1 (文法形式の判断)

II ぶん ぶんぼう ぶん く た  
文の文法 2 (文の組み立て)

III ぶんしょう ぶんぼう  
文章の文法

みつ けいしき もんだい しつだい  
の三つの形式の問題が出題されます。それぞれの問題形式の特徴を見て

いきましょう。

ぶん い み がが ぶんぼうけいしき ほんだん もんだい  
文の意味を考え、それに合う文法形式を判断する問題です。

もんだい  
問題のタイプは、

- ・ ぶん ないよう あ ぶんぼうけいしき えら もんだい れいだい  
文の内容に合う文法形式を選ぶ問題【例題1】
- ・ ぶん ないよう あ つか かた えら もんだい れいだい  
文の内容に合う使い方をしているものを選ぶ問題【例題2】

があります。例題を見てみましょう。

次の文の( )に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

【例題1】

どんなに<sup>むづか</sup>難しいことでも、<sup>れんしゅう</sup>練習している( )上手になっていくものだ。

- 1 ばかり                      2 ために                      3 うちに                      4 ように

【例題2】

<sup>しよくば</sup>職場の近くに<sup>はいしや</sup>いい歯医者はないかと探していたところ、( )。

- 1 林さんに聞いてみた                      2 林さんが<sup>しょうかい</sup>紹介してくれた  
3 林さんなら知っているかもしれない      4 林さんが知っているようだ

【例題1】では、( )の<sup>ぜんご</sup>前後のことがら(「<sup>れんしゅう</sup>練習している」と「<sup>じょうず</sup>上手になっていく」)の<sup>かんけい</sup>関係を考えます。「～ている」という<sup>じょうたい</sup>状態を表す動詞の形につき、「～なっていく」という<sup>へんか</sup>変化を表す文が<sup>あと</sup>後に来る<sup>ぶんぼうけいしき</sup>文法形式であることが<sup>たいせつ</sup>大切です。正しい答えは「3 うちに」です。

【例題2】の文法形式「～たところ」は、「～<sup>けつ</sup>してみたら、ある<sup>か</sup>結果になった」ことを<sup>あらわ</sup>表します。1度だけの<sup>かこ</sup>過去の出来事について言う文です。正しい答えは「2 林さんが<sup>しょうかい</sup>紹介してくれた」です。

このタイプの問題では、<sup>ぶんぼうけいしき</sup>文法形式の意味機能や<sup>せつぞく</sup>接続の形、<sup>ぶんぼうけいしき</sup>文法的性質とともに、<sup>ぶん</sup>文の内容が

・ <sup>みらい</sup>未来の<sup>よそく</sup>予測なのか、<sup>かこ</sup>1度だけの過去の出来事なのか、または<sup>つづ</sup>続けている<sup>じょうたい</sup>状態なのか

・ <sup>はな</sup>話し手の<sup>しゅかん</sup>主観を述べているのか、<sup>せつめい</sup>ことがらを説明しているのか

などを考える必要があります。一つの<sup>ぶんぼうけいしき</sup>文法形式ではなく、<sup>ぶんぼうけいしき</sup>文法形式が<sup>あ</sup>組み合わさった<sup>かたち</sup>形で<sup>しゅつだい</sup>出題されることもあります。

この部分については「<sup>じつりよくようせいへん</sup>実力養成編 第1部 <sup>ぶん</sup>文の文法1」で詳しく<sup>がくしゅう</sup>学習します。

複数の語句を並べ替えて、文法的に正しく、意味の通る文を作る問題です。四つの選択肢のうち★の位置に当たるものがどれかを選びます(★の位置は、3番目以外のこともあります)。例題を見てみましょう。

次の文の★に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

## 【例題3】

今回は★調査します。

- 1 利用者の満足度 2 新しいサービス 3 について 4 に対する

## 【例題4】

新しいゲームを前の晩から★人の気持ちは、わたしにはわからない。

- 1 並んで 2 とする 3 買おう 4 まで

【例題3】では「～について」「～に対する」という文法形式を手かぎりに、その前後にどんな言葉が来るかを考えます。「～について」の後には動詞が来るので、4番目とわかります。その前には名詞の1か2が来ます。一方「～に対する」は前後に名詞が来るので、2番目とわかります。1番目と3番目がどちらの名詞になるかは文の意味を考えて判断します。論理的な文は「今回は新しいサービスに対する利用者の満足度について調査します」なので、★に当たるのは、「1 利用者の満足度」です。

【例題4】で重要なのは「まで」の位置です。この形式の前には動詞の「て形」の1と辞書形の2のどちらも来る可能性があります。「とする」の前には動詞の「う・よう形」が来ます。ここで文の意味を考え、「新しいゲームを前の晩から並んでまで買おうとする人の気持ちは、わたしにはわからない」が適切なので、★に当たるのは、「3 買おう」です。

このように、このタイプの問題では「実力養成編 第1部 文の文法1」で学ぶ表現の意味機能はもちろん、

- ・その文法形式につく品詞
- ・接続の形

などの知識が重要です。

この部分については「実力養成編 第2部 文の文法2」で詳しく学習します。

まとまった長さの文章の中で、その文脈に合う文法形式などを選ぶ問題です。

- ・文法的に正しい文にするにはどうすればいいかを文章の中で判断する問題
- ・文章としてのまとまりを持たせるにはどうすればいいかを判断する問題

があります。例題を見てみましょう。

【例題5】 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、 から  の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

よく、「自分が本当にやりたいことをみつけなければならない」と、あたかもそれが  必ずみつかるときのように語られ、プレッシャーを感じる人も多いと思いますが、私はそれがみつかるところは、極端にいつて「運」しだいだと思います。だから、今現在、

からいつて、焦ることも、自己嫌悪に陥ることもありません。

、「運」しだいだからいつて、みつけるための努力をしなくてよいということではありません。いろいろなことに興味をもち、やりたいことをみつけようと 、この場合、どこかに当たりクジがあることを信じて、あきらめずにクジを引き続けることに似ています。クジは引いたからいつて必ず当たるわけではありませんが、引かないクジが当たることはない 。

(長岡靖仁「偶然のきっかけを生かして」『なぜ私はこの仕事を選んだのか』岩波ジュニア新書による)

- 1 努力していないと  
3 努力したから

- 2 努力しなければ  
4 努力すれば

- 1 それがみつまっている  
3 それをみつける

- 2 それがみつからない  
4 それをみつけない

- 1 そのため                      2 また

- 3 ただ                              4 たとえば

- 1 努力することは  
3 努力すれば

- 2 努力することで  
4 努力して

- 1 ほどです                      2 ことです                      3 からです                      4 ところです



【例題5】の①は、「自分が本当にやりたいことをみつけなければならない」という考えかたと「①必ずみつかる」という考え方が共通すると考えると、「4 努力すれば」が正しい答えになります。②は、他動詞と自動詞の選択が重要になる問題です。ここでは結果に注目するので自動詞「みつかる」を使います。さらに「～からといって…」「～こともない」という文法形式を手がかりにして適切な内容を考えると、「2 それがみつかっていない」が正しい答えになります。③は、それ以前の部分との内容のつながりを考え、適切な接続表現を選ぶ問題です。前の段落の内容から想像されることを修正しているので、正しい答えは「3 ただ」です。④は文末との正しい対応を問う問題です。文末の「～に似ています」の主語が必要です。ですから「1 努力することは」が答えとなります。⑤はこの文が前の文(自分の考え)の理由を述べていると考えられるので、「3 からです」が答えになります。

この問題形式で問われる文脈における文法の使い方とは、例えば次のようなものです。

- ・ある表現と一緒に使われる表現がわかる

例 この薬を飲めば病気が治るかという、  
 { 必ずしも治るとは限らない。  
 × きっと治るに違いない。

- ・その文脈での条件に合う形式がわかる

例 もし実験に失敗したら、  
 { そのとき  
 × このとき } は別の方法を考えよう。

- ・その文脈での書き手の表現意図に合う形式がわかる

例 熱がある。しかし、今日の会議には  
 { 出席しないわけにはいかない。  
 × 出席するわけにはいかない。

- ・その文脈に合う視点を選ぶことができる

例 友人にこれは常識的な考えではないと注意された。  
 { × 友人がこれは常識的な考えではないと注意した。 } なるほどそうかと思った。

- ・文と文のつながりを正しく判断することができる

例 あの人はわたしの母の弟だ。  
 { つまり  
 × それから } わたしのおじに当たる。

これらの項目については「実力養成編 第3部 文章の文法」で詳しく学習します。

# 実力養成編

だい ぶ ぶん ぶんぼう  
第 1 部 文の文法 1

ぶんぼうけいしき い み ようほう し  
文法形式の意味と用法を知るとは、言いたいことを正確に伝える文  
つ く きほん  
を作るための基本です。また、ある文章を読んで正確に理解するために  
ぶんしょう よ せいかく り かい  
も役に立ちます。その文法形式を使って意味の通る文を作るためには、  
やく た ぶんぼうけいしき つか い み とお ぶん つく  
意味だけでなく、どんな語、どんな活用形に結びつくのか、また、文を  
い み ご かつようけい むす ぶん  
作るときにどんな規則を守らなければならないかなどについて学習する  
つ く きそく まも がくしゅう  
必要があります。

- 〔復習〕 ・母は新聞を読むとき、眼鏡をかけます。  
 ・窓を開けるとすぐに、涼しい風が入ってきた。

1 ~際(に)

⇒~とき **硬い言い方**

- ①この整理券は、商品受け取りの際、必要です。
- ②こちらの会議室をご利用になる際は、受付で必要事項をご記入ください。
- ③アメリカの大統領は来日した際に、わたしたちの大学でスピーチを行った。

**名**-の・**動** 辞書形/た形 + 際(に)

- ⚠ 主に行為や出来事を表す動詞(使う・完成するなど)・名詞(搭乗・外出など)につく。  
 公的な場面などで多く使い、日常の普通のことにはあまり使わない。

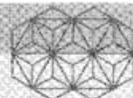
2 ~に際して・~にあたって

⇒~するとき **硬い言い方**

- ①工事関係者は工事を始めるに際して、近所の住民にあいさつをして回った。
- ②当ショッピングサイトのご利用に際して、以下のご利用条件をよくお読みください。
- ③新しく事業を始めるにあたって、しっかりと準備をしようと思っております。
- ④お二人の門出にあたりまして、お祝いの言葉を申し上げます。
- ⑤日本で国際会議を開催するにあたり、関係各方面からの協力を得た。

**名**・**動** 辞書形 + に際して・にあたって

- ⚠ その場1回だけの、意志的で特別な時を表す言葉(結婚・店を開くなど)につく。後には、主に行為を表す文が来る。「~にあたって」は、より積極的な行動を表す言葉につき、マイナスイメージの言葉(別れ・入院・倒産など)にはつかない。



### 3 ~たとたん(に)

⇒～したら、直後に意外なことが起こる。

- ①山の頂上でワインを一口飲んだとたんに、めまいがした。
- ②夫は結婚前は優しかったが、結婚したとたんに、態度が変わった。
- ③国の母に電話をかけた。母の声を聞いたとたん、涙があふれてきた。
- ④僕が「さよなら」と言ったとたん、彼女は走って行ってしまった。

🔗 動 た形 +とたん(に)

⚠ 瞬間的な動きや変化を表す動詞(立ち上がる・変わるなど)につく。後の文は意外性のある内容。話者の希望・意向を表す文(～ようなど)や働きかけの文(～ませんか・～なさいなど)は来ない。

### 4 ~(か)と思うと・ ~(か)と思ったら

⇒～の後、すぐに続いて次の出来事や大きな変化が起こる。

- ①林さんは部屋に入ってきたかと思うと、いきなり窓を全部開けた。
- ②赤ちゃんは今泣いたかと思うと、もう笑っている。
- ③やっと部屋が片付いたかと思ったら、子供たちがすぐまた散らかした。
- ④このごろは気温の差が大きい。昨日は暑くなったかと思ったら、今日は涼しい。

🔗 動 た形 + (か)と思うと・(か)と思ったら

⚠ 話者の行為については使わない。後の文は少し意外性のある内容。話者の希望・意向を表す文や働きかけの文は来ない。

### 5 ~か~ないかのうちに

⇒～が終わると同時に、次のことが起こる。

- ①一郎はベッドに横になるかならないかのうちに、ぐっすり眠ってしまった。
- ②わたしは夜が明けたか明けないかのうちに家を出て、空港へ向かった。
- ③あの作家は今売れっ子だ。話題作を発表したかしないかのうちに、もう次の作品に取りかかっているそうだ。

🔗 動 辞書形/た形 +か+動 ない形 +かのうちに

⚠ 瞬間的な動きや変化を表す動詞(着く・終わるなど)につく。後には、話者の意向を表す文や働きかけの文は来ない。「～(か)と思うと・～(か)と思ったら」より、「ほとんど同時に」という気持ちがつよ強い。

1

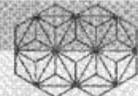
- 1 ( ) 際に、家の中で修理をするところがあるかどうか調べておく必要がある。  
a いい天気の                      b 大掃除の                      c 時間がある
- 2 ( ) 際に、音が出る電子辞書は大変便利です。  
a 発音が難しい                      b 発音がわからない                      c 発音を調べる
- 3 ( ) 際は、こちらのテーブルをお使いいただけます。  
a お食事の                      b ご飯を食べる                      c お一人様の
- 4 ( ) 際は、以下のことに注意してください。  
a 毎日学校へ行く                      b 寮での生活の                      c 健康診断を受ける
- 5 地震の際は、( )。  
a 慌てずに行動しなければならない                      b 慌てちゃだめ                      c 慌てていない

2

- 1 父は( )に際して、医者にいろいろ質問した。  
a 病気が回復する                      b 手術を受ける                      c 毎日病院へ行く
- 2 研修旅行に際して、( )。  
a 体調が良くなかった                      b 天候が気がかりだった                      c 説明会が開かれた
- 3 ( )にあたって、必要な書類を準備した。  
a 出勤する                      b 留学する                      c 図書館へ行く
- 4 新しいオフィスへの移転にあたりまして、( )。  
a 気持ちも新しくなりました                      b 非常にうれしいです  
c 一言ごあいさつ申し上げます

3

- 1 ( )とたん、眠くなった。  
a 勉強が終わった                      b 勉強をした                      c 勉強をしていた
- 2 ( )とたんに、気分が悪くなってしまった。  
a ゴールに向かっていた                      b ゴールに近くなった                      c ゴールインした
- 3 彼女はわたしの顔を見たとたんに、( )。  
a 泣き出した                      b あいさつした                      c うれしそうだった
- 4 電車が駅に着いたとたん、( )。  
a 友達に電話をしよう                      b 乗客が大勢乗り込んできた  
c 乗りかえのホームに行った



## 4

- 1 ( )車から降りたかと思うと、海に向かって走り出した。  
 a わたしは                                  b わたしたちは                                  c あの子は
- 2 さっきまで大雨が降っていたかと思うと、今は( )。  
 a 雨は弱くなった                                  b 太陽が出ている                                  c 雨はさらに激しくなった
- 3 7時の時報が鳴ったかと思うと、( )。  
 a ニュースが始まる                                  b 時計のベルも鳴っていた                                  c 彼は突然立ち上がった
- 4 サッカーの試合が始まったかと思うと、テレビの前に( )。  
 a 人が大勢集まってきた                                  b 集まろうよ                                  c 座っていいですか

## 5

- 1 弟は、やっと見つけた就職先なのに、( )のうちに、もう辞めてしまった。  
 a 仕事を覚えたか覚えないか                                  b 働いているかいないか                                  c 友達がいるかいないか
- 2 あの学生は、試験が始まって( )のうちに、教室を出ていった。  
 a よく考えたか考えないか                                  b 10分たったかたたないか                                  c 頑張ったか頑張らないか
- 3 雨がやんだかやまないかのうちに、( )。  
 a せみが鳴き出した                                  b 試合を再開しよう                                  c 出発したい
- 4 森さんは部長の話が終わるか終わらないかのうちに、会議室の方へ( )。  
 a 走って行ってください                                  b 走っていった                                  c 走っていったほうがいい

## 1~5

- 1 一つの問題が( )、すぐ次の問題を渡された。  
 a 終わった際に                                  b 終わるにあたって                                  c 終わったかと思うと
- 2 やっと来たバスに( )、忘れ物に気がついた。  
 a 乗った際に                                  b 乗るにあたって                                  c 乗ったとたん
- 3 テニスコートをお使いになる( )、事務所でロッカーのかぎをお受け取りください。  
 a 際は                                  b にあたって                                  c かならないかのうちに
- 4 選挙に( )、大勢の方に協力を依頼した。  
 a 出るにあたって                                  b 出たとたんに                                  c 出たかと思うと

- 〔復習〕 ・今、新幹線の時間を調べているところだから、もうちょっと待つて。  
 ・留守の間にだれか来たようだ。玄関に花が置いてある。

1 ~最中だ

⇒ちょうど~しているところだ。

- ①田中さんは今考えごとをしている最中だから、じゃましないほうがいい。
- ②浜辺でバーベキューをやっている最中に、急に雨が降り出した。
- ③スピーチの最中に、突然電気が消えた。

名-の・動ている形 +最中だ

⚠ 比較的短い時間内で行う動作を表す言葉(試験・書いているなど)につく。「~最中に」の後には、「それをじゃまするような予定外のことが起こった」という意味の文が来ることが多い。

2 ~うちに

A⇒時間の制限があつて、~でなくなった後では実現が難しいから、その前にしてしまう。

- ①家事は、子供が眠っているうちに、全部やってしまった。
- ②忘れないうちに、カレンダーにメモしておこう。
- ③足が丈夫なうちに、ヒマラヤ登山を計画したい。
- ④学生のうちに車の運転免許を取ろうと思っています。

名-の・動辞書形/ている/ない形・イ形い・ナ形な +うちに

⚠ 時間の幅のある言葉につく。後には、意志的な動作を表す動詞の文が来る。

B⇒~している間に変化が現れる。

- ⑤インターネットで調べているうちに、いろいろなことがわかってきた。
- ⑥この携帯電話は、長い間使っているうちに、もう自分の体の一部のようになった。
- ⑦知らないうちに、雨が降り始めていた。

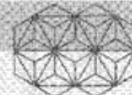
動辞書形/ている形/ない形 +うちに

⚠ 時間の幅のある言葉につく。後には、意志の入らない文・変化を表す文が来る。

3 ~ばかりだ・~一方だ

⇒~という一方方向に変化が進んでいく。

- ①このごろは仕事が多くて残業が増えるばかりだ。



②東京の交通機関は複雑になるばかりで、わたしはよくわからなくなってきた。

③一度問題が起きてから、彼との人間関係は悪くなる一方だ。

④牛や豚の病気が広がる一方なので、国中の人々が心配している。

🔗 動 辞書形 +ばかりだ・一方だ

⚠ 変化を表す動詞(増える・悪くなるなど)につく。「～ばかりだ」は特に良くない方向に進んでいるという場合が多い。

#### 4 ～(よ)うとしている

⇒～という変化が起こる少し前だ・もうすぐ～する。【硬い言い方】

①さあ、決勝戦が今、始まろうとしています。みんな緊張しています。

②駅前に30階建ての高級マンションが完成しようとしている。

③桜が満開になろうとしているとき、雪が降った。

🔗 動 う・よう形 +としている

⚠ 瞬間的なことを表す動詞(始まる・幕が開くなど)につく。

#### 5 ～つつある

⇒～という変化が進行中だ。【硬い言い方】

①次第に暖かくなりつつあります。春はもうすぐです。

②この会社は現在発展しつつあり、将来が期待される。

③明治時代の初め、日本は急速に近代化しつつあった。

🔗 動 まず +つつある

⚠ 変化を表す動詞(暖かくなる・広がるなど)につく。

#### 6 ～つつ

→14課-4

⇒～ながら、あることをする。【硬い言い方】

①この空き地をどうするかについては、住民と話し合いつつ、計画を立てていきたい。

②将来の仕事のこと、お金のことなどを考えつつ、進路を選ばなければならない。

③いろいろな体験を楽しみつつ、日本の生活に慣れていった。

🔗 動 まず +つつ

⚠ 時間の幅のある行為を表す動詞(考えるなど)につく。「～つつ」の前後の文は同じ主語。

## 1

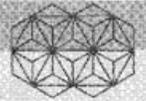
- 1 弟のことを家族で( )<sup>さいちゆう</sup>最中に、<sup>ほんにん</sup>本人が帰ってきた。  
 a 話す                                      b 話している                                      c 話して
- 2 ( )最中に、何度も電話がかかってきた。  
 a 日本に1年間<sup>りゅうがく</sup>留学している      b <sup>しら</sup>調べものをしてしている                                      c 会社に<sup>つと</sup>勤めている
- 3 ( )最中に、水道が止まってしまった。  
 a <sup>せんたく</sup>洗濯の                                      b 買い物の                                      c <sup>しゅつちやう</sup>出張の
- 4 ホームパーティーの<sup>じゅんび</sup>準備をしている最中に、( )。  
 a <sup>じしん</sup>地震があった                                      b とても楽しかった                                      c デザートも作った
- 5 <sup>めんせつ</sup>面接を受けている最中に、( )。  
 a とても<sup>じしん</sup>自信を持った                                      b <sup>めんせつかん</sup>面接官に<sup>ほ</sup>褒められた  
 c <sup>けいたい</sup>携帯電話が鳴ってしまった

## 2

- 1 アイスクリームが( )うちに食べなければ……。  
 a <sup>と</sup>溶ける                                      b 溶けている                                      c 溶けない
- 2 <sup>やまみち</sup>山道を( )うちに<sup>あせ</sup>汗が出てきた。  
 a 歩いていた                                      b 歩いた                                      c 歩いている
- 3 ( )うちに<sup>ほ</sup>欲しい物を買っておこう。  
 a お金がある                                      b <sup>きやうりやう</sup>給料をもらう                                      c お金<sup>のこ</sup>が残る
- 4 この料理、<sup>あつ</sup>熱いうちに( )。  
 a おいしいですよ                                      b <sup>めあ</sup>召し上がってください                                      c いい<sup>かお</sup>香りがします
- 5 わたしはサッカーのルールがよくわからなかったんですが、テレビで試合を見ているうちに( )。  
 a とても楽しかったです                                      b おもしろいと思いました                                      c わかってきました

## 3

- 1 <sup>こうつうひ</sup>交通費は( )<sup>いっぽう</sup>一方だ。  
 a <sup>ねあ</sup>値上がりする                                      b 値上がりしている                                      c 値上がりした
- 2 これからは( )一方だから、<sup>かぜ</sup>風邪を<sup>ひ</sup>引かないようにね。  
 a <sup>さむ</sup>寒い                                      b 寒くなる                                      c 寒さの
- 3 <sup>そふ</sup>祖父は今年80歳。病気をしてから、<sup>たいりき</sup>体力が( )ばかりです。  
 a ある                                      b つく                                      c なくなる



4

- 1 わたしが牛小屋うしごやに入ったとき、牛の赤ちゃんが( )としていた。  
a 生まれる                      b 生まれそう                      c 生まれよう
- 2 ( )としています。  
a 間もなく夏が終わろう                      b 今日は雨が降ろう                      c 今年の冬は寒さむくならろう

5

- 1 就職しゅうしょくして3か月。仕事にも( )つつある。  
a 慣れ                      b 慣れてい                      c 慣れるようになり
- 2 【手紙】わたしは( )つつありますので、どうぞご安心ください。  
a 就職活動しゅうしょくかつどうをし                      b 体力たいりょくを取り戻し                      c 栄養えいようのあるものを食べ

6

- 1 結婚式けっこんしきのことは彼女かのじよとよく相談そうだんしつつ、( )。  
a 結局けつぎよく別れた                      b 決めていきたいと思う                      c やつと決まった
- 2 ( )つつ、いろいろなことを思い出した。  
a ポートポートをこぎ                      b ソファソファに座り                      c 電車電車に乗り
- 3 ( )たばこたばこを吸すわないでよ。  
a 歩いて                      b 歩きつつ                      c 歩きながら

1~6

- 1 わたしが生きている( )、わたしの土地とちを売ってしまいたい。  
a 最中さいちゆうに                      b うちに                      c 間
- 2 野球やきゅうの練習れんしゅうを( )、体調たいちゆうが悪くなってしまった。  
a している最中                      b しつつあるとき                      c しつつ
- 3 薬くすりを飲んだが、症状しょうじょうはひどくなる( )。  
a 最中だ                      b ばかりだ                      c ところだ
- 4 足のけがも( )、今度の試合には出られると思う。  
a 良よくなるばかりで                      b 良くなりつつ                      c 良くなりつつあるので
- 5 会議かいぎが( )、リンさんが慌あわてて入ってきた。  
a 始まるうちに                      b 始まっている最中に                      c 始まろうとしているとき
- 6 飛行機ひこうきは今( )。  
a 飛び立ととうとしています                      b 飛び立ちつつあります                      c 飛び立つ最中です

- 〔復習〕 ・白いコートを買った後で、わたしは後悔した。  
 ・水泳を始めてから、その後ずっと体調がいい。

## 1 ～てはじめて

⇒～を経験した後や、～という状態になった後で、今までになかったことが起こる。

- ①実際に現地の様子を見てはじめて、今回の地震のひどさを知った。
- ②相手の話の途中で話を始めるくせがあると、人に言われてはじめて気がついた。
- ③山田先生の指導を受けてはじめて、生物の観察が面白いと思うようになった。
- ④チャンスがあつてはじめて、才能が生きてくるのではないだろうか。

🔗 動て形 +はじめて

⚠️ 後には、「新しいことが起こる・気がつく・実現する」という意味の文が来る。

## 2 ～上(で)

→6課-〔5〕

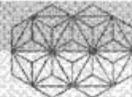
⇒準備としてまず～してから、その後で次に続く行動をする。

- ①文書が保存されていることを確かめた上で、パソコンをシャットダウンしてください。
- ②経済的なことをよく考えた上で、進路を決める必要がある。
- ③自分一人では決められませんので、家族と相談した上で、お返事をいたします。
- ④この列車には特急券が必要です。あらかじめ特急券をお買い求めの上、ご乗車ください。

🔗 動た形 +上で

〔名〕-の +上(で)

⚠️ 前後の文は同じ主語。後には、前の動作の結果から続く、意志的な行為を表す文が来る。名詞につく場合は④のように「～上」となることもあり、「～上で」よりも改まった言い方になる。「～てから」と同様、前後の行動が当然の順序で起こる場合は使わない。



### 3 ~次第

⇒～が実現した後、すぐに続けてある行動をする。【硬い言い方】

- ① 詳しいことがわかり次第、ご連絡いたします。
- ② 定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ③ 会場の準備ができ次第、ご案内いたします。もうしばらくお待ちください。

🔗 動 ま手 + 次第

⚠️ 時間が来れば当然そうなるとうわっていることが実現した瞬間を表す言葉につく。後には、話者の希望・意向を表す文や働きかけの文が来る。

### 4 ~て以来・~てこのかた

⇒～してから今まで、ずっと同じ状態が続いている。

- ① 1年前にけがをして以来、体の調子がどうも良くない。
- ② あの山の写真を見て以来、いつかは登ってみたいとずっと思い続けてきた。
- ③ 子供が生まれて以来、外で酒を飲んでいない。
- ④ 日本から帰国してこのかた、毎日日本のことを思い出している。
- ⑤ 母がいなくなつてこのかた、母のことを考えない日はない。

🔗 動 て形 + 以来・このかた

⚠️ 過去のある時点を表す言葉につくが、あまり近い過去からの期間には使わない。後には、「ずっと今まで続いている」という意味の文が来る。未来のことを言う文は来ない。

### 5 ~てからでないと・~てからでなければ

⇒～した後でなければ、あることが実現しない。

- ① この果物は赤くなつてからでないと、酸っぱくて食べられません。
- ② もっと情報を集めてからでないと、その話が本当かどうか判断できない。
- ③ この電車は車内の清掃が済んでからでないと、ご乗車になれません。
- ④ 退院したばかりなんですから、十分に体力がついてからでなければ、運動は無理ですよ。

🔗 動 て形 + からでないと・からでなければ

⚠️ 後には、否定的な意味の文が来る。

## 1

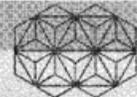
- 1 ( )はじめて、犬のかわいさがわかった。  
 a 犬を飼<sup>か</sup>って                      b 犬が小さくて                      c 犬がいなくて
- 2 学校を卒業<sup>そつぎょう</sup>してはじめて、( )。  
 a 勉強の大切さを知った              b 親<sup>おや</sup>から独立<sup>どくりつ</sup>しよう              c うれしかった
- 3 営業<sup>えいぎょう</sup>の仕事を経験<sup>けいけん</sup>してはじめて、( )。  
 a とても大変<sup>たいへん</sup>だった              b 働く<sup>はたら</sup>厳<sup>きび</sup>しさがわかった              c 会社をすぐ辞<sup>や</sup>めた
- 4 親<sup>おや</sup>になってはじめて、( )。  
 a 忙<sup>いそ</sup>しかった              b どうしたらいいかわからなかった              c 子育て<sup>こそだ</sup>の難<sup>むづか</sup>しさを感じ<sup>かん</sup>じた

## 2

- 1 この書類<sup>しよるい</sup>をよく読み、はんこを( )上<sup>ていしゅつ</sup>で、提出<sup>ていしゅつ</sup>してください。  
 a 押<sup>お</sup>す                      b 押して                      c 押した
- 2 一緒<sup>いっしょ</sup>に料理を( )食べませんか。  
 a 作<sup>つく</sup>って                      b 作<sup>つく</sup>ってから                      c 作<sup>つく</sup>った上<sup>じょう</sup>で
- 3 この薬<sup>くすり</sup>は、( )上<sup>じょう</sup>でお飲みください。  
 a 食<sup>たべ</sup>事が終わった                      b 医<sup>い</sup>師<sup>し</sup>が説<sup>い</sup>明<sup>し</sup>した                      c 説<sup>せつ</sup>明<sup>めい</sup>書<sup>しょ</sup>をよく読<sup>よ</sup>んだ
- 4 いくらぐらいかかるか( )上<sup>じょう</sup>で、修<sup>しゅう</sup>理<sup>り</sup>をお願<sup>ねが</sup>いするかどうか決<sup>き</sup>めます。  
 a お知<sup>し</sup>らせ<sup>せ</sup>いた<sup>た</sup>いだ<sup>い</sup>た                      b お知<sup>し</sup>らせ<sup>せ</sup>く<sup>く</sup>だ<sup>だ</sup>さ<sup>さ</sup>つ<sup>つ</sup>た                      c お知<sup>し</sup>らせ<sup>せ</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>あ<sup>あ</sup>げ<sup>げ</sup>た
- 5 新<sup>しん</sup>幹<sup>かん</sup>線<sup>せん</sup>の切<sup>き</sup>符<sup>ぷ</sup>は、ホテ<sup>よ</sup>ルの予<sup>よ</sup>約<sup>やく</sup>を<sup>し</sup>た上<sup>じょう</sup>で( )。  
 a 買<sup>か</sup>うこ<sup>こ</sup>が<sup>が</sup>で<sup>で</sup>き<sup>き</sup>た                      b 買<sup>か</sup>うこ<sup>こ</sup>に<sup>に</sup>し<sup>し</sup>た                      c 買<sup>か</sup>え<sup>え</sup>るこ<sup>こ</sup>に<sup>に</sup>な<sup>な</sup>つ<sup>つ</sup>た

## 3

- 1 全<sup>ぜん</sup>員<sup>いん</sup>( )次<sup>じ</sup>第<sup>だい</sup>、出<sup>しゅつ</sup>発<sup>ぱつ</sup>し<sup>ま</sup>す。  
 a 集<sup>あ</sup>まる                      b 集<sup>あ</sup>まり                      c 集<sup>あ</sup>ま<sup>ま</sup>つ<sup>つ</sup>て
- 2 ( )次<sup>じ</sup>第<sup>だい</sup>、す<sup>す</sup>ぐお知<sup>し</sup>らせ<sup>せ</sup>く<sup>く</sup>だ<sup>だ</sup>さ<sup>さ</sup>い<sup>い</sup>。  
 a 事<sup>じ</sup>故<sup>こ</sup>が起<sup>お</sup>こ<sup>こ</sup>り                      b 体<sup>たい</sup>調<sup>ちよう</sup>が悪<sup>あ</sup>く<sup>く</sup>な<sup>な</sup>り                      c 現<sup>げん</sup>地<sup>ち</sup>か<sup>か</sup>らメ<sup>め</sup>ール<sup>る</sup>が届<sup>とど</sup>き
- 3 ( )次<sup>じ</sup>第<sup>だい</sup>、帰<sup>き</sup>国<sup>こく</sup>して就<sup>しゅう</sup>職<sup>しょく</sup>するつも<sup>も</sup>りだ。  
 a 入<sup>い</sup>学<sup>がく</sup>試<sup>し</sup>験<sup>けん</sup>に失<sup>しつ</sup>敗<sup>ぱい</sup>し                      b 留<sup>りゅう</sup>学<sup>がく</sup>し                      c 留<sup>き</sup>学<sup>がく</sup>期<sup>かん</sup>間<sup>かん</sup>が終<sup>しゅう</sup>わ<sup>り</sup>
- 4 資<sup>し</sup>料<sup>りょう</sup>は、読<sup>よ</sup>み終<sup>しゅう</sup>わ<sup>り</sup>次<sup>じ</sup>第<sup>だい</sup>、受<sup>う</sup>付<sup>け</sup>に( )。  
 a お返<sup>かえ</sup>しく<sup>く</sup>だ<sup>だ</sup>さ<sup>さ</sup>い                      b 返<sup>かえ</sup>し<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>                      c 返<sup>かえ</sup>し<sup>て</sup>い<sup>ま</sup>せ<sup>ん</sup>
- 5 会<sup>かい</sup>議<sup>ぎ</sup>が終<sup>しゅう</sup>わ<sup>り</sup>次<sup>じ</sup>第<sup>だい</sup>、会<sup>かい</sup>議<sup>ぎ</sup>室<sup>しつ</sup>の掃<sup>そう</sup>除<sup>じ</sup>を( )。  
 a し<sup>し</sup>な<sup>な</sup>く<sup>く</sup>て<sup>て</sup>も<sup>も</sup>い<sup>い</sup>い<sup>い</sup>です                      b 始<sup>はじ</sup>め<sup>め</sup>ま<sup>ま</sup>す                      c し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>た</sup>



4

- 1 父は( )以来、ずっと何か悩んでいるようだ。  
a 家に帰ってきて                      b 食事が終わって                      c 新しい職場に移って
- 2 わたしはこの町に引っ越してきて以来、( )。  
a 前に住んでいた町のスーパーには行っていない                      b 一度この町のスーパーに行った  
c しばらくこの町のスーパーには行かなかった
- 3 兄がアメリカへ行ってこのかた、わたしが母の相談相手に( )。  
a なるつもりだ                      b なっている                      c なるだろう

5

- 1 ( )からでないと、新しい事業に取りかかれない。  
a 車の運転ができて                      b いいアイデアがあつて                      c お金の準備ができて
- 2 この家を買うかどうかは、家族でよく話し合ってからでなければ( )。  
a 1週間後にお返しします                      b お返事を待ってください                      c お返しできません
- 3 会長の山田さんが来てからでないと、( )。  
a 寂しい感じがする                      b 話し合いが始められない                      c わたしが司会をする

1~5

- 1 家族と( )、引っ越し先を決めようと思います。  
a 相談してはじめて                      b 相談した上で                      c 相談してからこのかた
- 2 一度駅で( )、彼の姿を見ていない。  
a 会って以来                      b 会った上で                      c 会ってからでなければ
- 3 マンションを買うときは実際に( )、心配だ。  
a 見た上で                      b 見て以来                      c 見てからでないと
- 4 彼と( )、彼の大切さに気づいた。  
a 別れてはじめて                      b 別れ次第                      c 別れて以来
- 5 この会議が( )、作業を始めなければならない。  
a 終わってからでないと                      b 終わってはじめて                      c 終わり次第

- 〔復習〕 ・今日は夕方から夜にかけて小雨が降るそうだ。  
・スポーツ大会は今日で終わります。

## 1 ~をはじめ(として)

⇒~が代表例で、そのほかにもいろいろある。【硬い言い方】

- この体育館では水泳をはじめ、いろいろなスポーツが楽しめる。
- 日本には「桃太郎」をはじめとして、おじいさん、おばあさんが出てくる昔話が多い。
- このあたりには、市役所をはじめとする市の公共の建物が多数ある。

🔗 名 +をはじめ(として)

名 +をはじめとする+名

- ⚠️ いろいろある中の代表的なものを取り上げる。後には、その代表的なものを含めた複数のものを表す言葉が来る。

## 2 ~からして

⇒~という例一つを取ってもそうなのだから、全体的にももちろんそうだ。

- この旅行の計画には無理がある。出発時間からして早すぎる。
- わたしは猫が苦手だ。あの光る目からして何となく怖い感じがする。
- わたしと夫とは似ているところが少ない。第一、食べ物好みからして正反対だ。
- さすがプロの選手は走り方からしてわたしたちとは違う。

🔗 名 +からして

- ⚠️ 問題の本質や重要なポイントでないことを例として取り上げる。後には、マイナス評価の文が来ることが多い。

## 3 ~にわたって

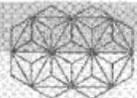
⇒~の範囲全体にその状態が広がっている。

- 連休の最終日、高速道路は20キロにわたって渋滞が続いた。
- 彼はいろいろなジャンルにわたり、たくさんの本を読んでいる。
- 3日間にわたる研究発表大会が、無事終了しました。

🔗 名 +にわたって

名 +にわたる+名

- ⚠️ 場所・時間・回数・範囲など、幅が大きいことを表す語につく。



## 4 ~を通じて・~を通して

A⇒~の期間ずっと同じ状態だ。

- ①この町には四季を通じて観光客が訪れる。
- ②在職期間を通して皆様には大変お世話になりました。
- ③この10年間を通し、彼はいつも新しいことに挑戦していた。

🔗 名 +を通じて・を通して

⚠ 比較的長い期間を表す語につく。後には、継続していることを表す文が来る。

B⇒~を手段にして、あることをする。

- ④今日では、インターネットを通じて世界中の情報が手に入る。
- ⑤わたしたちは、ボランティア活動を通していろいろな国の人たちと交流を深めている。

🔗 名 +を通じて・を通して

⚠ 直接的・具体的手段ではなく、間に入るものにつく。

## 5 ~限り

→5課-②

⇒~の範囲は全部あることをする・ある状態だ。

- ①環境を守るためにわたしもできる限りのことをしたい。
- ②君が知っている限りのことを全部わたしに話してほしい。
- ③あしたはいよいよ試合だ。力の限り頑張ろう。

🔗 名-の・動 辞書形/ている形 +限り

⚠ 動詞につく場合は、ている形や可能動詞などにつくことが多い。

## 6 ~だけ

⇒~の範囲の限界まであることをする。

- ①ここにあるダンボールを、車に積めるだけ積んで持って帰ってください。
- ②父は働くだけ働いて、定年前に退職してしまった。
- ③今日は部長に言いたいだけの不満を全部言って、すっきりした。
- ④バイキング形式の食事ですから、好きなものを好きなだけ取ってお召し上がりください。

🔗 動 辞書形 +だけ

⚠ 可能動詞につくことが多い。瞬間的なことを表す動詞にはつかない。前後に同じ動詞を繰り返すことが多い。そのほか、「~たい・欲しい・好きな・必要な」などにもつく。

## 1

- 1 ( )をはじめ、日本の大きい都市には外国からの観光客も多い。
- a 仙台                                  b 東京                                  c 名古屋
- 2 校長先生をはじめ、( )には大変お世話になりました。
- a 学校の先生たち                      b 佐藤先生                          c 事務室の人たち
- 3 オーストラリアではコアラをはじめ、( )がいろいろ見られる。
- a 珍しい動物                              b カンガルーなど                      c 多くの鳥

## 2

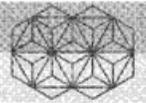
- 1 あのレストランは、( )からしてわたしは好きになれなかった。
- a 料理                                      b 食器の色                              c 味
- 2 君は選手になるのはまだ無理だなあ。ボールの投げ方からして( )。
- a 練習が足りない                          b 練習をしっかりとやろう              c 練習をやり直せ
- 3 息子は30歳にもなるのに話し方からして( )。
- a おもしろい                              b 少しうまくなった                      c まだ子供っぽい
- 4 この服は( )、色からしてどうもわたしには合いそうもない。
- a サイズもデザインも満足だが      b 気に入っているのだが                  c デザインはもちろん

## 3

- 1 ( )にわたってこの町には観光客が大勢来た。
- a 5月    b 5月の連休                                  c 1週間
- 2 ( )にわたって花が多い。
- a うちの庭                                  b 駅前    c この県全体
- 3 日本全国にわたって( )。
- a 富士山が一番高い                      b 数多くの国立公園がある                  c 四つの大きな島がある
- 4 うちでは親子2代にわたって( )。
- a 魚屋をやっている                      b 魚屋を開いた                              c 魚屋を閉じた

## 4

- 1 この高齢者施設では、( )を通じていろいろ楽しいイベントが行われる。
- a 四季    b 今年    c 3時間
- 2 ( )を通じて、現地のコンサートの入場券を予約しておいた。
- a 英語    b 電話    c 旅行会社



- 3 リンさんはこの1年を通して( )。
- a 一度も遅刻しなかった      b 時々遅刻した      c 一度だけ遅刻した
- 4 子供たちが書いた作文を通して( )。
- a 授業計画を立てた      b 子供社会の現状を知った      c 非常に感動した

5

- 1 高山さんは、( )限り自分の戦争体験を伝えていきたいと語った。
- a 命の      b 命に      c 命
- 2 わたしが( )限りのことはもうみんな話した。後は自分で判断しなさい。
- a ニュースを見た      b 知っている      c カメラで撮った
- 3 映画が好きなので、時間とお金が( )限り見に行っている。
- a 許す      b 許せる      c 許した

6

- 1 文房具が必要な場合は、この棚から( )だけ取って使ってください。
- a 必要      b 必要だ      c 必要な
- 2 両手に( )だけのみかんをもらって帰った。
- a 持つ      b 持てる      c 持てた
- 3 家事はわたしがやっておくから、( )だけ寝ていてもいいよ。
- a 疲れた      b 好きな      c 眠い

1~6

- 1 ご両親( )家族の皆さんによろしくお伝えください。
- a をはじめ      b からして      c を通じて
- 2 彼は着ているもの( )人とは違う。ちょっと変わった人だ。
- a をはじめ      b にわたって      c からして
- 3 全科目( )彼は成績がいい。
- a をはじめ      b にわたって      c の限り
- 4 スミスさんは在日期间( )環境保護キャンペーンに一生懸命だった。
- a をはじめとして      b からして      c を通じて
- 5 考えられる( )考えてみたんですが、いい案が出てきませんでした。
- a ことを通じて      b ことにわたって      c 限りのことは

- 〔復習〕 ・母にだけ本当のことを話した。  
 ・わたしはテレビが好きではない。ニュース番組しか見ない。

## 1 ～に限り

⇒～だけは特別だ・例外だ。【硬い言い方】

- ①このちらしをご持参のお客様に限り、すべての商品を1割引でお買い求めいただけます。  
 ②欠席理由が正当な場合に限り出席扱いにしますが、それ以外の欠席は認めません。  
 ③この病院は午後6時までですが、急を要する患者さんに限り、時間外でも診察いたします。

🔗 名 +に限り

- ⚠️ 公に説明するときの言い方。例外的に扱われるものを表す言葉につく。後には、その例外だけに適用されることを言う文が来る。ふつう、否定の文や働きかけの文は来ない。

## 2 ～限り(は)

→4課-5

⇒～の状態が続いている間だけは、同じ状態が続く。

- ①この町に住んでいる限り、いつでも新鮮な食べ物が手に入る。ここは野菜も魚も豊富だ。  
 ②社長が考え方を変えない限りは、この会社は何も変わらないのではないか。  
 ③足が丈夫な限り、まだまだ山登りが楽しめるだろう。  
 ④親である限りは、子供に対する責任があると思う。

🔗 普通形現在 (ナ形 だ-な/-である・名 だ-である) +限り(は)

- ⚠️ 前にも後にも状態を表す言葉が来る。条件の意味を持つ文なので、後には過去の文は来ない。

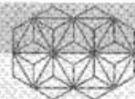
## 3 ～限りでは

⇒情報源の範囲を～だけにすると、あることが言える。

- ①今回の調査の限りでは、書類にミスはなかった。  
 ②ちょっと見た限りでは、こちらの商品とあちらの商品では違いがないと思うのですが、どうして値段が違うんですか。  
 ③わたしが知っている限りでは、この近所に花屋はありません。

🔗 名-の・動 辞書形/た形/ている形 +限りでは

- ⚠️ 情報を得ることに関係のある言葉(見る・聞く・覚えている・知っている・調査など)につく。後には、ある判断や情報を表す文が来る。



#### 4 ~に限って

A⇒～は普段と違って

- ①ふだん酒などあまり飲まない彼が、今日に限ってかなり飲んだ。何かあったのだろうか。
- ②わたしはいつもは駅前で買い物するのだが、その日に限って車で遠くのスーパーまで行った。
- ③どうしてあの日に限って別の道を通ろうと思ったのか、思い出せない。

🔗 名 +に限って

⚠️ 後には、「いつもとは違う、特別だ」という意味の文が来る。

B⇒～のことが、ほかの運が悪いことと偶然重なる。

- ④庭の手入れをしようと思っている日に限って雨が降る。
- ⑤今日は大切な用事があったのに、こんな時に限って子供が熱を出してしまった。

🔗 名 +に限って

⚠️ 後には、「良くない状況になる」という意味の文が来る。全体として話者の不満を表す。

C⇒特別に信じている～だから、悪いことはないはずだ。

- ⑥うちの子に限って友達をいじめることはないと思いますが……。とても優しい子なんですよ。
- ⑦あのレストランに限って古い食材など使うはずはないと思っていたのに……。

🔗 名 +に限って

⚠️ 後には、「悪い状況にはならないはずだ」という意味の否定文を使って、話者の判断を言う。

## 1

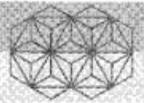
- 1 商品の返品・交換は、( )に限り、お受けしております。  
 a お買い求めの方                      b 未使用の場合                      c 当店のすべての商品
- 2 この遊園地では( )に限り、入場料が無料になります。  
 a 第4日曜日                              b 月曜日から土曜日                      c 週末以外
- 3 お子様(こさま)に限り、( )。  
 a 子供料金は100円です                      b ここには入らないでください                      c プレゼントがあります
- 4 成人女性(せいじんじょせい)に限り、この会に( )。  
 a 参加(さんか)することができる                      b 参加した                              c 参加する
- 5 ここに車を止められるのは、許可(きょか)をもらっている人( )です。  
 a しか                                      b だけ                                      c に限り

## 2

- 1 あなたが彼(かれ)に( )限り、彼もあなたを許(ゆる)さないだろう。  
 a 謝(あやま)る                              b 謝らない                              c 謝っていない
- 2 ( )限りは、社会のルールに(したが)従うべきだ。  
 a 社会人である                              b 社会人になる                              c 社会人の
- 3 ( )限り、出勤(しゅっしん)は無理(むり)だ。  
 a 熱(ねつ)が出た                              b 高熱(こうねつ)が続く                              c 熱が38度(ど)になった
- 4 父(ちち)がこの結婚(けっこん)を許(ゆる)してくれない限り、( )。  
 a 父(ちち)を説得(せつとく)してください                      b わたしは家を出るつもりだ                      c わたしは結婚できない
- 5 選手(せんしゆ)一人一人がチーム全体(ぜんたい)のことを考えて行動(こうどう)しない限り、このチームは( )。  
 a 強(たか)くならない                              b 強(たか)くなる                              c 今度の試合(ま)いで負ける

## 3

- 1 わたしが( )限りでは、彼(かれ)は日本(にっぽん)に来てから5回(ごかい)引っ越(こ)した。  
 a 覚(おぼ)える                              b 覚(おぼ)えた                              c 覚(おぼ)えている
- 2 ( )の限りでは、首相(しゅしやう)の支持率(しじりつ)は1年前(か)と変わ(かわ)っていない。  
 a ニュース                                      b アンケート調査(ちやうさ)                              c みんなの評判(ひやうばん)
- 3 ( )限りでは、あの会社(かいしゃ)は今(いま)、アルバイト(ぼしゆ)を募集(ぼしゆ)していない。  
 a メール(めーる)を書いた                              b メール(めーる)で知らせた                              c インターネット(しら)ネットで調べた



4 わたし知っている限りでは、( )。

- a この地方には温泉が3か所しかない      b この地方の温泉を回ってみたい  
c この地方の温泉にわたしは1年に2度来る。

4

1 ( )田中さんに限ってそんなミスをするはずがない。

- a いつも明るい      b よく忘れ物をする      c 注意深い

2 水泳の練習は大好きだが、その日に限って( )。

- a 気が進まなかった      b プールで泳いだ      c 特別な練習をした

3 期待されていたあの選手に限って( )なんて思っていなかった。

- a 優勝する      b こんな失敗をする      c こんなに上手にできた

4 急いでいるときに限って( )。

- a バスがすぐ来る      b バスもタクシーも来ない  
c タクシーに乗らないほうがいい

5 僕たちの先生は、どうしても見たいテレビ番組がある日に限って( )。

- a たくさん宿題を出す      b たくさん宿題を出さない      c 早く授業を終わらせる

1~4

1 ( )、そんな名前のホテルはこの県にはないようだ。

- a インターネットで検索した限りでは      b インターネットでの検索に限り  
c インターネットでの検索に限って

2 サッカーの練習はグラウンドで行います。ただし、( )、体育館を使います。

- a 大雨の場合に限り      b 大雨の限りでは      c 大雨が降る限り

3 わたしに収入が( )、寄付を続けるつもりだ。

- a ある場合に限り      b ある限りでは      c ある限りは

4 わたしが歩いて( )、この町には子供たちのための安全な遊び場がほとんどない。

- a 調べた限りでは      b 調べたことに限り      c 調べたことに限って

5 ( )、オートバイの事故なんか起こすはずはないと思っていたのに……。

- a あの子に限り      b あの子に限って      c あの子の限りでは

つぎ ぶん 次の文の( )に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

1 今日暑くなりそうだ。朝の( )、庭仕事をしてしまおう。

- 1 間に 2 うちに  
3 最中に 4 ときに

2 家がぐらっと( )、本箱が倒れた。

- 1 揺れるにあたって 2 揺れたかと思うと  
3 揺れているうちに 4 揺れている最中に

3 このテキストは難しそうだ。漢字の多さ( )大変そうだ。

- 1 からして 2 をはじめ  
3 に限り 4 にわたって

4 リサイクルの店を( )、いろいろな方面から話を聞いた。

- 1 開き次第 2 開きつつ  
3 開くにあたって 4 開きながら

5 これからはどんどん日が短くなる( )。

- 1 一方だ 2 ところだ  
3 最中だ 4 しかない

6 あの子は5、6歩( )転んでしまった。

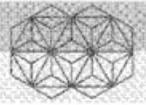
- 1 歩いた上で 2 歩き次第  
3 歩いた際 4 歩いたか歩かないかのうちに

7 母に( )どうしても本当のことを言わないといけないと思う。

- 1 限り 2 ばかり  
3 限って 4 だけは

8 部長のチェックを( )、積極的に話を進めてもいいよ。

- 1 受けてからだ 2 受けてからなら  
3 受けてからでない 4 受けてからでないなら



- 9 自分で家事を( )、母の気持ちがわかった。
- 1 やってみはじめ                      2 やってみてはじめて  
3 やって見たとたん                      4 やって来て以来
- 10 佐藤君、今やっている作業が( )、山口君の方を手伝ってやってくれ。
- 1 終われば                                  2 終わった上で  
3 終わり次第                              4 終わったかと思えば
- 11 海の向こうに真っ赤な太陽が( )。感動的な景色だった。
- 1 沈もうとしていた                      2 沈むばかりだった  
3 沈んでいた                              4 沈む最中だった
- 12 なぜかあの日( )車のエンジンがなかなかかからなかったんです。
- 1 限り    2 に限って  
3 限りで                                      4 限りでは
- 13 2年( )新しい道路の建設工事がやっと終わった。
- 1 にわたって                                  2 にわたる  
3 を通して                                  4 を通す
- 14 今日の面接では、( )のことはやった。後は運を天に任せよう。
- 1 やれるばかり                              2 やれるところ  
3 やれるだけ                                  4 やれる上
- 15 最近、失敗( )しているので気分が晴れない。少し休暇を取ろう。
- 1 だけ    2 ばかり  
3 に限って                                  4 の限りを

- 〔復習〕 ・この公園では、子供だけでなく大人も楽しむことができる。
- ・わたしは音楽を聞くのが好きなばかりでなく、自分でも作曲します。
- ・わたしは犬や猫はもちろん虫や魚も好きです。動物は何でも好きです。

## 1 ~に限らず

⇒範囲は~だけでなく、さらに広い範囲のものも含む。

- ①この記念館は、休日に限らず一年中入館者が多い。
- ②うちに限らず近所の住民はみんな夜中のバイクの音に悩まされている。
- ③近年、地方の町に限らず大都会でも書店の閉店が相次いでいる。

🔗 名 +に限らず

- ⚠️ 後には、「ほかにも」という意味を表す「も」や、さらに広い範囲を表す言葉(みんな・さまざまな・いつもなど)を使った文が来る。

## 2 ~のみならず

⇒~だけでなく、ほかにもある。【硬い言い方】

- ①電気代のみならず、ガス代や水道代も値上がりするようだ。
- ②与党のみならず、野党も党首の選出には慎重だ。
- ③石井さんは、差別的な発言をしたのみならず、それについて謝ることもなかった。

🔗 名・普通形(ナ形) だ-である・だ-である) +のみならず

- ⚠️ 「~に限らず」と違って、同じレベルのほかのものも同様だという場合にも使える。後には、「ほかにも」という意味を表す「も」を使った文が来ることが多い。

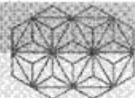
## 3 ~ばかりか

⇒~だけでも十分なのに、さらにほかのことも加わる。

- ①発見が遅れたばかりか対策にも手間取ったので、牛の病気が広がってしまった。
- ②田島先生の説明は、子供にもわかりやすいばかりか、非常におもしろくてためになる。
- ③Aコースの山道は、初心者には危険なばかりか、途中の景色もあまり良くない。
- ④友達ばかりか親兄弟も彼の居場所を知らない。

🔗 名・普通形(ナ形) な-/ な-である・だ-である) +ばかりか

- ⚠️ 前の文で普通ではないことを言い、さらに後の文でも意外性を感じさせるほかのことを加える。後の文では「ほかにも」という意味を表す「も」を使うことが多い。また、働きかけの文は来ない。



#### 4 ~はもとより

⇒~はもちろん、ほかもそうだ。【硬い言い方】

- ①たばこは本人はもとより、周りの人にも害を及ぼす。
- ②家族で外国に滞在している人は、自分の健康管理はもとより家族の心身の健康にも気を配ったほうがいい。
- ③地元の住民はもとより、周辺の地域に住む人たちも原子力発電所に不安を感じている。
- ④この学校では、教室内外ではもとより教室の外でも禁煙を守ってください。

🔗 名 (+助詞) +はもとより

- ⚠️ 話者が当然だと思っ**て**いる例を示す言葉につく。後には、そのほかの例を加える。「ほかにも」という意味を表す「も」を使った文が来ることが多い。

#### 5 ~上(に)

→3課-②

⇒~だけでなく、さらにいいこと・悪いことが重なる。

- ①田中さんには仕事を手伝ってもらった**上**に、仕事の後、ごちそうになった。
- ②森田先生は、毎日医師として忙しく仕事をしている**上**、週末も学会や講演で飛び回っている。
- ③このテキストは用語が難しい**上**に、内容も良くない。
- ④ここは空気がきれいな**上**、近くに明るいところがないので星がよく見える。
- ⑤今日は寝不足の**上**、少し熱がある。早く帰りたい。

🔗 普通形 (ナ形) だ -な/-である・名) だ -の/-である) +上(に)

- ⚠️ 前後には同じ評価の言葉(プラスのこととプラスのこと・マイナスのこととマイナスのこと)が来る。反対のことや関係ないことは来ない。後には、働きかけの文は来ない。

1

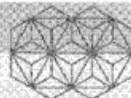
- 1 ( )に限らずこの県全体に高層ビルが増えている。  
 a わたしの町                      b 東京                      c 全国
- 2 日本のアニメは、( )に限らず今や世界中で評価されている。  
 a 人気作家の作品                      b アニメ好きな若者                      c 日本国内
- 3 りんごに限らず( )新鮮さが大切だ。  
 a みかんも                      b 魚も                      c 果物はみんな
- 4 田中さんに限らず( )昼休みに勉強している。  
 a わたしは                      b ほかの人も                      c 山中さんが

2

- 1 今年の6月は、気温が( )のみならず、大雨の日も多いようだ。  
 a 不安定                      b 不安定だ                      c 不安定である
- 2 環境問題は、( )のみならず、地球全体の問題である。  
 a わが国                      b わたし                      c 人間
- 3 この小説は、賞を受賞したのみならず、( )。  
 a 大変評価された                      b 映画化もされた                      c よく売れるだろう

3

- 1 この道具は、使い方が( )ばかりか、壊れやすい。  
 a 複雑                      b 複雑な                      c 複雑で
- 2 今年の夏の暑さはひどかった。( )、暑さが原因で病気になる人が続出した。  
 a わたしばかりか友人も                      b 男性ばかりか女性でも                      c 高齢者ばかりか若者でも
- 3 昨日就職説明会があったが、遅刻者が多かったばかりか、( )。  
 a 私語も多かった                      b 真剣な質問も多かった                      c 欠席者は少なかった
- 4 この薬を飲むようになってから、よく眠れるようになったばかりか、( )。  
 a 食欲も出てきた                      b のどが渇くようになった                      c 集中力もなくなった



4

- 1 ( ) 病気を治すために努力をしていかなければならない。  
a 医者はもとより患者も      b 病院はもとより医者も      c 家族はもとより患者も
- 2 息子がやっと大学に合格しました。( ) 喜んでいます。  
a 家族はもとより本人も      b 本人はもとより家族も      c わたしはもとより本人も
- 3 敬語の使い方は、( ) 難しいようだ。  
a 社会人はもとより学生にも      b 外国人はもとより日本人にも  
c 大人はもとより10代の人たちにも

5

- 1 彼は明るい上に、( )。  
a まじめな性格だ      b 漫画が好きだ      c 趣味がない
- 2 彼には30分も待たされた上、夕食を( )。  
a ごちそうした      b ごちそうしてもらった      c ごちそうさせられた
- 3 山中さんにはプレゼントをいただいた上に、( )。  
a 家まで送っていただいた      b プレゼントは高価なものだった  
c いつも優しくしてくれる

1~5

- 1 ビタミンB( )、ビタミンEも体に必要な栄養素である。  
a の上に      b ばかりでなく      c ばかりか
- 2 元気なとき( )、つらいときもわたしは散歩に出かける。  
a はもちろん      b ばかりか      c に限らず
- 3 残業( ) 休日出勤もしたので、今週はとても疲れた。  
a はもとより      b に限らず      c の上に
- 4 彼はかつこいい( )、ギターも歌も上手だ。  
a に限らず      b はもとより      c ばかりか
- 5 留学中は日本の言語や文化を学ぶ( )、自分の国のことも伝えていこうと考えている。  
a 上      b のみならず      c ばかりか
- 6 禁煙するには、本人の意志( )、一緒に暮らす家族の協力が欠かせない。  
a はもとより      b に限らず      c の上

- 〔復習〕 ・母に佐藤さんのことを話した。  
 ・わたしは今、紅茶の歴史について調べています。  
 ・犬に文句を言ってもしょうがない。

## 1 ~に関して

⇒~の内容について、詳しい情報を得たり発したりする。【硬い言い方】

- ①今回の事件に関して何か詳しいことがわかりましたか。  
 ②ごみ処理の問題に関しましては、環境課の課長がご説明いたします。  
 ③警察では、犯行の動機に関し、詳しい調査を開始した。  
 ④高齢者の生活に関するアンケートにご協力ください。

🔗 名 + に関して

名 + に関する + 名

- ⚠ 後には情報を得ることを表す動詞(調べる・説明するなど)の文が来ることが多い。「~について」と違って、答えがはっきりすぐ出ること(年齢・国籍など)ではなく、周辺を含む大きなテーマを表す言葉につく

## 2 ~をめぐる

⇒~について議論・対立的行為・うわさなどをする。【硬い言い方】

- ①親が残した土地をめぐる親族が争っている。  
 ②消費税の問題をめぐる、国会は大きく揺れた。  
 ③彼女の行動をめぐるうわさはたちまち社内に広がった。

🔗 名 + をめぐって

名 + をめぐる + 名

- ⚠ 動作主は複数であることが多い。後には、複数の人がかかわることを表す動詞の文が来る。

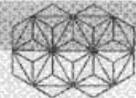
## 3 ~にかけては

⇒~がだれよりも上手だ。

- ①あの政治家は演説にかけては最高のレベルだ。  
 ②わたしは安い材料でおいしい料理を作ることにかけてはだれにも負けませんよ。  
 ③ボール運びのうまさにかけては中井選手の右に出るものはいない。

🔗 名 + にかけては

- ⚠ 技術・能力などを表す言葉につく。後には、「一番能力がある」という意味の文が来る。



#### 4 ~に対して

A⇒～を相手にあることをする・～についてある感情を持つ。

- ① 目上の人に対してそんな乱暴な言い方をしてはいけません。
- ② 桜井氏の発言は県民に対して失礼だと思う。
- ③ 政府の案に対して住民は大反対した。
- ④ このアンケートから会社に対する不満が読み取れる。

🔗 名 + に対して

名 + に対する + 名

⚠️ 人や団体・テーマや問題点などを表す語につく。後には、その対象への直接的な行為・態度・気持ちなどを表す文が来る。

B⇒～とははっきり違って、あることが言える。

- ⑤ やる気がなかった前の会長に対して、新しい会長は素晴らしい行動力がある。
- ⑥ うちでは、父は感情が激しいのに対して、母は冷静で穏やかな性格です。
- ⑦ 朝はパンを食べると答えた人が30%だったのに対して、ご飯を食べると答えた人は65%だった。

🔗 名・普通形(ナ形)だ-な/-である・名だ-な/-である) + の + に対して

⚠️ 前後には、はっきり違いがあることが来る。

#### 5 ~にこたえて

⇒～の期待・要望がかなうように、あることをする。

- ① 応援してくれる人の気持ちにこたえて立派な試合をしよう。
- ② その歌手は、会場の人々のアンコールにこたえて再び舞台に出てきた。
- ③ 国民の皆様のご要望にこたえる政治を行いたいと思います。

🔗 名 + にこたえて

名 + にこたえる + 名

⚠️ 「期待・要望・希望・アンコール」など限られた言葉につく。後には、動詞の文が来る。

1

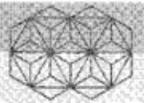
- 1 本人の了解がなければ、( ) に関してはお答えできません。  
 a 今年何歳か                      b 個人情報                      c メールアドレス
- 2 ここには日本語能力試験( ) ことが詳しく書いてある。  
 a に関して                      b に関する                      c に関している
- 3 わたしはこの地域の植物に関して( )。  
 a 本で調べてみた                      b 世話をしている                      c 写真に撮っている
- 4 選挙結果に関する( )。  
 a データを見たい                      b 何か意見はありませんか                      c インターネットで調べた

2

- 1 ( ) 子供の教育問題をめぐっていろいろと議論した。  
 a わたしは                      b わたしたちは                      c 父は
- 2 旅行のスケジュールをめぐって( )。  
 a ご説明いたします                      b このプリントに書いてある                      c メンバーの意見が割れた
- 3 新年度の予算案をめぐって( )。  
 a 国民はあまり関心がない                      b 首相は多くの質問を受けた                      c 対立はまだ続いている

3

- 1 父は( ) にかけては親戚の中で一番だ。  
 a 背の高さ                      b 話のうまさ                      c 年齢
- 2 花子は( ) にかけてはすごい腕を持っている。  
 a 料理                      b 読書                      c おいしいもの
- 3 わたしは足の速さにかけては( )。  
 a 全くだめだ                      b 速いほうだ                      c だれにも負けない
- 4 うちの子は魚のことにかけては( )。  
 a 博士と言ってもいいくらいだ                      b あまり関心がないようだ                      c かなり好きらしい



4

- 1 外国人<sup>たい</sup>に対してこの国は( )。
- a 暮らしやすいか                      b どんなサポートをするのか                      c 憧れ<sup>あこが</sup>の国なのか
- 2 田中さんはわたしに対して( )。
- a お姉さんのような人だ                      b 最も<sup>もつと</sup>信頼<sup>しんらい</sup>できる                      c 特別<sup>とくべつ</sup>に親切<sup>しんせつ</sup>にしてくれる
- 3 A校は( )に対して、B校は文化施設<sup>ぶんか しせつ</sup>をたくさん持っている。
- a スポーツ施設<sup>スポーツしせつ</sup>がいい                      b スポーツ施設<sup>スポーツしせつ</sup>がいいの                      c スポーツ施設<sup>スポーツしせつ</sup>の良<sup>よ</sup>さ
- 4 昨年<sup>さくねん</sup>、6月は雨量<sup>うりょう</sup>が多かったのに対して、( )。
- a 5月は少なかった                      b 3月も多かった                      c 9月は少し多かった

5

- 1 皆様<sup>みなさま</sup>の( )にこたえて精<sup>せい</sup>いっぱい頑<sup>がん</sup>張<sup>ぼ</sup>ります。
- a ご期待<sup>きたい</sup>                      b ご満足<sup>まんぞく</sup>                      c ご不<sup>ふ</sup>満<sup>まん</sup>
- 2 市では市民<sup>しゅうみん</sup>の要求<sup>ようきゅう</sup>にこたえて( )。
- a 商店街<sup>しょうてんがい</sup>が明るい                      b 公園<sup>こうえん</sup>ができた                      c 保育所<sup>ほいくじょ</sup>を増<sup>ふ</sup>やした
- 3 歴<sup>れき</sup>史的<sup>してき</sup>な大<sup>だい</sup>記<sup>き</sup>録<sup>ろく</sup>を作<sup>つく</sup>った齊藤選手<sup>さいとうせんしゅ</sup>は、祝<sup>しゅく</sup>福<sup>ふく</sup>の拍<sup>ぱく</sup>手<sup>て</sup>にこたえて( )。
- a 帽<sup>ぼう</sup>子<sup>し</sup>をとって軽<sup>かろ</sup>くおじぎをした                      b 大<sup>おほ</sup>きな声<sup>こゑ</sup>で返<sup>へん</sup>事<sup>じ</sup>をした
- c とても満<sup>まん</sup>足<sup>ぞく</sup>した様<sup>よう</sup>子<sup>す</sup>だった

1~5

- 1 この問題<sup>むづか</sup>はわたし( )難<sup>むづか</sup>しい。
- a 対<sup>たい</sup>して                      b 関<sup>かん</sup>して                      c にとって
- 2 所長<sup>しやうちやう</sup>は今<sup>こん</sup>回<sup>かい</sup>の事<sup>じ</sup>件<sup>けん</sup>( )どう責<sup>せき</sup>任<sup>にん</sup>をとるつもりなのか。
- a をめぐって                      b 対<sup>たい</sup>して                      c にこたえて
- 3 エンジン<sup>かいはつ</sup>の開<sup>かい</sup>発<sup>はつ</sup>( )、日本<sup>にっぽん</sup>ではN社<sup>しや</sup>が一<sup>いち</sup>番<sup>ばん</sup>進<sup>しん</sup>んでいると思う。
- a 対<sup>たい</sup>しては                      b にこたえては                      c にかけては
- 4 今<sup>こん</sup>回<sup>かい</sup>の選<sup>せん</sup>挙<sup>きょ</sup>では、環<sup>かん</sup>境<sup>きやう</sup>税<sup>ぜい</sup>( )候<sup>こう</sup>補<sup>ほ</sup>者<sup>しや</sup>た<sup>ち</sup>の意<sup>い</sup>見<sup>けん</sup>が対<sup>たい</sup>立<sup>りつ</sup>している。
- a 対<sup>たい</sup>して                      b をめぐって                      c にこたえて
- 5 政<sup>せい</sup>治<sup>じ</sup>問<sup>もん</sup>題<sup>だい</sup>( )若<sup>わか</sup>い人<sup>ひと</sup>た<sup>ち</sup>はあま<sup>ま</sup>り興<sup>きやう</sup>味<sup>み</sup>がな<sup>な</sup>いよう<sup>う</sup>だ。
- a 関<sup>かん</sup>して                      b にかけて                      c をめぐって

- 〔復習〕 ・パーティーのメニューは、先日わたしがお願いしたように準備してください。  
 ・説明書に書いてあるとおりに組み立てていけば、棚がでか上ります。

## 1 ～をもとに(して)

⇒～という素材・基礎・土台などからあるものを作り出す。

- ①この小説は作者自身の個人的な体験をもとに書いたものだそうだ。  
 ②このシャツのマーク、面白いでしょう。「花」という漢字をもとにして作ったんだそうです。  
 ③あの飛行機事故をもとにした映画はこれだけじゃない。ほかにもある。

🔗 名 +をもとに(して)

名 +をもとにした+名

- ⚠ 実際の材料などには使わない。後には、何かを新しく作り出す・何かを作り出されるという意味の動詞(作る・デザインする・考え出す・できるなど)の文が来ることが多い。

2 ～にもとに基づいて

⇒～を基準と考えてあることをする。

- ①最新のデータに基づいて売り上げ計画を立てたいと思います。  
 ②国の道路計画に基づいてあちこちに新しい道路がでか上らっていく。  
 ③このジムでは、科学的な実験結果に基づいた筋肉トレーニングを行っている。  
 ④今日の留学説明会では、実際の経験に基づくいい話を聞くことができた。

🔗 名 +に基づいて

名 +に基づく/に基づいた+名

- ⚠ 基準になる意味の言葉(法・データ・計画・方針・調査結果など)につく。後には、動詞の文が来る。

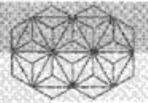
3 ～にそに沿って

⇒～に合うように・～からはずれないようにあることをする。

- ①今、政府の基本方針に沿って今年度の予算案を作っている。  
 ②与えられたテーマに沿ってレポートを書き進めてください。  
 ③皆さんのご期待に沿った活躍がでかるように頑張ります。  
 ④建築家は注文する人の意向に沿う住宅設計をしてほしい。

🔗 名 +に沿って

名 +に沿う/に沿った+名



⚠ 基準の意味を持つ言葉(ルール・方針・マニュアル・考えなど)につく。後には、その基準を流れるものにとらえ、一緒に進む一続きの行動を表す文が来る。

#### 4 ~のもとで・~のもとに

⇒~の影響を受けてあることをする・~の状況であることをする。

- ① チームは今、新しい監督のもとで練習に励んでいる。
- ② わたしは生まれてからずっと、優しい祖母のもとで幸せに暮らしてきました。
- ③ この研究所では、一定の温度と湿度のもとで育てられた植物から新しい薬品を作り出した。
- ④ 校庭でのキャンプファイヤーは夏の最大イベントで、周辺住民の了解のもとに10年も続いている。
- ⑤ 開発という名のもとに自然が失われていくのは残念だ。

🔗 名 +のもとで・のもとに

⚠ 「~のもとで」は、主に人を表す言葉(先生・両親など)につき、「その人の影響を受けて」という意味。後には、行為を表す文(励む・暮らすなど)が来ることが多い。「~のもとに」は主に状況を意味する名詞(管理・了解など)につき、「その条件・状況で」という意味。後には、行為を表す文・状態を表す文(続いている・平等だなど)が来る。

#### 5 ~向けだ

⇒~という特定の対象に合うように考えられている。

- ① このマンションは一人暮らしの高齢者向けに設計されています。
- ② これは理科が好きな子供向けに編集された雑誌です。
- ③ 独身男性向けの料理教室が開かれることになった。
- ④ この工場生産されている発電機は個人向けだ。

🔗 名 +向けだ

⚠ 主に人を表す名詞につく。後には、「作る・設計する・デザインする」などの動詞の文が来ることが多い。

## 1

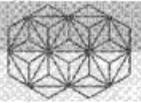
- 1 あのアメリカ映画は( )をもとにして作られたものだそうだ。  
 a 日本の実話 <sup>じつわ</sup>                      b コンピューター技術 <sup>ぎじゆつ</sup>                      c 有名な監督 <sup>かんとく</sup>
- 2 ( )をもとにして( )ができた。  
 a 牛肉／ハンバーグ                      b 毛糸／セーター <sup>けいと</sup>  
 c 漢字／ひらがなとカタカナ
- 3 ( )をもとにロボットを作る計画を立てた。  
 a 実験 <sup>じっけん</sup>                      b 山中先生の指導 <sup>しどう</sup>                      c 頭の中にあるイメージ
- 4 この町の中学生が出したアイデアをもとに( )。  
 a 駅前広場のデザインを変えた <sup>えきまえひろば</sup>                      b 駅前広場がきれいになった <sup>か</sup>  
 c 駅前からのバスの本数が多くなった <sup>ほんすう</sup>

## 2

- 1 ( )に基づいて市役所を建て直す計画を立てられた。  
 a アンケート結果 <sup>けっか</sup>                      b 市民たち                      c 税金 <sup>ぜいきん</sup>
- 2 わたしはこの会社の( )に基づいたやり方を守っていきたいと思っている。  
 a 企業精神 <sup>きぎょうせいしん</sup>                      b 社長                      c 資金 <sup>しきん</sup>
- 3 試験の成績と面接の結果に基づいて( )。  
 a 合格でした <sup>ごうかく</sup>                      b 合格は難しいです <sup>むづかしい</sup>                      c 合格か不合格かを決めます <sup>ふごうかく</sup>

## 3

- 1 本日の運動会は( )に沿って順番に進めていきます。  
 a プログラム                      b いつもの年                      c 学年 <sup>がくねん</sup>
- 2 新人の店員たちはマニュアルに( )やり方でお客様に<sup>きやくさま</sup>対応<sup>おうたい</sup>している。  
 a 沿って                      b 沿った                      c 沿っての
- 3 この幼稚園では親たちの希望に沿って( )。  
 a 自分のおもちゃを持っていってもいい                      b 年間の行事を決めている <sup>ねんかん</sup> <sup>ぎょうじ</sup> <sup>き</sup>  
 c 今朝は8時に門を開けた <sup>けさ</sup> <sup>もん</sup>



4

- 1 わたしは今、( )のもとで楽しく生活せいかつしています。  
a 小学生しょうがくせいの孫まご                      b ペット                      c 新しい母
- 2 公園こうえんは( )のもとに、環境かんきょうが守まもられている。  
a 国の保ほ護ご                      b 観光客かんこうきゃく                      c 村ひとびとの人々
- 3 弟はある有名な音楽家のもとで( )。  
a ピアノを習まなっている                      b ピアノが上手うまになった                      c ピアノが好きすになった
- 4 わたしたちのチームは新しいコーチの指導しどうのもとで( )。  
a 実力じつりょくが**つ**いた                      b 毎日頑張がんばっている                      c 安心あんしんしている

5

- 1 この部屋へやは( )向けむけに作つくられている。  
a わたし                      b 高齢者こうれいしゃ                      c 南
- 2 ( )向けむけに書かいてある着物せつめいしよの着方はきかたの説明書せつめいしょが欲ほしい。  
a 初はじめての人                      b 着物教室きものきょうしつの使用                      c 外国
- 3 このお土産みやげは外国人観光客かんこうきゃく向けむけに( )ね。  
a 人にん気きがあります                      b おもしろい**で**す                      c 作つくられた**も**の**で**す

1~5

- 1 合宿中がっしゅくちゆうは、決められたスケジュール( )行動こうどうしなければなら**な**かった。  
a をもとにして                      b 向けむけに                      c に沿そって
- 2 この流行歌りゅうこうかは古い民謡みんよう( )作つくられている。  
a をもとにして                      b のもとで                      c 向けむけに
- 3 歴史的れきしてきじじつ事実じじつ( )書かかれた小説しょうせつはと**と**てもおもしろい。  
a につい**て**                      b に基もとづい**て**                      c のもとで
- 4 このパソコン入門にゅうもんコースは中ちゆう高こう年ねん( )開ひらかれる**も**の**で**す。  
a に沿そって                      b をもとにして                      c 向けむけに
- 5 すべてこくみんの国民こくみんは、日本国憲法にほんこくけんぽう( )平**び**等どうである。  
a のもとに                      b に沿そって                      c をもとにして

- [復習] ・国によって習慣が違う。  
 ・その日の天候によつては、スポーツ大会は中止になるかもしれない。  
 ・高く登れば登るほど、見える景色が広がっていく。

1 ~につれて・~にしたがって

⇒一方が変化すると一緒に、もう一方も変化する。

- ①台風の接近につれて、雨や風が強くなってきた。
- ②日本に来て日がたつにつれ、会話が上達してきた。
- ③車のスピードが上がるにしたがって、事故の危険性も高くなる。
- ④息子は成長するにしたがって、口数が少なくなった。

 **名** する・**動** 辞書形 +につれて・にしたがって

**!** 前には、だんだん変化することを表す言葉(進む・上がる・多くなるなど)が来る。

「~につれて」は一方方向の変化の場合にだけ使う。「~にしたがって」は一方方向の変化でなくても使える。また、「~につれて」の後には自然に起こる変化を表す文が来て、意志的な行為を表す文は来ない。「~にしたがって」の後にも自然な変化を表す文が来ることが多い。

2 ~に伴って・~とともに

⇒一方が変化すると一緒に、もう一方も変化する・変化させる。 **硬い言い方**

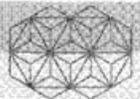
- ①入学する留学生数の変化に伴って、クラス数を変える必要がある。
- ②メールが普及するに伴い、コミュニケーションの方法も変わってきた。
- ③地球の温暖化に伴うさまざまな変化を観察したいと思っている。
- ④経済の回復とともに、人々の表情も明るくなってきた。
- ⑤ペットボトル飲料の売れ行きが伸びるとともに、リサイクルも真剣に考えられるようになった。

 **名** する・**動** 辞書形 +に伴って・とともに

**名** する +に伴う+**名**

**!** 前後には変化を表す言葉が来る。「~とともに」は一方方向への変化の場合に使う。

「~に伴って」は一方方向の変化でなくても使える。どちらも少しずつ段階的に変化する様子ではなく、変化全体に注目しているときに使われやすい。



### 3 ~次第だ

⇒～が変われば結果も変わる・～によって決まる。

- ①人生が楽しいかどうかは考え方次第だ。
- ②この夏のトレーニング次第で秋の試合に勝てるかどうかが決まる。
- ③レストランは、雰囲気次第でお客様が増えたり減ったりするのです。
- ④あなたの言い方次第では、この話、断られるかもしれませんよ。

🔗 名 + 次第だ

⚠️ いろいろな違いや幅がある言葉につく。後には、「～」に対応して変わる(増えたり減ったりするなど)・決まるということを表す文が来る。「～次第では」の後には、いろいろに変わるうちの一つの可能性を表す文(増える・負けるなど)が来る。

### 4 ~に応じて

⇒～に合わせて変える・変わる。

- ①ご予算に応じてパーティーのメニューを決めます。
- ②お子さんの年齢に応じて本を選んであげてください。
- ③収入に応じて収める税金の額が変わる。
- ④無理をしないで体力に応じた運動をしましょう。

🔗 名 + に応じて

名 + に応じた+名

⚠️ 一定でなく変化が予想されるもの(体力・年齢・天候など)につく。後には、「～に合わせたことをする・～に合うように変わる」という意味の文が来る。

### 5 ~につけて

⇒～すると、いつも必ずそういう気持ちになる。

- ①この歌を聞くにつけて、心に希望がわいてくる。
- ②彼女のうわさを聞くにつけて、心配になる。
- ③この作家の本を読むにつけて、今の自分を反省しています。
- ④父は何かにつけて、若いころ外国で過ごした思い出を語る。

🔗 動 辞書形 + につけて

⚠️ 後には、心の動きを表す文が来る。④の「何かにつけて」は「何かがあるたびに」という意味の慣用的な言い方。この場合は後に来るのは心の動きを表す文でなくてもよい。

1

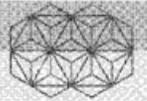
- 1 彼は( )につれて、一人でいる時間が多くなっていった。  
a 高校を卒業する                      b 大人になる                      c 社会人になる
- 2 父は( )につれて、気が弱くなっていった。  
a 年をとる                      b 90歳になる                      c わたしが結婚する
- 3 気温が( )にしたがって、ビールの売れ行きが伸びていく。  
a 変化する                      b 上がる                      c 30度を超える
- 4 日本語が話せるようになるにつれて、( )。  
a 日本人の友達が増えた              b 日本人と一緒にいるのが楽しかった  
c 日本の各地へ旅行に行った
- 5 この辺りは暗くなるにしたがって、( )。  
a にぎやかだ                      b にぎやかになる                      c 人々が集まった

2

- 1 社会が複雑に( )に伴って、人間関係は薄くなっていくのではないか。  
a なる                      b なった                      c なっている
- 2 ( )とともに、湿度が高くなる。  
a 雨が降る                      b 雨が多い                      c 雨の量が多くなる
- 3 仕事の経験が増すに伴って、( )。  
a 課長になった                      b 給料が3万円増えた  
c 会社内での地位が上がっていった

3

- 1 ( )は、努力と運次第だ。  
a いい結果                      b いい結果を出せるかどうか              c いい結果が出たの
- 2 その夏の( )次第で、米や果物の収穫量が変わる。  
a いい天気                      b 雨天                      c 天候
- 3 君のやる気( )、いい仕事が取れるかどうかが決まるのです。  
a 次第                      b 次第で                      c 次第では
- 4 試合の相手次第では、( )。  
a 準々決勝まで進めるかもしれない      b 準々決勝まで行けるかどうかが決まる  
c 試合の結果が変わる



- 5 転職するかどうかは( )次第だ。  
a 今の嫌な仕事                      b 次のいい仕事                      c 次の仕事の条件

4

- 1 ( )に応じて給料が決まる。  
a 男女                      b パートタイムかフルタイムか                      c 経験年数
- 2 この老人ホームでは、( )に応じて食事の献立をいろいろ工夫している。  
a 献立表                      b 入居者の好み                      c 楽しいアイデア
- 3 時と場合に応じて( )。  
a 着ていく服を変えます                      b 外出しません                      c 留守の時間が長いです
- 4 このサングラスのレンズは周りの明るさに応じて( )。  
a 色が変わる                      b 色が濃い                      c 色が一定ではない

5

- 1 自然災害のニュースを( )につけ、自然の恐ろしさを感じる。  
a 聞いている                      b 聞く                      c 聞いた
- 2 この古いアルバムを見るにつけて、( )。  
a 面白いことを発見する                      b 母を思い出す  
c また元の場所にしまっておく

1~5

- 1 運動量の増減( )、体重が変化した。  
a につれて                      b にしたがって                      c につけて
- 2 わたしはその日の天候( )、服を選んでおしゃれを楽しんでいます。  
a に応じて                      b とともに                      c につれて
- 3 季節の移り変わり( )、山の木々の様子もいろいろに変化する。  
a につれて                      b に伴い                      c 次第では
- 4 この仕事は、やり方( )もっと早く終わらせることができるかもしれない。  
a にしたがって                      b 次第では                      c に応じて
- 5 この音楽を聞く( )、ヨーロッパを旅したくなる。  
a につれて                      b に伴って                      c につけて
- 6 当旅行社では、見学場所など、お客様のご希望( )スケジュールを調節しております。  
a に伴って                      b とともに                      c に応じて

- 〔復習〕 ・出張用のかばんの中にはパソコンや本などが入っています。  
 ・この町には図書館とか美術館とか公共の建物が多し。

1 ～やら～やら

⇒～や、ほかの～などの例があるように、いろいろだ。

- ①勝ったチームの選手たちは、泣き出すやら飛び上がるやらさまざまに喜びを表した。  
 ②だまされたとわかったときは腹が立つやら情けないやらで、気持ちを抑えることができなかつた。  
 ③娘の結婚式の日は、うれしいやら寂しいやら複雑な気持ちだった。  
 ④テーブルの上には、四角いものやら丸いものやらいろいろな形の皿が置いてあった。

名・動 辞書形・イ形 い +やら

⚠ 同じグループの言葉を並べ、いろいろあつて整理されていないことを強調する。話者がはっきり限定できないことやいろいろあつて大変だと思ふことを取り上げることが多い。

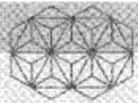
2 ～というか～というか

⇒～という言い方もできるし、ほかの～という言い方もできる。

- ①あの子は元気がいいというか落ち着きがないというか、静かにじっとしていない子です。  
 ②この部屋は、仕事場というか物置というか、とにかく仕事に必要な物が全部置いてあるんです。  
 ③今のわたしの気持ちですか。そうですね。退職してほつとしたというか寂しいというか、複雑です。

普通形 (ナ形) だ・(名) だ +というか

⚠ 同じ状況を説明するのにどちらが適切かはっきりしない表現を二つ挙げる。



### 3 ~にしても~にしても・~にしろ~にしろ・~にせよ~にせよ

→15課-6

⇒~を例にとっても、ほかの~を例にとっても同じことが言える。

- ①野菜にしても魚にしても、料理の材料は新鮮さが第一です。
- ②勉強をするにしても仕事をするにしても、計画を立ててからやったほうがいい。
- ③テレビにしろ新聞にしろ、ニュースには主観が入ってはいけない。
- ④入院するにしろ通院するにしろ、かなりのお金がかかるかもしれない。
- ⑤将来家を買うにしろ買わないにしろ、貯金はしておこう。
- ⑥与党にせよ野党にせよ、リーダーは責任が重い。
- ⑦論文を書くにせよ討論をするにせよ、十分にデータを集めておく必要がある。

🔗 名・動 辞書形/ない形 +にしても・にしろ・にせよ

⚠️ 同じグループに入る例を挙げる。または、⑤⑥のように対立する意味を持つ例を挙げる。後には、話者の判断を表す文や働きかけの文が来ることが多い。「~にせよ~にせよ」は少し硬い言い方。

### 4 ~といった

⇒いくつかの例の後につけて、例をまとめる。

- ①わたしはケーキ、ポテトチップス、ハンバーガーといったカロリーの高いものが大好きなんです。
- ②にんじんやピーマンやかぼちゃといった色の濃い野菜は緑黄色野菜とって、体にとってもいいんですよ。
- ③京都とか鎌倉といった古い街には寺が多い。
- ④「エコ」という言葉は、「環境にいい」といった意味で使われるようになった。

🔗 名 +といった

⚠️ 例がまだほかにもいろいろあることがわかる言葉につく。②③のように「や」「とか」などと組み合わせる使用が多い。④は代表的な例を一つ挙げ、大体の内容を言う用法。

1

1 面接で不合格になったときは情けないやら( )やらで、しばらくだれとも話す気持ちになれなかった。

- a 悔しい                      b 残念だ                      c 腹が立った

2 隣のうちでは( )大事にしている。

- a 犬やら猫やらを              b 動物やら植物やらを              c 犬1匹やら猫3匹やらを

3 この夏休みは( )やら( )やらで、大変だった。

- a 引っ越し／暑い              b 宿題／体調                      c アルバイト／レポート

2

1 うちの娘はのんびりしているというか( )というか、とにかく変わっているんですよ。

- a 頑固                              b マイペース                      c 怒りっぽい

2 わたしの説明は長すぎるとよく言われるんですが、言い切るのが怖いというか、( )というか、そんな気持ちがあつてどうしても長くなってしまうんです。

- a 自信がない                      b 言い切ってもいい                      c 短くまとめるべき

3 この映画の主人公は( )というか( )というか、わたしにはよく理解できない性格の人物だ。

- a いい人／悪い人                      b 男性／女性                      c 賢い／ずるい

3

1 ( )にしても( )にしても、この店は込んでいる。

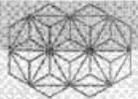
- a 平日／夜                              b 毎日／ときどき                      c 平日／週末

2 今度の会に参加するにしろしないにしろ、( )。

- a どちらですか                      b 参加したほうがいいです                      c 年会費は変わりません

3 映画を見るにせよドライブに行くにせよ、( )。

- a お金はかかる                      b いろいろなところへ出かけた                      c 好きですか



4

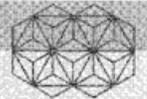
- 1 この町では( )といった交通手段が発達している。  
a 地下鉄 b 地下鉄やバス c 地下鉄とバス
- 2 日本で京都や奈良といった( )。  
a 旅行をしたい b 旅行したところだ c 所を旅行した
- 3 これはレモネード( )飲み物だ。  
a といった b という c といって

1~4

- 1 キャンプに行く( )海水浴に行く( )、子供にも準備を手伝わせたほうがいい。  
a やら/やら b というか/というか c にしても/にしても
- 2 ジェットコースターに乗った人たちは、大声を出す( )硬い表情をする( )、いろいろだった。  
a やら/やら b というか/というか c にしても/にしても
- 3 この服は、デザインが変わっている( )新鮮( )、とにかく派手すぎてわたしには合わないと思う。  
a やら/やら b というか/というか c にしろ/にしろ
- 4 英語( )中国語( )日本語( )、文法は言葉を効率良く学習するための道具だ  
と思う。  
a やら/やら/やら b というか/というか/というか  
c にしろ/にしろ/にしろ
- 5 この袋には、水( )食料( )非常用の物が入っている。  
a やら/やら b というか/というか c といった/といった
- 6 この庭にはゆり、くちなし、ラベンダー( )香りの強い花がたくさん植えられている。  
a という b というか c といった
- 7 彼女は慎重( )気が弱い( )、とにかく自己主張しない人だ。  
a というか/というか b といった/といった c にせよ/にせよ

つぎ ぶん ( )に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つえら びなさい。

- ① 時代( )人気の対象も変わるのだろうか。
- |        |         |
|--------|---------|
| 1 を通じて | 2 に対して  |
| 3 によって | 4 に基づいて |
- ② 今日中に買いたい物があつたのに、今日( )財布を忘れてきてしまった。
- |        |        |
|--------|--------|
| 1 に限って | 2 限り   |
| 3 だけは  | 4 ばかりは |
- ③ わが社では、商品の品質改善( )、アフターサービスにも最大限の努力をしております。
- |         |        |
|---------|--------|
| 1 からして  | 2 に関して |
| 3 はもとより | 4 をはじめ |
- ④ この地域( )、この国には全国的に山が多い。
- |        |        |
|--------|--------|
| 1 からして | 2 に限らず |
| 3 の上で  | 4 の上に  |
- ⑤ インターネットで( )、このテーマについての論文は発表されていない。
- |         |           |
|---------|-----------|
| 1 調べた上で | 2 調べた限りでは |
| 3 調べて以来 | 4 調べただけでは |
- ⑥ 虫の写真( )、わたしはかなり自信があります。
- |         |         |
|---------|---------|
| 1 に限って  | 2 にかけては |
| 3 に対しては | 4 につけて  |
- ⑦ 兄弟の間で、財産問題( )争いがなかなか解決しない。
- |         |        |
|---------|--------|
| 1 にこたえる | 2 に対する |
| 3 にわたる  | 4 をめぐる |
- ⑧ みち子さんはどんな時にも、自分のこと( )ほかの人たちのことにも気配りしている。
- |         |        |
|---------|--------|
| 1 だけでなく | 2 からして |
| 3 の上に   | 4 をはじめ |



- 9 子供の数の減少( )、使わない教室が増えた。  
1 次第で 2 にわたって  
3 とともに 4 に沿って
- 10 会長( )社長( )、「長」と名のつく立場の人にはしっかりと未来を見通す力が必要だ。  
1 というか/というか 2 にしろ/にしろ  
3 や/や 4 やら/やら
- 11 計画表( )工事は順調に進められている。  
1 にあたって 2 にこたえて  
3 に関して 4 に沿って
- 12 関西地方の5大学の協力( )、資源の有効利用についての研究が行われている。  
1 に伴って 2 の際に  
3 のもとに 4 をもとにして
- 13 うちの子は言葉の数が増える( )、遊びも活発になってきた。  
1 にあたって 2 にこたえて  
3 にしたがって 4 につけて
- 14 運動の内容は、その日の体調( )変えてください。  
1 とともに 2 に応じて  
3 につけて 4 につれて
- 15 あの森にはくま( )たぬき( )、いろいろな動物が住んでいるらしい。  
1 というか/というか 2 といった/といった  
3 やら/やら 4 にしても/にしても

- [復習] ・このドームでは天候に関係なくいろいろなイベントを行うことができる。  
 ・彼女は僕の予定を考えないで、自分でどんどん旅行計画を立ててしまう。  
 ・とても疲れているときは別として、わたしは毎日ジョギングをする。

1 ～を問わず

⇒～がどうかは問題ではなく、どれにも同じことが言える。

- ①このドッグショーには種類を問わず、どんな犬でも参加できます。  
 ②このクレジットカードは国内、国外を問わず、いろいろな場所で使える。  
 ③このマラソン大会には、性別、年齢を問わず、だれでも参加できます。

🔗 名 +を問わず

⚠️ いろいろな違いや幅のある言葉(年齢・国籍・天候など)や対立する言葉(男女・内外・有無など)につく。

2 ～にかかわりなく・～にかかわらず

⇒～には関係なく同じようになる。

- ①この路線バスの料金は、乗った距離にかかわらず一律200円です。  
 ②理由が何であるかにかかわりなく、一度納入した入学金はお返しできません。  
 ③振り込み手数料は、送金金額にかかわらず無料です。  
 ④使う、使わないにかかわらず、会場には一応マイクが準備してあります。

🔗 名 +にかかわりなく・～にかかわらず

⚠️ 幅のある言葉(距離・金額・大きさなど)につく。また、対立する言葉(行く、行かない・多い、少ないなど)や「(疑問詞)～か」にもつく。

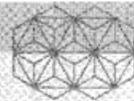
3 ～もかまわず

⇒普通なら気にする～のことを気にしないで行動する。

- ①人目もかまわず、道で大泣きしている人を見かけた。  
 ②彼は値段もかまわず、好きな料理をどんどん注文した。  
 ③母は人を待たせているのもかまわず、まだ鏡の前で化粧している。  
 ④父が病気で入院中であるのもかまわず、兄は毎日バイクで遊び回っている。

🔗 名・普通形(ナ形)だ-な/-である・名)だ-な/-である) +の +もかまわず

⚠️ 後には、普通でない行動、意外感のある行動を表す文が来る。話者の希望・意向を表す文や働きかけの文は来ない。



## 4 ~はともかく(として)

⇒ほかにもっと強調したいことがあるので、～はとりあえず考えないでおく。

- ①この店は、店の雰囲気はともかく、料理の味は最高だ。
- ②外ではともかく、家の中でたばこを吸うのはやめて。
- ③受験するかどうかはともかく、願書だけはもらっておこう。
- ④アラビア語を習いたい。読むのはともかくとして、簡単な会話はできるようになりたい。

🔗 名 (+助詞) +はともかく(として)

普通形現在 (ナ形 だ-な・名 だ-な) +の +はともかく(として)

⚠️ 話者が、後のことに比べてそれほど重要ではないと思っていることを表す言葉につく。また、「(疑問詞)～か」にもつく。後には、「～」よりもっと強調したいことを言う文が来る。

## 5 ~はさておき

⇒ほかにもっと大切なことがあるので、～はとりあえず話題からははずす。

- ①飲み会をするなら、細かいことはさておき、まずは場所と時間を決めなくては。
- ②どんな家がいいかはさておき、どんな地域に引っ越したいかを考えよう。
- ③冗談はさておき、次回のミーティングのテーマを決めておきたいと思います。

🔗 名 (+助詞) +はさておき

⚠️ それまで話題になっていたことを表す言葉につくことが多い。また、「(疑問詞)～か」にもつく。後には、「～」より優先順位が高いこと、基本的なことを表す文が来る。

1

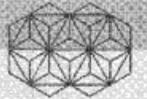
- 1 このスポーツクラブのデイトタイム会員は、<sup>かいいん</sup> 昼間なら( ) <sup>と</sup>を問わず <sup>しせつ</sup>施設を <sup>りよう</sup>利用することか  
できる。
- a 水曜日、木曜日                      b <sup>しゅうまつ</sup>週末                      c 曜日
- 2 この仕事は( )を問わず、だれでもできます。
- a <sup>きゅうりょう</sup>給料                      b <sup>けいけん</sup>経験の <sup>う</sup>有 <sup>む</sup>無                      c <sup>みせいねん</sup>未成年
- 3 このスポーツは <sup>ねんれい</sup>年齢を問わず、( )。
- a だれでも楽しめます                      b いつでも楽しめます                      c どこでも楽しめます
- 4 わたしは <sup>きせつ</sup>季節を問わず、( )。
- a 特に <sup>ふゆ</sup>冬山に <sup>のぼ</sup>登ることが好きだ。                      b <sup>やまのぼ</sup>山登りをすることが好きだ  
b どんな季節も好きだ

2

- 1 父は( )にかかわらず、日曜日ごとにゴルフを楽しんでいます。
- a <sup>ねんれい</sup>年齢                      b <sup>こうれい</sup>高齢                      c <sup>てんこう</sup>天候
- 2 ここにある <sup>しょうひん</sup>商品は大きさにかわらず、( )。
- a どれでも500円です                      b 高いのも安いのもあります                      c どれがいいですか
- 3 ( )にかかわりなく、<sup>ねんかいひ</sup>年会費をお納めください。
- a 今度の旅行への <sup>ふさんか</sup>不参加                      b 今度の旅行への <sup>さんか</sup>参加、不参加                      c 今度の旅行への参加

3

- 1 あの人は( )のもかまわず、<sup>こうえん</sup>公園で <sup>きが</sup>服を着替えている。
- a 人が見ている                      b あたりが暗い                      c 人がいない
- 2 わたしが一人で仕事を <sup>かたづ</sup>片付けているのもかまわず、田中さんは先に( )。
- a 帰ってください                      b 帰ってもいいですよ                      c 帰ってしまった
- 3 雨が <sup>ふ</sup>降っているのもかまわず、<sup>せんしゅ</sup>選手たちは( )。
- a <sup>れんしゅう</sup>練習を <sup>つづ</sup>続けている                      b 練習を続けましょう                      c 練習を続けろ
- 4 <sup>てんこう</sup>天候が <sup>よ</sup>良くないのもかまわず、( )。
- a ようこそおいでくださいました                      b <sup>かれ</sup>彼は <sup>つ</sup>釣りに出かけていった  
c どうしても出かけなければならない



4

- 1 子供はともかく、( )。  
a 大人はちゃんとほかの人の話を聞くべきだ      b だれもが連休を楽しみにしている  
c みんな寝ている顔がかわいい
- 2 日本語を勉強するなら、漢字はともかく、ひらがなは( )。  
a 日本で作られた字です      b 48字だけです  
c 早く覚えたほうがいいです
- 3 ( )はともかくとして、会長の考えは筋が通っていると思う。  
a 賛成するかどうか      b 賛成できないか      c 賛成できない
- 4 日本の夏は、暑いのはともかく、( )。  
a わたしの国ほどではない      b 湿度が高いので嫌だ      c クーラーがあればいい
- 5 優勝できるかどうかはともかく、( )。  
a 精いっぱい頑張ろう      b あまり気にしないほうがいい      c 今はとても緊張している

5

- 1 ( )はさておき、値段の安さが気に入った。  
a 品質      b いい品質      c 悪い品質
- 2 スポーツ大会のプログラムはさておき、( )。  
a 日程を決めよう      b 準備はすべて整った      c わたしも参加したい
- 3 料理の注文はさておき、( )。  
a わたしたちはたくさん飲んだ      b まず乾杯しましょう      c まず何が食べたいですか

1~5

- 1 山田君は分野( )、いろいろな本を読んでいる。  
a を問わず      b もかまわず      c はさておき
- 2 子供は服が汚れるの( )、泥遊びを続けている。  
a を問わず      b もかまわず      c はともかく
- 3 お酒を飲むか飲まないか( )、新年会の会費は全員7,000円です。  
a もかまわず      b はさておき      c にかかわらず
- 4 試合の勝ち負け( )、自分が大きな失敗をしなかったことはうれしい。  
a にかかわらず      b はともかく      c もかまわず
- 5 わたしのこと( )、あなたは今、一番大切な人のことを考えるべきです。  
a もかまわず      b を問わず      c はさておき

- [復習] ・その案には絶対賛成できない。  
 ・リーさんが今、日本にいるはずがない。先週帰国したんだから。  
 ・今から頑張れば締め切りまでに完成できないことはない。

## 1 ~わけがない

⇒絶対～ない・～とは考えられない。

- ①この仕事を今日中に全部ですか。わたし一人でできるわけがありませんよ。  
 ②田中先生の試験がそんなに簡単なわけがない。厳しいことで有名な先生なのだ。  
 ③この店は元一流ホテルのシェフさんが開いたんだ。料理がおいしくないわけがない。

🔗 普通形 (ナ形) だ - な / - である ・ (名) だ - の / - である + わけがない

⚠️ 話者が絶対そうではないと確信しているときの言い方。

## 2 ~どころではない・~どころか

→18課-⑤

⇒～の程度ではなく、実際はそれとは大違いだ。

- ①せきが出るので風邪かなと思っていたが、ただの風邪どころではなく、肺炎だった。  
 ②休日なのでちょっとは道が込むだろうと思っていたが、ちょっとどころではなかった。  
 ③マナーが悪い人をちょっと注意したら、謝るところか、逆にわたしにどなった。  
 ④こんな下手なチームでは、何度試合をしても一度も勝てないどころか、1点も入れられないだろう。

🔗 (名) ・普通形 (ナ形) だ - (な) / - である ・ (名) だ - である + どころではない・どころか

⚠️ 「~どころか」の前後には程度が大きく違うことや反対のことが来る。前件よりも悪い状況を言うことが多い。

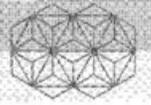
## 3 ~ものか

→24課-⑥

⇒絶対～ない。 (話し言葉)

- ①山田が時間どおりに来るものか。あいつはいつも遅刻なんだから。  
 ②駅から歩いて40分。バスもない。こんな不便な所に住めるものか。  
 ③あの人が正直なもんか。うそばかり言う人だ。  
 ④わたしが努力家なもんですか。こつこつと努力するのは苦手なんですよ。

🔗 普通形 (ナ形) だ - な ・ (名) だ - な + ものか



- ▲ 少し感情的に強く否定する文。「～もんか」はさらにくだけた言い方。女性はふつう「～ものですか」「～もんですか」を使う。

#### 4 ～わけではない・～というわけではない

⇒全部～とは言えない・特に～ということではない。

①携帯電話を持っていても、いつでも電話に出られるわけではない。

②A「どうしたの？ 怒っているの？」

B「怒っているわけじゃないけど……あなたの気持ち、このごろよくわからない。」

③親の気持ちもわからないわけではないが、自分の進路は自分で決めたい。

④その日は絶対に無理というわけではありませんが、できれば別の日にしてもらえるとありがたいです。

☞ 普通形 (ナ形 差-な/-である・名 差-の/-な/-である) +わけではない

普通形 (ナ形 (だ)・名 (だ)) +というわけではない

- ▲ 部分的に否定する場合は、「全部」という意味の言葉(いつも・だれでも・どこでもなど)や「必ずしも」を一緒に使うことが多い。

#### 5 ～というものではない・～というものでもない

⇒ある条件が整えば必ず～ということになるとは言えない。

①医師の仕事は資格をとればできるというものではない。常に最新の治療法を研究する姿勢がなければいけない。

②自由だからといって、何をしてもいいというものではありません。

③練習問題は一度やれば終わりだというものではない。間違ったところをよく復習することが大切だ。

④努力すれば必ず成功するというものでもない。チャンスも必要だ。

☞ 普通形 (ナ形 (だ)・名 (だ)) +というものではない・というものでもない

- ▲ 具体的な事実ではなく、物事の本質についての話者の主張・感想を言う文。条件を表す言い方

(～ばなど)や「～からといって」を一緒に使うことが多い。「～というものでもない」の方が少し柔らかい言い方。

1

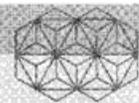
- 1 うちの母が毎日( )わけがない。三つも仕事を抱えているのだ。  
 a 暇ひま b 暇だ c 暇な
- 2 あれ？ 西本さんはまだ？ 大事な約束やくそくがあるから( )わけがないんだけど。  
 a 来る b 来ない c わからない
- 3 あの人が事故じこを起こす( )。とても注意ちゅうい深い人なんだから。  
 a わけがない b わけではない c というわけではない
- 4 5時に( )わけがないでしょう。仕事がこんなにたまっているんです。  
 a 帰れる b 帰れそうな c 帰れない

2

- 1 わたしの家の近くは( )どころか、うるさくて眠ねむれないこともあるんですよ。  
 a 静しずかの b 静かだ c 静かな
- 2 A「バーゲンどうだった？ 少しは買いたい物があつた？」  
 B「少しどころじゃないよ。( )。」  
 a あまりなかったよ b すごくたくさんあつたよ c まあまああつたよ
- 3 弟のアパートにはエアコンどころか( )。  
 a 扇風機せんぷうきもない b テレビはある c 車がない
- 4 わたしは外国旅行どころか( )  
 a 国内旅行こくないには何度も行った b 国内旅行もめつたにできない  
 c 国内旅行に行ってみた

3

- 1 こんなきついアルバイト、ひろしが( )もんか。  
 a しない b できる c 辞やめる
- 2 A「あしたからフランスですか。いいなあ。」  
 B「何がいいもんですか。( )。」  
 a 毎日仕事でハードスケジュールですよ b いいところがあつたら教えてください  
 c お土産を買ってきますよ



4

- 1 わたしは( )というわけではありませんよ。今日はたまたま休みなのです。  
a 今、暇だ <sup>ひま</sup> b いつも忙しい <sup>いそが</sup> c いつも暇だ
- 2 両親には僕の気持ちを丁寧に説明したが、説明したからといって( )わけではない。  
a わからない b わかってもらえる c わかってもらえない
- 3 実際に( )わけではないが、女優の松井あやこは優しい人だと思う。  
a 会った b 会っていない c 知らない
- 4 生物の先生が生物のことを( )わけではない。  
a 知っている b 何でも知っている c 何も知らない

5

- 1 ( )というものではない。品質が問題だ。  
a 安ければいい b 安いといい c 安くてもいい
- 2 便利なものなら( )というものでもない。  
a たぶん売れるだろう b 売れるかもしれない c 必ず売れる
- 3 責任をとって( )というものではない。それでは何も解決しない。  
a 辞めればそれですむ b 辞めなくてもすむ c 辞めたほうがいい
- 4 タクシーで行けば( )というものではない。  
a 20分でかかる b 早く着く c 1,500円必要だ

1~5

- 1 何でもお金で買える( )。お金では買えないものもある。  
a ところではない b ものではない c わけではない
- 2 国に何度も電話をかけたので、今月の電話代は2万円ぐらいかかるとは思っていたが、2万円( )。5万円もかかった。  
a ところではなかった b かかるもんか c というものでもなかった
- 3 わたしは、納豆は嫌いな( )のですが、めったに食べません。  
a わげがない b わけではない c ところではない
- 4 携帯電話は便利だが、いつでも好きな時に使っている( )。マナーが必要だ。  
a ところではない b というものではない c ものですか
- 5 大きい地震があっても、この家が倒れたりする( )。絶対大丈夫だよ！  
a もんか b ところではない c わけではない

- [復習] ・昼ご飯はいつも食堂で食べますが、晩ご飯はうちで自分で作ります。  
 ・「すずめの涙ほど」というのは、とても少ないという意味である。

## 1 ～とは

⇒～という言葉の説明・定義する。 [硬い言い方]

- ①「校正」とはどういう意味ですか。  
 ②「増悪」とは医学用語で、症状がもつと悪くなることである。  
 ③人生とは本人が主役のドラマみたいなものだ。

🔗 名 +とは

- ⚠️ 「～というのは」の硬い言い方。後には、その言葉の意味や本質を説明する文(～だ・～である・～という意味である・～のことであるなど)が来る。

## 2 ～といえば

→13課-③

A⇒話題に出てきた～という言葉を取り上げ、それに関連のある別の話に導く。

- ①このコーヒー、ハワイのお土産ですか。ハワイといえば、さち子さんが来月ハワイで結婚式をするんだそうですよ。  
 ②A「高速道路の料金が安くなるみたいですね。」  
 B「そのようですね。安くなるといえば、飛行機のチケットが安く買えそうなので、来月旅行しようと思っているんです。」

🔗 取り上げる言葉 +といえば

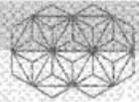
- ⚠️ 相手の言葉や自分の話、思い出したことなどから取り上げた言葉に直接つく。

B⇒～ということを一応認めておいて、その後で本当に言いたいことを言う。

- ③今のアパート、駅から遠いので不便といえば不便ですが、静かでいいですよ。  
 ④松本さんのうちのお嬢さん、かわいいといえばかわいいけど、ちょっとわがままね。

🔗 普通形(ナ形(だ)・名(だ)) +といえば

- ⚠️ 前後に同じ言葉を繰り返し、その後、「～が・～けれど」などをつける。



### 3 ~というと・~といえば・~といたら

→13課-②、13課-⑤

⇒~という言葉からすぐに思いつくことを言う。

①これ、うちの畑<sup>はたけ</sup>とれたトマトです。畑<sup>はたけ</sup>という<sup>と</sup>広い<sup>とち</sup>土地<sup>ち</sup>を想像<sup>そうぞう</sup>するでしょうが、うちの畑は<sup>なだみ</sup>畳<sup>まい</sup>2枚<sup>まい</sup>ぐらいの狭<sup>せま</sup>さなんです。

②オーストラリア<sup>おほ</sup>といえば、すぐにコアラ<sup>う</sup>とかカンガルー<sup>う</sup>を思い浮かべる。

③くじら<sup>くじら</sup>って<sup>くじら</sup>いたら、思いつく<sup>おぼ</sup>ことは何<sup>う</sup>でしょうか。

④A「今度のパーティー、トップ<sup>おとな</sup>でやろうと思<sup>おぼ</sup>っているんですが……。」

B「トップ<sup>おとな</sup>って<sup>おとな</sup>いうと、去年オープンしたイタリアンレストランのこと<sup>おとな</sup>ですよ。」

⑤A「わたし、今日<sup>けふ</sup>でこの仕事<sup>しごと</sup>を辞<sup>や</sup>めるんです。」

B「えっ。辞<sup>や</sup>める<sup>や</sup>という<sup>や</sup>と、もう来<sup>こ</sup>ない<sup>こ</sup>ということ<sup>こ</sup>ですか。」

名・動・形 普通形 +というと・といえば・といたら

▲「~という<sup>おぼ</sup>と」は④⑤のよう<sup>おぼ</sup>に、相手<sup>あいて</sup>の言<sup>い</sup>った言葉<sup>ことば</sup>が自分<sup>じぶん</sup>の思<sup>おも</sup>っていること<sup>おぼ</sup>と同じ<sup>おな</sup>かどう<sup>おな</sup>か確<sup>たし</sup>かめる<sup>たし</sup>用法<sup>ようほう</sup>もある。後<sup>あと</sup>には、確<sup>たし</sup>かめる<sup>たし</sup>言<sup>い</sup>い方<sup>かた</sup>(~ね・~かなど)が来<sup>く</sup>ることが多<sup>おほ</sup>い。

### 4 ~(のこと)となると

→15課-①

⇒~の話題<sup>わだい</sup>・~に関<sup>かん</sup>連<sup>れん</sup>する<sup>こと</sup>に對<sup>たい</sup>しては、普通<sup>ふつう</sup>とは違<sup>ちが</sup>う態<sup>たい</sup>度<sup>ど</sup>になる<sup>こと</sup>を強<sup>きょう</sup>調<sup>てう</sup>する。

①佐藤<sup>さとう</sup>さん<sup>さん</sup>は、好<sup>か</sup>きな歌<sup>か</sup>手<sup>しゅ</sup>の<sup>こと</sup>とな<sup>ると</sup>話<sup>わ</sup>が止<sup>と</sup>まら<sup>ない</sup>ない。

②弟<sup>あに</sup>は、車<sup>くるま</sup>の<sup>こと</sup>とな<sup>ると</sup>急<sup>せん</sup>に專<sup>せん</sup>門<sup>もん</sup>家<sup>か</sup>み<sup>たい</sup>に<sup>なる</sup>なる。

③酒<sup>さけ</sup>好<sup>ず</sup>き<sup>ず</sup>だ<sup>つ</sup>た父<sup>ちち</sup>は、酒<sup>さけ</sup>とな<sup>ると</sup>人<sup>ひと</sup>が<sup>か</sup>変<sup>か</sup>わ<sup>つ</sup>た<sup>よう</sup>に元<sup>げん</sup>氣<sup>き</sup>にな<sup>つ</sup>つた。

名 + (のこと) となると

▲後<sup>あと</sup>には、普通<sup>ふつう</sup>で<sup>な</sup>い態<sup>たい</sup>度<sup>ど</sup>に<sup>か</sup>変<sup>か</sup>わ<sup>る</sup>という<sup>い</sup>意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>の<sup>ぶん</sup>文<sup>く</sup>が<sup>く</sup>来<sup>く</sup>る。

### 5 ~といたら

→13課-③

⇒~の程<sup>てい</sup>度<sup>ど</sup>が普通<sup>ふつう</sup>で<sup>な</sup>い<sup>こと</sup>を強<sup>きょう</sup>調<sup>てう</sup>する。

①縮<sup>し</sup>め<sup>き</sup>切<sup>き</sup>り<sup>ま</sup>前<sup>まへ</sup>の<sup>しごと</sup>仕事<sup>しごと</sup>の<sup>いそ</sup>忙<sup>いそ</sup>し<sup>さ</sup>と<sup>い</sup>つ<sup>ら</sup>ら、君<sup>きみ</sup>に<sup>は</sup>想<sup>そう</sup>象<sup>ぞう</sup>も<sup>で</sup>き<sup>な</sup>い<sup>おぼ</sup>思<sup>おも</sup>う<sup>よ</sup>よ。

②その<sup>おどろ</sup>新<sup>おどろ</sup>ス<sup>おどろ</sup>を<sup>き</sup>聞<sup>き</sup>いた<sup>とき</sup>の<sup>おどろ</sup>驚<sup>おどろ</sup>き<sup>おどろ</sup>と<sup>い</sup>つ<sup>ら</sup>ら、し<sup>ば</sup>ら<sup>く</sup>は<sup>こゑ</sup>声<sup>こゑ</sup>も<sup>で</sup>き<sup>な</sup>い<sup>おどろ</sup>ほ<sup>ど</sup>だ<sup>つ</sup>た。

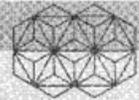
③富<sup>ふ</sup>士<sup>じ</sup>山<sup>さん</sup>の<sup>ちよう</sup>頂<sup>ちよう</sup>上<sup>じやう</sup>か<sup>ら</sup>見<sup>み</sup>た<sup>けしき</sup>景<sup>けしき</sup>色<sup>しき</sup>と<sup>い</sup>つ<sup>ら</sup>ら、思<sup>おも</sup>い<sup>で</sup>す<sup>だけ</sup>で感<sup>かん</sup>動<sup>どう</sup>する。

④暗<sup>やま</sup>い<sup>みち</sup>山<sup>やま</sup>道<sup>みち</sup>を<sup>ひと</sup>一<sup>ご</sup>人<sup>ご</sup>で<sup>あそ</sup>歩<sup>あそ</sup>いた<sup>とき</sup>の<sup>こわ</sup>怖<sup>こわ</sup>さ<sup>こわ</sup>と<sup>い</sup>つ<sup>ら</sup>ら……。

名 + といつたら

▲後<sup>あと</sup>には、普通<sup>ふつう</sup>で<sup>な</sup>い程<sup>てい</sup>度<sup>ど</sup>だ<sup>い</sup>という<sup>い</sup>意<sup>い</sup>味<sup>み</sup>の<sup>ぶん</sup>文<sup>く</sup>、驚<sup>おどろ</sup>き<sup>おどろ</sup>を<sup>あわ</sup>表<sup>あわ</sup>す<sup>ぶん</sup>文<sup>く</sup>が<sup>く</sup>来<sup>く</sup>る。④の<sup>ぶん</sup>よう<sup>ぶん</sup>に<sup>しりぞ</sup>そ<sup>く</sup>の<sup>ぶん</sup>文<sup>く</sup>を<sup>しりぞ</sup>省<sup>しりぞ</sup>略<sup>く</sup>する<sup>しりぞ</sup>こと<sup>しりぞ</sup>も<sup>しりぞ</sup>あ<sup>る</sup>る。





4

- 1 中山さんは料理のこととなると( )。
- a いろいろ知っている      b お母さんを思い出すらしい      c 急に<sup>わっしん</sup>熱心になる
- 2 兄はバイクとなると( )。
- a いくらでもお金を使ってしまう      b とても好きだ  
c 毎日乗っている
- 3 母はお金のこととなると( )。
- a 今、とても<sup>こま</sup>困っているらしい      b とたんに顔が<sup>くも</sup>曇る      c <sup>かんしん</sup>関心がないみたいだ
- 4 中川さんは<sup>しょうばい</sup>商売のこととなると( )。
- a いい<sup>えいぎょう</sup>営業マンだ      b 目の色が変わる      c やる<sup>き</sup>気がない

5

- 1 <sup>えんちようせん</sup>延長戦で負けたときの( )<sup>ま</sup>と云ったら、<sup>わす</sup>忘れようと思っても忘れられない。
- a 悔<sup>くや</sup>しさ      b 残念<sup>ざんねん</sup>だ      c 悲しい
- 2 学生時代<sup>はじ</sup>初めて一人で外国旅行をした。( )<sup>ま</sup>と云ったら、今思い出してもおかしい。
- a あの時の<sup>きんちよう</sup>緊張      b あの時は緊張した      c 緊張したあの時
- 3 一人暮らし<sup>ひとりぐ</sup>を始めたころの<sup>さび</sup>寂しさ<sup>ま</sup>と云ったら、( )。
- a とても寂しかった      b <sup>ことば</sup>言葉にならないくらいだった      c 今は思い出せない
- 4 日本の夏の<sup>むしあつ</sup>蒸し暑さ<sup>ま</sup>と云ったら( )。
- a わたしの国よりはいい      b とても我慢<sup>がまん</sup>できない      c それほどでもない

1~5

- 1 ミカはケーキ( )、ケーキ屋さんみたいに<sup>くわ</sup>詳しく説明を始める。
- a とは      b といえば      c のこととなると
- 2 「<sup>ひやうてん</sup>氷点」( )<sup>えきたい</sup>液体が<sup>こおり</sup>氷になる<sup>おんど</sup>温度のことである。
- a とは      b となると      c ということは
- 3 <sup>おおぜい</sup>大勢の人の前で<sup>ころ</sup>転んだときの<sup>は</sup>恥ずかしさ( )、思い出したくもない。
- a とは      b というところ      c といったら
- 4 A「もうすぐ<sup>さくら</sup>桜が<sup>さ</sup>咲くね。」  
B「桜( )、この間桜の木でできた<sup>はこ</sup>箱を買ったんですよ。とても<sup>きい</sup>気に入っています。」
- a といえば      b というのは      c というと

- 〔復習〕 ・返すのはいつでもいいと言ったけど、返さなくていいとは言っていない。  
 ・せっかく富士山の近くまで行ったのに、天気が悪くてよく見えなかった。  
 ・忙しくても、メールの返事は必ず書きたい。

1 ～にもかかわらず

⇒～には影響されなくて、あることをする。

- ①水道工事の人たちは悪天候にもかかわらず、作業を続けている。  
 ②中村先生はお忙しいにもかかわらず、快く僕のレポートをチェックしてくださった。  
 ③足を痛めたにもかかわらず、村田選手はマラソンコースを最後まで走った。

名・普通形(ナ形) 差-である・名) 差-である) +にもかかわらず

▲ 全体として、前の事実に影響されなくてのことに対する驚き・意外感を表す。後には、話者の希望・意向を表す文や働きかけの文は来なくて。

2 ～ものの・～とはいうものの

⇒～は事実なのだが、その事実から当然想像されることが起これなくて。

- ①明日の天気です。関東地方は晴れるものの、風が強いため寒く感じられるでしょう。  
 ②高価な着物を買ったものの、着るチャンスがない。  
 ③不景気とはいうものの、人々の表情は明るい。  
 ④手術は成功したとはいうものの、まだ心配だ。

動・形) 普通形(ナ形) 差-な/-である) +ものの

名・普通形(ナ形) (だ) +とはいうものの

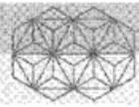
▲ 事実または確実性が高いことにつく。後には、想像されるとおりではない・まだ問題がある、という意味の文が来る。働きかけの文は来なくて。

3 ～ながら(も)

⇒～という状態から予想されることがとは違て・「～けれども」と前置きする。

- ①毎日この道を通ていながら、ここにこんなすてきな店があるとは気がつかなくて。  
 ②狭いながらも庭があるので、わたしは花を育てて楽しんでます。  
 ③あの子は子供ながら、社会の動きをよく知っていますね。

動) ます・イ形) い・ナ形) /-であり・名) /-であり +ながら(も)



- ⚠ 状態を表す言葉につくことが多い。前後の主語は同じ。③はマイナスの状態を認めて前置きとして言う使い方。マイナス評価の言葉(小さい・わずかなど)につく。

#### 4 ~つつ(も)

→2課-6

⇒~という心の動きとは、行動が違っている。

- ①早く返事を書かなければと気にしつつ、まだ書いていない。
- ②危険だと知りつつ、山道を登り続けた。
- ③体に良くないと思いつつも、毎日インスタント食品ばかり食べています。

#### 🔗 動 ます +つつ(も)

- ⚠ 心の動きや言語活動に関する動詞(思う・知る・言うなど)につく。後には、話者の推量・希望・意向などを表す文や働きかけの文は来ない。前後の文の主語は同じ。

#### 5 ~といっても

⇒実際は~ということから想像されるイメージとは違っている。

- ①わたしは今お婆の家に住んでいる。お婆といっても母のきょうだいではなく、祖母の妹にあたる人だ。
- ②料理ができるといっても、わたしが作れるのは簡単なものだけです。
- ③今もわたしの仕事はきつい。でも、きついといっても、前の会社にいたときほどではない。

#### 🔗 名・普通形 +といっても

- ⚠ 後には、「~」からイメージされることとは違うという意味の文が来る。

#### 6 ~からといって

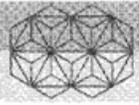
⇒ただ~という理由だけでは、その理由から普通に予想されることは成立しない。

- ①連休だからといって、デパートに勤めているわたしたちは休めるわけではない。
- ②好きじゃないからといって、食べ物をこんなにたくさん残してはいけませんよ。
- ③忙しいからといって、睡眠をちゃんととらないと、体を壊しますよ。

#### 🔗 普通形 +からといって

- ⚠ 「~だから当然…だ」という文を否定する言い方。後には、部分否定の表現(~とは限らない・~わけではない・~とはいえないなど)が来ることが多い。





3 悪いと知りつつカンニングを( )。

- a してしまった                      b するな                      c してみよう

5

1 夏休みといっても、( )。

- a 1か月も休める                      b 休めるのは2日しかない  
c やりたいことがいろいろある

2 年をとっているといても、父は( )。

- a もう90歳だ                      b 定年退職になった                      c まだとても元気だ

3 彼と仲がいいといっても、( )。

- a 結婚は考えていない                      b 結婚を考えている                      c よくいろいろなことを話す

4 ( )といっても、前に何回か会ったことがあります。

- a 彼女とは親しくない                      b 彼女を知らない                      c 彼女を知っている

6

1 子供だからといって、( )だめだ。

- a 甘やかしては                      b もっと優しくしなければ                      c 大人と同じに扱っては

2 成績がいいからといって、( )。

- a 就職は心配ない                      b 就職ができない                      c 就職ができるとは限らない

3 何をしても自由だからといって、人に迷惑を( )。

- a かけないつもりだ                      b かけなかった                      c かけてはいけない

1~6

1 父は会社を経営しています。会社( )社員は6人だけです。

- a にもかかわらず                      b といっても                      c だからといって

2 あの人は事実を( )、わたしには何も言わなかった。

- a 知っていながら                      b 知っているといっても                      c 知っているからといって

3 いつかスイスに行ってみたいと( )、なかなか行くチャンスがない。

- a 思うといっても                      b 思いつ                      c 思うからといって

4 工事費が高い( )、この施設はもう3回も建て直しをしている。

- a にもかかわらず                      b といっても                      c ながら

5 春が( )、まだ寒い日が続く。

- a 来たからといって                      b 来ながら                      c 来たとはいうものの

- [復習] ・もし事故を起こしたらどうするんですか。  
 ・ヨーロッパへ行くなら秋がいいですよ。  
 ・今から走っていても間に合わないでしょう。

1

～としたら・～とすれば・～とすると・～となったら・～となれば・～となると

→13課-4

⇒～と仮定した場合・～ということになった場合、そうする・そうなる。

- ①無人島に何か一つだけ持っていけるとしたら、何を持っていきたいですか。
- ②もし、あの飛行機に乗っていたとしたら、僕はもうこの世にいなかった。
- ③彼が犯人ではないとすると、どこかに本当の犯人がいるはずだ。
- ④税金が上がるとなれば、国民の生活はますます大変になるだろう。
- ⑤引っ越すとすると、かなりのお金がかかる。大丈夫かなあ。

普通形 +としたら・とすれば・とすると

名・普通形 +となったら・となれば・となると

- ▲ 「～としたら・～とすれば・～とすると」は仮定の意味が強い。「～となったら・～となれば・～となると」は、実現する可能性があることにつき、それが実現した場合を考えている。どちらも後には話者の判断などを表す文が来る。「～とすると・～となると」の後には、話者の希望・意向を表す文、働きかけの文は来ない。

2 ～ものなら

⇒もし～できるなら、そうしたい・そうしてほしい。

- ①戻れるものなら20年前のわたしに戻って人生をやり直したい。
- ②あの日の出来事を忘れられるものなら忘れたいのに……。
- ③やれるものならやってみる。

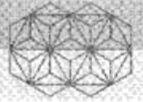
動 辞書形 +ものなら

- ▲ 無理そうなことを仮定して言う。前には、可能の意味を表す動詞が来る。後には、話者の希望や期待を表す文が来る。③のように相手を刺激する言い方の例もある。

3 ～(よ)うものなら

⇒もし～たら、大変なことになる。

- ①わたしはアレルギー体質なので、合わない食品を食べようものなら、体のあちこちがかゆくなる。



②山道は危ない。ちょっと足を踏み外そうものなら、大けがをするだろう。

③車の運転中は、一瞬でもよそ見をしようものなら、事故を起こすぞ。

🌀 動 う・よう形 +ものなら

⚠️ 後には、「きっと大変なことになる」という意味の推量を表す文が来る。

#### 4 ~ないことには

⇒~なければ、あることが実現しない。

①一度会ってみないことには、仕事を任せられる人かどうかわからない。

②お金がないことには、この計画は進められない。

③足がもっと丈夫でないことには、あの山に登るのは無理だろう。

🌀 動 ない形・イ形 くない・ナ形 -でない・名 -でない +ことには

⚠️ 後には、否定的な意味の文が来る。

#### 5 ~を抜きにしては

⇒~がなければ・~を考えに入れない状態では、あることが実現しない。

①インターネットとメールを抜きにしては、現代社会は成り立たないと言ってもいい。

②田中先生の好意的なご指導を抜きにしては、この勉強会は続けられないだろう。

③ボランティアの人たちの助けを抜きにしては、外国人の受け入れ計画は無理だと思う。

🌀 名 +を抜きにしては

⚠️ 話者が高く評価するものを表す言葉につく。後には、実現しないという意味の文が来る。

#### 6 ~としても・~にしても・~にしろ・~にせよ

→10課-③、19課-⑥

⇒たとえ~ということが事実でも、話者の気持ちはそれに影響されない。

①親元を離れるとしても、できるだけ親の近くに住む方がいい。

②準備時間が短かったにしても、もう少し立派な報告書を書いてほしかった。

③たとえ悪い結果にしろ、できることは全部やってきたのだから後悔はしない。

④何をにせよ、心を込めて取り組みたい。

🌀 普通形 +としても

名・普通形 (ナ形 だ-である・名 だ-である) +にしても・にしろ・にせよ

⚠️ 前に来る文は「~としても」は仮定のこと、「~にしても・~にしろ・~にせよ」は仮定のことでも事実でも良い。疑問詞を使う例も多い。後には、主に話者の評価・判断・感想を表す文が来る。

1

- 1 もし彼があの風邪薬を( )としたら、今ごろは眠くなっているはずだ。  
 a 飲む                              b 飲んだ                              c 飲む
- 2 課長、海外出張となれば、( )。  
 a 準備が大変ですね              b 連れて行ってください          c お手伝いしましょうか
- 3 もし、林君が本当にそんなことを言ったのだとすると、( )。  
 a 彼の精神状態が心配だ          b 彼に本当かどうか確かめてほしい  
 c 彼とよく話してみるつもりだ
- 4 この計画を実行するとすれば、( )。  
 a ぜひ手伝ってください          b 貯金を全部おろそう  
 c いくらぐらいかかりますか
- 5 早く卒業したいと思っているが、本当に卒業する( )寂しさを感じるだろう。  
 a とすれば                              b としたら                              c となったら

2

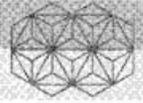
- 1 ( )ものなら月の世界へ行ってみよう。  
 a 行ける                              b 行く                                  c 行こう
- 2 マンションで犬が飼えるものなら( )。  
 a 僕が世話をするよ              b 僕は飼いたいよ                  c うれしいな
- 3 100歳まで生きられるものなら( )。  
 a ぜひ生きてみたい              b もっと健康に気をつけよう  
 c 市長からお祝いもらえる

3

- 1 今回も試験に失敗しようものなら、( )。  
 a 来年また受験しよう              b 来年は必ず合格すると思う      c 人生真っ暗だ
- 2 あのひとと一緒にお酒を飲もうものなら、( )よ。  
 a 楽しいです                          b 朝まで帰してあげません          c やめたほうがいいです
- 3 会長に意見を言おうものなら、( )。  
 a よく聞いてくれる              b 内容を整理しておいたほうがいい      c どなられる

4

- 1 部屋がもっとと広くないことには、( )。  
 a 掃除が楽だ                          b 家賃も安いはずだ                  c 30人の会議には使えない



- 2 雪がもっと降らないことには、( )。
- a わたしはありがたい      b スキー場はオープンできない      c スケート場の客が増える
- 3 かぎがないことには、( )。
- a 管理人から借りればいい      b どうすればいいだろうか      c 部屋には入れない

5

- 1 ( )を抜きにしては、この町の活気は取り戻せないだろう。
- a 自然災害      b 観光事業の収入      c 土地の値上がり
- 2 中山選手の活躍を抜きにしては、( )。
- a 勝利は難しいだろう      b みんな困る
- c きっと負けてしまうだろう
- 3 周りの人たちの援助を抜きにしては、( )。
- a 彼は不幸だったろう      b 彼はもっと自由だったろう      c 今の彼はいなかったろう

6

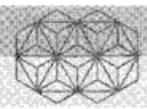
- 1 ( )にしても、今年の夏は暑かった。
- a 昨年ほどではない      b 昨年よりひどい      c 今までで最高だった
- 2 できないことではないにせよ、彼の当選は( )。
- a 不可能だ      b 可能性が高い      c かなり難しいと思う

1~6

- 1 わざとではない( )、大事なものを壊されたんですから怒るのは当たり前です。
- a とすれば      b としたら      c にしても
- 2 この会社に入っていなかった( )、今ごろは何をしていただろうか。
- a としたら      b となると      c にせよ
- 3 いい小説を書いて、将来は( )文学賞をとってみたい。
- a とれるにせよ      b とれるものなら      c とろうものなら
- 4 心身ともに健康でない( )、責任がある仕事はできない。
- a ことには      b ものなら      c にしろ
- 5 大きい地震が( )、この家はたちまち壊れてしまうだろう。
- a 起こらないことには      b 起ころうものなら      c 起こるとなったら
- 6 ( )、商品は売れないのである。
- a サービスがないにせよ      b サービスがないものなら      c サービスを抜きにしては

つぎ ぶん の ( ) に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 1 1 にすると 2 としたら  
3 として 4 にせよ
- 2 1 を問わず 2 はともかく  
3 を抜きにして 4 にかかわりなく
- 3 1 ばかりで 2 ばかりか  
3 どころか 4 ところが
- 4 1 もかまわず 2 はさておき  
3 に基づいて 4 のもとで
- 5 1 近づいているにもかかわらず 2 近づいているといっても  
3 近づきながらも 4 近づきつつ
- 6 1 に沿って 2 にしたがって  
3 にもかかわらず 4 にかかわらず
- 7 1 しょうものなら 2 するものなら  
3 するとしたら 4 しょうといたら
- 8 1 はさておき 2 はともかく  
3 とすると 4 となると



- 9 母が病氣という知らせをもらった。今すぐ国へ( )そうしたい。
- 1 帰れるものなら  
2 帰れないことには  
3 帰ろうものなら  
4 帰れないことでは
- 10 わたしは10年も中国で( )、中国語がほとんど話せない。
- 1 暮らしたにしても  
2 暮らしたからといって  
3 暮らしていながら  
4 暮らしてこのかた
- 11 駅から会場まで( )歩けるけど、40分はかかるよ。タクシーで行こうよ。
- 1 歩けるというと  
2 歩くというと  
3 歩けるといえば  
4 歩くといえば
- 12 景気は徐々に( )、就職状況には改善が見られない。
- 1 回復するばかりだといって  
2 回復しつつあると  
3 回復しつつあると  
4 回復するばかりだと
- 13 この絵本は( )が、大人の読者が多い。
- 1 大人向けというわけではない  
2 大人向けということではない  
3 大人に向けるわけではない  
4 大人に向けることではない
- 14 「デジカメ」とは「デジタルカメラ」( )。
- 1 の省略である  
2 を省略するのだ  
3 の省略というものだ  
4 を省略することだ
- 15 あの人が( )。遊んでばかりですよ。
- 1 まじめなことですか  
2 まじめなものですか  
3 まじめなはずですか  
4 まじめというものですか

- 〔復習〕 ・時間がなかったので、十分な準備ができなかった。  
 ・試験のことが気になって、なかなか眠れなかった。  
 ・事故があったために、道路が渋滞した。

1 ~によって

⇒～が原因で、ある結果になる・～という手段や方法であることをする。〔硬い言い方〕

- ①今朝、中央線は踏切内で起きた事故によって、ダイヤが大きく乱れた。  
 ②会長が交替したことによって、会の雰囲気が大きく変わった。  
 ③この地方は毎年台風による被害が出ている。  
 ④仕事をコンピューター化することにより、労働力不足は解決できるのではないか。  
 ⑤合否の結果は後日書面で連絡します。電話による問い合わせは受け付けません。

名詞 + によって

名詞 + による + 名詞

- ⚠ 手段の意味では、日常的な道具など(電話・ペン・電車など)を個人的に使う場合は使いにくいが、  
 ⑤のように名詞を説明する形では使える。

2 ~ものだから・～もので・～もの

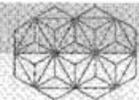
⇒「～ので…」と言い訳をする。〔話し言葉〕

- ①すみません。昨日はちょっと熱があったものですから、お休みしました。  
 ②このところ忙しかったもので、お返事が遅れてしまいました。ごめんなさい。  
 ③わたし、近眼なもので、顔がよく見えなかったんです。失礼しました。  
 ④あの人の言うことはよくわからないよ。言葉が難しいんだもの。

普通形 (ナ形だ-な・名だ-な) +ものだから・もので

普通形 +もの

- ⚠ 個人的な言い訳を言う。後に命令や意向を表す文は来ない。「もの」は主に文末に使い、特に女性や子供が多く使う。「もの



### 3 ~おかげだ/~せいだ

⇒~の影響で、いい結果/悪い結果になった。

- ①わたしが東西大学に合格できたのは、山川先生のおかげです。ありがとうございました。
- ②佐藤さんが丁寧にチェックしてくださったおかげで、いいレポートができました。
- ③いい天気が続いているおかげで、工事が思ったより早く進んでいます。
- ④父は最近口数が少ない。疲れているせいかもしれない。
- ⑤今年の春は気温が低い日が多かったせいで、桜の開花が遅い。
- ⑥値段のせいか、この商品は売れ行きが悪い。

名-の・動・形 普通形 (ナ形 だ-な) +おかげだ/せいだ

▲ 「~おかげで」の後にはいい結果を表す文、「~せいで」の後には良くない結果を表す文が来る。話者の意向を表す文や働きかけの文は来ない。

### 4 ~あまり・あまりの~に

⇒とても~ので、普通ではない結果になってしまった。

- ①自分の番が近づいてきたとき、わたしは緊張のあまり頭の中が真っ白になってしまった。
- ②当然勝つと思っていた試合で最後に逆転負けし、悔しさのあまりぼろぼろ泣いた。
- ③仕事を早く片付けようと急いだあまり、いくつかミスをしてしまった。
- ④10年ぶりで兄に会った。兄のあまりの変化に言葉が出なかった。

名-の・動・形 普通形肯定 (ナ形 だ-な) +あまり

あまりの+名 +に

▲ 後には、普通でない結果(悪い結果が多い)を表す文が来る。話者の希望・意向を表す文や働きかけの文は来ない。

### 5 ~につき

⇒「~の理由で、ある状態になる」と公に知らせる。 **硬い言い方** **書き言葉**

- ①トイレはただ今清掃中につき、ご利用になれません。
- ②強風につき、この門は閉鎖中です。
- ③本日は祝日につき、閉館しております。

名 +につき

▲ 現時点での状況を表す言葉につく。張り紙や公式文書などに使う。

1

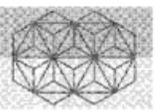
- 1 結果については( )によりお知らせします。  
 a 手紙    b 文書    c 電話
- 2 この薬は、20回以上の実験( )効果が証明された。  
 a によって    b による    c によつての
- 3 この地震( )津波の心配はありません。  
 a によって    b による    c によつての
- 4 事故の原因は運転手の不注意( )信号無視だった。  
 a から    b による    c によつて
- 5 中川先生と出会ったことによつて、わたしは( )。  
 a うれしかった    b たいへん良かった    c 大きく変わった

2

- 1 A「どうしてこれ、食べないの？」  
 B「だって、( )。ぜんぜん食べられないよ。」  
 a 大嫌いなもの    b 大嫌いなんだもの    c 大嫌いであるもの
- 2 朝ご飯を食べなかったものだから、( )。  
 a おなかがすいてきた    b 早く昼ご飯にしよう  
 c ここで食べてもいいですか
- 3 ちょっと寒いんです。( )もので。  
 a 冬になった    b 気温が8度な  
 c シャツ1枚しか着ていない

3

- 1 田中さんの( )、楽しい旅行ができました。ありがとうございます。  
 a おかげで    b おかげさまで    c おかげか
- 2 体力がついてきたおかげで、これからは( )。  
 a 頑張ろう    b 頑張れる    c 頑張ることにした
- 3 来客が多かったせいで、とても( )。  
 a 良かった    b 楽しかった    c 疲れた
- 4 この夏、気温が上がらなかった( )、ぶどうが甘くない。  
 a せいで    b おかげで    c おかげか



4

- 1 結論を( )あまり、相手を怒らせてしまった。  
 a 急いだ b 急いだの c 急いで
- 2 わたしが書いた小説が**入選**した。その**晩**はうれしさのあまり( )。  
 a よく**眠**った b よく眠れなかった c 少し眠った
- 3 お祭りの後はごみが**いっぱい**だった。あまりの**汚**さに( )。  
 a よく**臭**いと思う b 気分が悪くなった c すぐ掃除をしてください
- 4 沖縄の海は**本当**にきれいだった。あまりの**美**しさに( )。  
 a ぼー**っ**としてしまった b よく見た c とてもうれしかった

5

- 1 ただ今( )につき、入室は**ご遠慮**ください。  
 a **忙**しい b 仕事 c **録音**中
- 2 雨天につき、( )。  
 a 今日**は**出かけたくない b **本日**の野球の試合は中止とする  
 c 今日**は**外出はやめよう
- 3 このプリンターは**故障**につき、( )。  
 a わたしが直しましょうか b 直してくださいよ c 使用できません

1~5

- 1 あの議員は不注意な**発言**( )**人**気がなくなってしまう。  
 a によって b のあまり c につき
- 2 わたしたちのチームがとうとう**優勝**した。感激の( )、涙が出た。  
 a せいで b おかげで c あまり
- 3 **工**事中( )、この道は**通行**止めです。  
 a **な**ものだから b のあまり c につき
- 4 ミスをしないようにと気にする( )、つい**消極**的になってしまう。  
 a おかげで b あまり c もの
- 5 ( )、**本日**の**野**外写生会は**延期**させていただきます。  
 a **悪**天候のため b 悪天候**な**もので c 悪天候のせいで

## 1 ~ことだし

⇒ほかに理由はあるが、とにかく~だからあることをする。 (話し言葉)

- ①来週はお客様が来ることだし、家の中の大掃除をしなくちゃ。
- ②雨もやんだことだし、ちょっとジョギングしてこようかな。
- ③こちらのおなべは値段も安いことだし、お一ついかがでしょうか。
- ④あしたはお父さんも休みのことだし、みんなで買い物でも行かない？

🔗 普通形 (ナ形) だ-な/-である・名) だ-の/-である) +ことだし

⚠️ 後には、話者の判断・希望・意向を表す文や働きかけの文などが来る。

## 2 ~のことだから

⇒~の性格や普段の態度から考えると、あることが推量される。

- ①頑張り屋のみち子のことだから、きっと今度のテストでもいい点をとりますよ。
- ②いつもみんなを笑わせていたカンさんのことだから、国に帰ってもまた人気者になると思いますよ。
- ③太郎の帰りが遅いね。でも、あの子のことだ。どこかの本屋で立ち読みでもして時間が経つのを忘れてるんだろう。

🔗 名) +のことだから

⚠️ 主に人を表す言葉につく。後には、話者の推量・判断などを表す文が来る。③のように文末に使うこともある。

## 3 ~だけに

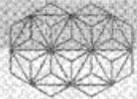
⇒~だから、ある状態なのは当然だ・普通の場合よりもっとある状態になる。

- ①あそこは有名レストランだけに、客に出した料理に問題があったとわかったときは大ニュースになった。
- ②母は花が好きだけに、花をもらおうと大喜びする。
- ③父はよく話す人ただけに、いなくなった後、いつそう寂しさを感ずる。
- ④祖父はよく山登りをするが、年が年だけに、無事に帰ってくるまで心配だ。

🔗 名)・普通形 (ナ形) だ-な/-である・名) -である) +だけに \*名) だの形には接続しない。

⚠️ 後には、「~」という理由にふさわしい程度や状態を表す文が来る。働きかけの文は来ない。

④の「~が~だけに」は、「~の程度が普通ではないから」という意味の言い方。



## 4 ~ばかりに

⇒～が原因で、予期しない悪い結果になった・どうしても～ということを実現したいので、普通ではないことをした。

- ①ちょっと大工の経験があるばかりに、いろいろな仕事を頼まれてしまう。
- ②家のかぎを忘れて出かけたばかりに、家族が帰ってくるまで家に入れなかった。
- ③遅刻の回数がちょっと多かつたばかりに、推薦状を書いてもらえなかった。
- ④山頂から一日日の出を見たいばかりに、暗いうちに山小屋を出て2時間も歩いたのだ。
- ⑤テレビで見たこの村の人たちに会いたいばかりに、はるばる日本からやって来た。

普通形 (ナ形) だ - な / - である ・ (名) だ - である) + ばかりに

- ▲ ①②③はそれだけのことが原因で、予期しないマイナスの結果になったということを表す。後には、話者の希望・意向を表す文や働きかけの文は来ない。
- ④⑤のように希望を表す「～たい」につくときは、後には、普通の程度ではないことを表す文が来る。特にマイナスのことでなくても良い。

## 5 ~からには・～以上(は)・～上は

⇒～のだから、あることをするのは当然だ・あることをしてほしい・あることをするつもりだ。

- ①留学するからには、ちゃんと目的があるのでしょうね。
- ②高いお金を払って外国旅行をするからには、大いに楽しまなければ損だ。
- ③自分一人でやると言った以上、みんなに助けてもらうことはできない。
- ④専門職である以上は、常に新しい知識を身につけなければならないと思う。
- ⑤オリンピック出場を目指す上は、中途半端な気持ちではだめだ。
- ⑥会社を辞めると決めた上は、覚悟して今後のことを考える必要がある。

普通形 (ナ形) だ - である ・ (名) だ - である) + からには・以上(は)

動 辞書形/た形 + 上は

- ▲ 文全体で、一般的に当然と思われることを表す。後には、話者の判断・希望・意向などを表す文や働きかけの文が来る。

1

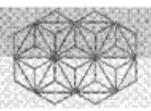
- 1 出発まで時間も十分( )ことだし、ロビーでちょっとお茶でも飲みませんか。  
a ある    b あります    c あるの
- 2 今週は忙しかつたことだし、( )。  
a とても疲れた    b メールもできなかった    c 週末はゆっくり休みたい
- 3 このベッドは品質もいいことだし、( )。  
a 値段が高い    b これを買うことにしよう    c よく売れた

2

- 1 海が好きな母のことだから、( )。  
a 今ごろはハワイで楽しんでいるだろう    b 海で遊ぶのをとても楽しみにしている  
c 海に行けて良かったと言っている
- 2 厳しい原田コーチのことだから、( )。  
a 僕たちはとても緊張した    b 試合に負けたらきつとすごく怒るよ  
c 僕は試合には負けたくないよ
- 3 栄養士の彼女のすることだから、食べ物には十分( )。  
a 気をつけている    b 気をつけてほしい    c 気をつけているはずだ

3

- 1 みんなに期待されているだけに、( )。  
a いい作品ができるように頑張れ    b いい作品ができるかどうか心配だ  
c いい作品ができなかった
- 2 彼はクラスのリーダーだけに、( )。  
a わたしは彼が好きだ    b 頑張ってもらおう    c 責任が重い
- 3 彼は営業の仕事をしているだけに、( )。  
a ほかに人より話すのが上手だ    b 営業マンと呼ばれている    c 外回りの仕事をする
- 4 田中君は海に近い村で育っただけに、( )。  
a 魚の名前をよく知っている    b 魚の名前はあまり知らない  
c 海のお土産を持ってきてくれた

**4**

- 1 バスに( )ばかりに、予定の新幹線に乗れなかった。  
 a 乗り遅れの b 乗り遅れて c 乗り遅れた
- 2 木村氏は記者会見の時、一言多かったばかりに、( )。  
 a 信用をなくしてしまった b すっかり人気者になった c すぐに言い直した
- 3 外国で、その国の言葉が話せないばかりに、( )。  
 a ガイドを頼んで通訳してもらった b 外国語をしっかり勉強しようと思った  
 c 高い買い物をしてしまった
- 4 弟はジェットコースターに乗りたいたいばかりに、( )そうだ。  
 a 遊園地が好きなのだ b どの遊園地がいいか考えている  
 c 2時間も並んで待った

**5**

- 1 A社の社長が来るからには、( )。  
 a 一緒にゴルフをしよう b 我々もしっかり準備をしよう c うちの社長は緊張している
- 2 君がそこまで言うからには、( )。  
 a 何か理由があるんだろうね b 僕はわかったよ c みんなが理解できたよ
- 3 入館料を1,000円払った以上、( )。  
 a おつりをもらえませんか b しっかり見学しよう c さあ、入館できる
- 4 子供を預かる上は、( )。  
 a 責任を持たなければならない b 楽しくなると思う c いろいろ準備をした

**1~5**

- 1 この町は人口が少ない( )、個人的なことがみんなに知られてしまう。  
 a ことだから b 以上は c だけに
- 2 外は寒い( )、建物の中でタクシーが来るのを待ちましょう。  
 a だけに b ことだし c からは
- 3 大きな仕事を引き受けた( )、最後まで頑張らなければいけない。  
 a だけに b ばかりに c からは
- 4 彼女はモデルになりたい( )、無理なダイエットをしているそうだ。  
 a ばかりに b からは c ことだし
- 5 ここは禁煙席( )、ここでのおたばこはご遠慮願います。  
 a のことだから b ですので c だけに

- 〔復習〕 ・あの人の話は信じられない。  
 ・この文は複雑でわかりにくい。  
 ・社長室に一人ではちょっと入りづらいですよ。

## 1 ~がたい

⇒~することが難しい・~できない。

- ①あの優しい彼がそんなひどいことをしたとは信じがたい。  
 ②この料理は何とも言いがたい初めての味だ。  
 ③留学中、自分の国では得がたい経験をたくさんした。

🔗 動 ~~ます~~ +がたい

- ⚠ 能力的にできないという意味では使わない。主に心の働きを表す動詞(想像する・理解する・信じ  
 するなど)や発言を表す動詞(言う・表すなど)につく。

## 2 ~わけにはいかない・~わけにもいかない

→25課-④

⇒社会的常識に反する・心理的抵抗があるなどの事情があつて、~できない。

- ①病気の子供を一人家において、仕事に行くわけにはいかない。  
 ②いくらお金に困っていても、そんな大金をあなたから借りるわけにはいかない。  
 ③もう終電は終わってしまった。会社に泊まるわけにもいかず、困っている。

🔗 動 ~~ます~~ +わけにはいかない・わけにもいかない

- ⚠ 能力的にできないという意味では使わない。主語はふつう一人称。

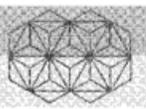
## 3 ~かねる

⇒その状況・その条件・話者の立場では~できない。

- ①メールでのご質問だけでは診断しかねます。一度病院にいらっしゃってください。  
 ②あなたの気持ちも理解できますが、その案には賛成しかねます。  
 ③子供が泣いているのを見かねて、結局宿題を手伝ってやった。

🔗 動 ~~ます~~ +かねる

- ⚠ 能力的にできないという意味では使わない。丁寧に断る場合などに使う。



## 4 ~ようがない

⇒～したくても、どのようにしたらいいかわからない・可能性が全くない。

- ①彼の連絡先がわからないので、このニュースを知らせたくても知らせようがない。
- ②実力はあるのだから、今回の結果には運がなかったとしか言いようがない。
- ③選手たちの今日の試合での活躍はとて素晴らしい、文句のつけようがない。
- ④駅からここまではまっすぐ歩いてくるだけだから、迷いようがないと思うけどね。
- ⑤これだけしっかり準備したのだ。悪い結果になりようがないだろう。

🔗 動 ま手 +ようがない

⚠️ 方法が全くないという意味、または「～はずがない」という意味で使う。不可能であるというニュアンスを強調する。

## 5 ~どころではない

→12課-②

⇒～できる状況ではない。

- ①仕事が忙しくて、旅行どころではない。
- ②隣のテーブルの人たちがうるさくて、ゆっくり食事を楽しむどころではなかった。
- ③当時はお金がなかったのでどこかへ遊びに行くどころではなく、毎日アルバイトをしていた。

🔗 名・動 辞書形 +どころではない

⚠️ 余裕がないという事情(お金がない・時間がない・うるさい・病気など)のため、期待していることや想像していることが全くできないという意味で使う。

## 6 ~得る/～得ない

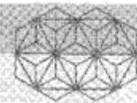
⇒～できる・その可能性がある/～できない・その可能性がない。

- ①がんはだれでもかかり得る病気だ。
- ②経済の成長と環境保護は両立し得るはずだ。
- ③人間が100メートルを5秒で走るなんてあり得ない話だ。

🔗 動 ま手 +得る・得ない

⚠️ 特定の人(ひと)の日常的な能力(例:英語が話せる)や状況的可能(例:酒を飲んでいないから運転できる)について言うときは使いにくい。「得る(肯定形)」は「える・うる」の二つの読み方があるが、ここでの使い方(補助動詞)では「うる」と読むことが多い。否定形は「えない」。





- 3 おいしそうなお弁当<sup>べんとう</sup>だったけど、( )ので、食べようがなかった。  
a はしもスプーンもなかった    b おなかが痛<sup>いた</sup>かった    c 時間がなかった

5

- 1 趣味<sup>しゆみ</sup>はスキーだが、去年はずっと忙<sup>いそ</sup>しくて、スキーに( )どころではなかった。  
a 行く    b 行ける    c 行った
- 2 ( )、仕事どころではない。  
a 内容<sup>ないよう</sup>が難<sup>むづか</sup>しくて    b 熱<sup>ねつ</sup>があって    c 給料<sup>きゅうりょう</sup>が安くて
- 3 ( )、この本を読むどころではなかった。  
a 来客<sup>らいきゃく</sup>があって    b 字が小さくて    c 眼鏡<sup>めがね</sup>がなくて
- 4 のどが痛<sup>いた</sup>くて、( )どころではない。  
a カラオケで歌う    b 小さい声を出す    c 薬を飲む

6

- 1 危機<sup>きき</sup>はチャンスにも( )得<sup>う</sup>る。  
a なる    b なり    c なれ
- 2 どんな場合でも事故<sup>じこ</sup>は( )。  
a 起<sup>お</sup>これる    b 起<sup>お</sup>こることができる    c 起<sup>お</sup>こり得る
- 3 この子はまだ( )。  
a 字<sup>あ</sup>を読み得ない    b 字<sup>あ</sup>が読めない  
c 字<sup>あ</sup>を読むことができ得ない

1~6

- 1 風邪<sup>かぜ</sup>を引<sup>ひ</sup>いたので、学校に( )。  
a 行けません    b 行きかねます    c 行きがたいです
- 2 夜遅<sup>おそ</sup>くなり、わたしは子供<sup>こども</sup>の帰りを( )、駅まで迎<sup>むか</sup>えに行った。  
a 待ち得なくて    b 待ちようがなくて    c 待ちかねて
- 3 サラダは野菜を切<sup>ま</sup>って混ぜるだけだから、だれでも( )。  
a 失敗<sup>しっぱい</sup>のしようがない    b 失敗できない    c 失敗しかねる
- 4 雨が降<sup>ふ</sup>っているので、散歩<sup>さんぽ</sup>に( )。  
a 行きがたい    b 行くわけにはいかない    c 行けない
- 5 歌手<sup>かしゅ</sup>になるのは難<sup>むづか</sup>しいとわかっているが、会社<sup>や</sup>も辞<sup>や</sup>めてしまったのだから、( )。  
a あきらめようがない    b あきらめるわけにはいかない    c あきらめがたい

- 〔復習〕 ・80歳という年齢を考えると、うちの祖父は若々しい。  
 ・教師の立場から言うと、素直な生徒の方が扱いやすいのだろう。

### 1 ~わりに(は)

⇒~という基準から考えられる程度と違っている。

- ①このお菓子は値段のわりには量が少ない。
- ②この料理は安い材料で簡単にできるわりには豪華に見える。
- ③ゆき子さんは若いわりにはしっかりしている。

☞ 名-の・動・形 普通形 (ナ形 だ-な/-である) +わりに(は)

- ⚠ 意味や程度に幅がある言葉(年齢・値段・心配する・若いなど)につく。後には、予想される程度とは合わないという評価を言う文が来る。

### 2 ~にしては

⇒~という事実・標準から考えると、予想外だ。

- ①今日は2月にしては暖かかった。
- ②このかばんは、1,000円にしては丈夫で、デザインもいい。
- ③このケーキ、子供が作ったにしてはおいしくできていますね。

☞ 名・普通形 (ナ形 だ-である・名 だ-である) +にしては

- ⚠ 幅がなく、ある特定の事(2月・1,000円・子供が作ったなど)につくことが多い。  
 後には、予想されることと違うという評価を言う文が来る。

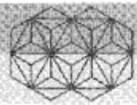
### 3 ~だけ(のことは)ある

⇒~という条件から期待されるとおりだ。

- ①素晴らしいマンションだ。家賃が高いだけのことはある。
- ②彼は10年も日本に住んでいるだけあって、日本のことをよく知っている。
- ③さすがオリンピックだけあって、見事な試合が見られた。

☞ 名・普通形 (ナ形 だ-な) +だけ(のことは)ある \*名 だの形には接続しない。

- ⚠ 「~だけあって」の後には、評価が高いことを表す文が来る。未来や推量を表す文は来ない。



## 4 ~として

⇒～という立場・資格・役割・名目で、あることをする・ある状態である。

- ①彼は選手を引退した後、コーチとしてチームのために働いた。
- ②コーヒーはもともと薬として飲まれていた。
- ③京都は日本の歴史的な古い町として知られている。
- ④子供の安全に気をつけることは親として当然だ。
- ⑤写真は趣味じゃないんです。仕事としてやっているんです。

### 名 +として

- ▲ 後には、行為・状態を表す動詞、価値付けの言葉(知られている・有名だなど)や判断・評価を表す言葉(当然だ・恥ずかしいなど)が来る。

## 5 ~にとって

⇒(いろいろな考え方がある中で)～の考えでは、あることが言える。

- ①今のわたしにとって一番大切なのは家族です。
- ②現代人にとってパソコンはなくてはならない道具である。
- ③この小石はほかの人にとっては普通の石ですが、わたしにとっては宝物なのです。

### 名 +にとって

- ▲ 主に人を表す名詞につく。後には、その人がどう評価しているかを表す文(主に形容詞の文)が来る。動作を表す文は来ない。

## 6 ~にしたら・~にすれば・~にしてみれば・~にしても

→15課-⑥

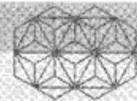
⇒～の立場になってみれば・～の立場から言っても、あることが言える。

- ①君もいろいろ言われて面倒だろうが、君のお母さんにしたら、君のことが心配なんだよ。
- ②たばこを吸う人になれば、たばこの害についての話題は避けたいだろうと思う。
- ③新しい高速道路ができて便利になったが、沿線の住民にしてみれば、あまりありがたくはないかもしれない。
- ④わたしは早く家を出たい。両親にしても息子には自立してほしいと思っているようだ。

### 名 +にしたら・にすれば・にしてみれば・にしても

- ▲ ふつう、話者以外の人を表す言葉につく。後には、その人の立場に立って、その人の気持ちを推量して言う文が来る。





5

- 1 父にとって( )。
- a 仕事が好きだった                      b よく仕事を続けた                      c 仕事は人生そのものだった
- 2 君にとって( )、考えたことはありますか。
- a 何が大切か                              b 何を大切にしているか
- c 大切にしているものは何か

6

- 1 わたしはフルタイムで働きたいし、夫( )、そのほうが心強いだろう。
- a にしたら                                  b にしても                                  c にしては
- 2 わたしは商品の売り込みの電話はすぐ切ってしまうが、営業マンにすれば( )。
- a なるべく長く話したいだろう      b 早く話を終わらせたいだろう
- c それはありがたいことだろう

1~6

- 1 ここは幼稚園( )、にぎやかな子供の声が聞こえない。
- a のわりには                                  b にしては                                  c だけあって
- 2 実験の回数( )正確なデータは得られなかった。
- a にしたら                                  b にとって                                  c のわりに
- 3 子供のころのわたし( )親は神様だった。
- a としては                                  b にしては                                  c にとっては
- 4 勉強時間( )成績は上がらなかった。
- a のわりには                                  b にしては                                  c だけあって
- 5 この町はしょうゆの産地( )有名である。
- a にとって                                  b として                                  c にしたら
- 6 農家の人( )米の値段をもっと上げてほしいだろう。
- a にしては                                  b にしたら                                  c にとって
- 7 よう子さんは医学を勉強した( )、健康についての知識が豊富だ。
- a わりに                                      b にしては                                  c だけあって
- 8 わたしは田中さんを先輩( )尊敬しているが、結婚相手とは考えていない。
- a としては                                  b にとっては                                  c だけあっては

## 20 課 か けっ か **結果はどうなったか**

- 〔復習〕 ふくしゅう ・窓を開けると雪が降っていた。  
・電話で問い合わせてみたら、彼女はまだ日本にはいないという返事だった。  
・子供が朝家を出たまま、まだ帰ってこない。

### 1 ~たところ

⇒~してみたら、ある結果になった・ある状態がわかった。

- ①2、3日休みたいと課長に相談したところ、2週間休んでもいいと言われた。
- ②連絡がとれないのでリーさんのうちへ行ってみたところ、病気で寝ていた。
- ③この新商品を使ってみたいかどうか聞いてみたところ、80%の人が「使いたい」と答えた。

 動た形 +ところ

- ⚠ 過去の一度だけの出来事について言う。後には、結果を表す文が来る。「~たら…た」という形の文に比べて、結果はどうだったかに重点を置いている。

### 2 ~きり

⇒~という動作の後、そのままずっと同じ状態が続く。

- ①その本は、子供のころ読んだきり、その後一度も読んでいない。
- ②父は朝、出かけたきりなんです。まだ戻ってきていません。
- ③日本は長寿国だが、寝たきりの老人の数も多い。
- ④彼に最後に会ったのは卒業式の時です。それきり、一度も会っていません。

 動た形 +きり

- ⚠ 後には、次に予想されることが起きていない状態を表す文が来る。否定文が多い。④の「それきり」は慣用的な言い方。

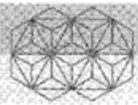
### 3 ~あげく

⇒いろいろ~した後で、結局残念な結果になった。

- ①5時間に及ぶ議論のあげく、結局、結論が出なかった。
- ②いろいろ文句を言ったあげく、その客は何も買わずに帰った。
- ③さんざん悩んだあげく、国へ帰ることにした。

 名-の・動た形 +あげく

- ⚠ 大変な状態が続いたという意味の文につく。後には、いい結果を表す文はあまり来ない。



#### 4 ~末(に)

⇒いろいろ～した後で、最終的にある結果になった。

- ① 数回におよぶ議論の末、Aの案を採用することにした。
- ② 長い戦いの末、ついに勝利を勝ち取った。
- ③ 悩んだ末に、手術を受けようと決めた。

名-の・動た形 +末(に)

⚠ 大変な状態が続いたという意味の文につく。後には、結末や決断を表す文が来る。

#### 5 ~ところだった

⇒～という状況になる一歩手前だったが、実際にはそうならなかった。

- ① あ、今日は15日か。うっかり約束を忘れるところだった。
- ② 気をつけてくださいよ。気がつくのが遅かったら火事になるところでしたよ。
- ③ 朝寝坊して、危うく試験が受けられないところだった。
- ④ ああ、残念だ。もう少しで100点取れるところだったのに、97点だった。

動辞書形/ない形 +ところだった

⚠ 「うっかり・危うく」などの副詞と一緒に使って、悪い状況になりそうだったことを表す文が多いが、④のように「～のに」を使って、いい状況の一歩手前だったことを表す文もある。自然現象など、(注意しても)避けられない事情を言う文には使いにくい。

#### 6 ~ずじまいだ

⇒～ようと思っていたのに、結局できなかった・～ないで終わった。

- ① いろんな人に聞いてみたが、結局田中さんの連絡先はわからずじまいだった。
- ② 彼女にラブレターを書いたけれど、勇気がなくて出せずじまいだった。
- ③ 留学中に旅行したかったが、忙しくてどこへも行かずじまいで帰国した。

動~~な~~ +ずじまいだ

⚠ 全体として、時期を逃してしまったという残念な気持ちを表す。過去形の文が多い。まだチャンスがある場合には使わない。

1

- 1 ( ) ところ、気分が悪くなってしまった。
- a 買って来た菓を飲んだ      b 仕事で疲れた      c 一日中暑かった
- 2 緊急の会議をするという連絡を受けて急いで会社に戻ったところ、( )。
- a 会議はもうすぐ始まる      b 会議はもう始まっていた      c 会議に出ることにした
- 3 メールを送ったところ、( )。
- a すぐに返事がもらえるだろう      b すぐに返事が来た      c 返事はまだだ
- 4 なかなか売れないので値段を下げたところ、( )。
- a あっという間に売り切れた      b 全部売り切れるはずだ      c 全部売ってしまった

2

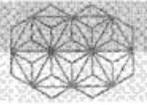
- 1 この菓物は( )きり、ずっと食べていない。
- a 国を出るとき食べた      b 国では毎日食べた      c 国では手に入らなかった
- 2 新しい本を買ったきり、( )。
- a 汚してしまった      b 2回しか読んでいない      c ページを開いてもいない
- 3 友達にお金を貸したきり、( )。
- a やっと返してもらった      b 返してもらっていない      c あした返すと言っている

3

- 1 彼は( )あげく、弁護士になるのをあきらめてしまった。
- a 試験に落ちた      b 妻と相談した      c 10年も勉強を続けた
- 2 さんざん人に迷惑をかけたあげく、( )。
- a 彼は成功した      b 彼の姿が見えない      c 彼はいなくなってしまった
- 3 わたしは( )あげく、再婚はしないことにした。
- a 迷った      b 離婚した      c 彼と出会った

4

- 1 ( )末に、やっと今の会社に落ち着いた。
- a 退職した      b 転職を繰り返した      c 就職した
- 2 ( )末に、チベットに行くことにした。
- a その本を読んだ      b あれこれ考えた      c チベットの映画を見た
- 3 あちこち面接を受けた末に、( )。
- a やっとこの会社に合格した      b あの会社はどうしても入りたい      c まだ就職が決まっていない



4 両親りょうしんや先生せんせいとも話し合はなった末あに、( )。

- a 留学りゅうがくしたい                      b 来年留学する                      c 留学することに決きめた

**5**

1 あの時は危あぶなかつた。もう少しで( )ところだつた。

- a 死ぬ                      b 死んだ                      c 死にそうな

2 ぼんやりと歩いていて、( )ところだつた。

- a 車にぶつかる                      b 駅に着く                      c 昔むかしのことを思い出す

3 危あやうく予定の電車よていに乗り遅おくれるところだつたが、( )。

- a タクシーで行った                      b なんとか間に合あった                      c やはり遅おくれた

4 ああ、よかつた。もう少しで( )ところだつた。

- a 雨あめが降ふる                      b 台風たいふうが来くる                      c 携けいたい電話でんわを忘わすれる

**6**

1 あの映画は( )、忙いそしくて見みずじまいだつた。

- a 見みたかつたが                      b 見みようと思おもっているが                      c まだ公こう開かいしているが

2 マレーシアに行いったらリーさんに会あおうと思おもっていたが、会あわずじまいで( )。

- a 来週らいしゅう会あうことになつた                      b 帰き国こくした  
c なかなか帰き国こくできなかつた

3 ( )、結けつ局きよく買かわずじまいだつた。

- a 洋服屋やうふくやを見みて回まわつたが                      b 辞書じしょが必ひつ要ようなのだが  
c 扇風機せんぷうきが安やすくなっているが

**1~6**

1 彼かれは一度メールをくれた( )、その後連れん絡らくがない。

- a あげく                      b 末すえに                      c きり

2 カレーにちょっとワインを入れてみた( )、とても味あじが良よくなつた。

- a ところ                      b きり                      c あげく

3 外国と日本とを行いつたり来きたりして迷まよつた( )、日本で仕事しごとを探さがすことにした。

- a ところ                      b きり                      c あげく

4 母はさんざん苦く勞らうした( )、ついついに幸しあせを見みつけた。

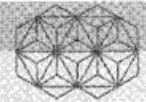
- a きり                      b 末すえに                      c ところ

5 ジョギングシューズを持もつてハワイに行いつたが、結けつ局きよく( )。

- a はいたきりだつた                      b はかずじまいだつた                      c はくところだつた

つぎ ぶん 次の文の( )に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 1 1 メール( )コミュニケーションには、ある種の危険性が伴うと思う。  
2 1 による 2 によって  
3 3 といった 4 といつて
- 2 2 日本の歴史について知らないのでは、日本人( )恥ずかしい。  
3 1 といつて 2 にしては  
4 3 といつても 4 として
- 3 3 この映画は、難しいタイトル( )内容はわかりやすい。  
4 1 にしたら 2 にしても  
5 3 のわりには 4 だけに
- 4 4 赤ちゃん( )寝ることは仕事だ。  
6 1 のことだから 2 のことだし  
7 3 にとつて 4 によつて
- 5 5 本日は定休日( )休業させていただきます。  
8 1 につけて 2 につけ  
9 3 についで 4 につき
- 6 6 間違つてほかの人にメールを送ってしまった( )、とんでもない誤解をされた。  
10 1 ばかりか 2 ばかりに  
11 3 ばかりで 4 ばかり
- 7 7 自分でこの犬を飼うと( )、責任を持って面倒をみななければならない。  
12 1 言った以上 2 言った上に  
13 3 言った末に 4 言った上で
- 8 8 足の小指をぶつけて、( )飛び上がった。  
14 1 あまりの痛さに 2 あまりに痛さで  
15 3 痛いあまりで 4 痛さあまりに



- 9 この天気では、今日はハイキングには( )。
- 1 行き得ない
  - 2 行けない
  - 3 行きかねる
  - 4 行きがたい
- 10 山田さんとはだいぶ前に一度駅で( )会っていない。元気だろうか。
- 1 すれちがったまま
  - 2 すれちがったぎり
  - 3 すれちがった<sup>かぎ</sup>限りで
  - 4 すれちがった限り
- 11 明日は大切な試験の日なので、( )。
- 1 休むわけにはいかない
  - 2 休むというわけがない
  - 3 休むことにはいかない
  - 4 休むというものではない
- 12 長時間いろいろと話し合ったあげく、( )。
- 1 どんな<sup>けつろん</sup>結論でしたか
  - 2 いいことを<sup>おも</sup>思いついた
  - 3 結論は出なかった
  - 4 <sup>かいぎ</sup>会議は終わった
- 13 上手に説明ができなくてもしかたがないよ。まだ( )。
- 1 <sup>こども</sup>子供のことなんだ
  - 2 子供のものなんだ
  - 3 子供なんだこと
  - 4 子供なんだもの
- 14 ああ、気がついて良かった。危うく降りる駅を( )。
- 1 <sup>まちが</sup>間違えるところだった
  - 2 間違えたところだった
  - 3 間違えるどころではなかった
  - 4 間違えたどころではなかった
- 15 辞書<sup>じしょ</sup>がなくその漢字が正しいかどうか( )、うっかりそのままにしてしまいました。
- 1 <sup>たし</sup>確かめようがなかったところ
  - 2 確かめるようにしなかったところ
  - 3 確かめようがなかったもので
  - 4 確かめるようにしなかったもので

# 21課 か つよ つよ 強く言う・かる 軽く言う

〔復習〕 ・今年こそ日記を書き続けよう。

## 1 ~ぐらい・~くらい

⇒~は程度が軽い・最低限の程度だ。

- ①うちに帰ってきたら、自分の靴ぐらいちゃんと並べなさい。
- ②この携帯電話は、ちょっとぐらいならぬれても大丈夫です。
- ③少し話したくらいで、その人がどんな人かはわからないだろう。

名・動・形 普通形 (ナ形) 差-な +ぐらい・くらい

⚠ 話者が程度が軽いと考えている言葉につく。名詞につく場合は「ぐらい」を使うことが多い。

## 2 ~など・~なんか・~なんて

⇒~は価値が低い・大切ではない。「~なんか・~なんて」→話し言葉

- ①あの人の言ったことなど気にすることはありません。
- ②新聞記者になんかならなければよかった。仕事がきつすぎる。
- ③桜井さんは文章がとてもうまい。わたしなんて簡単な文もちゃんと書けないのに。

名 (+助詞) +など・なんか・なんて

⚠ 話者が価値が低いと考えている言葉につく。「~なんか・~なんて」はくだけた言い方。後には、否定的な表現を含む文や話者の意向・助言を表す文が来ることが多い。

## 3 ~まで・~までして・~てまで

⇒~という極端な程度のもの・ことも、ある状態だ・あることをする。

- ①一番に賛成してくれると思っていた母までわたしの結婚に反対した。
- ②カンニングまでしていい点を取りたかったのですか。
- ③遊園地では、みんな長い時間並んでまでジェットコースターに乗りたがる。
- ④家族や友人を悲しませるようなことをしてまで成功したいとは思わない。

名 (+助詞) +まで・までして

動て形 +まで

⚠ 極端で意外性のある例を示す言葉につく。「~までして・~てまで」は話者が驚いたりあきれたりするような手段・事態を示し、全体として、非難・疑問・驚きの気持ちを表す。



## 4 ~として~ない

⇒あることを「最低限度の~も全くない」と否定する。

- ①彼の提案にだれ一人として反対できなかった。
- ②人生に無駄なものは何一つとしてない。失敗も必ず何かの役に立つはずだ。
- ③彼女はこれまで一度として練習を休んだことはない。

🔗 (何・だれ+) 一+助数詞 +として~ない

⚠️ 最低の単位「一+助数詞」につく。後には、否定文が来る。

## 5 ~さえ

A⇒~のような極端な例もそうだから、ほかのことはもちろんだ。

- ①日本に来たばかりのときは、ひらがなさえ読めなかった。
- ②仕事がとても忙しいときは、会社に泊まることさえある。
- ③この料理は簡単だ。料理の苦手なわたしでさえ失敗しなかった。

🔗 名 (+助詞) +さえ

⚠️ 程度が極端で意外性のある例を示す言葉につく。後には、話者の意向を表す文や働きかけの文は来ない。③の「でさえ」は「であっても」という意味。主格の「が」で表せる場合などに使う。

B⇒~という一つの条件が満たされれば、ほかのことは問題にならない。

- ④自分さえ良ければ、ほかの人のことはどうでもいいのか。
- ⑤雨さえ降らなければ、ハイキングに出かけられますね。
- ⑥年をとっても体さえ丈夫なら、ほかに望むことはない。

🔗 名 (+助詞) +さえ

⚠️ 「~さえ~ば・~さえ~なら・~さえ~たら」という形で必要最低限の条件を示す。

## 6 ~てでも

⇒普通はしないような~という手段を使う覚悟で、あることをする。

- ①娘が家に帰りたくないと言ったら、引っ張ってでも連れて帰ろう。
- ②熱があるが、大切な約束があるので、どんなことをしてでも行かなければならない。
- ③2倍の金額を払ってでもそのコンサートのチケットが欲しい。

🔗 動て形 +でも

⚠️ 極端な手段を表す動詞につく。後には、話者の希望・意向を表す文が来る。

1

- 1 100メートル走ったくらいで( )なんて、運動不足だ。  
a 疲れてしまった                      b まだ走れる                      c もっと走ろう
- 2 メール<sup>へんじ</sup>の返事を1件書<sup>けん</sup>くくらい( )。  
a 大変<sup>たいへん</sup>ですよ                      b 簡単<sup>かんたん</sup>でしょう                      c 1時間かかりました
- 3 わたしは( )くらいで薬は飲まない。  
a 風邪<sup>かぜ</sup>を引<sup>ひ</sup>いた                      b 病気<sup>びょうき</sup>になった                      c 熱<sup>ねつ</sup>がない

2

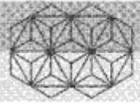
- 1 お金など( )と思っていた時もあった。  
a たくさん欲<sup>ほ</sup>しい                      b 必要<sup>ひつよう</sup>ない                      c どんどんなくなってしまう
- 2 カップラーメンなんか( )。  
a 毎日<sup>まいにち</sup>は食<sup>た</sup>べたくない                      b 安<sup>やす</sup>くて便利<sup>べんり</sup>でいい                      c わたしは好きだ
- 3 漫画<sup>まんが</sup>なんて( )。  
a 大切<sup>たいせつ</sup>にとっておけ                      c たくさん読<sup>よ</sup>んでみろ                      c 捨<sup>す</sup>ててしまえ

3

- 1 ( )までそのコンサートを見に行きたかったんですか。  
a 親<sup>おや</sup>にうそをついて                      b 親<sup>おや</sup>に止められて                      c 親<sup>おや</sup>と相談<sup>そうだん</sup>して
- 2 昨日<sup>きのう</sup>のマラソン大会<sup>たいかい</sup>には、( )まで参加<sup>さんか</sup>した。  
a 若い<sup>わか</sup>女性<sup>じよせい</sup>                      b 高校<sup>こうこう</sup>生                      c 90歳<sup>さい</sup>のお年<sup>とし</sup>寄り
- 3 うちの母は料理好きで、( )まで自分で作る。  
a 晩<sup>ばん</sup>ご飯<sup>はん</sup>                      b 豆腐<sup>とうふ</sup>                      c サラダ
- 4 お金を借りてまで車を( )。  
a 買<sup>ひつよう</sup>う必要<sup>ひつよう</sup>はない                      b 買<sup>か</sup>いたい                      c 買<sup>か</sup>わなかった

4

- 1 今まで( )としてあの人のことを思い出さない日はなかった。  
a 1日                      b 1週間                      c 1か月
- 2 今までの人生<sup>じんせい</sup>には何一つとして( )。  
a 楽しいことばかりだった                      b つらいことはなかった                      c いい思い出<sup>おもいで</sup>がある
- 3 わたしは今まで何回<sup>なんかい</sup>も彼<sup>かれ</sup>と試合<sup>しあひ</sup>をしているが、1回として( )。  
a 負<sup>ま</sup>けた                      b 勝<sup>か</sup>った                      c 勝<sup>か</sup>ったことはない



5

- 1 こんな簡単な機械は、( )でさえ使える。  
a 子供 b プロ c 大人
- 2 自分のことさえ自分でやれば、( )。  
a とてもいいことだよ b あまりいいことではないよ  
c 何でも好きなことをしていいよ
- 3 お金さえあれば、( )。  
a できないこともある b 何でもできるのか c 何もできないのか
- 4 あなたさえOKなら、( )。  
a この案は決まります b この案は決まりません c わたしはOKしません

6

- 1 ( )でも医師の資格を取りたい。  
a 10年間勉強して b これからも勉強を続けて c 一生懸命勉強して
- 2 ( )でもあしたのサッカーの試合は見るつもりだ。  
a 仕事をしなくて b 仕事を休んで c テレビの前に座って
- 3 ( )でもお金をもうけたいと言う人がいる。  
a 他人より頑張る b 他人に協力してもらって c 汚い手段を使って
- 4 病気ではないとうそをついてでも母を( )。  
a 安心させた b 安心させたい c 安心させている

1~6

- 1 昔のボーイフレンドのこと( )あまり覚えていない。  
a ぐらい b なんか c こそ
- 2 小さい子供を( )パチンコに行きたかったんですか。  
a 連れてでも b 連れてなど c 連れてまで
- 3 1回( )事業に失敗しても、またやり直せる。  
a ぐらい b ほど c として
- 4 わたしは1円( )無駄に使いたくない。  
a ぐらい b ほど c として
- 5 その人については名前( )知らない。  
a ぐらい b さえ c でも

- 〔復習〕 ・来年はもっと仕事が増えるだろうと思う。  
 ・あしたは雨が降るかもしれない。  
 ・リンさんは今日ここに来るはずだ。

1 ~とみえる

⇒ある根拠があつて、~らしい・~ようだと思う。

- ①朝からパチンコに行くなんて、ずいぶん暇だとみえる。  
 ②あまり食べないところを見ると、うちの猫はこのえさは好きではないとみえる。  
 ③欲しい物はなかったとみえて、客は何も買わずにすぐ店を出てしまった。

普通形 +とみえる

⚠ 主にほかの人の様子を見て、それを根拠に推量したことを表す文につく。推量した人は文中に表れない。

2 ~かねない

⇒~という悪い結果になる可能性がある。

- ①大事なことはみんなに相談しないと、後で文句を言われかねませんよ。  
 ②インターネット上では特に個人情報に注意してないと、悪用されかねない。  
 ③うわさはどんどん変な方向へ発展していきかねない。

動 ます +かねない

⚠ 現在の状態から考えてマイナスの結果になるかもしれないという意味で使う。「~おそれがある」よりも原因がはっきりしている。

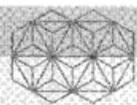
3 ~おそれがある

⇒~という悪いことが起こる可能性がある。 [硬い言い方]

- ①今夜から明日にかけて東日本で大雨のおそれがあります。  
 ②「レッドデータブック」には、絶滅のおそれがある動植物について書かれている。  
 ③機械で読み取れないおそれがあるので、郵便番号ははっきり書いてください。  
 ④今後インフルエンザが広い範囲に広がるおそれはないだろう。

名 -の・動 辞書形/ない形 +おそれがある

⚠ マイナスの事態になるかもしれないという意味で使う。ニュース、解説などで使う。



#### 4 ~まい/~ではあるまいか

→24課-5

⇒~ないだろう/~ではないだろうか。【書き言葉】

- ①何度も計算し直したのだから、間違いはあるまい。
- ②だれも信じてくれまいが、これは本当の話だ。
- ③あの子はまだ小さいから、一人で行かせては迷子になるまいかと心配だ。
- ④田んぼに住む生物が減ったのは、農業の使いすぎが原因ではあるまいか。
- ⑤こんなやり方では大勢の人の協力を得るのは無理なのではあるまいか。
- ⑥このまま何もしないでいたら、いつまでも問題は解決しないのではあるまいか。

🔗 動 辞書形・イ形 くる・ナ形 -ではある・名 -ではある +まい

普通形+の(ナ形 だ/-なの・名 だ/-なの) +ではあるまいか

\*動II・III→動 辞書形/ます+まい する→するまい・すまい

⚠ 丁寧形・過去形では使わない。ふつう、一人称が主語になることはない。「~ではあるまいか」は問いかけの形で話者の推量や意見を遠回しに言う言い方。

#### 5 ~に違いない・~に相違ない

⇒ある根拠があり、きっと~だろうと確信を持って思う。「~に相違ない」→【硬い言い方】

- ①彼女はおしゃれだから、パーティーにはきつとすてきな服を着てくるに違いない。
- ②日本に1年住んでいるのだから、彼も少しは生活に慣れたに違いない。
- ③そんな山の中に住んでいて車もなかったら、生活が不便に違いない。
- ④彼があれだけ強く主張するのは、何かはっきりした証拠があるからに相違ない。

🔗 普通形(ナ形 だ/-である・名 だ/-である) +に違いない・に相違ない

⚠ ④のように「普通形+から」に接続する例もある。

#### 6 ~にきまっている

⇒絶対に~だと思ふ。【話し言葉】

- ①あの子の言うことなんかそにきまっているよ。
- ②勝手にお父さんの車を使ったりしたら、しかられるにきまっている。
- ③こんな派手な色のお菓子、体に悪いにきまっています。

🔗 普通形(ナ形 だ・名 だ) +にきまっている

⚠ 「~に違いない」と違って、「だれが考えても~だ」と主観的・直感的に言う言い方。

1

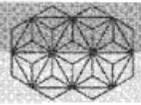
- 1 ( ) 風邪<sup>かぜ</sup>を引いたとみえて、せきをしていた。  
 a わたしは                                      b 山口さんは                                      c あなたは
- 2 夜中<sup>よなか</sup>に雨が降ったとみえて、( )。  
 a 道路<sup>どうろ</sup>がぬれている                                      b 今日はいい天気だ                                      c 天気予報<sup>よほう</sup>でそう言った
- 3 木村さんは朝から機嫌<sup>きげん</sup>がいい。( )とみえる。  
 a 何だか楽しそう                                      b にこにこしている                                      c 何かいいことがあった

2

- 1 正しい表現<sup>ひょうげん</sup>を使わなければ、間違<sup>まちが</sup>った意味を( )かねない。  
 a 伝える<sup>つた</sup>                                      b 伝え                                      c 伝えて
- 2 こんなに買い物ばかりしていたら、給料日<sup>きゅうりようび</sup>までにお金が( )。  
 a なくなりかねない                                      b 少しだけありかねない                                      c 足りかねない
- 3 こんなところにかばんを置<sup>お</sup>いておいたら、だれかに( )。  
 a とられかねる                                      b とられかねない                                      c とられかねられない
- 4 音楽を聞きながら仕事をすると( )。  
 a 気分が明るくなりかねない                                      b 仕事がどんどん進みかねない                                      c 眠<sup>ねむ</sup>くなりかねない

3

- 1 梅雨<sup>つゆ</sup>の間に雨が十分降らなければ、夏に水不足<sup>みずぶそく</sup>に( )おそれがある。  
 a なりそうな                                      b なる                                      c なるかもしれない
- 2 この病気は魚に特有<sup>とくゆう</sup>のもので、人が食べても( )おそれはありません。  
 a うつつ                                      b うつらない                                      c 体に悪い
- 3 歯<sup>は</sup>を抜いた後( )おそれがあります。  
 a 食欲<sup>しよく</sup>がない                                      b 熱<sup>ねつ</sup>が高い                                      c 熱が出る
- 4 こんなに人が大勢<sup>おおぜい</sup>いる所では子供<sup>こども</sup>が( )おそれがある。  
 a 迷子<sup>まいご</sup>になる                                      b お父さんと遊<sup>あそ</sup>んでいる                                      c 大喜び<sup>おおよろこ</sup>する



4

- 1 外国のこんな小さな村では( )まいと思ったのだが、予想外だった。  
a 日本語を耳にすることはある b わたしは仕事を探す c わたしは家を買う
- 2 彼から来るはずの連絡がない。事故にでも( )。  
a あったではあるまい b あったではあるまいか c あったのではあるまいか
- 3 パソコンから変な音がする。( )。  
a 故障しまいか b 故障したのではあるまい c 故障したのではあるまいか

5

- 1 えみさんは今日なんだか元気がない。何かあった( )。  
a に間違いない b に違いはない c に違いはない
- 2 税金問題に関心が高まっているため、今回の投票率は( )に相違ない。  
a 高くなる b 高くなるだろう c 高くなりそう
- 3 これは( )に相違ない。  
a 甘くておいしいりんご b 環境保護のための有効な手段  
c お母さんが作ってくれたお弁当

6

- 1 兄が選んだ女性なんだから、絶対に( )にきまっている。  
a すてき b すてきの c すてきな
- 2 こんなにたくさんのお仕事、1日では( )にきまっている。  
a できないかもしれない b できそうもない c できない

1~6

- 1 あしたは大雨が( )ため、注意が必要です。  
a 降るおそれがある b 降るとみえる c 降りかねない
- 2 今日( )荷物がまだ届かない。  
a 届くに違いない b 届くはずの c 届くにきまっている
- 3 最近夫は一人で黙っていることが多い。何か悩みごとが( )。  
a あるのではあるまい b あるに違いない c ありかねない
- 4 宝くじを買った。どうせ( )とは思ったが……。  
a 当たるまい b 当たるに違いない c 当たらないおそれがある
- 5 このままのペースで仕事を進めると、8月中に( )。  
a 終わらないとみえる b 終わりかねない c 終わらないおそれがある

# 23 課 かんそう い しゅちよう 感想を言う・主張する

〔復習〕 ・これはいい作品だと思います。

## 1 ~ものだ

→24課-③、26課-②

⇒一般的に見て、本来～だ・～というのは真理だ。

- ①自分では気がつきにくいが、どんな人にもくせがあるものだ。
- ②人間というのは本来一人では生きられないものだ。
- ③彼は大会社の社長なのだそうだ。そうは見えなかった。人は外見だけではわからないものだ。

🔗 動 辞書形/ない形・イ形い・ナ形な +ものだ

⚠ 過去形では使わない。主語は個別のものではなく総称的なもの(人間・親・世の中など)。

## 2 ~というものだ

⇒常識的に見て、まさに～だ。

- ①今日中にアメリカまで荷物を届けろと言われても、それは無理というものだ。
- ②他人の物を断りもなく使うなんて、あつかましいというものだ。
- ③出版した本の評判がいいそうだ。苦労したかいがあったというものだ。

🔗 普通形(ナ形だ・名だ) +というものだ

⚠ ある状況について、「常識的に考えて～だ」という評価を示す。話者の感情を表す言葉には使わない。

## 3 ~にすぎない

⇒ただ～だけで、それ以上ではない。

- ①調査では、お米を全く食べないと答えた人は1.2%にすぎなかった。
- ②一社員にすぎないわたしに、会社の経営のことなど決められない。
- ③お礼なんてとんでもない。わたしはあたり前のことをしたにすぎません。

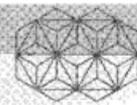
🔗 名・普通形(ナ形だ-である・名だ-である) +にすぎない

⚠ 話者が特別ではない・重要ではない・少ないと思っていることにつく。

## 4 ~にほかならない

⇒～だ。それ以外ではない。【硬い言い方】

- ①将来この国を支えるのは、若い君たちにほかなりません。
- ②人間も自然の一部にほかならないということを忘れてはならない。



③このような証言しょうげんができるのは、本人ほんにんが実際じっさいに犯行現場はんこうげんばにいたからにほかならない。

④名 +にほかならない

⚠ 話者の断定的な判断を表す言い方。③のように「普通形+から」に接続する例もある。

## 5 ～に越したことはない

⇒当然とうぜんのことだが～ほうがいい。

①値段ねだんに関係かんけいなく質しつのいいものを買かいたい、安やすく買かえるに越こしたことはない。

②旅行りょこうの荷物にもつは軽かろいに越こしたことはない。

③ふだん使もちう道具どうぐの使もちい方かたは簡かん単たんであるに越こしたことはない。

④普通形現在(ナ形)差-である・名差-である +に越したことはない

⚠ 「絶対的にそうでなければいけないというほどではないが、そのほうがいい」という判断はんだんを表す。

## 6 ～しかない・～よりほかない

⇒～以外いがいに選せん択たくし肢か・可か能のう性せい・方ほう法ほうがない。

①この道いっぽうつうこうは一方通行もどだから、戻もどりたくてもまっすぐ行いくしかない。

②会かい議ぎで企き画かくの中ちゆう止しが決きまったなら、この決けつ定ていを受うけ入いれるよりほかないでしょう。

③ずつと欲ほしかったかぼんがセールで半額はんがくになっている。これは買かうしかない。

④動 辞書形 +しかない・よりほかない

⚠ 「ほかに選せん択たくしの余よ地ちがないので、仕しか方たなくこの選せん択たくし肢かを選えらぶ」という話者わしやの気き持もちをあらわす。または、

③のように、積せつ極ごく的にこの選せん択たくし肢かを選えらぶという気き持もちでも使つかう。

## 7 ～べきだ／～べきではない

⇒～するのとうぜんが当然とうぜんだ・～しなければならぬ・～したほうがいい／～してはいけない。

①今日けふできることは明日あしたに延のばさず今日けふするべきだ。

②もう会あえないなら、彼かれの連れん絡らく先さきを聞きいておおくべきだった。

③すべての国民こくみんの幸しあせをめ目め指さすのが、政せい治じの本ほん来らいあるべき姿すがたである。

④そんな質はじ問もんは、初はじめて会あった人ひとにすべきではない。

④動 辞書形 +べきだ・べきではない \*例外れいがい する→するべき・すべき

④動 辞書形 +べき・べきではない+名

⚠ 話者わしやの主しゆ張ちやうを述たべる。規き則そくで決きまっていることには使つかわない。目めう上じやうの人ひとには直ちやく接せつ使つかわないほうが良よい。

## 1

1 赤ちゃんは( )ものだ。そんなに心配する必要はない。

- a 泣くという                      b 泣く                      c 泣いている

## 2

1 1か月夏休みがあればいいなあと思うが、それは普通の会社員には( )というものだ。

- a ぜいたく                      b うれしい                      c うらやましい

2 彼は仕事を辞めて妻の看病をするという。これこそ( )というものだ。

- a 夫                      b 忙しい                      c 真の愛情

## 3

1 この作曲家はほとんど無名である。この作品だけが( )にすぎない。

- a 有名                      b 有名だ                      c 有名である

2 わたしが知っているフランス語は、( )程度にすぎない。

- a あいさつができる                      b 論文が書ける                      c 新聞が読める

3 大統領も一人の人間にすぎないのだから、( )はずだ。

- a 重要な命令ができる                      b いろいろ悩むこともある

- c 世界各国の人と会う機会が多い

4 漫画をかくことはわたしの( )であるにすぎず、専門に勉強したわけではない。

- a 目的                      b 仕事                      c 趣味

## 4

1 外来語も日本語の( )にほかならない。元の語とは意味や使い方が異なるのだ。

- a 一部                      b 一部だ                      c 一部である

2 ご両親が厳しいことを言うのは、あなたのことを( )にほかならない。

- a 心配している                      b 心配しているから                      c 心配しているからだ

3 文章を書くことは( )にほかならない。

- a 楽しい                      b 難しくないの                      c 考えること

## 5

1 けんかなど( )に越したことはないが、けんかして初めてわかりあえることもある。

- a しない                      b しないこと                      c しないの

2 人間は外見ではなく中身だとは思いますが、もちろん外見が( )に越したことはない。

- a 関係ない                      b 悪い                      c いい



- 〔復習〕 ・あした海へ行ってみませんか。  
・疲れたときはゆっくり寝たほうがいいですよ。

1 ~ (よ)うではないか

⇒ 一緒に~しよう・~しませんか。 **硬い言い方**

- ① 環境を守るために何ができるか、考えてみようではないか。
- ② みんなで協力して、このイベントを成功させようじゃないか。
- ③ 問題の解決を目指し、話し合おうではありませんか。

🔗 動 う・よう形 + ではないか

- ⚠️ 強く誘いかける男性的な言い方で、政治家の演説などに見られる。日常の会話ではあまり使わない。  
多数の人に呼びかける言い方。

2 ~ことだ

→ 26 課-⑤

⇒ ~する/~しないことが大切だ・~した/~しないほうがいい。

- ① いいアイデアを見つけるためには、普段から何でも思いついたことをメモしておくことだ。
- ② 太りたくなければ、夜遅く食べないことです。
- ③ 大切な決定をしななければならないときは、いろいろな人の意見を聞いてみることです。

🔗 動 辞書形/ない形 + ことだ

- ⚠️ 過去・否定・疑問の形はない。意志動詞につく。忠告する言い方なので、目上の人には使わないほうがいい。

3 ~ものだ/~ものではない

→ 23 課-①、26 課-②

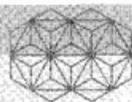
⇒ ~したほうがいい・~しなければならない/~しないほうがいい・~してはいけない。

- ① 人との出会いは大切にするものだ。
- ② 日本では、お見舞いの時は鉢植えの花はあげないものですよ。
- ③ 気軽に人にお金を貸すものではない。
- ④ 植木の枝を切ろうとして腰を痛めてしまった。やはり慣れないことはするものではないね。

🔗 動 辞書形/ない形 + ものだ

動 辞書形 + ものではない

- ⚠️ 一般的な常識を表す。対象が特定のものや人の場合には使わない。目上の人には使わないほうがいい。



#### 4 ~ことはない

⇒～する必要はない。

- ①用事は電話で済みますから、なにもわざわざ行くことはありません。
- ②彼の言葉など気にすることはないよ。いつもきつい言い方をする人だから。
- ③ホームステイは初めてだったが、みんなが親切にしてくれたので、そんなに心配することはなかった。

🔗 動 辞書形 +ことはない

⚠️ 話者の判断を表す。質問の形はない。話者自身のことにはあまり使わない。必要がないと初めから決まっているような場合には使わない。

#### 5 ~まい/～(よ)うか～まいか

→22課-④

⇒～するつもりはない・～しないでおう/～しようか～しないでおうか

- ①こんなばかな失敗は二度とするまい。気をつけよう。
- ②父は子供が選んだ道には口を出すまいと思っているようだ。
- ③夫は家族に心配をかけまいとして、会社を辞めたことを話してくれなかった。
- ④掃除ロボットを買おうか買うまいか決心がつかない。
- ⑤難しそうな仕事なので、引き受けようか引き受けまいかだいぶ迷ったが、思い切ってやってみることにした。

🔗 動 辞書形\* +まい 動 う・よう形 +か+動 辞書形\* +まいか (同じ動詞を使う。)

\*動Ⅱ・Ⅲ→動 辞書形/ま手 +まい する→するまい・すまい

⚠️ 「～まい」は話者以外の意志を表す場合は、「～と思っているようだ・～としている」などが必要。この言葉がついていなければ、推量の意味になる。

#### 6 ~ものか

→12課-③

⇒絶対～するつもりはない。

- ①あんな無責任な人とはもう一緒に仕事をするものか。
- ②この計画を絶対実行したい。他人に何を言われてもあきらめるものか。
- ③今日こそは遅刻するものかと毎日思うけれど、やっぱり何分か遅刻してしまう。

🔗 動 辞書形 +ものか

⚠️ 否定の意志を少し感情的に強く言う。「もんか」はさらにくだけた言い方。

1

- 1 これからわたしたちの力で、明るい日本を( )ではありませんか。  
a 作っていこう                      b 作っていく                      c 作っていくの
- 2 <sup>みな</sup>皆さん、リサイクル運動に( )。  
a <sup>きょうりやく</sup>協力しようではない              b 協力しようではないのか              c 協力しようではないか

2

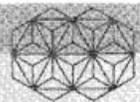
- 1 けがをしたくなければ、<sup>こうじげんば</sup>工事現場には( )。  
a 入ることではない                      b 入らないことだ                      c 入らないほうがいいことだ
- 2 <sup>こども</sup>子供にはまず正しい<sup>せいかつしゅうかん</sup>生活習慣を( )ことだと思う。  
a <sup>み</sup>身につけさせる                      b 身につけさせた                      c 身につけさせての
- 3 ( )、うそをつかないことだ。  
a <sup>しんらいかんけい</sup>信頼関係を作るのは              b <sup>しんよう</sup>信用される人というのは              c 人に信用されたいのなら

3

- 1 <sup>おや</sup>親は<sup>こども</sup>子供の<sup>めんどう</sup>面倒をちゃんと( )ものだ。  
a 見る                                      b 見ている                                      c 見た
- 2 ( )は、借りたらすぐ返すものだ。  
a 1,000円                                      b お金                                      c あの時のお金
- 3 ( )ときは、<sup>ぜんじつ</sup>前日よく休むものです。  
a <sup>やまのぼ</sup>山登りをする                      b 今度の<sup>れんきゅう</sup>連休に<sup>ふじさん</sup>富士山に<sup>のぼ</sup>登る  
c A社のツアーで富士山に登る
- 4 人にはさみを<sup>わた</sup>渡すときは、とがったほうを<sup>あいて</sup>相手に<sup>む</sup>向ける( )。  
a ものです                                      b もものではありません                      c ものですか

4

- 1 試合に<sup>ま</sup>負けたことに、あなた一人が<sup>せきにん</sup>責任を( )ことはありません。チームみんなの責任です。  
a <sup>かん</sup>感じる                                      b 感じた                                      c 感じている
- 2 ここは<sup>むりようちゆうしやじょう</sup>無料駐車場だから、お金を( )よね。  
a <sup>はら</sup>払わないことです                      b 払うべきではありません                      c 払うことはありません
- 3 来週木曜日に<sup>けんこうしんだん</sup>健康診断を行います。当日は朝ご飯を( )。  
a 食べることはありません              b 食べないでください                      c 食べるものではありません



5

- 1 たばこはもう( )と決心したが、やっぱりやめられない。  
a 吸うまい                                      b 吸おうまい                                      c 吸わないよう
- 2 もうこんな危ないことは( )まいと心に決めた。  
a できる    b ある    c する
- 3 親に本当のことを言おうか言うまいか( )。  
a わからない                                      b 3日も考えている                                      c 関係ない
- 4 彼は勉強への興味を失ったので、( )。  
a 退学しようかするまいか                      b 退学しようかと考えている                      c 退学しまいかと迷っている

6

- 1 お兄ちゃんなんか( )もんか。  
a 負ける    b 勝つ    c 負けない
- 2 あ、どろぼう。財布を取られた。( )もんか。必ず捕まえるぞ。  
a 逃げる    b 逃げた    c 逃がす

1~6

- 1 先生、( )。  
a 無理をしないことですよ                      b 無理をするものではありませんよ  
c 無理をなさいませんように
- 2 来年の試験に合格したかったら、( )。  
a もっと努力しようではないか                      b もっと努力するものだ                      c もっと努力することだ
- 3 皆さん、今日のパーティーは楽しく( )  
a 過ごそうじゃありませんか                      b 過ごすものですよ                      c 過ごすことですよ
- 4 失敗作と言っても、( )。これで十分です。  
a 作り直さないことですよ                      b 作り直すことはありません                      c 作り直さないものです
- 5 親の言うことはもう( )。僕の気持ちをぜんぜんわかっていない。  
a 聞かないことだ                                      b 聞くものではない                                      c 聞くものか
- 6 君が悪いんじゃないんだから( )。  
a 謝ることはない                                      b 謝るものではない                                      c 謝るまい

〔復習〕 ・歯がとても痛い。

・仕事があるので、日曜日にも会社に行かなければならない。

## 1 ～てしかたがない・～てしょうがない・～てたまらない

⇒非常に～だと感じる。

- ①近所にあったスーパーが閉店してしまって、不便でしかたがない。
- ②さっき聞いたおもしろい話をだれかに話したくてしかたがない。
- ③久しぶりに彼女に会えるのがうれしくてしょうがない。
- ④赤ちゃんはお母さんがいないと不安でたまらないらしく、泣き出した。
- ⑤朝から何も食べていないので、おなかがすいてたまらない。
- ⑥虫に刺されたところがかゆくてたまらない。

🔗 動て形・イ形くて・ナ形-で +しかたがない・しょうがない・たまらない

⚠ 話者の感情・欲求などを表す言葉につく。特に「～てたまらない」は体で感じることについて使うことが多い。三人称が主語の時は、④のように「ようだ・らしい」などをつける。

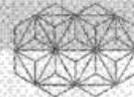
## 2 ～てならない

⇒気持ちが非常に～だ。

- ①さっきから何か大切なことを忘れているような気がしてならない。
- ②この歌を聞くと、学生時代のことが思い出されてならない。
- ③明日の面接でうまく話せるかどうか、心配でならない。
- ④ヤンさんを空港に見送りに行けなかったことが残念でならない。

🔗 動て形・イ形くて・ナ形-で +ならない

⚠ 自然にそういう気持ちになることを表す動詞(気がする・思える・感じられるなど)や、話者の感情・体の感覚などを表す言葉につく。マイナスの感情を表すことが多い。特定の三人称が主語のときは、「ようだ・らしい」などをつける。



### 3 ~ないではいられない・~ずにはいられない

⇒どうしても~してしまって抑えられない。

- ①この曲が聞こえてくると、体を動かさないではいられない。
- ②この犬を見ていると、山田さんの顔を思い出さないではいられない。
- ③ミカさんはケーキが大好きで、ケーキ屋の前を通ると買わずにはいられないそうだ。
- ④その選手の一生懸命な姿を見て、だれもが応援せずにはいられなかった。

🔗 動 ない形 +ではいられない

動 ~~な~~ +ずにはいられない \*例外 する→せずに

⚠ 自然に出てくる個人的な感情や行動を表す。特定の三人称が主語の時は、③のように「そうだ・よ  
うだ・らしい」などをつける。

### 4 ~ないわけに(は)いかない

→18課-②

⇒事情があつて~しなければならない

- ①親友の結婚式だから、忙しくても出席しないわけにはいかない。
- ②こんなに歯が痛くなつては、歯医者に行かないわけにはいかない。
- ③どんなにお金がなくても、何も食べないわけにはいかない。
- ④早く帰りたいかったが、最後まで後片付けを手伝わないわけにはいかなかった。

🔗 動 ない形 +わけに(は)いかない

⚠ 意志動詞につく。主語は特定の三人称ではなく一人称が多いが、文中に表れることは少ない。  
社会的常識・義理などの事情を言う文が前か後に来ることが多い。

### 5 ~ざるを得ない

⇒そうしたくないが、どうにもならない事情があつてしかたなく~する。

- ①週末も仕事で出かけざるを得ない。
- ②これだけ反対の証拠が多いのだから、彼の説は間違つていたと言わざるを得ない。
- ③途中で足が痛くなり、完走はあきらめざるを得ない状況になった。
- ④このまま赤字が続けば、経営方針を変更せざるを得ないだろう。

🔗 動 ~~な~~ +ざるを得ない \*例外 する→せざる

⚠ 意志動詞につく。主語は特定の三人称ではなく一人称が多いが、文中に表れることは少ない。

## 1

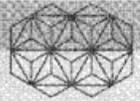
- 1 この自転車は( )しょうがない。  
 a 古くて                                  b 乗りにくくて                                  c 気に入って
- 2 犬が飼<sup>か</sup>い主<sup>ぬし</sup>にそっくりなのが( )たまらなかった。  
 a おかしくて                                  b 珍<sup>めづ</sup>しくて                                  c 笑<sup>わら</sup>って
- 3 妹はわたしが持っているバッグが( )。  
 a 欲<sup>ほ</sup>しくてしかたがない                                  b 欲<sup>ほ</sup>しがってしかたがない  
 c 欲<sup>ほ</sup>しくてしかたがないようだ
- 4 仕事<sup>しごと</sup>中<sup>ちゆう</sup>だが、今<sup>いま</sup>やっている試合<sup>しあひ</sup>の( )しょうがない。  
 a 結果<sup>けっか</sup>を気<sup>き</sup>にして                                  b 結果<sup>けっか</sup>が気<sup>き</sup>になって                                  c 結果<sup>けっか</sup>がわからなくて

## 2

- 1 一人<sup>ひとりご</sup>暮らし<sup>ぐらし</sup>を始<sup>はじ</sup>めて最<sup>さい</sup>初<sup>しよ</sup>のころは、( )ならなかった。  
 a お金<sup>かね</sup>がかかって                                  b 時間<sup>じかん</sup>が足りなくて                                  c 寂<sup>さび</sup>しくて
- 2 一人<sup>ひとりご</sup>ぼっち<sup>ぼっち</sup>で生<sup>い</sup>きているこの小説<sup>しやうせつ</sup>の主人<sup>しゆじん</sup>公<sup>こう</sup>が( )ならない。  
 a 偉<sup>えら</sup>くて                                  b 立<sup>りっ</sup>派<sup>ぱ</sup>で                                  c かわいそうで
- 3 今日<sup>けふ</sup>紹<sup>しやう</sup>介<sup>かい</sup>された松<sup>まつ</sup>本<sup>もと</sup>さんにはどこかで一<sup>いち</sup>度<sup>ど</sup>会<sup>あ</sup>っているよう<sup>よう</sup>な( )ならない。  
 a 気<sup>き</sup>がして                                  b 気<sup>き</sup>にして                                  c 気<sup>き</sup>になつて
- 4 母<sup>おとこ</sup>は叔<sup>おじ</sup>父<sup>ちち</sup>のこ<sup>こと</sup>が不<sup>ふ</sup>愉<sup>ゆ</sup>快<sup>かい</sup>に( )  
 a 思<sup>おも</sup>えてなら<sup>ら</sup>ない                                  b 思<sup>おも</sup>えてなら<sup>ら</sup>ないよう<sup>よう</sup>だ                                  c 思<sup>おも</sup>つてなら<sup>ら</sup>ない

## 3

- 1 ( )は大地震<sup>おほいしん</sup>の<sup>のち</sup>の町<sup>まち</sup>の変<sup>か</sup>わり<sup>わり</sup>よう<sup>よう</sup>を見<sup>み</sup>て、涙<sup>なみだ</sup>を流<sup>なが</sup>さず<sup>ず</sup>にはいられ<sup>ら</sup>なかつた。  
 a わたし                                  b 彼女<sup>かのじよ</sup>                                  c うちの母
- 2 この映画<sup>えいが</sup>のラ<sup>ら</sup>ス<sup>す</sup>トシ<sup>しん</sup>ーン<sup>ん</sup>には、( )いられ<sup>ら</sup>なかつた。  
 a 感<sup>か</sup>動<sup>どう</sup>しな<sup>い</sup>で<sup>は</sup>                                  b 感<sup>か</sup>動<sup>どう</sup>して<sup>は</sup>                                  c 感<sup>か</sup>動<sup>どう</sup>させ<sup>ない</sup>で<sup>は</sup>
- 3 小<sup>こ</sup>さな<sup>な</sup>子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>た<sup>た</sup>ち<sup>ち</sup>が一<sup>いつ</sup>生<sup>しょう</sup>懸<sup>けん</sup>命<sup>めい</sup>踊<sup>おど</sup>つて<sup>い</sup>る姿<sup>すがた</sup>を見<sup>み</sup>て、( )いられ<sup>ら</sup>なかつた。  
 a 笑<sup>えが</sup>顔<sup>お</sup>に<sup>に</sup>させ<sup>ず</sup>には                                  b 笑<sup>えが</sup>顔<sup>お</sup>にな<sup>ら</sup>ず<sup>ず</sup>には                                  c 笑<sup>えが</sup>顔<sup>お</sup>に<sup>に</sup>され<sup>ず</sup>には
- 4 今日<sup>けふ</sup>は会<sup>かい</sup>議<sup>ぎ</sup>がある<sup>あ</sup>るので( )。  
 a 出<sup>しゅつ</sup>勤<sup>きん</sup>せ<sup>ず</sup>にはいられ<sup>ら</sup>ない                                  b 出<sup>しゅつ</sup>勤<sup>きん</sup>しな<sup>い</sup>で<sup>は</sup>いられ<sup>ら</sup>ない                                  c 出<sup>しゅつ</sup>勤<sup>きん</sup>しな<sup>い</sup>け<sup>れ</sup>ば<sup>な</sup>ら<sup>な</sup>い



4

- 1 暑くても服を( )わけにはいかない。  
 a 着る                                  b 着ない                                  c 着ず
- 2 早く帰りたいのだが、母に頼まれた本を( )わけにはいかない。  
 a 買って帰らない                      b 買って帰る                              c 買わないで帰らない
- 3 せっかくわたしのために作ってくれた料理だから、( )。  
 a どうしても食べるわけにはいかない      b あまりたくさん食べるわけにはいかない  
 c 全く食べないわけにはいかない

5

- 1 この映画監督は問題発言が多いことで有名だが、その才能は( )ざるを得ない。  
 a 認める                                  b 認め                                      c 認めない
- 2 平日しか病院の予約がとれなかったので、仕事を( )を得なかった。  
 a せざる                                  b させざる                                  c 休まざる
- 3 地球上から戦争を( )。  
 a なくさなければならない      b なくさざるを得ない  
 c なくさないわけにはいかない

1~5

- 1 この文章はだれかの文章をまねしたように( )。  
 a 思えないわけにはいかない      b 思えてたまらない                      c 思えてならない
- 2 このホールは冷房が効きすぎていて、( )。  
 a 寒くてならない                      b 寒くならないではいられない      c 寒くならざるを得ない
- 3 わたしは飛行機が怖い。乗るときにはいつも「どうか落ちませんように」と( )。  
 a 祈ってならない                      b 祈らずにはいられない                  c 祈らざるを得ない
- 4 電車の中で、前に座っていた人がいねむりをしていて席から落ちた。おかしくて、( )。  
 a 笑わないわけにはいかなかった      b 笑わないではいられなかった  
 c 笑わざるを得なかった
- 5 国の母が懐かしい。( )。  
 a 会いたくてたまらない                  b 会わないわけにはいかない          c 会わざるを得ない
- 6 外国旅行の時はパスポートを( )。  
 a 持って行くわけにはいかない      b 持っていないではいられない  
 c 持っていないなければならない

- [復習] ・ああ、月の世界へ行ってみたい。  
 ・政府にはもっと国民の声を聞いてほしいと思う。

1 ~たいものだ・~てほしいものだ

⇒~したい・~てほしいと強く思う。

- ①将来はこんな家に住みたいものだなあ。  
 ②そんなにきれいな絵なら、ぜひ一度見てみたいものです。  
 ③今度こそ実験が成功してほしいものだ。  
 ④国には税金の無駄遣いをしないでほしいものだ。

🔗 動 ま字 +たいものだ

動 て形/ない形+で +ほしいものだ

⚠️ 心からの希望を言う場合や一般的な希望として言う場合に使う。具体的な希望や要求を直接言うときには使わない。

2 ~ものだ

→23課-①、24課-③

A⇒~という過去の習慣が懐かしい。

- ①子供のころは、夏になるとこの川で泳いだものです。  
 ②祖父が生きていたころは、毎年お正月になると親戚が集まったものだ。  
 ③若いときはよくコンサートに行ったものだが、最近は行かなくなった。

🔗 動 た形 +ものだ

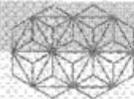
⚠️ 1度だけのことには使わない。

B⇒~ということを非常に強く感じる・感心する・あきれる。

- ④卒業してからもう10年か。時間が過ぎるのは早いものだ。  
 ⑤図書館に行かなくてもインターネットでいろいろな情報が集められる。便利な世の中になったものだ。  
 ⑥辞書の中のこんな小さな間違いをよく見つけられたものだ。

🔗 動・形 普通形(ナ形) だ-な +ものだ

⚠️ 話者の意志的な行為には使わない。話者の主観を表す形容詞や、副詞(よく・ずいぶんなど)と一緒に使うことが多い。



### 3 ~ないもの(だろう)か

⇒実現は難しいが、何とかして～ということになってほしい。

- ① どうにかして母の病気が治らないものか。
- ② だれかこの仕事を引き受けてくれる人はいないものだろうか。
- ③ この時計はちょっと高すぎる。どこかでもっと安く買えないものかな。

🔗 動ない形 +もの(だろう)か

⚠️ 可能動詞や話者の意志が入らない動詞につく。

### 4 ~ものがある

⇒～という感じがある。

- ① 毎日2時間もかけて通勤するのは、かなりつらいものがある。
- ② ここまで完成しているのにあきらめなければならないなんて、残念なものがある。
- ③ 一方的に仕事を辞めさせられた。どうしても納得できないものがある。

🔗 動・形 普通形現在 (ナ形) だ-な +ものがある

⚠️ 話者の感想を表す言葉につく。

### 5 ~ことだ

→24課-②

⇒本当に～だ。(驚き・感動・皮肉などを表す。)

- ① 大きくなりすぎたからとペットを簡単に捨てる人がいる。なんとひどいことだ。
- ② 困ったとき助けてくれる友達がいる。ありがたいことだ。
- ③ いくら電話しても出ない。全く困ったことだ。

🔗 イ形い・ナ形な +ことだ

⚠️ 話者の主観を表す形容詞につく。③のように形容詞のような働きをする動詞の「た形」も使われる。

### 6 ~ことだろう・~ことか

⇒非常に多く～する(ある)・非常に～と感じる。📖書き言葉

- ① この城を完成させるのに、いったい何年かかったことだろう。
- ② 「無駄遣いをするな」と子供にもう何回注意したことか。
- ③ 離れて暮らしているあなたのことを、ご両親はどんなに心配していることか。

🔗 疑問詞+普通形 (ナ形) だ-な/-である・名) だ-である) +ことだろう・ことか

⚠️ 程度を表す疑問詞(どんなに・何回など)や「なんと・いったい」と一緒に使う。

1

- 1 すみません、来週の旅行なのですが、用事ができたので( )が。  
a キャンセルしたいんです      b キャンセルしたいものです  
c キャンセルしてほしいものです
- 2 彼はこの問題に関係ないのだから、( )ものだ。  
a 口をはさみたくない      b 口をはさまないでほしい      c 口をはさまないでいたい
- 3 ( )を食べてみたいものだ。  
a あ、このおいしそうな料理      b 今日はユリさんのうちで手料理      c 一度、その珍しい魚

2

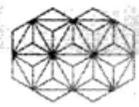
- 1 国にいたころ( )家族でハイキングに行ったものです。  
a 一度      b よく      c いつか
- 2 昔は元気でしたから、頑張って( )ものです。  
a 高い山に登った      b 家を買った      c 試験に合格した
- 3 この人は変わった種類のトイレットペーパーを集めているのか。( )ものだ。  
a いろんな人がいる      b 変な人の      c 一般には理解されない
- 4 ラーメンを3杯も( )食べられるものだ。  
a そんなに      b どうして      c よく

3

- 1 何とかしてこの犬の飼い主を( )ものだろうか。  
a 見つけてあげたい      b 見つけてあげない      c 見つけてあげられない
- 2 何かもっと簡単に日本語が上手になる方法は( )ものか。  
a ある      b ない      c わからない
- 3 もっと給料が高くて楽な仕事は( )ものか。  
a 見つからない      b 見つけない      c 見つけたい
- 4 朝のラッシュは何か( )ものか。  
a ならない      b しない      c なれない

4

- 1 10代の心は微妙だ。この時期の子供の扱いはなかなか( )ものがある。  
a 問題の      b 難しい      c わからなかった
- 2 彼の音楽は実に素晴らしい。( )ものがある。  
a 人の心が動く      b 人の心に動かされる      c 人の心を動かす



5

- 1 使っていない紙をこんなに捨てているなんて、( )ことだ。  
a もったいない                      b だれかが捨てた                      c 無駄遣いの
- 2 定年後は夫婦で海外旅行ですか。まあ、それは( )ことですね。  
a 同じ趣味の                      b けっこうな                      c お金が必要な
- 3 家に忘れ物をして駅まで2往復ですか。それは( )ことです。  
a 急いだ                      b 疲れた                      c ご苦労な
- 4 事故にあった全員の命が助かった。本当に( )ことだ。  
a うれしい                      b 喜んだ                      c 命は大切な

6

- 1 この曲は素晴らしい。今まで( )聞いたことか。  
a 何度か                      b 何度も                      c 何度
- 2 何年も会っていない友達を突然訪ねていったら、( )驚くことだろう。  
a なんと                      b どんなに                      c いくら
- 3 ついに長年の夢がかなって、彼女はどれほど( )ことだろう。  
a 喜びの                      b よかった                      c うれしかった

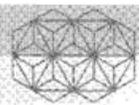
1~6

- 1 年をとっても夢を( )。  
a 持ち続けていたいことだ                      b 持ち続けていたいものだ                      c 持ち続けていたいことか
- 2 いつまでも小さいことでけんかしているのは、実に( )。  
a くだらないことだ                      b くだらないことだろう                      c くだらないものだ
- 3 最後の最後に逆転負けしたなんて、どれほど( )。  
a 悔しいことか                      b 悔しいものか                      c 悔しいものがある
- 4 迷惑をかけてしまった人たちのことを考えると、今でも( )。  
a 心苦しいものだ                      b 心苦しいことだ                      c 心苦しいものがある
- 5 よくもまあ、こんな細かい彫刻が( )。  
a できることか                      b できるものだ                      c できないものか

もんだい か か  
問題(1課～26課)

つぎ ぶん  
次の文の( )に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 1 それ、睡眠時間を( )やるべき仕事なんですか。  
1 削ってまで  
2 削ってさえ  
3 削ってからして  
4 削ってなどして
- 2 こんな不注意な事故は二度と( )と心に決めた。  
1 起こるまい  
2 起こすまい  
3 起こりかねない  
4 起こしかねない
- 3 真実を知れば彼女が悲しむのはわかっているが、うそをつくことはできない。本当のことを( )だろう。  
1 話さないというわけでもない  
2 話さないわけがない  
3 話さないわけではない  
4 話さないわけにいかない
- 4 朝から何も食べていないので、おなかが( )。今すぐ何か食べたい。  
1 すいてしまったものだ  
2 すいてしまったことだ  
3 すいてたまらない  
4 すいてはいられない
- 5 小川さんの作る料理はおいしい( )。なにしろプロなんだから。  
1 にきまっていますよ  
2 とみえますよ  
3 ことがありますよ  
4 ものがありますよ
- 6 社長のやり方を批判しようものなら、会社を( )。  
1 辞めかねない  
2 辞めさせられかねない  
3 辞めさせ得る  
4 辞めさせられ得ない
- 7 この子はまだ3歳だから、乗車券を( )。  
1 買うべきではありませんね  
2 買うほどではありませんね  
3 買わなくてもいいですね  
4 買わずにはいられませんね
- 8 まだたっぷり時間があつたのだから、あんなに( )。  
1 急ぐことはなかった  
2 急ぐものではなかった  
3 急ぐはずがなかった  
4 急ぐよりほかなかった

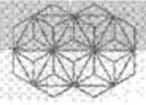


- 9 <sup>かれ</sup>彼のちょっとした態度<sup>たいど</sup>だけで自分が嫌<sup>きら</sup>われていると思うなんて、( )。
- 1 考えすぎるものだ                      2 考えすぎというものだ  
3 考えすぎたものだ                      4 考えすぎというものではない
- 10 <sup>ざんねん</sup>残念だが、これだけ結果<sup>けつ か</sup>が悪ければ、この計画<sup>しつばい</sup>は失敗だと( )。
- 1 言うものだ                              2 言ったところだ  
3 言わないことはない                      4 言わざるを得ない
- 11 <sup>わか</sup>若いうちにいろいろなことを経験<sup>けいけん</sup>しておく( )。
- 1 にすぎない                              2 に越したことはない  
3 に違<sup>ちが</sup>いない                              4 にほかならない
- 12 あんな大工<sup>だい く</sup>には二度と修理<sup>しゅうり</sup>を( )。
- 1 頼<sup>たの</sup>むものですか                      2 頼んだものですか  
3 頼むものがあります                      4 頼んだことはありません
- 13 その客<sup>きやく</sup>のマナーがあまりにひどかったので、( )。
- 1 注意するに越したことはなかった      2 注意せずじまいだった  
3 注意することはなかった                  4 注意せずにはいられなかった
- 14 <sup>りゅうがくせい</sup>留学生には日本語だけでなく、日本の文化<sup>ぶん か</sup>や社会のことも( )。
- 1 学ぶものだ                              2 学ばせるものだ  
3 学びたいものだ                          4 学んでほしいものだ
- 15 <sup>さいきん</sup>最近の科学技術<sup>かがくぎじゆつ</sup>の進歩<sup>しんぼ</sup>には( )。
- 1 驚<sup>おどろ</sup>くべきことがある                  2 驚くというものだ  
3 驚くべきものがある                      4 驚くというものではない

N2の文法形式には、動詞から派生してできたものが少なくありません。その文法形式を学習したことがなくても、元の言葉の意味から類推することができます。

(\*はここで初めて学習する文法形式)

元の動詞	文法形式	例	課題
際する	～に際して	留学に際してはいろいろお世話になりました。	1
あたる	～にあたって	開会にあたって一言ごあいさつ申し上げます。	1
わたる	～にわたって	関東地方の広い範囲にわたって初雪が降った。	4
通じる	～を通じて	インターネットを通じて世界中の情報が得られる。	4
通す	～を通して	彼は一生を通して村のために尽くした。	4
限る	～に限って	あの子に限ってそんなことをするはずがない。	5
関する	～に関して	今回の事件に関して詳しいことがわかりましたか。	7
めぐる	～をめぐって	土地の問題をめぐって両者が対立している。	7
対する	～に対して	お客様に対して丁寧な言葉を使いなさい。	7
応える	～にこたえて	住民の要望にこたえて自転車置き場を設置した。	7
基づく	～に基づいて	法律に基づいて裁判を行う。	8
沿う	～に沿って	プログラムに沿って発表会を行います。	8
従う	～にしたがって	気温の変化にしたがって山の景色が変わる。	9
連れる	～につれて	父は年をとるにつれて頑固になってきた。	9
伴う	～に伴って	地球温暖化に伴って各地で気候が変化している。	9
応じる	～に応じて	ご予算に応じてメニューをご用意いたします。	9
拠る	～によって	事故によって新幹線のダイヤが大きく乱れた。	16
お(於く) 今は使われない	～において	⇒～の場所や分野、時期などにあることが行われる・ある状態だ。 <b>硬い言い方</b> ①本日A館において就職説明会が行われる。 ②コストダウンはビジネスにおける重要な課題だ。	*
先立つ	～に先立って	⇒～の前に、それに関連する何かをする。 ①野外実験を行うに先立って現地調査をした。 ②イベントに先立つパレードは、駅前広場で行われます。	*



**練習1**  から適切な動詞を選び、適切な形にして、 の上に書きなさい。(  )  
 は助詞を書きなさい。(一つの言葉を1回だけ使います。)

A    よる    めぐる    際する    わたる    沿う    通じる    限る    伴う

- 1 ダム建設問題( )  住民が3時間も話し合いをしている。
- 2 この図書館のご利用( )  は以下のことをお守りください。
- 3 食生活の変化( )  米の消費量が減った。
- 4 この時計は、親子二代( )  愛用しているものだ。
- 5 あのメーカー( )  すぐ壊れるような製品は作らないと思う。
- 6 書いてある手順( )  行えば、この機械の操作はそれほど難しくない。
- 7 学生たちは地域の人たちとの交流( )  さまざまなことを学んでいる。
- 8 地震( )  多くの家が壊れた。

B    通す    先立つ    応じる    基づく    あたる    こたえる    関する    対する

- 1 この学校はキリスト教の精神( )  教育が100年も続いています。
- 2 この商品( )  ご質問がある方は、お問い合わせください。
- 3 小学校では来月の入学式( )  説明会が行われた。
- 4 社長のやり方( )  不満を持っている社員も多い。
- 5 このいすは、お子様の成長( )  高さの調節をすることができます。
- 6 このたびのスミス氏の来日( )  歓迎会が行われた。
- 7 その作家は読者の期待( )  新しい作品を次々に書いた。
- 8 彼は在日期間( )  常に積極的に国際交流の努力をした。

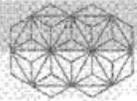
## B 「言う・する」を使った言い方

N2の文法形式には動詞の「言う」「する」を含むものが少なくありません。「言う」「する」は、具体的な動詞の代わりです。

- ・言う→話題に出す・意見を言うなど
- ・する→考える・判断する・仮定するなど

(\*はここで初めて学習する文法形式)

文法形式	例	課	
言う	～といった	ケーキやクッキーといったお菓子が大好きだ。	10
	～といえば	あ、雪だ。雪といえば、スキー旅行はどうでしょうか。	13
	～という	畑という、ふつう広い土地を想像するだろう。	13
	～といったら	代表的な日本料理といったら、すしやてんぷらだ。	13
	～といっても	料理ができるといっても、簡単なものだけだ。	14
	～からといって	好きだからといって、そればかり食べてはいけない。	14
	～とはいいいながら	⇒～ではあるが、実際は予想されることとは違う。 ①わたしは教師(だ)とはいいいながら、生徒たちに教えられることの方が多い。 ②彼女は母親になったとはいいいながら、子育ては苦手なようだ。 ☞ 名・普通形(ナ形(だ)・名(だ)) + とはいいいながら	*
する	～からして	この映画は題名からして怖そうだ。	4
	～としたら	無人島で過ごすとしたら、何を持っていきますか。	15
	～とすれば	京都を訪れるとすれば、桜の季節がいいと思います。	
	～とすると	彼が犯人ではないとすると、本当の犯人はだれだろう。	
	～にしても	時間がないにしても、連絡ぐらいしてほしい。	15
	～にしる	何をするにしる、心を込めて取り組みたい。	
	～にしては	この絵は子供がかいたにしてはよくかけている。	19
	～にしたら	お母さんにしたら、君のことが心配で注意するのだ。	19
	～にすれば	店にすれば、なるべく安く買い高く売りたいはずだ。	
～からすると	⇒～から判断すると	*	
～からいうと	①性能からすると、この製品の方が断然いい。 ②医師の立場からいうと、この治療方法は勧められない。 ☞ 名 + からいうと・からすると		



**練習1**  から<sup>てきとう</sup>適当なものを選びなさい。

A [言う]

a とはいいながら    b といった    c というと    d からといって    e からいうと

- 1 事情を知らなかった(    ), 彼の発言は焦点がずれていた。
- 2 値段(    )コース料理のほうがお得だ。
- 3 暑い(    ), 窓を開けたまま寝るのは良くないですよ。
- 4 15日(    )来週の水曜日ですね。
- 5 「はんなり」というのは京都の方言で、明るく上品(    )意味だ。

B [する]

a にしては    b としたら    c にしろ    d からして    e からすると

- 1 この服はどうもわたしに合わない。色(    )わたし向きではない。
- 2 ここは観光地(    )訪れる人が少ない。
- 3 先生の言い方(    ), 今度の試験はあまり難しくなさそうだ。
- 4 先週ほどではない(    )今週も忙しい。
- 5 もし普通のサラリーマンになっていた(    ), 今ごろ課長ぐらいになっていたかもしれない。

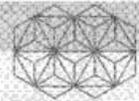
**練習2**  適当なものを選びなさい。

- 1 うちの子はリスとか小鳥(    )小さい動物が好きです。  
a といった    b とした    c という    d とする
- 2 彼の表情(    ), 仕事はあまりうまく行っていないようだ。  
a からといって    b からというと    c からとして    d からすると
- 3 この辺りは商店街(    )閉店している店が多い。  
a にしても    b にしたら    c といっても    d といったら
- 4 親切のつもりでしたことでも、相手(    )迷惑ということもある。  
a といえば    b にしては    c にすれば    d というと
- 5 ゆっくり会場を見て回る(    ), 2時間はかからないだろう。  
a にしても    b にしては    c といえば    d としたら

**C** ふる ことば つか い かた  
**古い言葉を使った言い方**

N2の文法形式には古い言葉を使ったものがあります。その文法形式を学習したことがなくても、元の言葉の意味がわかれば意味を類推することができます。

古い言い方	意味	文法形式	例	課
～ず	～ない	～もかまわず	値段もかまわず買い物する。	11
		～を問わず	この仕事は男女を問わずできる。	11
		～にかかわらず	送料は重さにかかわらず200円だ。	11
		～にもかかわらず	大雨にもかかわらずたくさんの人が集まった。	14
		～ずじまいだ	連休はどこへも行かずじまいだった。	20
		～ずにはいられない	のどが渴いて水を飲まずにはいられない。	25
		～ざるを得ない	週末も働かざるを得ない。	25
べし	～なければならない	～べきだ	今できることは今するべきだ。	23
		～べきではない	女性に年齢を聞くべきではない。	23
まい	～ないだろう	～まい	よく確かめたのだから間違いはあるまい。	22
		～ではあるまいか	このままでは問題は解決しないので、 <b>はあるまいか。</b>	22
	～ないようにしよう	～まい	こんな失敗は二度とするまい。	24
つつ	～ながら	～つつ	将来のことを考えつつ進路を決める。	2
	～ているところ	～つつある	次第に暖かくなりつつある。	2
	～けれども	～つつ(も)	危険だと知りつつ近づいた。	14
せよ	しろ	～にせよ	忙しいにせよ連絡はしなさい。	15



練習1 Aの言葉の意味と合うものをBから選んで線で結びなさい。

- | A             |   | B                  |
|---------------|---|--------------------|
| ① <u>せず</u>   | ・ | a <u>しなければならない</u> |
| ② <u>するべし</u> | ・ | b <u>しない</u>       |
| ③ <u>するまい</u> | ・ | c <u>しないだろう</u>    |
| ④ <u>しつつ</u>  | ・ | d <u>しろ</u>        |
| ⑤ <u>せよ</u>   | ・ | e <u>しながら</u>      |

練習2 ( )の中の言葉を適当な形にして、必要なら「の」を加えて \_\_\_\_\_ の上に書きなさい。

- 目の前にお年寄りが \_\_\_\_\_ もかまわず、あの人は優先席に座って漫画を読んでいる。  
(立っている)
- 旅行先で帽子をなくし、方々探したが、結局 \_\_\_\_\_ じまいだった。(見つかる)
- 地震の被害を受けた人たちが、1日も早く元の生活に戻れるようにと \_\_\_\_\_ にはいられません。(願う)
- 見ているだけでは状況は \_\_\_\_\_ まい。(変わる)
- 部屋の片付けをしなければと \_\_\_\_\_ つつ、時間がたってしまった。(思う)
- 言いたいことがあるなら、はっきり \_\_\_\_\_ べきだ。(伝える)
- 事情が \_\_\_\_\_ にせよ、急に仕事を辞められては困る。(ある)
- 今の実力を考えると、合格の可能性は低いと \_\_\_\_\_ を得ないだろう。(言う)
- 県民スポーツ大会の準備は日ごとに \_\_\_\_\_ つつある。(整う)
- この本は、内容が非常に \_\_\_\_\_ にもかかわらず、よく整理されていてわかりやすい。  
(複雑な)
- 昨日の大雨で、桜はほとんど \_\_\_\_\_ ではあるまいか。(散ってしまう)
- どんな仕事を \_\_\_\_\_ にかかわらず、ある程度のコミュニケーション能力は必要だろう。  
(する)

# D 「もの・こと」を使った言い方

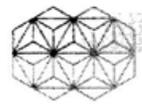
N2の文法形式には「もの」「こと」を使った言い方が少なくありません。

「もの」が含まれる言い方は、話者が感情を込めて述べる場合によく使われます。

「こと」が含まれる言い方は、感情を強調する場合に使われるほか、いろいろな働きをします。

(\*はここで初めて学習する文法形式)

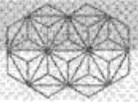
文法形式	例	課
もの		
～ものか	あいつが時間どおりに来るものか。	12
～というものではない	安ければいいというものではない。	12
～ものの	高い着物を買ったものの、着る機会がない。	14
～とはいうものの	手術は成功したとはいうものの、まだ心配だ。	
～ものなら	やれるものならやってみろ。	15
～(よ)うものなら	台風でも来ようものなら、この小屋は壊れそうだ。	15
～もので・ものだから	目が悪いもので、よく見えませんでした。	16
～もの	これは食べたくない。嫌いなんだもの。	16
～ものだ	人間は本来一人では生きられないものだ。	23
～というものだ	仕事を途中で投げ出すのは、無責任というものだ。	23
～ものだ	人との出会いは大切にすものだ。	24
～ものではない	気軽に人にお金を貸すものではない。	
～ものか	あんな人とはもう一緒に仕事をするものか。	24
～たいものだ	将来はこんな家に住みたいものだ。	26
～てほしいものだ	今度こそ実験が成功してほしいものだ。	
～ものだ	子供のころはこの川で泳いだものだ。	26
～ものだ	時間が過ぎるのは早いものだ。	26
～ないもの(だろう)か	どうにかして母の病気が治らないものか。	26
～ものがある	毎日遠くから通勤するのはつらいものがある。	26



こと	～(のこと)となると	山口さんは山の <sup>が</sup> こととなると目が <sup>が</sup> 輝く。	13
	～ないことには	お金がない <sup>す</sup> ことには、この計画は進められない。	15
	～ことだし	雨もやんだ <sup>す</sup> ことだし、ちょっと出かけてこよう。	17
	～のことだから	みち子の <sup>ごうかく</sup> ことだから、きっと合格できるだろう。	17
	～ことだ	太らないようにするには、夜遅く <sup>おそ</sup> 食べない <sup>こと</sup> だ。	24
	～ことはない	電話で済む <sup>す</sup> から、わざわざ行く <sup>こと</sup> はない。	24
	～ことだ	いい <sup>ともだち</sup> 友達がいるのはありがたい <sup>こと</sup> だ。	26
	～ことだろう	この <sup>しろ</sup> 城を作るのに、何年かかった <sup>こと</sup> だろう。	26
	～ことか	早く寝ろと子供に何回 <sup>なんかい</sup> 注意した <sup>こと</sup> か。	
	～こと	⇒「～しなさい・～してはいけない」と指示を出す <sup>しじ</sup> 言い方。 ①【 <sup>ばんしょ</sup> 板書】レポートは5日までに提出 <sup>ていしゅつ</sup> すること。 ②【 <sup>たふだ</sup> 立て札】この池では釣り <sup>いけ</sup> をしな <sup>つ</sup> いこと。 🌀 動 辞書形/ない形 +こと	*
	～ことなく	⇒～しないで、あることをする・ある <sup>じょうたい</sup> 状態だ。 ①夏の間も休む <sup>げんこう</sup> ことなく、原稿 <sup>か</sup> を書き続 <sup>つづ</sup> けた。 ②母は何を言われても怒る <sup>おこ</sup> ことなく、いつもにこにこしていた。 🌀 動 辞書形 +ことなく	*
	～ことに	⇒ある出来事 <sup>できごと</sup> に対する話者の感想 <sup>かんそう</sup> を言う。 ①不思議な <sup>ふしぎ</sup> ことに、真冬 <sup>まふゆ</sup> なのに桜 <sup>さくら</sup> が咲いた。 ②ありがたい <sup>りやうしん</sup> ことに、両親 <sup>けんざい</sup> は健在です。 🌀 動 た形・イ形 い・ナ形 な +ことに	*
	～ことは～が	⇒「～は <sup>じじつ</sup> 事実だが」と前置 <sup>まえお</sup> きしてから、後 <sup>あと</sup> のことを強調 <sup>きやうちやう</sup> する。 ①この本は高い <sup>こと</sup> は高い <sup>が</sup> 、とても役 <sup>やく</sup> に立 <sup>た</sup> つ。 ②あの映画は見た <sup>こと</sup> は見た <sup>が</sup> 、内容 <sup>ないよう</sup> がよくわからなかった。 🌀 普通形 (ナ形 だ-な・名 だ-な) +ことは +普通形 +が	*
	～ということだ ～とのことだ	⇒伝聞 <sup>でんぶん</sup> の <sup>い</sup> 言い方 <sup>かた</sup> ①このレストランでは、野菜はすべて自家製 <sup>じかせい</sup> のものを使 <sup>つか</sup> っている <sup>こと</sup> だ。 ②中山さんは今日来 <sup>き</sup> られない <sup>こと</sup> でした。 🌀 普通形 +ということだ・とのことだ	*

練習1 ( )の中の言葉を適当な形にして、 \_\_\_\_\_ の上に書きなさい。

- 1 子供のころ、よくこの公園で \_\_\_\_\_ ものだ。(遊ぶ)
- 2 お客様が帰るときは、見えなくなるまで \_\_\_\_\_ ですよ。(見送る)  
すぐに家の中に \_\_\_\_\_ ものではありませんよ。(入る)
- 3 せっかく手に入れた宝物を、そんなに簡単に他人に \_\_\_\_\_ ものか。(渡す)
- 4 大切にしていたこの皿が欠けてしまったのは \_\_\_\_\_ ものがある。(残念だ)
- 5 旅行の荷物はなるべく少なくしたいとは \_\_\_\_\_ ものの、いろいろ持っていきたいくなる。(思う)
- 6 わたしは動物アレルギーで、犬や猫の近くに \_\_\_\_\_ ものなら、たちまちくしゃみが始める。(寄る)
- 7 何にでも \_\_\_\_\_ ものなら歌手になってみたい。(なる)
- 8 図書館の中では静かに \_\_\_\_\_ ほしいものだ。(する)
- 9 国際化が \_\_\_\_\_ とはいうものの、外国人との交流に慣れていない人は多い。(進む)
- 10 この余っている紙を何かに利用することは \_\_\_\_\_ ものか。(できる)
- 11 昼ご飯は \_\_\_\_\_ ことは \_\_\_\_\_ が、時間がなかったのでおにぎり一つだけだ。  
(食べる)
- 12 ジョギングを始めてみたが、果たしていつまで \_\_\_\_\_ ことだろう。(続く)
- 13 天気も \_\_\_\_\_ ことだし、散歩にでも行きませんか。(いい)
- 14 \_\_\_\_\_ ことに、ケンさんは今日遅刻しないで来た。(珍しい)
- 15 実際に \_\_\_\_\_ ことには、そのゲームが面白いかどうかわからない。(やってみる)
- 16 かおりさんはもう書類は全部 \_\_\_\_\_ とのことだ。(提出する)
- 17 好きじゃなかったら、無理に \_\_\_\_\_ ことはない。(食べる)
- 18 会社の近くに住んでいたなら、どんなに通勤が \_\_\_\_\_ ことか。(楽だ)
- 19 うわさが本当かどうか知りたければ、直接本人に \_\_\_\_\_ ことだ。(確かめる)
- 20 名曲は、いつの時代も \_\_\_\_\_ ことなく愛される。(変わる)



**練習2** 「もの」か「こと」を\_\_\_\_\_の上書きなさい。

- 1 【張り紙<sup>はがみ</sup>】部屋<sup>へや</sup>に入るときは必ずノックをする\_\_\_\_\_。
- 2 何とか締め切り<sup>しきり</sup>の日<sup>ひ</sup>を延ば<sup>のび</sup>してもらえない\_\_\_\_\_だろうか。
- 3 この説明<sup>せつめい</sup>は、どうも納得<sup>なつとく</sup>できない\_\_\_\_\_がある。
- 4 困<sup>こま</sup>ったときあなた<sup>あなた</sup>がいてくれて、どんなに心強<sup>こころづよ</sup>かった\_\_\_\_\_か。
- 5 必ず行<sup>かな</sup>くと約束<sup>やくそく</sup>した\_\_\_\_\_の、実<sup>じつ</sup>はあまり行きたくない。
- 6 山本先生<sup>やまもとせんせい</sup>の息子<sup>むすこ</sup>さんは、来年大学<sup>らいねんだいがく</sup>に入られるという\_\_\_\_\_だ。
- 7 ビデオカメラ<sup>ビデオカメラ</sup>は持っている\_\_\_\_\_は持っているが、ほとんど使<sup>つか</sup>っていない。
- 8 早い\_\_\_\_\_で、今年もあと1か月だ。
- 9 念<sup>ねん</sup>のために傘<sup>かさ</sup>を持<sup>も</sup>っていったが、使<sup>も</sup>う\_\_\_\_\_なく持ち帰<sup>もかえ</sup>った。
- 10 外国語<sup>とくご</sup>が得意<sup>とくい</sup>な小川<sup>こがわ</sup>さんの\_\_\_\_\_だから、いい仕事<sup>しごと</sup>が見つかるでしょう。
- 11 ちょっと今日は急<sup>いそ</sup>いでいる\_\_\_\_\_ですから、お先<sup>しつぱい</sup>に失礼<sup>しつれい</sup>します。
- 12 母<sup>はは</sup>は機械<sup>きがい</sup>の\_\_\_\_\_となると、まるでだめだ。

**練習3** 適<sup>てきとう</sup>当<sup>えら</sup>なものを選<sup>えら</sup>びなさい。

- 1 わたしはちょっとでもお酒<sup>さけ</sup>を( )、体中<sup>ま</sup>真<sup>ま</sup>っ赤<sup>か</sup>になってしまう。
 

a 飲 <sup>の</sup> もうものなら	b 飲 <sup>の</sup> めるものなら
c 飲 <sup>の</sup> んだことだから	d 飲 <sup>の</sup> めることには
- 2 このダイエット<sup>ダイエット</sup>食品<sup>しょくひん</sup>は、味<sup>あじ</sup>の種<sup>しゅるい</sup>類<sup>るい</sup>が多<sup>おほ</sup>くておい<sup>おい</sup>しいので、( )続<sup>つづ</sup>けられます。
 

a 飽 <sup>あ</sup> きないもので	b 飽 <sup>あ</sup> きないことで
c 飽 <sup>あ</sup> きることなく	d 飽 <sup>あ</sup> きるものではなく
- 3 スキー<sup>スキー</sup>の道<sup>どうぐ</sup>具<sup>ぐ</sup>を持<sup>も</sup>っていなくても、貸<sup>か</sup>してもらえ<sup>え</sup>ますから、自分<sup>自分</sup>で( )。
 

a 買 <sup>か</sup> わないことす	b 買 <sup>か</sup> うことありません
c 買 <sup>か</sup> わないものです	d 買 <sup>か</sup> うものではありません
- 4 高<sup>たか</sup>い服<sup>ふく</sup>をもつたいないからと着<sup>き</sup>ないでいるのは、それこそもつたいない( )。
 

a ことか	b ものか	c というものだ	d ということだ
-------	-------	----------	----------
- 5 驚<sup>おどろ</sup>いた( )、わたしとミキ<sup>ミキ</sup>さんは生<sup>せいねんがっぴ</sup>年月<sup>ねんげつ</sup>日<sup>にち</sup>が同<sup>おな</sup>じだつた。
 

a ことに	b もので	c こととなると	d ものがあつて
-------	-------	----------	----------
- 6 当<sup>とうじ</sup>時<sup>じ</sup>はお正月<sup>しょうげつ</sup>には毎年<sup>まいねん</sup>家<sup>け</sup>族<sup>ぞく</sup>で神<sup>じんじや</sup>社<sup>しゃ</sup>にお参<sup>まい</sup>りに行<sup>い</sup>った( )。
 

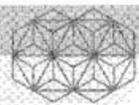
a ことがある	b ことだ	c ものがある	d ものだ
---------	-------	---------	-------

# E 「わけ・ところ」を使った言い方

N2の文法形式には「わけ」「ところ」を使ったものがあります。整理しておきましょう。

(\*はここで初めて学習する文法形式)

文法形式	例	課
わけ	<p>～わけがない こんなに重い物を一人で運べるわけがない。</p> <p>～わけではない いつでも電話に出られるわけではない。</p> <p>～というわけではない ペンならどれでも同じというわけではない。</p> <p>～わけにはいかない 今日は試験なので、休むわけにはいかない。</p> <p>～ないわけに(は)いかない 妹の結婚式に出席しないわけにはいかない。</p> <p>～わけだ ⇒当然そういうことになる。</p> <p>～というわけだ ①そんなに残業しているんですか。それでは疲れるわけですよ。 ②会費は1人1,500円です。ということは7人で1万500円になるわけですね。 ③産地直送ですか。それで安いというわけですね。</p> <p>普通形 (ナ形) だ-な/-である・(名) だ-の/-な/-である) +わけだ 普通形 (ナ形) (だ)・(名) (だ) +というわけだ</p>	12 12 18 25 *
ところ	<p>～どころではない 連休中も休むどころではなく、毎日残業だ。</p> <p>～どころか 部屋の中は涼しいどころか、35度もあった。</p> <p>～どころではない 眠くて仕事どころではない。</p> <p>～たところ メールを送ったところ、すぐに返事が来た。</p> <p>～ところだった もう少しで車にぶつかるところだった。</p> <p>～ところから ⇒ある出来事の直接の原因や、判断や決定の根拠を言う。</p> <p>～ことから ①この木は雪がかかったように花が咲くところから、「雪柳」という名前がついた。 ②同じ町の出身だとわかったことから、彼女と親しくなった。 ③顔がとてもよく似ていることから、二人は兄弟だとすぐにわかった。</p> <p>普通形 (ナ形) だ-な/-である・(名) だ-である) +ところから・ことから</p>	12 18 20 20 *



**練習1** 適<sup>てきとう</sup>当<sup>えら</sup>なものを選びなさい。

- 日本で就職活動<sup>しゅうしょくかつどう</sup>をしなければならないので、今年の夏は国へ( )。
  - 帰るわけにはいかない
  - 帰らないわけにはいかない
  - 帰るわけではない
  - 帰らないわけではない
- 普段<sup>ふだん</sup>は外食<sup>がいしょく</sup>が多いが、料理<sup>りょうり</sup>が( )。忙しいのだ。
  - できるわけにはいかない
  - できないわけにはいかない
  - できるわけではない
  - できないわけではない
- ダイエットを始めたが、やせる( )逆<sup>さか</sup>に太ってしまった。
  - ところが
  - どころか
  - ところで
  - どころで
- 新聞の広告<sup>しょうひん</sup>を見てさっそく商品<sup>ちゆうもん</sup>を注文<sup>じゆん</sup>した( )、すぐに商品が送られてきた。
  - ところで
  - ところを
  - ところ
  - ところが
- 子供<sup>こども</sup>の時に1度会っただけの人の顔を( )。
  - 覚<sup>おぼ</sup>えているわけにはいかない
  - 覚えているわけがない
  - 覚えていないわけではない
  - 覚えていないわけだ
- 駅<sup>えき</sup>にあと1分遅く着いたら、電車に( )。
  - 乗れないところだった
  - 乗れるどころではなかった
  - 乗れないわけだった
  - 乗れるわけではなかった

**練習2** 「ところ」か「どころ」か「わけ」を \_\_\_\_\_ の上に書きなさい。

- 前にその本を買ったことをすっかり忘<sup>わす</sup>れて、もう一冊<sup>さつ</sup>買ってしまう \_\_\_\_\_ だった。
- 今は働<sup>はたら</sup>いていないが、働きたくない \_\_\_\_\_ ではない。
- バスはすいている \_\_\_\_\_ か、超満員<sup>ちゆうまんいん</sup>だった。
- 琵琶湖<sup>びわこ</sup>の名は、形<sup>かたち</sup>が琵琶<sup>びわ</sup>という楽<sup>が</sup>器<sup>き</sup>に似<sup>に</sup>ている \_\_\_\_\_ からつけられた。
- 飛行機<sup>ひこうき</sup>は朝<sup>あ</sup>早いですが、眠<sup>ねむ</sup>ければ機内<sup>きない</sup>で寝<sup>ね</sup>てしまえばいい \_\_\_\_\_ ですから、大丈夫<sup>だいじゆうぶ</sup>です。
- このココア、そんなに砂糖<sup>さとう</sup>が入<sup>い</sup>っているんですか。道理<sup>どうり</sup>で甘<sup>あま</sup>い \_\_\_\_\_ だ。

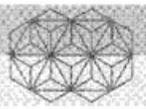
# F 二つの言葉を組にする言い方・助詞

N2の文法形式には、同じ言葉、対になる言葉を2回重ねて言う表現があります。同じ言葉を重ねるのは、主に例を挙げるものです。また、特別な使い方の助詞も整理しましょう。

(\*はここで初めて学習する文法形式)

文法形式	例	課
～やら～やら	四角いものやら丸いものやらいろいろな形の皿がある。	10
～というか～というか	このクラスはうるさいというかにぎやかというか……。	10
～にしても～にしても ～にしろ～にしろ ～にせよ～にせよ	野菜にしても魚にしても、材料は新鮮なほうがいい。 入院するにしろ通院するにしろ、お金がかかるだろう。 与党にせよ野党にせよ、リーダーは責任が重い。	10
～だの～だの	⇒うんざりというニュアンスで例を挙げる。【話し言葉】 ①弟の部屋は、紙くずだの空きかんだのでいっばいだ。 ②隣のうちの人は、ごみの出し方が悪いだの夜の洗濯はだめだの、文句ばかり言う。 ☞ 名・普通形(ナ形) + だの	*
～か～ないかのうちに	夜が明けたか明けないかのうちに家を出た。	1
～(よ)うか～まいか	旅行に行こうか行くまいか迷っている。	24

助詞	文法形式	例	課
とは	～とは	留学とは外国で勉強することだ。	13
ぐらい・くらい	～ぐらい・～くらい	わからない言葉ぐらい調べてきなさい。	21
など・なんか・なんて	～など・～なんか・ ～なんて	医者になんかならなければよかった。	21
まで	～まで・～までして	この山小屋には電子レンジまでである。 借金までして車を買うんですか。	21
として	～として～ない	この寒さには1日として我慢できない。	21
さえ	～さえ	のどが痛くておかゆさえ食べられない。 お金さえあれば、この困難を乗り越えられる。	21
のみ	～のみ	⇒限定を表す。【硬い言い方】 ①ここから先は、関係者のみ入場可とする。 ②土日のみのアルバイトを探している。 ☞ 名 + のみ	*



**練習1**  から最も適切な言い方を選び、( )の中の言葉を適切な形にして、 の上に書きなさい。

～か～ないかのうちに    ～(よ)うか～まいか    ～やら～やら  
 ～というか～というか    ～にしても～にしても    ～だの～だの

- この作家の文章は\_\_\_\_\_、とにかく深刻であることは確かだ。  
(重い・暗い)
- 弟は毎朝\_\_\_\_\_と言って、なかなか起きようとしなない。  
(頭が痛い・おなかが痛い)
- 引っ越したばかりで、\_\_\_\_\_買わなければならない  
ものがいろいろある。  
(カーテン・机)
- \_\_\_\_\_、映画を見るのは楽しい。  
(映画館で見る・DVDで見る)
- \_\_\_\_\_、メールの返事が来た。(5分たつ・たたない)
- 少し高そうな店だったので、\_\_\_\_\_しばらく中の様子を  
のぞきながら考えていた。  
(入る・入らない)

**練習2**  から適当なものを選び、 の上に書きなさい。  
(一つの言葉を1回だけ使います。)

とは    ぐらい    など    のみ    まで    さえ    として

- 交通の便\_\_\_\_\_よければ、この町はもっと観光客が増えると思うのですが……。
- 【注意書き】こちらの商品のご注文は、お一人様1点\_\_\_\_\_とさせていただきます。
- 大雨が降ると聞いて長靴\_\_\_\_\_履いていったが、午後は晴れた。
- 小学校に上がる前に、自分の名前\_\_\_\_\_は読み書きできたほうがいい。
- わたしはうそ\_\_\_\_\_言っていない。全部本当のことだ。
- 一生の仕事\_\_\_\_\_どういふことかをよく考えて、会社を辞めた。
- このボタンは手作りなので、全く同じものは一つ\_\_\_\_\_ない。

N2の文法形式は、それぞれに文法的性質を持っていて、文を作るときの制約になります。  
以下のような文法的性質に気をつけながら学習しましょう。

### 1 事実か気持ちが入っているか

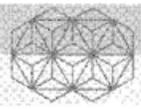
- a) 後に話者の希望・意向を表す文や働きかけの文が来る  
 ～次第(3課) ～ものなら(15課) ～からには・～以上は・～上は(17課)  
 ～ことだし(17課) ～てでも(21課)
- b) 後に話者の希望・意向を表す文や働きかけの文は来ない  
 ～たとたん(に)(1課) ～(か)と思うと・～(か)と思ったら(1課)  
 ～か～ないかのうちに(1課) ～もかまわず(11課) ～にもかかわらず(14課)  
 ～ものの・～とはいうものの(14課) ～とすると・～となると(15課) ～ものだから(16課)  
 ～おかげだ／～せいだ(16課) ～あまり・あまりの～に(16課) ～だけに(17課)  
 ～ばかりに(17課) ～たところ(20課) ～ぎり(20課)
- c) 後に推量の文が来る  
 ～(よ)うものなら(15課) ～のことだから(17課)

### 2 自分か他者か

- a) 一人称が主語の文で使う  
 ～わけにはいかない(18課) ～てしかたがない(25課) ～てならない(25課)  
 ～ないではいられない・～ずにはいられない(25課) ～ないわけに(は)いかない(25課)  
 ～ざるを得ない(25課) ～たいものだ(26課)
- b) 三人称が主語の文で使う  
 ～(か)と思うと・～(か)と思ったら(1課) ～とみえる(22課)

### 3 プラスイメージかマイナスイメージか

- a) 後に主にマイナスイメージの文が来る、または全体としてマイナスイメージの文になる  
 ～ばかりだ・～一方だ(2課) ～せいだ(16課) ～ばかりに(17課)  
 ～どころではない(18課) ～あげく(20課) ～ずじまいだ(20課) ～かねない(22課)  
 ～おそれがある(22課) ～てならない(25課)
- b) 後に主にプラスイメージの文が来る、または全体としてプラスイメージの文になる  
 ～にかけては(7課) ～おかげだ(16課) ～だけ(のことは)ある(19課)



**練習1** どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 詳しい情報が入り次第、  
a お知らせいたします。  
b 関係者が知らせてくれた。
- 2 手術を避けられるものなら  
a 避けたいのだが、そうはいかないだろう。  
b ほかの治療方法があるのではないか。
- 3 山川先生が病気だと聞いたからには  
a ぜひお見舞いに行かなくては。  
b あしたお見舞いに行くことにした。
- 4 夕立がやんだかと思ったら、  
a すぐに工事を再開しよう。  
b もう太陽が出てきた。
- 5  
a 営業の仕事が忙しいので、人目もかまわずバスの中で昼ご飯を食べようと思う。  
b 営業の仕事が忙しらしく、彼は人目もかまわずバスの中で昼ご飯を食べている。
- 6 年末は道路が渋滞するものだから、  
a ふるさとへは電車で行きなさい。  
b ふるさとへは電車で行くことにした。
- 7 いつもとは違うコースをドライブしてみたところ、  
a 珍しい景色を楽しみましょう。  
b 珍しい景色に出会えた。
- 8 泣いている子供を見て、  
a 母は声をかけずにはいられなかった。  
b わたしは声をかけずにはいられなかった。
- 9  
a わたしもこんなすばらしい花の庭を作ってみたいものだ。  
b 花子さんもこんなすばらしい花の庭を作ってみたいものらしい。
- 10  
a 玄関のチャイムが鳴ったかと思うと、大勢のお客さんが入ってきた。  
b 今日はとても眠かった。夕食を食べ終わったかと思うとすぐ寝てしまった。
- 11  
a わたしはどうも風邪を引いたとみえる。熱がある。  
b あの人は風邪を引いているとみえる。さっきからせきばかりしている。
- 12 この報告書だと、また課長に  
a 文句を言われかねない。  
b ほめられかねない。
- 13 右手の指にけがをしたばかりに、  
a パソコンをいつもの速さで打てなかった。  
b まゆみさんが親切に包帯を巻いてくれた。
- 14 夜、コーヒーを1杯飲んだばかりに、  
a 明け方まで眠れなかった。  
b 明け方まで試験勉強がよくできた。

# 実力養成編

## 第2部 文の文法2

語と語を結びつけて意味の通る文を組み立てるためには、文法的な決まりを考えながら語を並べていかなければなりません。文法形式の意味や用法がわかることだけではなく、実際に文を組み立てられることが大切です。

# 1 課 ぶん く た き かたち 文の組み立て - 1 決まった形

文を組み立てるときは、組み立てのルールに従わなければなりません。そのうち、ぜひ覚えておくべきルールは次のようなものです。

## 1 後に否定の言い方が来るもの

- ・～てからでない と 現地を見てからでないと、何とも申しあげられません。(第1部3課)
- ・～に限って かぎ あの子に限ってうそをつくはずがない。(第1部5課)
- ・～からといって 正月だからといって、仕事を休めるわけではない。(第1部14課)
- ・～ないことには ひんしつ 安いからといって、品質が悪いとは限らない。
- ・～を抜きにしては たいりよく 体力がないことには、せきにん 責任のある仕事はできない。(第1部15課)
- ・～として～ない じっごう 山下さんを抜きにしては、この計画は実行できない。(第1部15課)
- ・～として～ない さけ 1日として酒を飲まない日はなかった。(第1部21課)

## 2 疑問詞につくもの

- ・～にしても・にしろ・にせよ どちらにしてもやらなければならないことは同じだ。(第1部15課)
- ・～として～ない だれ一人として会長の意見に賛成する者はいなかった。(第1部21課)
- ・～ことだろう・ことか あの子にはもう何度注意したことか。(第1部26課)

## 3 数字につくもの

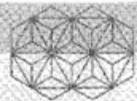
- ・～として～ない さいつ 古い本を1冊として残さず、す捨ててしまった。(第1部21課)

## 4 後に名詞が来るもの

- ・～といった わたしはうどん、そばといっためん類が好きなだ。(第1部10課)

## 5 だいたい決まった組み合わせで使うもの

- ・～さえ～ば ひま 弟は暇さえあればインターネットで何か見ている。(第1部21課)
- ・～を～にして 漢字をもとにして、ひらがなとカタカナが作られた。
- ・～を～として さくや かんとう ちほう 昨夜、関東地方を中心として、おおあめ ふ大雨が降った。
- ・たとえ～としても・せいかい まちが たとえ正解でないにしても、大きく間違ってはいないはずだ。  
にしても・にしろ・にせよ (第1部15課)
- ・なにも～ことはない おこ なにもそんなに怒ることはないでしょう。(第1部24課)
- ・なんと～ことだろう・ことか ふんせきりよく するど マリさんの分析力はなんと鋭いことだろう。(第1部26課)



練習1 次の文の★に入る最もよいものを1・2・3・4の中から一つ選びなさい。

- 1 一度ぐらい店長にしかられた \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ でしょう。  
 1 ことはない      2 なにも      3 からといって      4 店を辞める
- 2 ぜひ買ってほしいと \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 気にはなりません。  
 1 買う      2 言われても      3 でないと      4 現物を見てから
- 3 帰国の前日、家具が \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 部屋を掃除した。  
 1 として      2 一つ      3 残っていない      4 何
- 4 わたしの主張が認められなくて \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ と思う。  
 1 悔しかった      2 どんなに      3 わかってもらえない      4 ことか
- 5 君が \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ から必ず来てくれ。  
 1 バンド演奏が      2 来ない      3 できない      4 ことには
- 6 あいさつを \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 決めておかなければならない。  
 1 頼む      2 スケジュールは      3 にしても      4 だれに
- 7 このたび、この町の \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 会が活動を開始しました。  
 1 する      2 目的と      3 交流を      4 外国人と日本人の
- 8 彼はたとえ \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ だろう。  
 1 一度決めた      2 にしても      3 進路を変えない      4 困難である
- 9 うちでは \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 専業主婦のわたしがやっているんです。  
 1 といった      2 面倒なことは      3 家事や育児      4 みんな
- 10 この村は \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ としてもっと発展するのに。  
 1 さえ      2 観光の名所      3 よければ      4 交通の便
- 11 周囲の人たちの \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ と思う。  
 1 協力を      2 優勝は      3 無理だった      4 抜きにしては
- 12 H氏に \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ と思っていたのに……。  
 1 発言をする      2 はずはない      3 限って      4 そんな

名詞を説明するには、名詞に「の」をつけて前に置く、形容詞を用いる、文の終わりを普通形にして前に置く以外に、次のような形式があります。

1 助詞+の+名詞

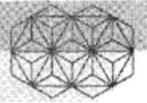
- ・東京駅まで行く切符→東京駅までの切符
- ・踏み切りで起こった事故→踏み切りでの事故
- ・両親とした話し合い→両親との話し合い
- ・母にあげる贈り物→母への贈り物 (× 母にの贈り物)

2 助詞相当語+の+名詞

- |                           |                                 |
|---------------------------|---------------------------------|
| (動詞などを説明する形)              | (名詞を説明する形)                      |
| ・就職する <u>にあたって</u> 必要な準備  | → 就職する <u>にあたって</u> の準備 (第1部1課) |
| ・試験開始に際して <u>伝える</u> 注意事項 | → 試験開始に際しての <u>注意事項</u> (第1部1課) |
| ・新しい監督の <u>もとで</u> 行う練習   | → 新しい監督の <u>もとで</u> の練習 (第1部8課) |
| ・大使館を <u>通じて</u> 行う連絡     | → 大使館を <u>通じて</u> の連絡 (第1部4課)   |
| ・親として <u>果たす</u> 責任       | → 親として <u>の</u> 責任 (第1部19課)     |

3 助詞相当語のた形・辞書形+名詞

- |                          |                                   |
|--------------------------|-----------------------------------|
| (動詞などを説明する形 た形)          | (名詞を説明する形 た形)                     |
| ・民謡を <u>もとにして</u> 作った歌   | → 民謡を <u>もとにして</u> した歌 (第1部8課)    |
| ・経験に <u>基づいて</u> 判断する    | → 経験に <u>基づいて</u> した判断 (第1部8課)    |
| ・計画表に <u>沿って</u> 作業を進める  | → 計画表に <u>沿って</u> した作業の進行 (第1部8課) |
| ・年齢に <u>応じて</u> 運動量を調整する | → 年齢に <u>応じて</u> した運動量の調整 (第1部9課) |



(動詞などを説明する形 て形)

(名詞を説明する形 辞書形)

- ・工事<sup>こうじ</sup>は5年にわたって続けられた → 5年にわたる **工事** (第1部4課)
- ・桜<sup>さくら</sup>をはじめとしていろいろな花が咲く → 桜をはじめとするいろいろな **花** (第1部4課)
- ・事故原因<sup>じこげんいん</sup>に関して調べる → 事故原因に関する **調査** (第1部7課)
- ・目上の人<sup>めうえ</sup>に対して礼儀正しくする → 目上の人に対する **礼儀** (第1部7課)
- ・要望<sup>ようぼう</sup>にこたえて予算<sup>よさん</sup>を組み替えた → 要望にこたえる予算の **組み替え** (第1部7課)
- ・創立者<sup>そうりつしゃ</sup>の精神<sup>せいしん</sup>に基づいて教育する → 創立者の精神に基づく **教育** (第1部8課)
- ・政府<sup>せいふ</sup>の方針<sup>ほうしん</sup>に沿って開発を計画する → 政府の方針に沿う **開発計画** (第1部8課)
- ・体力向上<sup>たいりくこうじょう</sup>に伴って気力も回復する → 体力向上に伴う気力の **回復** (第1部9課)
- ・地震<sup>じしん</sup>によって津波が起きた → 地震による **津波** (第1部16課)
- ・京都<sup>きょうと</sup>において会議が開かれた → 京都における **会議** (第1部A)

④「～という・～との」+ **名詞** (内容を説明する場合)

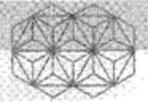
- ・弟が学校の窓<sup>まど</sup>ガラスを割<sup>わ</sup>ったという **知らせ**
- ・リンさんは話がとても面白<sup>おもしろ</sup>いという **評判**
- ・兄<sup>けっこん</sup>が結婚するとの **手紙**

\*同時に形容詞や、「その」「あの」「そんな」などでも説明する場合は、ふつうそれらを名詞のすぐ前に置く。

- ・兄が結婚するという うれしい **手紙**
- ・おばけが出るという 変な **うわさ**
- ・日本チームが金メダルを取<sup>と</sup>ったという あの **ニュース**

練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 (a 現場へ b 現場への) 直行するときは、先に知らせてください。
- 2 あしたの会では (a 外国から b 外国からの) お客様が歌ったり踊ったりするそうで、楽しみです。
- 3 (a 向こうから b 向こうからの) バスが来ますが、公園行きでしょうか。
- 4 (a 母に b 母への) プレゼントしたいと思って、花を買いに行った。
- 5 本田氏は有能な経営者 (a として b としての) 国の内外で知られている。
- 6 本製品ご使用 (a にあたって b にあたっての) 下記のような点にご注意ください。
- 7 数学の歴史 (a について b についての) 本を探した。
- 8 若者の職業意識 (a に関して b に関する) 研究所で調査した結果を雑誌に発表した。
- 9 彼は有名なクラシック音楽 (a をもとにして b をもとにした) 日本人向けに編曲した歌を作っています。
- 10 この店はパーティーの予算 (a に応じて b に応じた) 献立が好評だ。
- 11 1週間 (a にわたって b にわたる) 特別研修が明日で終わる。
- 12 電気製品は法律 (a に基づいて b に基づく) 処理によって、リサイクルが進められる。
- 13 君の言い方はお客様 (a に対して b に対する) 失礼ではないですか。

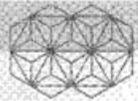


練習2 つぎ ぶん 次の文の ★ に入る最もよいものを1・2・3・4の中から一つ選びなさい。

- 1 新しい店をオープンする \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ かたまってきた。  
 1 の 2 ようやく 3 にあたって 4 方針が
- 2 市民の \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 目指しています。  
 1 街づくりを 2 願いに 3 こたえる 4 しっかり
- 3 今世紀に \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ この世からなくすことだ。  
 1 課題の一つは 2 最大の 3 人種差別を 4 おける
- 4 今朝の新聞に、8歳の子が \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 記事が載っていた。  
 1 という 2 一人で 3 びっくりするような 4 全国を旅した
- 5 母が日本へ来る \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 大好きな食品が数々送られてきた。  
 1 とともに 2 との 3 兄からの 4 知らせ
- 6 地球温暖化に \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 面でも深刻な問題である。  
 1 経済的な 2 影響は 3 天候の変化の 4 よる
- 7 うちの子は、夜遅く寝て \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 習慣がついてしまった。  
 1 遅く起きる 2 困った 3 という 4 朝は
- 8 気温の変化に \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 楽しみにもなっている。  
 1 景色の 2 人々の暮らしの 3 移り変わりは 4 伴う
- 9 母から、 \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 写真とともに届いた。  
 1 メールが 2 いい香りの 3 という 4 花が咲いた
- 10 この週刊誌に、現地で \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 記事が載っている。  
 1 事実 2 調べた 3 基づく 4 くわしく
- 11 マニュアル \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ できないと思います。  
 1 に沿った 2 いい営業は 3 だけでは 4 対応
- 12 現代の若者の、 \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 先生はどう思われますか。  
 1 政治 2 無関心 3 に対する 4 について

N2の文法形式には否定の形「～ない」がつくものが多いです。「ない」がどんな言葉とつながっているかを覚えておくと、効率的に文を組み立てることができるでしょう。

ないにつながる形		例	課
～わけが	ない	あの子が事故を起こすわけがない。	12
～どころでは	ない	外は小雨どころではない。大荒れだ。	12
～わけでは	ない	わたしは毎日早起きするわけではない。	12
～というわけでは	ない	勉強は楽しくないというわけではない。	12
～というものでは	ない	安ければいいというものではない。	12
～ようが	ない	そんな質問には答えようがない。	18
～どころでは	ない	暑くてマラソンするところではない。	18
～しか	ない	謝って許してもらえない。	23
～よりほか		銀行からお金を借りるよりほかない。	
～ものでは	ない	人の悪口など言うものではない。	24
～ことは	ない	そんなに心配することはありませんよ。	24
～てしかたが	ない	このごろ目が疲れてしかたがない。	25
～わけには	いかない	ここで仕事を辞めるわけにはいかない。	18
～に	ちが 違くない 相違ない	この商品は売れるに違くない。 この治療法は効果的であるに相違ない。	22
～に	すぎない	ただやるべきことをやったにすぎない。	23
～に	ほかならない	仕事は生活のためにほかならない。	23
～に	こ 越したことはない	早めに行くに越したことはない。	23
～て	たまらない	のどが渴いてたまらない。	25
～て	ならない	検査の結果が気になってならない。	25
～ないでは	いられない	お酒を飲まないではいられない。	25
～ずには		おかしくて笑わずにはいられなかった。	
～ないわけに(は)	いかない	病院へ行かないわけにはいかない。	25
～ざるを	え 得ない	この説明は不十分と言わざるを得ない。	25



練習1 つぎのぶん ★ に入る最もよいものを1・2・3・4の中から一つ選びなさい。

1 これは難しい \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ ない。

- 1 読める                      2 5歳の子に                      3 わけが                      4 漢字だから

2 せっかくの連休に子供が \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ ずっと子供のそばにいた。

- 1 遊びに行く                      2 熱を出して                      3 ではなく                      4 どころ

3 この病気は \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 時間をかけて体質改善をしなければならない。

- 1 治る                      2 という                      3 薬を飲めば                      4 ものではなく

4 知らないことは \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 友達にしつこく聞かれた。

- 1 ある人の                      2 ないのに                      3 問題について                      4 答えようが

5 初めは単なる \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ わかって驚いた。

- 1 事実だと                      2 すぎないと                      3 うわさに                      4 思っていたことが

6 最近、最後まで \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 番組が多い。

- 1 おもしろい                      2 いられない                      3 見ずには                      4 ような

7 今後どうなるか \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ ありませんよ。

- 1 今から心配する                      2 わからない                      3 ことを                      4 ことは

8 どんな時にも \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 、お金には代えられないものもある。

- 1 お金は                      2 越したことは                      3 あるに                      4 ないが

9 父が \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ わけにはいかなかった。

- 1 失望する                      2 話す                      3 本当のことを                      4 かと思うと

10 人生には、時間が過ぎるのを \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ ある。

- 1 待つ                      2 しかない                      3 静かに                      4 ことも

11 この仕事が無事に \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 、心から感謝している。

- 1 チームワークが                      2 終わったのは                      3 ほかならず                      4 よかったからに

12 明日にでも \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ わけではありませんが、慎重に考えたほうがいいですよ。

- 1 気持ちも                      2 という                      3 会社を辞めたい                      4 わからない

# 実力養成編

だい ぶ ぶんしょう ぶんぽう  
第3部 文章の文法

ぶんはいくつかつらなってひとつづのまとまり(ぶんしょう)になります。しかし、いちぶんいちぶんがただならんでいるだけではぶんしょうとは言えません。いちれんぶんがまとまってぶんしょうというたんいになるには、ぶんがゆるやかなきまりにしたがつながらつてひつようがあります。ぶんしょうにまとまりをあたえるゆるやかなきまりが「文章の文法」と呼ばれるものです。

# 1 課

## はじめと終わりが正しく対応した文

文章にまとまりを持たせるためには、文と文とが自然につながるようにすることが大切です。その基本として、それぞれの文もはじめと終わりが正しく対応していなければなりません。それには、以下のことに注意する必要があります。

### A 主語と述語の対応

◆主語と述語の関係には次の四つの型があります。長い文では主語と述語が離れていますから、注意が必要です。

主語	述語	例
何が(は) 名詞	何だ。 名詞	ここは50年前、静かな農村だった。 事故の原因はスピードの出しすぎである。
何が(は) 名詞	どうだ。 イ・ナ形容詞	富士山は雪景色が特に素晴らしい。 健康な生活をおくるには、良い生活習慣が大切だ。
何が(は) 名詞	どうする。 動詞	明日からYホールでゴッホの展覧会が開かれる。 今年は、この地方は4回も台風の被害を受けた。
何が(は) 名詞	ある・いる。	駅前には自転車置き場が数か所ある。 わたしは今、ゆっくりテレビを見る時間がない。

### B 文末の制限-1 決まった文末をとる表現

1. なぜなら・というのは・なぜかという + ～から(ため)である →第3部10課

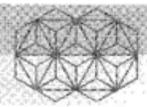
例・わたしは結局国へは帰らないで、日本に残ることにした。というのは、日本の精神風土がわたしに合っていると思われたからである。

2. ～かという + 「～」を否定する文

例・この作家の作品がすべて歴史的なものばかりかという、そんなことはない。中には軽いタッチの旅行案内もある。

3. ～の(=理由・原因)は + …から(ため)である・…である

例・今年の米の収穫量がいつもの年より少なかったのは、夏、天候が安定しなかったためである。  
・わたしは教師の道を選んだ。迷いなく選んだのは、教師だった父の影響だろう。



4. ~には +…がいる・…がある・…が多い・…が見られる

- 例・この地球上には、貧しいために教育を受けられない子供たちがいる。  
 ・このアンケート調査には、いくつか不十分な点がある。

5. ~には +…が必要だ・…が便利だ・…がかかる・…なければならない

- 例・我々は大きな仕事を頼まれた。期待に応えるにはしっかり協力し合うことが必要だ。  
 ・わたしの教育方針を理解してもらうには時間がかかる。丁寧に説明していかなければならない。

C 文末の制限-2 決まった文末をとる副詞

副詞	文末	例
全く たいして めったに 少しも 決して なにも 必ずしも	否定	わたしは進学することは <u>全く</u> 考えていない。 車の修理には <u>たいして</u> 費用はかから <u>なかった。</u> こんな素晴らしい景色は <u>めったに</u> 見られない。 健康についてはわたしは <u>少しも</u> 心配して <u>いない。</u> わたしは料理に化学調味料は <u>決して</u> 使 <u>いませ</u> ん。 <u>なにも</u> そんなに怒ることは <u>ない</u> でしょう。 値段が高いものが <u>必ずしも</u> いいとは <u>限ら</u> ない。
どうも・どうやら もしかしたら 恐らく まさか きっと	推量・ 否定の推量	あの二人は <u>どうやら</u> 恋人同士の <u>よう</u> だ。 <u>もしかしたら</u> 、林さんは今日来ない <u>か</u> もしれない。 <u>恐らく</u> 週末は忙しくなる <u>だ</u> ろう。 <u>まさか</u> 林さんは不合格には <u>なら</u> ない <u>だ</u> ろう。 彼は今ごろ <u>きっと</u> 困っている <u>に</u> 違 <u>い</u> ない。
まるで 今にも	様態	地面に桜が散って、 <u>まるで</u> 雪が降った <u>か</u> の <u>よう</u> だ。 あの子は <u>今にも</u> 泣き出し <u>そ</u> うな顔をしている。
一段と・ますます 次第に・徐々に	変化	最近、太郎は <u>一段と</u> 大人っぽく <u>な</u> った。 今後、経済は <u>次第に</u> 回復して <u>い</u> く <u>だ</u> ろう。
いったい 果たして	質問	<u>いったい</u> 君は何を考 <u>え</u> ている <u>か</u> 。 <u>果たして</u> わたしの予想は <u>あ</u> たる <u>だ</u> ろう <u>か</u> 。
すでに	完了	<u>すでに</u> 会場の準備は整 <u>っ</u> ている。

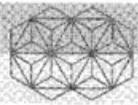
**練習1** どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 今、一番楽しみなのは、  
{ a 富士山に登って頂上から日の出を見たい。  
b 来週のパーティーで世界の各地から来た人たちと交流することだ。
- 2 アンケートに答えた人の中には、  
{ a 政治には全く期待できないという人もいた。  
b 27%の人が、政治には期待できないと答えた。
- 3 都会で一人暮らしをする上で気をつけるべきことは、  
{ a 防犯と日常の食事である。  
b 防犯と食事には特に注意する必要がある。
- 4 最近の新入社員には、  
{ a 指示を受けてからでないと行動できない傾向が見られる。  
b どうも指示を待ってからでないと行動できないらしい。
- 5 この事故の原因は、  
{ a 運転手が長時間労働のため、睡眠不足だったようだ。  
b 運転手の長時間労働による睡眠不足であるという。
- 6 この複雑なデータを処理するには  
{ a パソコンを使ってすぐやってしまう。  
b パソコンを使っても半日はかかる。

**練習2** どちらか適当な方を選びなさい。

マクラメが似合う季節になった。マクラメ編みのテーブルセンターやベルトなどが(① a よく見かける b 店先に並んでいる)。マクラメとは、ひもを何度も結び合わせて作っていく(② a 工芸が美しい b 工芸のことである)。ひものような細長いものなら何でも使える。麻糸、ビニールのひも、毛糸など。材料費がそれほど(③ a 高くないし b 安いし)、道具も全く(④ a 使わないから b 簡単だから)、だれでも作れる。

マクラメ(macrame)という(⑤ a 言葉は b 言葉には)、今は立派な英語になっているが、もともとは(⑥ a アラビア語になって b アラビア語で)、ミクラマ(miqrama)といい、交差して結ぶという意味である。独特の編み方、結び方はイスラム文化の中で生まれた人類の最も古い技術の(⑦ a 一つを言う b 一つである)。その後、北イタリアで盛んになり、今日に伝わる。19世紀、地中海貿易の船乗りたちも、恐らく長い船上での生活に退屈し、このマクラメを(⑧ a 覚えたのだ b 覚えたのだろう)。マクラメの材料に麻糸が使われることが多いのも、もしかしたら、それが彼らにとって唯一手に入る(⑨ a 材料だったからかもしれない b 材料だったと思われる)。



【まとめ】 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、 から  の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

最終的に私が出版を決断した理由はただ一つ、本書を手にとって下さった方が、改めて物語の魅力を確認し、物語の役割に目覚め、「ああ、本を  何と素晴らしいことであろうか」と思ってくれたら、との願いが  。

もし他所の星から来た生物が、本を読んでいる人間を見たらどう思うだろう、と私は想像することがあります。小さな箱型の紙の束を手にも、ただじっと座っているだけで、あるいは寝転がっているだけで、時折、一枚紙がめくられる以外変化はなく、ただ静かに時間が過ぎてゆく。いくら辛抱強く待っていても、何か新しい製品が生み出されるわけでもない。

何の得があつて人間たちはこんな地味な営みをしているのか？ きっとそんなふうに首を  。

その時人間の心がどれほど劇的に揺さぶられているか、それは目に見えません。効果を数字によって測ることも不可能です。だからこそかけがえがないのだ、自分が自分であるための大切な証明になるのだ、ということをも、くどいくらいに繰り返し語っているのが、 。

(小川洋子『物語の役割』ちくまプリマー新書による)

【1】

- 1 読めば                      2 読むことは                      3 読んでいれば                      4 読んでいる人は

【2】

- 1 ありました                      2 あつたというのです  
3 あつたからなのです                      4 あつたはずなのです

【3】

- 1 一体                      2 確かに                      3 どうやら                      4 まさか

【4】

- 1 傾げたのです                      2 傾げるでしょうか  
3 傾げるようです                      4 傾げるのではないのでしょうか

【5】

- 1 本書です                      2 理由です  
3 本書であきらかになります                      4 本書の中で言いたいことです

## 2 課 か 時制 じせい

文章としてのまとまりを持たせるためには、時間の流れに矛盾がないように文を続ける必要があります。また、ある時点での出来事を言っているのか、ある時間幅における状態のことを言っているのかをはっきりさせることも大切です。特に動詞の用法がポイントです。

### A 動詞の現在形の用法

用法	例	動詞の種類
未来	わたしは来年、高校を卒業する。	動きを表す動詞
現在	彼女はトラックの運転ができる。	状態を表す動詞
	おなかが痛む。	感覚を表す動詞
	選手としてしっかり戦うことを誓います。	行動の宣言を表す動詞
時間に無関係	太陽は東から上って西に沈む。	

\* 形容詞文・名詞文の現在形は現在のこと・時間に無関係なことを表す。

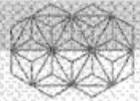
### B 動詞の過去形の用法

用法	例
過去	先週、アメリカから友達が来た。
現在につながる過去	わたしはさつきからずっとここにいた。
完了の結果	わたしは最近太った。
未来完了	あした集合時間に遅れた人は、自分で電車で来てください。
形状・状態	あの丸い形をした建物は何かですか。(名詞を説明する文の中で使う)
生理状態	ああ、おなかですいた。

\* 形容詞文・名詞文の過去形は過去のことを表す。

### C 「～ている」の用法

用法	例
動作・事態の継続	日本では子供の数が減っている。
結果の存続	電気が消えている。



けいじよう ようす 形状・様子	この棒は先が曲がっている。
かんりよう 完了	20年後、わたしは社長になっているだろう。 3時に会場に着いた。もうみんな来ていた。
けいけん きろく 経験・記録	かれは10年前に同じ病気で入院している。

#### D 複文の時制

◆複文は次のような構造になっています。(文の中に別の文が入り込んでいます。)

わたしは 子供が熱を出した ときは、仕事を休む。

「わたしは仕事を休む」：主の文

「子供が熱を出した」：中の文

◆「～とき・～場合・～際」などを使った複文や、名詞を説明する文を使った複文では、中の文の時制は話している時点に関係なく、主の文との時間的前後関係で決まります。(中の文に動きを表す動詞を使った場合)

a) 中の文のことが主の文のことがより時間的に前のとき、中の文は過去形

例・来月 ハワイへ行った とき、ハワイにいる叔父を 訪ねる 予定だ。

行った → 訪ねる  
(その後で)

- ・ 商品を間違えて買った 場合、店に 返品する ことができる。
- ・ 以前は、この大学に入学した 人は、全員寮に入った。

b) 中の文のことが主の文のことがより時間的に後のとき、中の文は現在形

例・子供のころ、寝る とき、いつも母が本を 読んでくれた。

読んでくれた → 寝る  
(その後で)

- ・ アメリカへ出発する 際、成田空港で写真を 撮った。
- ・ あした 国の母に送る 誕生日祝いを 買います。

c) 主の文のことが中の文のことが同時のとき、中の文は現在形(または、主の文と同じ時制)

例・暑い日に外で仕事をする 人は、たくさん汗を かく。

仕事をする ↔ 汗をかく  
(同時)

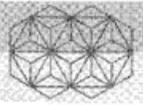
- ・ わたしがパソコンで仕事をしている／していた 間、子供たちはテレビを 見ていた。
- ・ このマンションを買う／買った とき、親のお金も 使った。

練習1 ( )の中の動詞を適当な形・適当な時制に変えなさい。

- 1 来週ここで留学説明会を(①行う→ )。(②来る→ )人に資料を渡すのがわたしの役目である。
- 2 夜遅くその町に着いた。すでに11時を(①過ぎる→ )。泊まることに(②する→ )友人宅には行かず、安い宿に(③泊まる→ )。
- 3 その夜、わたしは12時過ぎまで(①起きる→ )。雨が(②降る→ )。12時半ごろ、建物が強く揺れるのを(③感じる→ )。
- 4 今朝、踏み切りで事故が(①ある→ )らしく、電車が20分遅れた。新幹線のホームに着いたとき、(②乗る→ )はずだった新幹線はもう(③出る→ )。
- 5 家に(①帰る→ )のは12時ごろだったと思う。子供たちはもう(②寝る→ )が、妻はまだ本を(③読む→ )。テレビをつけると、学生のころ(④見る→ )映画を(⑤やる→ )。面白くて、途中でやめられず、結局明け方まで(⑥寝ない→ )。

練習2 ( )の中の動詞を適当な形・適当な時制に変えなさい。

- 1 わたしは小さいころから動物が好きだった。当時(①飼う→ )犬や鳥はもちろん、公園のあひるや捨て猫も(②見る→ )だけで飽きなかった。興味の対象は小動物だけではなかった。(③荒れる→ )我が家の庭には、名前も知らない草木がたくさん(④生える→ )、そこにいろいろな虫が集まってきた。虫の観察も楽しく、時間を忘れた。その日もわたしは庭に出て、ありの観察をしていた。一生懸命食べ物を運ぶ姿が面白くて、かなり長い間(⑤見る→ )ような気がする。ふとそばに人の気配を感じて顔を上げると、そこに母が(⑥立つ→ )。母は(⑦困る→ )ような顔をしていた。
- 2 国土交通省は地球温暖化対策として、自転車に期待を(①寄せる→ )。今まで車を(②使う→ )人が自転車を利用するようになれば、二酸化炭素が出るのを大きく減らすことが(③できる→ )。だが、現在、自転車利用者のための対策が(④遅れる→ )。自転車事故なども(⑤増える→ )ことから、国土交通省はようやく自転車道路の整備に(⑥乗り出す→ )。



**まとめ** つぎ ぶんしやう 次<sup>つぎ</sup>の文章<sup>ぶんしやう</sup>を読んで、文章<sup>ぶんしやう</sup>全体<sup>ぜんたい</sup>の内容<sup>ないよう</sup>を考えて、□ 1 □ から □ 5 □ の中<sup>ちゆう</sup>に入る<sup>いれ</sup>最も<sup>もと</sup>よいもの<sup>もの</sup>を 1・2・3・4 から一つ<sup>ひとつ</sup>選<sup>えら</sup>びなさい。

ここにある小説は、作者である「わたし」の手を離<sup>はな</sup>れて久<sup>ひさ</sup>しいものばかりです。

□ 1 □ その瞬間<sup>しゆんかん</sup>に、すでに小説は作者にとって、「自分から離<sup>はな</sup>れていってしまったもの」になっています。

作者から □ 2 □ 小説は、読者の元へと、ゆっくり運ばれてゆきます。たとえば大きな客船に乗って、堂々と海の波を割りひらきながら読者の皆<sup>みな</sup>さんのところへと運ばれる本もあるでしょう。ひっそりと夜の道を □ 3 □ しなやかな動物の背に乗って、選ばれた読者にだけ運ばれる本もあるにちがいない。(略)

どんなふう<sup>ふう</sup>に運ばれた小説も、読者にとっては大切なものです。もしかしたら、作者にとっ<sup>と</sup>てよりも、読者にとつ<sup>と</sup>ての方が、より大切なものかもしれない。

わたし自身、自分の作<sup>つく</sup>ったものはさきほど □ 4 □ ようにどんどん忘<sup>わす</sup>れていってしまうけれど、大好きで読<sup>よ</sup>みついできたよその作者の小説についてならば、どの頁<sup>ページ</sup>にどんな言葉があつて、登場人物<sup>だうじやうぶつ</sup>の誰<sup>だれ</sup>がどんな服をどんな場<sup>ばう</sup>面で着<sup>き</sup>ていて、どんな時に悲<sup>かな</sup>しんでどんな時に喜<sup>よろこ</sup>んだかということ<sup>こと</sup>を、つぶさに □ 5 □ のです。

小説というものは、書<sup>か</sup>かれることも大<sup>だい</sup>事<sup>じ</sup>だけれど、読<sup>よ</sup>んでもらうことも、きつものすごく大<sup>だい</sup>事<sup>じ</sup>なのです。

(川上弘美『はじめての文学 川上弘美』文藝春秋 刊)

□ 1 □

1 書<sup>か</sup>き上<sup>あ</sup>がる

2 書<sup>か</sup>き上<sup>あ</sup>がった

3 書<sup>か</sup>き上<sup>あ</sup>がっている

4 書<sup>か</sup>き上<sup>あ</sup>がっていた

□ 2 □

1 離<sup>はな</sup>れる

2 離<sup>はな</sup>れた

3 離<sup>はな</sup>れている

4 離<sup>はな</sup>れていた

□ 3 □

1 走<sup>は</sup>る

2 走<sup>は</sup>った

3 走<sup>は</sup>りながら

4 走<sup>は</sup>るとき

□ 4 □

1 書<sup>か</sup>く

2 書<sup>か</sup>いた

3 書<sup>か</sup>いてきた

4 書<sup>か</sup>いていた

□ 5 □

1 覚<sup>おぼ</sup>える

2 覚<sup>おぼ</sup>えた

3 覚<sup>おぼ</sup>えている

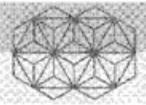
4 覚<sup>おぼ</sup>えていた

練習1 ( )の中の動詞を適当な形・適当な時制に変えなさい。

- 1 来週ここで留学説明会を(①行う→ )。(②来る→ )人に資料を渡すのがわたしの役目である。
- 2 夜遅くその町に着いた。すでに11時を(①過ぎる→ )。泊まることに(②する→ )友人宅には行かず、安い宿に(③泊まる→ )。
- 3 その夜、わたしは12時過ぎまで(①起きる→ )。雨が(②降る→ )。12時半ごろ、建物が強く揺れるのを(③感じる→ )。
- 4 今朝、踏み切りで事故が(①ある→ )らしく、電車が20分遅れた。新幹線のホームに着いたとき、(②乗る→ )はずだった新幹線はもう(③出る→ )。
- 5 家に(①帰る→ )のは12時ごろだったと思う。子供たちはもう(②寝る→ )が、妻はまだ本を(③読む→ )。テレビをつけると、学生のころ(④見る→ )映画を(⑤やる→ )。面白くて、途中でやめられず、結局明け方まで(⑥寝ない→ )。

練習2 ( )の中の動詞を適当な形・適当な時制に変えなさい。

- 1 わたしは小さいころから動物が好きだった。当時(①飼う→ )犬や鳥はもちろん、公園のあひるや捨て猫も(②見る→ )だけで飽きなかった。興味の対象は小動物だけではなかった。(③荒れる→ )我が家の庭には、名前も知らない草木がたくさん(④生える→ )、そこにいろいろな虫が集まってきた。虫の観察も楽しく、時間を忘れた。その日もわたしは庭に出て、ありの観察をしていた。一生懸命食べ物を運ぶ姿が面白くて、かなり長い間(⑤見る→ )ような気がする。ふとそばに人の気配を感じて顔を上げると、そこに母が(⑥立つ→ )。母は(⑦困る→ )ような顔をしていた。
- 2 国土交通省は地球温暖化対策として、自転車に期待を(①寄せる→ )。今まで車を(②使う→ )人が自転車を利用するようになれば、二酸化炭素が出るのを大きく減らすことが(③できる→ )。だが、現在、自転車利用者のための対策が(④遅れる→ )。自転車事故なども(⑤増える→ )ことから、国土交通省はようやく自転車道路の整備に(⑥乗り出す→ )。



【まとめ】 つぎ ぶんしやう 次の文章を読んで、 ぶんしやうぜんたい ないやう 文章全体の内容を考えて、 1 から 5 の中に入る最もよいものを 1・2・3・4 から一つ える 選びなさい。

ここにある小説は、作者である「わたし」の手を離れて久しいものばかりです。

1 その瞬間に、すでに小説は作者にとって、「自分から離れていってしまったもの」になっています。

作者から 2 小説は、読者の元へと、ゆっくり運ばれてゆきます。たとえば大きな客船に乗って、堂々と海の波を割りひらきながら読者の皆さんのところへと運ばれる本もあるでしょう。ひっそりと夜の道を 3 しなやかな動物の背に乗って、選ばれた読者にだけ運ばれる本もあるにちがいない。(略)

どんなふうに運ばれた小説も、読者にとっては大切なものです。もしかしたら、作者にとってよりも、読者にとっての方が、より大切なものかもしれない。

わたし自身、自分の作ったものはさきほど 4 ようにどんどん忘れていってしまうけれど、大好きで読みついできたよその作者の小説についてならば、どの頁にどんな言葉があつて、登場人物の誰がどんな服をどんな場面で着ていて、どんな時に悲しんでどんな時に喜んだかということをつぶさに 5 のです。

小説というものは、書かれることも大事だけれど、読んでもらうことも、きつものすごく大事なのです。

(川上弘美『はじめての文学 川上弘美』文藝春秋 刊)

1

1 書き上がる

2 書き上がった

3 書き上がっている

4 書き上がっていた

2

1 離れる

2 離れた

3 離れている

4 離れていた

3

1 走る

2 走った

3 走りながら

4 走るとき

4

1 書く

2 書いた

3 書いてきた

4 書いていた

5

1 覚える

2 覚えた

3 覚えている

4 覚えていた

文章としてのまとまりを持たせるために、ある条件をどう扱うかがポイントになることがあります。あることを仮定するのか、実現した条件(確定)として考えるのか、後に来る文はどうつながるのか、などが文の流れを決める要素になります。

### A 条件を表す文(「と・ば・たら・なら」「ても」を使う文)の用法-基本的注意

◆文末の制限：話者の希望・意向を表す文や働きかけの文が来るか・来ないかに注意する必要があります。

例 × 夏休みになると、国へ帰りたい。

○ 夏休みになると、寮が静かになる。

○ 夏休みになったら、国へ帰りたい。

× そのDVDを借りれば、後でわたしにも見せてください。

○ そのDVDを借りれば、連休中退屈しないだろう。

○ そのDVDを借りるなら、後でわたしにも見せてください。

○ そのDVDを借りたら、後でわたしにも見せてください。

× テレビを見たいのに、今日は我慢しよう。

○ テレビを見たいのに、見られない。

○ テレビを見たくても、今日は我慢しよう。

◆前の文との関係：まだ実現していないこと(仮定)か・実現したこと(確定)かに注意する必要があります。

a) 実現していないこと

例 ・将来医者になりたい。 医者になるなら、免許を取らなければならない。

医者になれば、多くの命が救えるのではないだろうか。

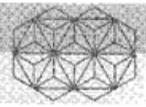
医者になったら、地元の病院で働きたい。

医者になっても、この地方に住み続けたい。

b) 実現したこと

例 ・彼は医者になった。 医者になったのなら、地元の病院で働いてほしい。

医者になったら、毎日とても忙しくなったようだ。



医者になっても、趣味の釣りは続けている。

・彼は医者だ。

医者であれば、忙しい医者の気持ちがわかるはずだ。

B 「と・ば・たら・なら」の形以外の仮定・確定の言い方(文脈から仮定・確定を判断する)

1. ～ては

例・明日の天気は大荒れだそうだ。悪天候の日に海に行っては、危ないだろう。(仮定)

・最近残業が多い。こんなに残業が続いては、ゆっくり休む暇もない。(確定)

2. ～としたら・～とすれば・～とすると →第1部15課

例・来年は海外旅行をしたい。行くとしたら、南アメリカに行きたい。(仮定)

・この映像は真実だろうか。真実だとすれば(とすると)、大変なことだ。(仮定)

3. ～となったら・～となれば・～となると →第1部15課

例・今年も海外旅行は無理だ。行けないとなったら、いっそう行きたくなる。(確定)

・やはりこの映像は真実だった。真実だとなれば(となると)、青木氏は責任を取らなければならぬ。(確定)

4. ～(よ)うものなら →第1部15課

例・わたしはお酒に弱い。一口飲もうものなら体中真っ赤になる。(仮定)

5. ～ないことには →第1部15課

例・まず本人に会ってみよう。会ってみないことには何とも言えない。(仮定)

・今はお金の余裕がない。お金のないことにはこの計画は実行できない。(確定)

6. ～を抜きにしては →第1部15課

例・田中さんは有能な協力者だ。田中さんを抜きにしては、この仕事は成功しない。(仮定)

・国の援助を打ち切られた。国の援助を抜きにしては、研究は進められない。(確定)

7. ～としても・～にしても・～にせよ・～にしろ →第1部15課

例・この薬を信じている。完全に治るのは無理にしても、今より良くなるだろう。(仮定)

・彼が忙しいのはわかる。しかし、いくら忙しいにせよ、出欠の返事を出すくらいできるはずだ。(確定)

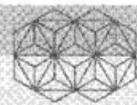
・あしたの天気はどうだろうか。雨が降るとしても、大雨ではないだろう。(仮定)

**練習1** ( )に入る文として、<sup>てきとう</sup>適当なものを<sup>えら</sup>選びなさい。

- 1 a この計画案は承認されるだろうか b この計画案は承認された
- ①( )。承認されないと、次の計画が立てられない。
- ②( )。承認されるとすぐに問い合わせが殺到した。
- 2 a 課長に事情をよく説明してみるつもりだ b 課長に事情を詳しく説明した
- ①( )。あれだけ丁寧に説明すればわかってくれるだろう。
- ②( )。詳しく説明すればわかってくれるだろう。
- 3 a 引っ越すかどうか迷っている b あした引っ越す c 先週引っ越した
- ①( )。引っ越したら、友達をうちに呼んで飲み会をしようと思う。
- ②( )。引っ越したら、通勤が楽になった。
- ③( )。もし会社の近くに引っ越したら、通勤が楽になるだろう。
- 4 a 今年の新年会ではお酒を飲み過ぎないようにしよう  
b 今年の新年会ではお酒を飲み過ぎた
- ①( )。こんなに飲んでは体に悪いだろう。
- ②( )。あまりたくさん飲んでは体に悪いだろう。

**練習2** どちらか<sup>てきとう</sup>適当な方を<sup>えら</sup>選びなさい。

- 1 今のような人間不信の社会では、正直であることが大切だ。人々が正直で(①a なかったら  
b ないにせよ)、ますます人を信じることができなくなる。人を信じることは(②a 難しいと  
なれば b 難しいにしても)、信じようと(③a 努力しないことには b 努力しようも  
のなら)、何事も始まらない。そして、人を信じることが(④a できなければ b できなく  
ても)、人と協力し合うことはできない。だからこそ正直でありたい。(⑤a 正直であっても  
b 正直であるにしろ)必ず信じてもらえるとは限らないけれど……。
- 2 地球温暖化の問題が深刻だ。このように深刻な状態に(①a なるすると b なつては)、  
もう解決方法はないのではないかと思ってしまう。このまま温暖化が(②a 進むとすれば  
b 進むとしても)、それによる被害はさらに広がるだろう。今の日本の状態では、被害がさら  
に(③a 拡大しようものなら b 拡大したとなったら)経済的な損害は多大なものになって  
しまう。何か対策を(④a 考えないことには b 考えないとなれば)国民の不安は消えない  
だろう。



**まとめ** つぎ ぶんしゅう ぶんしゅうぜんたい ないよう 1 から 5 の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

自分の財布の中のお金は自分のものだ。自分のお金で買った本は自分のものだ。また、自分が今 1、持ち主として登録した土地は自分のものだ。このように、形があるものはだれが持ち主かわかりやすい。わずか1円でも、他人のものを 2 どろぼうになってしまう。

しかし、実物を手で触ることが 3、人の所有物として守らなければならないものがある。文学や音楽などの作品とか、デザインや発明などである。これらのものはつくった人、考え出した人の大切な財産である。実際に値段はついていないので、売ってすぐにお金に換えることは 4、お金や土地と同じように、「持ち主はわたしです」と主張することができる。

このような、芸術作品やデザインや発明などの「持ち主」の権利を、「知的所有権」という。知的所有権は「これはわたしが考えてつくったものだから、わたしのものです」と主張する権利である。つまり、他人の知的所有物を使って経済活動を 5、許可を得なければならないということになる。

**1**

- |          |            |
|----------|------------|
| 1 住んでいれば | 2 住んでいなければ |
| 3 住んでいても | 4 住んでいなくても |

**2**

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 盗んだら    | 2 盗んでも    |
| 3 盗まなかったら | 4 盗んだとしても |

**3**

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 できても  | 2 できなくても |
| 3 できる場合 | 4 できない場合 |

**4**

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 できるにしても  | 2 できるとなったら |
| 3 できないにしても | 4 できないとしたら |

**5**

- |          |         |
|----------|---------|
| 1 したら    | 2 する場合は |
| 3 するとしても | 4 しなくても |

文章としてのまとまりを持たせるために、書き手はふつう、いつも同じ視点から物事を述べます。  
 視点を動かさないようにするために、いろいろな手段が使われます。

してん ものごと み いてち  
 視点=物事を見ている位置

にほんご してん わしゃがわ おく のが しぜん  
 日本語では、視点を話者側に置くのが自然です。

#### A 話者を主語にする場合

◆動作主が話者で、物の移動を表す文や、感情・動作が他者に向かうことを表す文では、話者を主語にして述べるのが普通です。

例・わたしは高橋さんをしかった・誘った・案内した・尊敬しているなど

・わたしは高橋さんに～を送った・渡した・投げた・頼んだなど

・わたしはあの人に会ったなど

◆動作主が他者で、物の移動を表す文や、感情・動作が話者に向かうことを表す文では、話者を主語にして受身の形で述べることが多いです。→第3部6課

例○わたしは高橋さんに留守番を頼まれた。

? 高橋さんはわたしに留守番を頼んだ。

◆二者の立場が対立することを表す動詞を使うとき、その一人が話者なら、話者を主語にして述べるのが普通です。

例○わたしは田中さんから歌を教わった。

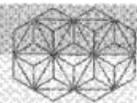
? 田中さんはわたしに歌を教えた。

○わたしたちのチームは相手チームに勝った。

? 相手チームはわたしたちのチームに負けた。

○わたしは前に林さんに借りましたお金を返した。

? わたしは前に林さんが貸したお金を返した。



## B 自動詞・他動詞の使い分け

◆視点<sup>してん</sup>が動<sup>うご</sup>かなくても、注目<sup>ちゅうもく</sup>するものが変わ<sup>か</sup>れば自動詞・他動詞<sup>じどうし たどうし</sup>の使い分け<sup>つか わ</sup>が必要です<sup>ひつよう</sup>。

注目点 <sup>ちゅうもくてん</sup>	動詞の種類	例
変化 <sup>へんか</sup> を起こ <sup>おこ</sup> す動作 <sup>どうさ</sup> に注目 <sup>ちゅうもく</sup> する (だれの動作 <sup>どうさ</sup> かを意識 <sup>いしき</sup> する)	他動詞	(わたしが) 電気を消 <sup>け</sup> す (わたしが) タクシーを止 <sup>と</sup> める
物の動き <sup>もの うご</sup> ・変化 <sup>へんか</sup> に注目 <sup>ちゅうもく</sup> する (だれの動作 <sup>どうさ</sup> かを意識 <sup>いしき</sup> しない)	自動詞	電気が消 <sup>き</sup> える タクシーが止 <sup>と</sup> まる

◆自動詞・他動詞<sup>じどうし たどうし</sup>の発展的<sup>はってんできつ</sup>使い方<sup>かた</sup>には次のよう<sup>つぎ</sup>なものがあります。

動詞の種類	意味	例
他動詞	失敗 <sup>しっぱい</sup> ・責任 <sup>せきにん</sup>	財布 <sup>さいふ</sup> を落 <sup>お</sup> とした。／かぎをなくした。
	慣用的 <sup>かんようてきひようげん</sup> 表現 <sup>ひょうげん</sup>	風邪 <sup>かぜ</sup> を引 <sup>ひ</sup> いた。／年をとった。
自動詞	可能 <sup>かのう</sup>	このかばんにはB4サイズの書類 <sup>しよるい</sup> が入 <sup>い</sup> る。 ドアがなかなか開 <sup>あ</sup> かない。
	動作 <sup>どうさ</sup> の結果 <sup>けつか</sup>	ブラウスの汚 <sup>よご</sup> れを落 <sup>お</sup> とそうとしたが、結局 <sup>けつぎ</sup> 落 <sup>お</sup> ちなかつた。

◆継起<sup>けいき</sup>・付帯<sup>ふたいじょうたい</sup>状態<sup>じょうたい</sup>を表<sup>あらわ</sup>す「～て」の前後<sup>ぜんご</sup>は、ふつう主語<sup>しゅご</sup>が同じ<sup>おな</sup>です。自動詞・他動詞<sup>じどうし たどうし</sup>のどちら<sup>の</sup>で述<sup>の</sup>べるかに気<sup>き</sup>をつけます。原因<sup>げんいん</sup>・理由<sup>りゆう</sup>を表<sup>あらわ</sup>す場合<sup>ばあい</sup>は、主語<sup>しゅご</sup>が違<sup>ちが</sup>っていてもかまいません。

例 ○ その子は、ぽかんと口<sup>くち</sup>を開<sup>あ</sup>けて、先生<sup>せんせい</sup>の話<sup>わたり</sup>を聞<sup>き</sup>いた。

(その子が口を開けた + その子が聞いた)

× その子は、ぽかんと口<sup>くち</sup>が開<sup>あ</sup>いて、先生<sup>せんせい</sup>の話<sup>わたり</sup>を聞<sup>き</sup>いた。(口<sup>くち</sup>が開<sup>あ</sup>いた + その子が聞いた)

○ その子は、ぽかんと口<sup>くち</sup>が開<sup>あ</sup>いていて、バカみたくに見<sup>み</sup>えた。

(口<sup>くち</sup>が開<sup>あ</sup>いていた + その子が見えた)

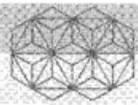
→原因・理由を表<sup>あらわ</sup>す「～て」

練習1 どちらか適<sup>てきとう</sup>当<sup>えら</sup>な方<sup>かた</sup>を選<sup>えら</sup>びなさい。

1 この箱<sup>はこ</sup>は小<sup>こ</sup>さいから、これ以上<sup>い</sup> (① a 本<sup>ほん</sup>を入<sup>い</sup>れない b 本<sup>ほん</sup>が入<sup>はい</sup>らない)。残<sup>のこ</sup>った本<sup>ほん</sup>は本棚<sup>ほんだな</sup>に  
(② a 並<sup>なら</sup>べたほうがいい b 並<sup>なら</sup>んだほうがいい)。

2 帰<sup>かえ</sup>ろうとしたとき (① a 山川<sup>せがみ</sup>さんが小<sup>こ</sup>さい箱<sup>はこ</sup>を渡<sup>わた</sup>した b 山川<sup>せがみ</sup>さんから小<sup>こ</sup>さい箱<sup>はこ</sup>を渡<sup>わた</sup>された)  
が、その意味<sup>いみ</sup>がわたしにはわ<sup>わ</sup>からなかつたので、すぐ<sup>すぐ</sup>に (② a 返<sup>かえ</sup>した b 返<sup>かえ</sup>された)。

- 3 わたしは産地直送の野菜や果物が好きだ。インターネットで(①a 注文した b 注文を受けた)ものが、次の日にはうちに(②a 届ける b 届く)。うれしい時間だ。毎回すぐに産地の人に(③a 電話をかけて b 電話がかかって)、「来週もよろしくね。」と言う。こういうつきあいが楽しいのだ。
- 4 昨日、新しくできた図書館へ行った。本を5冊(①a 借りた b 貸した)。「本を(②a お借りになる b お貸しする)方はカウンターへお申し出ください。」と書いてあった。「雑誌もいいですか。」と(③a 聞いたら b 聞かれたら)、「すみません。雑誌は(④a お借りできない b お貸しできない)んです。」と言われた。
- 5 昔、(①a 母が教えた b 母から教わった)この料理法はとても役に立つ。「おいしく作るいい方法があるから(②a 教えるね b 教わるね)。覚えておくといいよ。」と言って、作り方を書いてくれた。この方法を、わたしはいつか自分の子供にも(③a 教えたい b 教わりたい)。
- 6 夫はテレビのプロ野球番組が好きで、巨人の応援をしている。特に阪神には絶対に(①a 負けてほしくない b 負けてほしい)ようで、もし(②a 勝ったら b 負けたら)機嫌が悪くなる。今日は(③a 勝った b 負けた)から良かったが、「あした(④a 勝ったら b 負けたら)もうテレビは見ない。」などと言っている。  
(注)巨人・阪神：プロ野球のチーム名
- 7 昔、かくれんぼという遊びをよくしたものだ。木の陰や家の後ろなどに(①a 隠れて b 隠して)いる子を鬼が(②a 見つかる b 見つける)遊びである。わたしは体が大きかったので、どんなに(③a 隠れた b 隠した)つもりでも、すぐに(④a 見つかって b 見つけて)しまった。また、宝探しという遊びもよくした。母が(⑤a 隠れた b 隠した)宝物を一番たくさん(⑥a 見つかった b 見つけた)子が勝ち。わたしは母の(⑦a 隠れ方 b 隠し方)をよく知っていたので、いつも一番だった。
- 8 先日、何度か川田さんのうちに電話をかけたが、話し中でなかなか(①a つながられなかった b つながらなかった)。川田さんのお子さんが(②a 試験を受けた b 試験に受かった)と聞いたので、一言お祝いを言おうと思ったのだ。後で聞いたら、その日は朝から電話が多く、ずっと(③a 電話を鳴らしていた b 電話が鳴っていた)のだそうだ。



**まとめ** 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、**1** から **5** の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

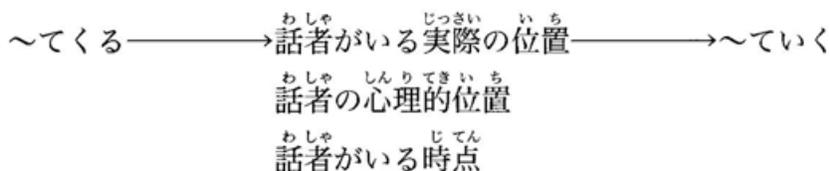
そんな私も二年間、日記を書いていた。インターネットを使ったメールマガジンというのをやることになり、そこで「今週の私」みたいな一週間分の **1** のだ。今はそのメールマガジンがなくなってしまったが、日記は個人的につけている。

メールマガジンって、**2** あまり知らなかったんだけど、とてもおもしろいシステム。基本的には「たくさんの人にいっぺんに送る電子メール」と考えてくればよい。ホームページだったら、利用者が「あのページ見てみようかな」と自分でその気になってURL(ホームページのアドレス)を入力したりして見なければならぬけれど、メールマガジンは **3** のを読むだけだから、気軽だよ。

それに、なんだか自分だけに送られてきたような気になってちょっとうれしい。私も、自分でメールマガジンの発行を始めてからほかの人のものもいくつか取り始めたんだけど、届くたびに「お、**4**」って感じになる。もちろん、いろいろな人がいろいろな内容や形式のメールマガジンを書いているんだけど、私は日記を中心にしたエッセイを毎週一回、**5**。正直言うと、「何を書こうか?」と毎回、考えることができないので、「よしっ、日記だったら書くことがなくて困るってことはないだろう」と思ったわけなんだけど。

(香山リカ『10代のうちに考えておくこと』岩波ジュニア新書による)

- |                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| <b>1</b> 1 日記が載った     | 2 日記が載っていた      |
| 3 日記が載せてあった           | 4 日記を載せていた      |
| <b>2</b> 1 自分で始めるまで   | 2 自分から始まるまで     |
| 3 自分で始めたのに            | 4 自分から始まったのに    |
| <b>3</b> 1 向こうへ送る     | 2 向こうから送られてくる   |
| 3 あちこちで受け取る           | 4 あちこちで受け取られる   |
| <b>4</b> 1 来る来る       | 2 来た来た          |
| 3 行く行く                | 4 行った行った        |
| <b>5</b> 1 届くことになっていた | 2 届けられることにしてあった |
| 3 送ることになっていた          | 4 送られることになっていた  |



◆「～てくる・～ていく」の用法は次のように整理されます。

意味		例	
具体的 くたいてき	空間的 くうかんでき	①ある動作の後の移動 <sup>どうさ</sup> <sup>あと</sup> <sup>い どう</sup>	ちょっとパンを買ってくる。 花を買っていこう。
		②その状態での移動 <sup>じょうたい</sup> <sup>い どう</sup>	学校からたくさん本を抱えてきた。 駅まで走っていく。
抽象的 ちゅうしょうてき	時間的 じかんでき	③継続 <sup>けいぞく</sup>	今までずっと我慢してきた。 これからもこの仕事を続けていく。
		④変化の進行 <sup>へんか</sup> <sup>しんこう</sup>	病状が良くなってきた。 次第に上手になっていこう。
	その他	⑤出現 <sup>しゅつげん</sup>	元気が出てきた。
	⑥消滅 <sup>しょうめつ</sup>	恨みの感情が消えていった。	
	⑦開始 <sup>かいし</sup>	急におなか痛くなってきた。	

◆文章の中では、書き手はふつう自分を中心にして、自分の位置から物事を述べます。

そして、その位置をずっと変えません。

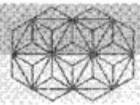
例・社内の動きをずっと見てきたが、この1、2年、雰囲気が大きく変わってきた。社長は何度も海外に飛んでいき、そのたびに緊張した表情で帰ってきた。外国の会社とうまくやっていくためには国際性が必要だが、国内の需要に頼って新製品を作ってきたわが社に、その力があるかどうかわからない。

話者のいる時点：現在 ①見てきた ②変わってきた ⑤やっっていく ⑥作ってきた

話者のいる位置：国内・会社 ③飛んでいき ④帰ってきた

◆移動を表す動詞に「～てくる・～ていく」をつけないと、動作の方向や話者のいる位置がわかりません。

例 × 珍しい鳥が飛んだ。(鳥がどちらの方向へ移動したかわからない。)



- 珍しい鳥が飛んできた。(鳥は自分の方へ来た。)
- × 学生が教室から出た。(話者は教室の中にいるか、外にいるかわからない。)
- 学生が教室から出ていった。(話者は教室の中にいる。)
- 学生が教室から出てきた。(話者は教室の外にいる。)

**練習1** どちらか適当な方を選びなさい。

- 1 幸せは歩いて(a こない b いかない)。自分で求めなければならぬのだ。
- 2 山田君から「子供を連れて(a きても b いっても)いい?」という電話があった。
- 3 入院中の夫は会社の同僚が見舞いにお金を持って(a くる b いく)の嫌でたまらないらしい。
- 4 玄関の外に出て待っていると、子供たちは「お祭り、楽しかったよ。」と言って、帰って(a きた b いった)。
- 5 お客様は「おじゃましました。」と言って、帰って(a きた b いった)。
- 6 父は、「あ、たばこがない。ちょっと買って(① a くる b いく)。」と言って、出て(② a きた b いった)。
- 7 駅で偶然会った友人に昼ご飯に誘われたが、食べて(a きた b いった)から、と言って、断った。
- 8 高校を卒業してからずっと父の店を手伝って(a きた b いった)が、そろそろ独立しようと思っている。
- 9 次のオリンピックを目指して頑張って(a こよう b いこう)と思っています。
- 10 退院後、だんだん体力がついて(① a きました b いきました)ので、来週からは出社しようと思っています。これからは無理しないでやって(② a きます b いきます)から、大丈夫です。

**練習2** 適当なものを選びなさい。

- 1 わたしは教室の外の廊下でリンさんと立ち話をした。その後彼女は教室に( )。  
a 入っていた                      b 入ってきた                      c 入っていった
- 2 今度( )隣の部屋の人はずいぶんボリュームで音楽を聞く。うるさくて困っている。  
a 引っ越した                      b 引っ越してきた                      c 引っ越していった

- 3 リンさんはときどき真夜中に電話を( )。そんな時は、次の日眠くてたまらない。  
 a かける                      b かけてくる                      c かけていく
- 4 20年ぶりにふるさとの海へ行ってみた。懐かしかった。子供のころよく( )。  
 a 泳いだものだ                      b 泳いできたものだ                      c 泳いでいったものだ
- 5 駅のホームで男がわたしに( )。すぐに逃げられなかった。  
 a つかみかかっていた                      b つかみかかってきた                      c つかみかかっていた

**練習3** 「くる・いく」を適当な形にして、\_\_\_\_\_の上書きなさい。また、この話をしたときの話者の位置がどこか、a、bから選びなさい。

- 1 入場券を買った後、このロッカーに荷物を入れて\_\_\_\_\_ほうがいいですよ。その大きな荷物を持って館内を見学するのは大変ですよ。  
 (話者の位置：a 館外      b 館内)
- 2 あ、太郎、わたしのサンダルがそっちへ流れて\_\_\_\_\_しまったから、拾って！  
 (話者の位置：a 川の上の方      b 川の下の方)
- 3 ベンチに座ってぼんやり辺りを見ていたら、子供を数人連れた女性が近づいて①\_\_\_\_\_、ベンチのそばで子供の数を確認し、植物園に入って②\_\_\_\_\_。  
 (話者の位置：a 植物園の中のベンチ      b 植物園の外のベンチ)
- 4 通勤時のバスは込んでいる。四つ目のバス停で3人降りて①\_\_\_\_\_が、8人乗って②\_\_\_\_\_。次のバス停でも同じだった。  
 (話者の位置：a バス停      b バスの中)
- 5 夫は今、上海で仕事をしています。先日、上海で知り合った人を連れて①\_\_\_\_\_が、その人の日本語がとても上手だったのでびっくりしました。四日後、夫はまた上海に戻るとき、日本語のテキストをたくさん持って②\_\_\_\_\_。上海で使うのだそうです。昨日電話がかかって③\_\_\_\_\_。来週日本から大勢お客さんが訪ねて④\_\_\_\_\_ので、忙しくなるようです。  
 (話者の位置：a 日本      b 上海)



**まとめ** つぎ ふんしょう ぶんしょうぜんたい ないよう  
 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、 1 から  5 の中に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

われわれは「絶対ダメ」と決めつけることによって多くの可能性を奪っていないだろうか。希望することによってこそ可能性も生まれてくるのだ。遠くのことを眺めているうちに、案外希望が  1 ことがある。あるいは不必要ないがみ合い(注1)が消えてゆくときもある。あるいは、思いがけない解決のヒントが見えることもある。

「遠くを眺める」ことの一つとして、十年先を  2 どうだろうか。現代では十年先のことを予見することはなかなか困難である。しかし、そんなに難しい予見などと言わなくとも、ただ「十年後はどうかな」と思ってみるだけでも、われわれの生き方は少し  3 のではなかろうか。今、カンカンになってけんかをしている相手が、十年どころか四年後には定年でやめ、再就職で  4 だろうなと思うだけで、けんかの仕方も少しは変わることだろう。

人間は苦しい状況に追い込まれると、もう耐え切れない(注2)と思い、ひどく悲観的になってしまったり、焦ってきて、しなくともいいことをしでかしたりするものだが、そんなときに、十年後はどうなっているだろう、こんな馬鹿げたことが十年も、というよりは、五年も  5 はずはないだろう、などと思ってくると、少しゆとりが出てきて、判断も確かになってくる。

(河合隼雄『過保護なくして親離れはない』五月書房による)

(注1) いがみ合い：争い合い

(注2) 耐え切れない：我慢できない

**1**

1 わいてくる      2 わいていく      3 わいてきた      4 わいていった

**2**

1 眺めてくると      2 眺めていくと      3 眺めてみると      4 眺めないと

**3**

1 違ってくる      2 違ってしまう      3 違ってきた      4 違ってしまった

**4**

1 苦勞してくる      2 苦勞している      3 苦勞してきた      4 苦勞していた

**5**

1 続いてくる      2 続いてきた      3 続く      4 続いた

6 課 してん うご しゅだん うけみ しえき しえきうけみ つか わ  
**視点動かさない手段-3 受身・使役・使役受身の使い分け**

A うけみぶん つか ぼあい  
**受身文を使う場合**

1. わしや だいさんしや こうい で きごと えいきやう らくせつてき かんせつてき う  
 話者が、第三者の行為または出来事の影響を直接的・間接的に受けたことを表すとき  
(主語はふつう話者、または、動作主よりも心理的に話者に近い人) →第3部4課

例・わたしは山中さんにドライブに誘われた。

(主語=わたし 動作主(誘った人)=山中さん)

・母は電車の中でだれかに足を踏まれてけがをした。

(主語=母 動作主(踏んだ人)=だれか)

2. しゅだい じょうほう たいせつ どうさ しゅたい い ひつよう  
 主題についての情報が大切なため、動作の主体をはっきり言う必要がないとき

例・事故でけがをした人たちはすぐに病院に運ばれた。(運んだ人=?)

・いじめられた子は転校してしまった。(いじめた人=?)

・この寺は15世紀に建てられた。(建てた人=?)

\*主題とともに動作主も大切な情報のときは「～によって」を使って表します。

・キリスト教はフランシスコ・ザビエルによって日本に伝えられた。

3. しぜん そのよう な きもち になる とい たい とき じはつ ちがひ ぶん  
 自然にそのような気持ちになると言いたいとき：自発を表す文

(心の動きを表す動詞を使う。)

例・この写真を見ると、昔のことが思い出される。

・就職難はさらに続くと思われる。

・この音楽には何ともいえない優しさが感じられる。

B しえきぶん つか ぼあい  
**使役文を使う場合**

1. ひと とうさ きようせい  
 ほかの人に、ある動作をするように強制するとき

(主語はふつう動作主よりも立場が上の人)

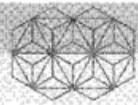
例・わたしは弟に荷物を持たせた。(強制した人=わたし 持った人=弟)

・監督は選手たちを毎日30分走らせた。(強制した人=監督 走った人=選手たち)

2. ひと こうい ゆる  
 ほかの人の行為を許すとき

例・先生は学生たちに自由に意見を言わせた。(許した人=先生 言った人=学生)

・両親は妹に好きな道を選ばせた。(許した人=両親 選んだ人=妹)



3. あることが原因で、必然的にそのような感情が起こる・行為をすることを言うとき

例・電車が遅れて友達を30分も待たせてしまった。(待った人=友達)

・公園の美しい花が行楽客を楽しませている。(楽しんでいる人=行楽客)

### C 使役受身文を使う場合

1. 自分の意志ではなく、ほかの人に強制されてそうするとき

(迷惑だという気持ちがある。)

例・子供のとき、母によく手伝いをさせられた。(手伝いをした人=わたし)

・入社当時は社内の規則をいろいろ覚えさせられた。(覚えた人=わたし)

2. あることが原因で、必然的にそのような感情が起こる・行為をすることを言うとき

(主語は話者。いい感情を表す場合はあまり使わない。)

例・彼の自分勝手な行動にがっかりさせられた。(がっかりした人=わたし)

・一生懸命仕事をしている人を見て、大いに反省させられた。(反省した人=わたし)

### 練習1 どちらか適当な方を選びなさい。

1 このところうまくいかないことが多くて疲れていた。でも、(a 友人の言葉が元気づけた  
b 友人の言葉に元気づけられた)。

2 犬は人間とは違う。人間と同じ物を(a 食べられない b 食べさせない)ほうがいい。

3 すみません。よくわからなかったんですけど、もう一度(a 説明してくださいませんか  
b 説明させてくださいませんか)。

4 母は病院で3時間も(a 待たれた b 待たされた)らしい。疲れて帰ってきた。

5 君には期待しているのだ。(a 失望されないで b 失望させないで)ほしい。

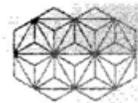
6 子供にパンを買いに(a 行かせたら b 行かされたら)、お金を落としてしまった。子供は泣きながら帰ってきた。

7 最近の子供の事情について説明を受けた。改めて(a 教育の大切さが考えられた b 教育の大切さを考えさせられた)。

8 うちの子は朝、(① a 起こされなくても b 起こさせなくても)自分で起きて、学校に行く準備を(② a します b させます)。親を(③ a 心配する b 心配させる)ようなこともしません。

練習2 ( )の中の動詞を文章の流れに合う形にして、書き入れなさい。

- わたしは人には強い人間と(①思う→ )いるらしいが、実は非常に気が弱い。これは自分が一番よく(②知る→ )いることだ。仕事の関係で、周りの人に頼りない男という印象を(③持つ→ )まいとして、表面的に強がっているだけのことだ。
- 子供には小さいころからいろいろな経験を(①する→ )ほうが良いと思って、できる範囲で家事も(②手伝う→ )います。時には、子供たちに不平を(③言う→ )こともあります。子供たちにしても家の中のことをいろいろ(④する→ )のは楽しいと思っっているようです。
- ごみの出し方が(①守る→ )いない。燃えるごみと燃えないごみを別々に(②出す→ )ことはもう常識である。今は、ペットボトル、かん、びん、容器包装プラスチックが資源として(③集める→ )いる。この容器包装プラスチックというのは、商品の中身を(④使う→ )後で不要になったプラスチックのことだが、汚れたままのものが(⑤出す→ )ことがあるので、清掃局では困っているようだ。
- 車の運転免許を取るのは大変だった。怖い教官に何回もアクセルやブレーキの練習を(①する→ )。わたしは特別に下手だったので(②しかる→ )ばかりいた。教官の教え方も悪いのだ。腹が立ったので「③(しかる→ )ばかりいないで、わかりやすく教えてくださいよ。」と文句を(④言う→ )。この言葉が教官を(⑤怒る→ )らしく、以後、彼は、わたしの指導はしなくなった。
- 日本は四方を海に(①囲む→ )いる。当然、漁業によって暮らしを(②立てる→ )いる人が多い。漁業を(③営む→ )いる人たちの間で(④知る→ )いるのが「魚付林」という言葉だ。海と林とは関係がなさそうに(⑤思う→ )が、実は大いにあるのだ。森林に(⑥降る→ )雨は、大地にしみ込み、そして、海に流れこむ。この水にはミネラルが多く(⑦含む→ )ので、海藻や魚に豊富な栄養を(⑧与える→ )のである。



**まとめ** つぎ ぶんしりょう 次の文章を読んで、文章全体の<sup>ぶんしりょうぜんたい</sup>内容を<sup>ないよう</sup>考えて、 1 から  5 の中に入る<sup>もっと</sup>最もよいものを 1・2・3・4 から一つ<sup>えら</sup>選びなさい

自分の考えに自信をもち、これでよいのだと自分に言いきかせるだけでは充分ではない。ほかの人の考えにも、肯定的な姿勢を  1 しなくてはならない。どんなものでもその気になって探せば、かならずいいところがある。それを称揚する(注1)。

よくわからないときにも、ぶつつけに、

「さっぱりわかりませんね」

などと水をかけるのは禁物である。

「ずいぶん難しそうですが、でも、何だかおもしろそうではありませんか」

とやれば、同じことでも、 2 はまったく違ってくる。すぐれた教育者、指導者はどこかよいところを見つけて、そこへ道をつけておく。 3 では、多少、けなされていても(注2)、

4 をよりどころにして希望をつなぎとめることができる。

全面的に否定してしまえば、やられた方ではもう立ち上がる元気もなくなる。 5-a でダメだと言うのでさえひどい打撃である。ましてや  5-b からダメだときめつけられたら、目の前が真っ暗になってしまう。

(外山滋比古『思考の整理学』ちくま文庫による)

(注1) 称揚<sup>しょうよう</sup>する：ほめる

(注2) けなす：悪く言う

1

1 とるように                      2 とられるように                      3 とらせるように                      4 とらされるように

2

1 <sup>あた</sup>与えさせる<sup>かん</sup>感じ                      2 与えさせられる感じ                      3 <sup>う</sup>受ける感じ                      4 受けさせる感じ

3

1 <sup>ひびりょう</sup>批評した<sup>がわ</sup>側                      2 批評された側                      3 批評させた側                      4 批評させられた側

4

1 ほめたところ                      2 ほめられたところ                      3 けなしたところ                      4 けなされたところ

5

1 a みんな / b 自分                      2 a <sup>たにん</sup>他人 / b みんな  
3 a 他人 / b 自分                      4 a 自分 / b 他人

A 視点<sup>してん</sup>の置き方<sup>お かつ</sup>

◆比較<sup>ひかく</sup>して考えた<sup>かんが</sup>ときに、心理的<sup>しんりてき</sup>に話者<sup>わしゃ</sup>に近い<sup>ちか</sup>方に視点<sup>してん</sup>を置き<sup>お</sup>ます。

わたし>いとこのみっちゃん>(わたしが住んでいる市の)<sup>しちよう</sup>市長>アメリカの<sup>だいてうりよう</sup>大統領

例 ○ いとこのみっちゃんは市長にいい仕事を紹介してもらった。

(「みっちゃん」のほうが「市長」より心理的に書き手に近い。)

× 市長はいとこのみっちゃんにいい仕事を紹介してあげた。

○ 市長はアメリカの大統領にいい会場を用意してもらったそうだ。

(「市長」のほうが「アメリカの大統領」より心理的に書き手に近い。)

× アメリカの大統領は市長にいい会場を用意してあげたそうだ。

B 「～てもらう・～てくれる」を使うときの注意<sup>つか ちゆうい</sup>

◆「～てもらう・～てくれる」と「～られる(受身)<sup>うけみ</sup>」は主に「快・不快<sup>おも かい ふかい</sup>」で使い分け<sup>つかい わ</sup>ます。

形式 <sup>けいしき</sup>	快・不快	例
～てもらう ～てくれる	快	きれいな服を着た日に、姉に写真を撮 <sup>と</sup> ってもらった。 毎朝、7時に電話で起こ <sup>おこ</sup> してもらっている。 今日のコンサートでは懐 <sup>なつ</sup> かしい曲 <sup>きよく</sup> をたくさん聞 <sup>き</sup> かせてもらった。 お掃除 <sup>そうじ</sup> ロボットは自動で部屋 <sup>へや</sup> を掃除 <sup>そうじ</sup> して <sup>て</sup> くれる機械 <sup>きかい</sup> である。
～られる (受身)	不快	変 <sup>へん</sup> な顔 <sup>かお</sup> をしていたら、姉に写真を撮 <sup>と</sup> られた。 毎晩、赤 <sup>あか</sup> ん坊 <sup>ぼう</sup> の泣 <sup>な</sup> き声 <sup>こゑ</sup> に起こ <sup>おこ</sup> されて、寝 <sup>ね</sup> 不足 <sup>ふそく</sup> になる。 隣 <sup>となり</sup> が音楽 <sup>おんがく</sup> 教室 <sup>きょうしつ</sup> なので、下手 <sup>たより</sup> なバイオリンを毎日聞 <sup>き</sup> かされる。 机 <sup>つくえ</sup> の上 <sup>うへ</sup> を他人 <sup>たにん</sup> に勝手 <sup>かって</sup> に掃除 <sup>そうじ</sup> されたら気分 <sup>きぶん</sup> が悪い <sup>わるい</sup> だろう。

\*受身文<sup>うけみぶん</sup>には中立<sup>ちゅうりつてき</sup>的な意味<sup>いみ</sup>のものもあります。

「名前<sup>なまえ</sup>を呼<sup>よ</sup>ばれたら、返事<sup>へんじ</sup>をしてください」→第3部6課

◆「～てもらう・～てくれる」がないと、動作<sup>どうさ</sup>の相手<sup>あいて</sup>がわからないことがあります。

例 ? 田中<sup>たなか</sup>さんが教<sup>おし</sup>えた歌<sup>うた</sup>は、アメリカの民謡<sup>みんよう</sup>だそうです。(だれに教<sup>おし</sup>えたかわからない。)

○ 田中<sup>たなか</sup>さんに教<sup>おし</sup>えてもらった歌<sup>うた</sup>は、アメリカの民謡<sup>みんよう</sup>だそうです。(わたし(たち)に教<sup>おし</sup>えた。)

○ 田中<sup>たなか</sup>さんが教<sup>おし</sup>えてくれた歌<sup>うた</sup>は、アメリカの民謡<sup>みんよう</sup>だそうです。(わたし(たち)に教<sup>おし</sup>えた。)

? 花子<sup>はなこ</sup>が書<sup>か</sup>いた手紙<sup>てがみ</sup>を何度も読み返<sup>よみかへ</sup>しています。(だれに書<sup>か</sup>いたかわからない。)

○ 花子<sup>はなこ</sup>が書<sup>か</sup>いてくれた手紙<sup>てがみ</sup>を何度も読み返<sup>よみかへ</sup>しています。(わたしのために書<sup>か</sup>いた。)



◆「～てもらう」と「～てくれる」は主語が違います。文章中に主語がはっきり表れない場合があるので注意が必要です。

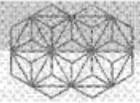
例・事務室に行けば、申請書の書き方を教えてくださいますよ。教えてもらってから書いたほうがいいですよ。（事務室の人が教えてくれる。 わたしたちが教えてもらう。）

**練習1** 適当なものを選びなさい。

- 1 兄は婚約者のゆき子さんが(a くれた b あげた c もらった)ネクタイをなくして大騒ぎしている。
- 2 田中部長はわたしの母にまで海外旅行のお土産を買ってきて(a くれた b あげた c もらった)。
- 3 君が説明書を(a 送った b 送ってくれた c 送ってあげた)ので助かりました。
- 4 昨日渡辺君が(a 見せた b 見せてくれた c 見せてもらった)書類に何が書いてあったか忘れてしまった。
- 5 山本さんがうちの祖母を花見に招待して(a くれた b あげた c もらった)。
- 6 道に迷ってしまった。通りかかったおばあさんに道を聞いたら、親切に教えて(a くれた b あげた c もらった)。
- 7 今日は美容院で、あまり好きではない形に髪を(① a 切ってくれた b 切ってもらった c 切られてしまった)。来月はカット代を節約するために、姉に髪を(② a 切ってもらう b 切ってあげる c 切られる)ことにしよう。
- 8 駅前のスーパーでは、買ったものをまとめて自宅に(① a 届ける b 届けてあげる c 届けてもらう)というサービスを始めた。わたしは週に1度、仕事の帰りにまとめ買いをして、(② a 届けて b 届けてあげて c 届けてもらって)いる。

練習2 てきとう えら 適当なものを選びなさい。

- 1 この市には外国人相談室そうだんしつというのがある。何か問題があるとき、いろいろ相談おうに応じて  
(① a あげる b もらう c くれる)。先日、この相談室せんじつに行ってアパートの探し方さが かつを教  
えて(② a あげた b もらった c くれた)。中国語と英語と韓国語かんこくごのコーナーがあつて、  
話をちゃんと理解りかいして(③ a あげる b もらう c くれる)から心強い。友人にもこの  
相談室こころづよのことを教えて(④ a あげよう b もらおう c くれよう)と思う。
- 2 同じクラスの山口さんは、校長先生すいせんしよに推薦書せんじつを書いて(① a あげて b もらって c くれて)、  
日本の高校生の代表だいひょうとして世界青少年平和会議せしやうねんへい わかいぎに参加さんかすることになった。あの厳きびしい校長先生  
がよく推薦書かんしんを書いて(② a あげた b もらった c くれた)ものだと感心するが、山  
口さんにはそれだけのパワーがある。そのパワーを周りまわの人たちにも分けて(③ a あげて  
b もらって c くれて)ほしい。
- 3 だれかに自分の気持ちを聞いて(① a あげる b もらう c くれる)ことは、精神安定剤せいしんあんていざい  
のような効果こうかがある。何の批判ひはんもされず、ただ聞いて(② a あげる b もらう c くれる)  
だけで人は心が安定あんていしてくるものだ。相手あいてがときどき軽くあいづちうを打って(③ a あげれば  
b もらえば c くれれば)、さらに話しやすい。そういう思いがあつて、わたしはほかの人  
の話けんめいを一生懸命聞いて(④ a あげる b もらう c くれる)ように心こころがけている。
- 4 年をとった母のために役所やくしよへ行って老人ホームへの入所にゅうしよを相談したら、係の人かりが丁寧ていねいに説明し  
て(① a あげた b もらった c くれた)。「市内しんないに何か所か施設しせつがありますから、お母  
さんを案内あんないして(② a あげて b もらって c くれて)ください。お母さん自身じしんが一番  
いいと思う所さがを探して(③ a あげる b もらう c くれる)のがいいですよ。」と言われ  
た。そうだ。最終さいしゅうてき的には母きに決めて(④ a あげる b もらう c くれる)のがいいのだ。
- 5 近くの公園こうえん内のベンチこわが壊れているので早く直して(① a あげたい b もらいたい  
c くれたい)と思って、役所なほに電話でんわで(② a 連絡れんらくした b 連絡してあげた c 連絡して  
もらった)。係の人いちおうは一応話を聞いて(③ a あげたが b もらったが c くれたが)、何  
日待っても直しに来て(④ a あげない b くれぬ c もらわぬ)。住民じゅうみんの要求ようきやうにもつ  
と早く(⑤ a 応じてほしい b 応じてあげてほしい c 応じてくれてほしい)。



【まとめ】 つぎ ぶんしょう 文章を読んで、 ぶんしょうぜんたい 文章全体の ないよう 内容を考えて、 1 から 5 の中に入る最もよいものを 1・2・3・4 から 1つ 選びなさい。

このあいだ、大きな葬儀社(注)の社長さんと話す機会があった。とてもやさしくあたたかみのあるその社長さんは、おもしろい話を 1。「最近、うちの会社に就職しゅうしょくしたいという若者が増えているんですよ。就職難ということもあるでしょうけれど、どうもそれだけではないようです。別の企業に合格したのに、どうしても葬儀社に、と希望して来る人もいます」

「若者たちは、これまで地味な仕事と 2 葬儀社に、どうして就職したがるのだろう？」私がそう質問すると、社長さんは 3。「それは、私たちの仕事人が人を助け、感謝される仕事だからです。今の世の中、直接お客さんから“ありがとう、おかげで助かりました”と 4 仕事は、なかなかないでしょう？」

たしかにそうだ。ふつうの会社や役所につとめても、自分のした仕事は直接、だれかを救うという機会はずがない。私も大学で授業していて、学生に「先生、いいこと教えてくれてありがとう」なんて 5 ことはない。病院では「ありがとう」と言われる場面もあるけれど、「ぜんぜんよくなりません」と苦情くじやうを言われることもけっこうある。

(香山リカ『10代のうちに考えておくこと』岩波ジュニア新書による)

(注) 葬儀社そうぎしゃ：葬式そうしきの手伝いてつだをする会社

1

- 1 聞いてくれた      2 聞いてもらった      3 聞かせてくれた      4 聞かせてもらった

2

- 1 思わされた      2 思われてきた  
3 思ってもらっていた      4 思ってもらってきた

3

- 1 答えてくれた      2 答えさせてくれた  
3 答えてあげた      4 答えさせてあげた

4

- 1 言ってくれる      2 言ってもらえる  
3 言わせてくれる      4 言わせてもらえる

5

- 1 言われた      2 言わせた      3 言ってあげた      4 言ってくれた

文章にまとまりを持たせるために、指示表現は大切な役割を持っています。文章中の指示表現は「そ」または「こ」のつくものを使い、ふつう「あ」のつくものは使いません。

A 文章中の「こ・そ・あ」の基本

◆文章の中の指示語はふつう、前に出てきた言葉や文を指します。

◆文章では「そ」を使うのが基本です。

◆話題や指すものが、話者と心理的に近いことを示したいときは、「こ」を使うことが多いです。

例・人の話に耳を傾けて熱心に聞く。このことの大切さをわたしはこのごろ実感している。

・昨日、佐藤さんが訪ねてきた。この人には10年以上もの間会っていなかったが、決して忘れてはいけない人である。佐藤さんは……

B 「こ」しか使えない場合

1. 話者が紹介した言葉やデータを指すとき

例・「それでも地球は動いている」。これは地動説を唱えたガリレオ・ガリレイの有名な言葉である。

・現在、日本の小麦の自給率は約12%である。この数字はさらに低くなると思われる。

2. 指すものの原因・理由を詳しく言うとき

例・野菜の値段が通常より上がっているそうである。これは4月になっても寒い日が続いたためである。

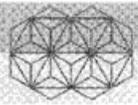
・ダイエットに成功してこのごろ体調がいいです。これは妻が厳しく健康管理をしてくれたおかげです。

C 「そ」しか使えない場合

1. 仮定文(もし～たら・たとえ～ても)の中のものを指すとき

例・もし住民が反対してこの計画が実行できなくなったら、その責任はだれがとるのか。

・たとえ遠くへ引っ越しても、そこでもきっとたくさんの友達ができるだろう。



2. 話者が指示・依頼・勧誘した内容に関係のあるものを指すとき

例・当日の会費は受付の人に払ってください。その人が会場に案内してくれるはずですが。

- ・集合場所に着いたらまずカードを受け取ることに。それに自分の名前を書いて胸につけてください。

3. すぐ前にある言葉を指すとき(「その」を使います。)

例・この箱の中に製品とその使用説明書が入っています。

- ・まず円をかき、その中に好きな言葉を三つ書きます。

4. 他者の意見や、前の文で書いたことを否定するとき

例・景気はだんだん回復していくと言う人もいるが、わたしはそうは思わない。

- ・彼には本当に指導力がないのか。そんなことはないと思います。

D 「あ」を使う場合

1. 筆者が個人的な文章の中で、回想して述べるとき

例・沢田氏と別れてもう20年になる。あの人は今どうしているのだろうか。

- ・青森から引っ越してきたのが3年前の3月。あれから青森には一度も行っていない。

問題1 どちらか適当な方を選びなさい。(両方良いものもあります。)

- 1 「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった」—(a これ b それ)は『雪国』という小説の有名な一節である。
- 2 ある雑誌にわたしはK. N. の名を見つけた。(a この b その)人とわたしにはある秘密のつながりがあった。
- 3 現在日本でウェブニュースを読む人の割合は20代が最も高く、72.8%、読まない人は26.9%、同じ年代で新聞を読む人は52.7%、読まない人は46.7%となっている(平成21年文化庁調査)。(a この b その)数字からどんなことが言えるだろうか。
- 4 町の本屋の閉店が相次いでいる。(a これ b それ)は主に、インターネットによる直接購入や大型書店の出現で、利用率が下がったためと考えられる。
- 5 まっすぐ行くと入り口があります。(a ここ b そこ)に立っている人が入館許可証を渡してくれるはずですが。

- 6 この原稿<sup>げんこう</sup>をチェックして問題点<sup>もんだいてん</sup>を見つけ出してください。(a この b その)箇所<sup>かしょ</sup>は後でわたしが再<sup>さい</sup>チェックします。
- 7 もし別の人がこの会<sup>かい</sup>を運営<sup>うんえい</sup>することになったら、(a この b その)人<sup>ひと</sup>にしっかり会<sup>かい</sup>の内容<sup>ないよう</sup>を説明したい。
- 8 このイベントに参加<sup>さんか</sup>していただけるのは、小学生<sup>しょうがくせい</sup>と(a この b その)保護者<sup>ほごしや</sup>です。
- 9 アンケート結果<sup>けっか</sup>については図A<sup>ず</sup>を見ていただきたい。(① a この b その)グラフからわかるように、買い物袋<sup>ぶくろ</sup>を必ず持参<sup>かなら</sup>する人はまだ多いとは言えない。(② a これ b それ)は「持ち歩く<sup>も</sup>のが面倒<sup>めんどう</sup>」、「なんとなく格好<sup>かつこう</sup>が悪い」というのが主な理由<sup>おも</sup>のようである。
- 10 大学の前にある喫茶店<sup>きっさてん</sup>でよくコーヒーを飲んだものだ。(① a その b あの)喫茶店<sup>きっさてん</sup>はまだ(② a その b あの)場所<sup>ばしょ</sup>にあるだろうか。

**問題2** 適当<sup>てきとう</sup>なものを選びなさい。

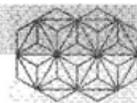
新聞を読んでいて、これかと思う記事にぶつかる。あとで切り抜いておこう、と思いながら、ほかのところへ目を移す。ところが、この「あとで」がくせものである。しばしば、その「あとで」はとうとう、やってこない。

忘れてしまう、というのではない。覚えてはいる。ただ、とりまぎれて、二日も三日も経ってしまうことがすくなくない。そこで思い出して、そうそう、(① a これ b それ c あれ)を切り抜かなくてはと、新聞をとり出して、たぶん、(② a ここ b そこ c あそこ)ではなかったか、と思うところを見ると、ない。おかしい、とすこしあわてる。こうなると、もう見つからない。さては、夕刊だったか。(③ a こんな b そんな c あんな)ことはない。たしかに朝刊で、(④ a この b その c あの)ページだったと目を皿のようにするが、見つからない。いらいらする。そうなると、ますます大事なことが書いてあったように思われてくる。

どうも、興味をもって読んだものは、頭の中へ入ると、勝手に変化するらしい。たしか、(⑤ a こんな b そんな c どんな)見出しの感じだったと思ってさすがすのに、見当たらない。やっときがし当ててみると、頭に描いていたのとは、違っているではないか。

それでも出てくればいい方である。三、四日前に(⑥ a こんな b そんな c どんな)記事があった、というのでさすがすときなど、まず、見つからない方が多い。購読紙が一紙だけならいいが、三紙も四紙もあると、そもそも(⑦ a この b その c どの)新聞だったかすら、あやしくなってしまう。新聞の山の中から、目ざす記事を見つけ出すのは、よほどの平常心が必要で、あせったり、急いだりしては、決して見つけれない。

(外山滋比古『思考の整理学』ちくま文庫による)



**まとめ** つぎ ぶんしゅう ぶんしゅうぜんたい ないよう 1 から 5 の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

雨を見ていて面白い経験をしたことがある。絵の中で雨を線で描くのは日本人だけらしい。ゴッホ(注1)が模写した有名な広重(注2)の 1、雨を線であらわすというのはヨーロッパ人には新鮮だったらしい。 2 もちろん大人になってから知ったことだ。認知学の方でも、雨を線として見るのは日本人独特の認識なのだと言っている。 3 おもしろいことだ。欧米人には雑音としてしか聴こえない虫の音が、日本ではすごく美しい音色に聞こえたりする感覚と、どこかで通じているのではないかと思う。

ぼくも、雨というのはそもそも細い水の線になって落ちてきているものだと思っていた。 4 はどこまで繋がっているのだろうかと思議だった。ところが、あるとき先生に「雨は本当は線ではない。水の粒が落ちてきているんだ」と教わった。でもなんとなくそれは納得がいかなかった。雨を見てみると、どうみても線に見える。線に見えるのに粒だとは、どうも納得がいかなかった。

その後学校で、万有引力のことを知った。理科で習ったのか、図書館で読んだのか、友だちと 5 シャべったりして覚えたのかもしれない。綿と釘を同時に落とした場合、空気の抵抗がなかったら綿も釘も一緒に落ちると聞いて、これもなかなか納得がいかなかった。

(赤瀬川原平『目玉の学校』ちくまプリマー新書による)

(注1) ゴッホ：オランダの画家(1853～1890)

(注2) 広重：日本の浮世絵師(1797～1858)

- |   |                 |                 |       |       |
|---|-----------------|-----------------|-------|-------|
| 1 | 1 雨の絵もそうなのだが    | 2 雨の絵もああなのだが    |       |       |
|   | 3 雨の絵はそれほどでもないが | 4 雨の絵はあれほどではないが |       |       |
| 2 | 1 これは           | 2 それは           |       |       |
|   | 3 こんなふうに        | 4 そんなふうに        |       |       |
| 3 | 1 これは           | 2 それは           | 3 あれは | 4 どれも |
| 4 | 1 どんな水の線        | 2 そんな水の線        |       |       |
|   | 3 あの水の線         | 4 その水の線         |       |       |
| 5 | 1 このように         | 2 そのように         |       |       |
|   | 3 こんなことを        | 4 そんなことを        |       |       |

「は」と「が」は基本的な機能が違い、文章の中でそれぞれの役割があります。文章にまとまりを持たせるために、「は」と「が」を使い分けることが必要です。

◆「は」と「が」の基本的機能

例 今日きょうの夕食ゆうしょくはユリゆりが作る。

「は」 主題しゅだい (何なにについて話はなすか) を示す。「今日きょうの夕食ゆうしょくは」

「が」 主格しゅかく (動作どうさ・事態じたいの主体しゅたい) を示す。「ユリゆりが」

A 文章ぶんしょうの中なかでの「は」と「が」の基本的用法きほんてきようほう

「が」初めて話題わだいに出たもの、または、読み手よみてには特定とくていできないと考えられるもの

「は」すでに話題わだいに出たもの、または、読み手よみてに特定とくていできると考えられるもの

例・昔むかしむかし、あるところに①おじいさんとおばあさんが住んでいました。ある日、②おじいさんは山へ木を切りに行きました。③おばあさんは川せんたくに行いって洗濯せんたくをしました。その時、川上かわかみから大きな④桃ももが流ながれてきました。⑤桃ももは今まで見たこともないほどの大きさでした。

初めて話題に出たもの：①おじいさんとおばあさんが ④桃が

すでに話題に出たもの：②おじいさんは ③おばあさんは ⑤桃は

B 初めて話題わだいに出たものであっても「は」を使う場合

1. 二つのことを対比たいひさせるとき

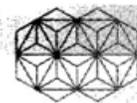
例・わたしは日本にほんに来た当時とうじは日本語がわからなかった。今はもう困こまることはない。

・この学校がっこうは環境かんきょうはいい。しかし、交通こうつうは不便ふべんだ。

2. 特とくに取り立とりたてて話題わだいにするとき

例・わたしはモーツァルトの音楽おんがくはすでに飽あきるほど聞いた。しかし、聞きくたびに新しい発見はっけんがある。

・昔むかしのようなのどかな光景こうけいはもう絶対ぜったいに見るチャンスはないだろう。そう思うと残念ざんねんでたまらない。



C すでに話題に出たものであっても「が」を使う場合

1. 前の文章の流れが大きく変わるとき

例・わたしたち夫婦は体のことで心配したことはなかった。わたしも妻も食事に気をつけ、定期的に健康診断もしていた。毎日の運動も欠かさなかった。ところがある日、妻が「体の調子が悪い」と言い出した。

・この検定試験は長い間同じ形式が守られ、毎回大体同じような内容の出題がされていた。その試験が来年から大きく変わるといふ。

2. 「は」で取り上げた話題について、特徴的なことからや性質を述べるとき：「～は～が」文

例・先日ふるさとの山形県に帰った。毎日さくらんぼを食べた。確かに山形県はさくらんぼが豊富だが、毎日食べると飽きてしまう。

・ふるさとの駅に着いて空を見上げた。ふるさとは空が特別にきれいだ。

3. 出来事の報告をするとき・ニュース性がある話題を取り上げるとき

例・今朝、中央線で電車の事故があった。そのため、電車が20分遅れた。

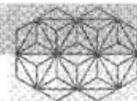
・駅前のビルが完成した。明日完成祝いが開かれるそうだ。

練習1 「は」か「が」を \_\_\_\_\_ の上に書きなさい。

- わたしは田中博士の部屋を訪ねた。目が大きく髪の長い、美しい女性 \_\_\_\_\_ 博士だった。
- わたしは田中博士の部屋を訪ねた。博士 \_\_\_\_\_ 目が大きく髪の長い、美しい女性だった。
- 日本の各地に「富士」① \_\_\_\_\_ ついた地名 ② \_\_\_\_\_ ある。それほど富士山 ③ \_\_\_\_\_ 人々に親しまれ、大切にされているのだ。
- 今年の夏の平均気温 ① \_\_\_\_\_ 記録的だった。気温 ② \_\_\_\_\_ 35度以上の猛暑日 ③ \_\_\_\_\_ 続いて、死者 ④ \_\_\_\_\_ 出るほどだった。
- たばこ ① \_\_\_\_\_ 値上がりして、喜ぶ人 ② \_\_\_\_\_ だれか。自分も含め、家族 ③ \_\_\_\_\_ たばこを吸わない人 ④ \_\_\_\_\_ 一番喜ぶのではないか。
- 近所の公園に高齢者のためのスポーツ広場 ① \_\_\_\_\_ できた。毎朝、数人 ② \_\_\_\_\_ 集まってきて、体を動かしている。
- 母の友人に山川さくらさんという人 ① \_\_\_\_\_ いる。さくらさん ② \_\_\_\_\_ 80歳を過ぎてもおしゃべりをして、よく出歩き、よくおしゃべりをしていた。そのさくらさん ③ \_\_\_\_\_ 最近全く元気がなくなったというのである。

練習2 「は」か「が」を \_\_\_\_\_ の上に書きなさい。

- 1 ミルクを買って家に帰ると、拾<sup>ひろ</sup>ってきた子猫<sup>こねこ</sup>がいない。あれほど見ていてと頼<sup>たの</sup>んだのに……。のんびり漫画<sup>まんが</sup>を読んでいる兄<sup>お兄</sup>に怒<sup>おこ</sup>って聞いた。
- 「ねえ、どこなの？」
- 「あ、お母さん① \_\_\_\_\_ 買い物。」
- 「そうじゃなくて、猫よ、猫！」
- 「ああ、さっき、お父さん② \_\_\_\_\_ 外に……。体③ \_\_\_\_\_ 汚<sup>よご</sup>れているからだめって……。」
- わたし④ \_\_\_\_\_ 最後まで聞<sup>き</sup>かずに家<sup>と</sup>を飛<sup>と</sup>び出<sup>だ</sup>した。
- 2 音楽① \_\_\_\_\_ 人の心<sup>こころ</sup>を優<sup>やさ</sup>しくする。音楽の中では、クラシックのピアノ曲② \_\_\_\_\_ 特にいいが、ピアノ曲③ \_\_\_\_\_ クラシックでなくても、最近<sup>さいきん</sup>の若い作曲家<sup>わか さつぷくか</sup>のものも気<sup>き</sup>に入<sup>い</sup>っている。そして、わたしは音楽④ \_\_\_\_\_ 好きな人⑤ \_\_\_\_\_ 好きだ。音楽⑥ \_\_\_\_\_ 好きな人⑦ \_\_\_\_\_、きっと音楽と同じようにわたしの心<sup>こころ</sup>を優<sup>やさ</sup>しくしてくれるだろうと思う。
- 3 君<sup>きみ</sup>は広島<sup>ひろしま</sup>に行ったことがありますか。広島<sup>ひろしま</sup>の原爆<sup>げんぱく</sup>ドーム① \_\_\_\_\_ 世界遺産<sup>いさん</sup>にも指定<sup>してい</sup>されています。日本には世界遺産② \_\_\_\_\_ 10数<sup>すう</sup>か所<sup>しょ</sup>あり、いろいろな国<sup>くに</sup>の人③ \_\_\_\_\_ 訪<sup>おとず</sup>れますが、近代<sup>せんせい</sup>の戦争<sup>せんそう</sup>のきずあとを世界遺産<sup>いさん</sup>にしているの④ \_\_\_\_\_ ここだけなので、ぜひ一度見<sup>み</sup>に行<sup>い</sup>ってみるといいでしょう。
- 4 いつだったかわたし① \_\_\_\_\_ 連絡<sup>れんらく</sup>せず<sup>おそ</sup>に遅<sup>おそ</sup>く帰<sup>かえ</sup>ったので、父<sup>ちち</sup>にしかられた。父② \_\_\_\_\_ とても心配<sup>しんぱい</sup>したらしい。もともとうちの父③ \_\_\_\_\_ 母<sup>はは</sup>より心配<sup>しんぱい</sup>性<sup>せい</sup>で、何かと心配<sup>しんぱい</sup>すること④ \_\_\_\_\_ 多い。その父⑤ \_\_\_\_\_、ある日<sup>あるひ</sup>から突然<sup>とつぜん</sup>、性格<sup>せいかく</sup>⑥ \_\_\_\_\_ 変わったように何も心配<sup>しんぱい</sup>しなくなった。これにはわたしより母<sup>はは</sup>の方⑦ \_\_\_\_\_ 驚<sup>おどろ</sup>いたようだ。
- 5 「力<sup>ちから</sup>がある人① \_\_\_\_\_ 何でも一人<sup>ひとり</sup>で決<sup>き</sup>めるのではだめだ。多数決<sup>たすうけつ</sup>で決<sup>き</sup>めよう。」と、「多数決<sup>たすうけつ</sup>」という方法<sup>ほうほう</sup>がよく使<sup>つか</sup>われる。多数決② \_\_\_\_\_ 民主主義<sup>みんしゆしゆ</sup>的手段<sup>ぎてきしゆだん</sup>としてわたしたちの日常<sup>にちじょう</sup>の中<sup>なか</sup>に入り込<sup>こ</sup>んでいる。みんなに同じ権利<sup>けんり</sup>③ \_\_\_\_\_ あって、一番<sup>いちばん</sup>多く賛成<sup>さんせい</sup>を得<sup>え</sup>られた意見<sup>いけん</sup>④ \_\_\_\_\_ 尊重<sup>そんじゆう</sup>される。多数決⑤ \_\_\_\_\_ 確<sup>たし</sup>かに民主主義<sup>みんしゆしゆ</sup>的な方法<sup>ほうほう</sup>ではあるだろう。しかし、ときどき問題<sup>もんだい</sup>になること⑥ \_\_\_\_\_ ある。少数<sup>しょうすう</sup>の意見<sup>いけん</sup>⑦ \_\_\_\_\_ どうなるか。この点<sup>てん</sup>も考<sup>かんが</sup>えられなければならない。徹<sup>てつ</sup>底的<sup>ていでき</sup>に話し合<sup>はな</sup>いを行<sup>あ</sup>い、少数<sup>しょうすう</sup>の意見<sup>いけん</sup>⑧ \_\_\_\_\_ 考<sup>こうりよ</sup>慮<sup>りよ</sup>されてこそ、多数決<sup>たすうけつ</sup>が民主<sup>みんしゆ</sup>的手段<sup>しゆだん</sup>になるのだと思う。



**まとめ** つぎ ぶんしやう 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、**1** から **5** の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

どんな大木も、そのほとんどの部分は死んでいます。**1**、樹皮(注1)の下のわずかな部分だけ。よく、中心部が腐(くさ)って中空(ちゆうくう)になっても生きている木がありますが、それは **2** 最初から死んでいるのです。

生きている部分は、日々成長を続けています。春から秋まではさかんに成長し、冬にはごくわずかししか成長しません。そして、成長がよかった部分が白くなり、悪かった部分は黒色になります。**3** 年輪(ねんりん)(注2)のできるしくみです。ですから、4～6年ほどで高さ20メートルに成長する熱帯地方特有の樹木バルサは、**4**、ほとんど年輪がありません。

ちなみに、**5** 毎年、外側に増えていくのでしょうか、それとも内側に増えていくのでしょうか。答えはもちろん、外側。樹皮の下の部分が生きているということを知っていれば、答えは簡単ですね。

(©本郷陽二/日本文芸社)

(注1) 樹皮(じゆひ)：木の表面(ひやうめん)にある皮(かわ)

(注2) 年輪(ねんりん)：木を横(よこ)に切ったときに見られる、円(ま)がいくつも重な(かさ)っている模様(もよう)

**1**

1 生きているのが

2 生きているのは

3 死んでいるのが

4 死んでいるのは

**2**

1 その部分(ぶぶん)が

2 その部分は

3 この部分なら

4 この部分も

**3**

1 これは

2 これが

3 それは

4 それが

**4**

1 気候(きこう)の変化(へんか)が多いので

2 気候の変化が少ないため

3 気候の変化は多ければ

4 気候の変化は少なかったら

**5**

1 木の年輪(ねんりん)が

2 木の年輪は

3 木の年輪も

4 木の年輪では

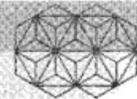
接続表現は、文と文、段落と段落の関係をはつきりと示すために使われる言葉で、文章の展開を助け、文章にまとまりを持たせる役割を果たします。読む人からすると、次にどんな内容が書かれているかを予測する手がかりになります。

◆文章で使われる、N2レベルの接続表現の基本的な使い方は次のようなものです。

つづ かけ方		a	b
話 題 を 変 え ない	A 並べる	くわ えて 言 う しかも そのうえ さらに そればかりか そればかりでなく	くら べて 言 う それに対して 一方 どちらかであることを言う あるいは それとも
	B 論理的に続ける	けつ 果 ・ けつ 論 を 言 う そのため したがって そこで すると このように こうして	よ ぞ う と あ わ な い こ と を 言 う だが ところが それなのに それでも
	C 説明を補う	り 由 ・ こん き ょ ・ ば い け い を 言 う なぜなら というのは	た だ し た だ も っ と も なお
D 話題を変える	さ て	と ころ で	

A 話題を変えない—並べる

- a 例・すごい雨だ。しかも、風まで強くなってきた。(同じ評価のことを加える)
- 田中さんの家で料理をごちそうになった。そのうえ／さらに／そればかりか／そればかりでなく、お土産までもらった。(もっと程度が高いことを加える)
- b 例・駅の南口の方はにぎやかだ。それに対して／一方、北口の方は静かだ。(比べる)
- 風邪かもしれない。あるいは、インフルエンザかもしれない。(ほかの可能性を言う)
  - 仕事を続けるべきか。それとも、留学するべきか。(ほかの選択肢になる質問を言う)



B 話題を変えない—論理的に続ける

- a 例・この町は標高1,000mの高地にある。そのため、夏でも涼しい。(結果を言う)
- ・ここは禁煙だ。したがって、たばこはここで吸ってはならない。(結論を言う)
  - ・わからないところがあった。そこで、先生に聞いてみた。(その理由による行動を言う)
  - ・太郎は箱を開けた。すると、中から煙が出てきた。(そのきっかけで起こることを言う)
  - ・メールはいつでも簡単に送れるし、安い。しかし気持ちがよく伝わらないこともある。このように、メールにはいい点も良くない点もある。(結論を整理して言う)
  - ・大学では友達もできたし、いいアルバイトも見つかった。こうして、わたしの新しい生活は始まった。(結果をまとめて言う)
  - ・結婚式は必要ないと思う。なぜなら／というのは、お金がかかるからだ。(理由を言う)
- b 例・この映画は30年前に作られた。だが、今も人気がある。(予想と合わないことを言う)
- ・何度も確認したはずだった。ところが、計算が間違っていた。(意外な事実を言う)
  - ・全力で走った。それなのに、負けてしまった。(意外な事実や残念な事実を言う)
  - ・宝くじが当たることはめったにない。それでも、買い続けている。  
(その事実があっても変わらないことを言う)

C 話題を変えない—説明を補う

- a 例・明日は休みだ。つまり、学校に行かなくてもいいのだ。(別の言い方で言う)
- ・野菜は健康にいいが、肉や魚などのたんぱく質も取る必要がある。要するに、いろいろな物をバランスよく食べることが重要だ。(要約する)
  - ・このアニメを知らない日本人はいないだろう。いわば、これは国民的アニメだ。(例える)
- b 例・閉館日は月曜です。ただし、祝日と重なる場合は翌日の火曜が閉館です。(例外を言う)
- ・この時計はデザインもいいし性能もいい。ただ、値段が高い。(評価や主張を修正する)
  - ・わたしはテニスが好きだ。もっとも、最近はやっていない。(予想されることを修正する)
  - ・説明会は3時までです。なお、その後ご質問を受け付けます。(補足情報を言う)

D 話題を変える

- a 例・お久しぶりです。お元気ですか。さて、今日はお聞きしたいことがあってメールしました。  
(次の展開に進むために話を変える)
- b 例・今年もあと1日。お正月の準備はお済みですか。ところで、12月31日が「大みそか」と呼ばれるのはなぜでしょうか。(別の方向に話を変える)

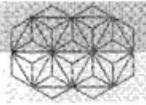
**練習1** 適切なものを選びなさい。

- DVDを借りたい。(① a そのうえ b それなのに c すると)、近くにはDVDを借りられる店がない。そのような人も多いでしょう。(② a ところで b したがって c そこで)、考え出されたのが、インターネットでDVDが借りられるシステムです。
- 「あそこに咲いていた花はきれいだったね」と言われても、覚えていないことがある。(① a このように b ただ c さて)、記憶は人によって異なる。(② a ところが b あるいは c つまり)、見たものが必ず記憶に残るとは限らないのだ。
- 出版物などのコピーは私的な利用だけに制限されている。(① a あるいは b ところが c したがって)、ほかの人が書いた本を許可なくそのままコピーして多くの人に配ることはできない。(② a さらに b それとも c ただし)、目の不自由な人のために点字に直すことなどは認められている。
- 多くの人々が、どこへ行くにも携帯電話を持ち歩いている。(① a しかも b いわば c そこで)、携帯電話は体の一部と言ってもいい。今の携帯電話は「電話」という名前以上の働きをする。(② a たとえば b なぜなら c すると)、持ち主が今どこにいるかもわかり、必要な情報を送ってくれる。(③ a それとも b そればかりでなく c つまり)、銀行の通帳のような役割も持っている。(④ a そのため b ただし c それでも)、わたしは携帯電話を持ちたくはない。この反抗心は何なのか。

**練習2**  から適切なものを選び、 の上に書きなさい。

一方      そこで      すると      なぜなら      こうして

- バナナがまだ青くて硬い場合はりんごと一緒に保存しておく。① \_\_\_\_\_、早く柔らかくなる。② \_\_\_\_\_、りんごからはエチレンという物質がたくさん出ているからだ。この物質がほかの果物を柔らかく甘くするのだ。
- テレビが登場したばかりのころ、「向こうから見られている気がする」という苦情が多く来たのだそうだ。そのころのテレビ画面は丸かった。① \_\_\_\_\_、画面を四角いものに変えたら、このような苦情はなくなった。目玉にしても、カメラのレンズにしても、丸いものはこちらをのぞくものだという意識が働く。② \_\_\_\_\_、窓のような四角い穴なら、こちらから眺めるとテレビの機能と合っているというわけだ。③ \_\_\_\_\_、テレビ画面は丸ではなくて四角い形が用いられるようになったのだという。



【まどめ】 つぎ ぶんしょう 次の文章を読んで、 ぶんしょうぜんたい ないよう 文章全体の内容を考えて、 1 から 5 の中に入る最もよいものを 1・2・3・4 から一つ えら 選びなさい。

最近、カフェ・オ・レという言葉もすっかり日本語に定着したようだ。私たちが大学時代に使った仏和辞典には「牛乳入りコーヒー」とか「ミルク・コーヒー」と訳語がついていたことを思うと隔世の感がある。

1、フランスの民衆がカフェ・オ・レに親しむようになったのはいつのころかという、これが思っているよりも古く、十九世紀の初頭には、カフェ・オ・レとパンだけで朝食をすます習慣がすでに一般的になっていた。

2、早合点してはならないのは、当時のカフェ・オ・レは、コーヒーに牛乳を入れたものではなく、牛乳にコーヒーを入れたものだったということである。 3、牛乳を飲みやすくするためにコーヒーで割ったのである。

今日ではちょっと信じられないが、ヨーロッパでは、長いあいだ、牛乳は飲むためのものではなく、バターやチーズを作るための原料にすぎなかった。なぜかといえば、牛乳は腐敗しやすく、変質したタンパクは強い毒性を持っているからである。

4、医者の中には、牛乳が回復期の病人に効果があると主張する者もあったので、わざわざ近郊の農家に出向いて、その場で牛乳を飲む都市住民も出てきた。やがて、目先のきく農民が、搾りたての牛乳を朝一番で運んできて都市の街角で売ようになった。結核の予防になるという噂が牛乳を飲む習慣をさらに広めた。

だがご存じのように、搾りたての牛乳というのは匂いがきつくて案外飲みにくいものである。

5 匂い消しに登場したのがコーヒーだったというわけである。

(鹿島茂『クロワッサンとベレー帽 ふらんすモノ語り』中公文庫による)

- |   |         |       |        |            |
|---|---------|-------|--------|------------|
| 1 | 1 また    | 2 さらに | 3 ところが | 4 ところで     |
| 2 | 1 そのため  | 2 しかも | 3 だが   | 4 一方       |
| 3 | 1 つまり   | 2 やはり | 3 あるいは | 4 なるほど     |
| 4 | 1 なお    | 2 しかし | 3 さて   | 4 そればかりでなく |
| 5 | 1 このように | 2 すると | 3 そこで  | 4 したがって    |

# 11 課 省略・繰り返し・言い換え

文章としてのまとまりを持たせるために「省略」がよく行われます。省略とは、文章の流れの中で、何を指しているかはっきりわかっている語を後に続く文では言わないことです。そうすることによって言葉の無駄がなくなり、また、文章としてまとまりが出ます。

また、前の文に出てきた言葉に関連する語で言い換えることがよくあります。これも文章にまとまりを持たせるための一つの手段です。

## A 省略されやすい場合

◆前の文に出てきて、後の文で同じ語の繰り返しになる場合は省略できます。

- 例・あきらはまだ『こころ』を読んでいる。もう3回も(『こころ』)を読んだそうだが、(『こころ』)を読むたびに新しい発見があるので、何回(『こころ』)を読んでも飽きないのだそうだ。
- ・先日、あるウイスキー工場へ見学に行った。(ウイスキー工場は)周囲に山々が見え、素晴らしい所だった。

◆前の文に出てきた言葉を「は」で受ける場合、「～は」は省略できます。

- 例・家の前に車が止まっている。(車は)黒いベンツだった。
- ・あき子は窓際で本を読んでいた。(本は)前日、本屋で見つけ、迷わず買ったものだ。

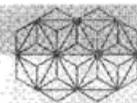
◆前の文と後の文の主題(「～は」で表される)が同じ場合、後の文の主題を省略できます。

- 例・うちは駅から10分のところにある。夜は人通りが少なくなる。(夜は)用心しなければ危ない。
- ・わたしは最近体調が良くない。(わたしは)仕事が多すぎるのだ。

## B 省略されない場合

◆どの言葉の省略なのかわかりにくい場合は、省略しません。

- 例・木村さんが林さんに荷物を渡した。林さんはとてもうれしそうだった。
- (省略すると主語が林さんか木村さんかわからなくなる。)
- ・この工場では26人の工員と3人の事務員が働いている。工員は、朝8時半には出勤する。
- (省略すると主語が工員か事務員か、あるいは工員と事務員なのかわからなくなる。)



◆主題を省略した文の後、次の文で別の言葉が主題になっている場合、ふつう省略しません。

例・わたしはリン・ブンショウと申します。(わたしは)中国から来ました。(わたしは)今、東西大学の経済学部3年生です。大学は東京から30キロ離れた所にあります。

### C 繰り返し・言い換え

◆前の文に出てきた言葉を同じ言葉で繰り返したり、関連がある別の言葉などで言い換えたりします。

例・山田氏は学生時代、金がなく土木工場のアルバイトをよくやったという。労働はきつく、勉強する気力も残らないほどだった。

土木工場のアルバイト・労働=似た意味の言葉

・わたしは子供のときから虫を観察するのが好きだった。何時間でも野原で虫を見ていた。時には精密に虫の絵を描いた。将来は虫博士になりたいと思っていた。20年後、夢は実現した。

虫を観察・虫を見て・虫の絵・虫博士=同じ語

虫を観察・虫を見て=似た意味の語

将来は虫博士になりたいと思っていた・夢=内容の言い換え

練習1 次の文の下線の言葉を省略できる場合は( )で囲みなさい。

例 庭に桜の木がある。(桜の木は)祖母の代からこの家にある。

- 仕事と生活のバランスを保つのは難しい。仕事と生活のバランスが崩れると体調にも影響する。
- サイレンが鳴った。サイレンは3回鳴った。
- この料理は豆腐と卵で作ります。まず、ボールに豆腐を入れ、はしでかき混ぜて豆腐を崩します。
- 「世界どこでもトラベル」という番組はとても人気がある。この番組はクラスのほとんどの人が見ている。わたしもこの番組を毎週楽しみにしている。
- ストレスという言葉は最初に使ったカナダのハンス・セリエ博士によれば、心と体は別々のものではなく、心で起きたことは体に影響を及ぼし、体で起きたことは心に影響を与える。したがって、心身の健康を考えると、ストレスをどう扱うかは大切なことである。
- 睡眠にはレム睡眠とノンレム睡眠がある。レム睡眠は、体は休んでいるが脳は覚めている眠りのことである。
- わたしが住んでいる所は小さい村のはずれだ。わたしが住んでいる所は周囲に人家がない寂しい所である。人家は15分歩いた所にやっと1軒ある。

練習2 \_\_\_\_\_の部分の主語を書きなさい。

1 山田さん、ごぶさたしています。お宅のみなさんは、例お元気ですか。おとし<sup>①</sup>お会いしたときには、年内に仕事でスイスに行かれるとのことでしたが、その後、またどこかに出張されましたか。

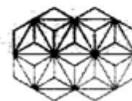
実は、わたしも先日、スイスに行ってまいりました。本当に美しい国ですね。あちこち見て周りました。スイスにいとこが住んでいるので、何かと世話してくれました。いとは今度は、日本で仕事をするのだそうで、久しぶりに日本に帰れると言って、喜んでいました。

例：お宅のみなさん

- ①： \_\_\_\_\_                      ②： \_\_\_\_\_                      ③： \_\_\_\_\_  
 ④： \_\_\_\_\_                      ⑤： \_\_\_\_\_                      ⑥： \_\_\_\_\_  
 ⑦： \_\_\_\_\_                      ⑧： \_\_\_\_\_

2 「コピーアンドペースト(コピペ)」という言葉が話題になっている。<sup>①</sup>「コピーしてはりつける」という意味だ。元はパソコン用語だが、このごろは「ほかの人が書いて、ウェブ上に載せたものを、そのままコピーして自分の文章の中に使う」という意味で使われることが多い。「コピペ論文はだめです。自分の言葉で書きなさい」と言って、大学の先生たちもこれを禁止しているが、なかなかなくならない。最近は不正なコピペが行われていないかどうかを調べるソフトが作られているようだ。大いに役立つと期待される。

- ①： \_\_\_\_\_                      ②： \_\_\_\_\_                      ③： \_\_\_\_\_  
 ④： \_\_\_\_\_                      ⑤： \_\_\_\_\_                      ⑥： \_\_\_\_\_



**まとめ** つぎ ぶんしょう 次の文章を読んで、文章全体の<sup>ぶんしょうぜんたい</sup>内容を<sup>ないよう</sup>考えて、 から  の中に入る<sup>もっとも</sup>最もよいものを1・2・3・4から一つ<sup>えら</sup>選びなさい。

ぼくは、まわりの人があきれてしまうぐらいに、もの忘れをしてしまいます。

たとえば、ぼくが学生に「こういう実験をしてみたらどう？」と言ったはずなのに、一週間後にその実験をしている姿を見て「なんでそういう実験をやっているの？」と訊いたりする。挙句の果てに「その実験はあまり意味がない」みたいなことさえも 。もの忘れがひどいのは昔からなのです。(略)

もの忘れやド忘れ<sup>(注)</sup>が増えると思えてしまう理由は、いくつかあります。子どもの頃に比べて大人はたくさんの知識を頭の中に詰めているから、 知識を選び出すのに時間がかかる。「大人が一万個の知識の中からひとつを選ぶようなものとしたら、子どもは十個の記憶の中からひとつ選び出すだけだからすぐにできる」というような比喩ができます。

生きてきた上で  わけだから、これはもう仕方のないことと言っていいと思います。ド忘れをしていても、その内容を誰かに言ってもらおうと「ああ、それぞれ！ それを言いたかった」とわかりますよね。つまり、ド忘れしている最中でも、その一方で脳は、正解が何かもまた、ちゃんと知っているわけです。つまり、忘れてしまった情報が消えてしまった 。

それともうひとつ、実は子どももたくさんド忘れをするんです。ぼくも小さい頃からあちこちにものを置き忘れて困った記憶があるのですが、ただ、重要なことは、 気にしていない。それが健全な姿だと思います。

(池谷裕二・糸井重里『海馬 脳は疲れない』朝日出版社による)

(注) ド忘れ<sup>わす</sup>：よく知っているはずのことを忘れてどうしても思い出せないこと

- 1** 1 言うてしまう      2 言われてしまう      3 言わせてしまう      4 言わされてしまう
- 2** 1 その忘れたことの中から      2 その一万個<sup>ち</sup>の中から  
3 そのたくさんの中から      4 そのいくつかの中から
- 3** 1 たくさん<sup>ち</sup>のことを忘れた      2 たくさん<sup>ち</sup>のド忘れをした  
3 たくさん<sup>ち</sup>の知識<sup>ちしき</sup>を蓄<sup>たくわ</sup>えた      4 たくさん<sup>ち</sup>のことを選<sup>えら</sup>び出<sup>だ</sup>した
- 4** 1 わけにはいかない      2 わけがない      3 はずがない      4 わけではない
- 5** 1 子どもはその記憶<sup>きおく</sup>を      2 子どもはそのド忘れを  
3 大人はその記憶を      4 大人はそのド忘れを

文章としてのまとまりを持たせるために、文体を統一するのが普通です。比較的硬い文章で使われる文法形式や語彙は、日常的な会話の中で使われるものとは異なります。

文体 = 文章の種類・場面・目的によって異なる表現形式

A 硬い文章の基本

◆ 全体を普通体か丁寧体かどちらかに統一して書きます。

◆ 縮約形や会話にだけ現われる言い方は使いません。

- 例 × これは経済政策じゃない、っていうか、税金の無駄遣いって思ったんだよ。  
○ これは経済政策ではない。というより、税金の無駄遣いだと思ったのだ。

◆ 助詞の省略はしません。

- 例 × 現場行って、故障の原因調べた。  
○ 現場へ行って、故障の原因を調べた。

◆ 読む人を直接意識しているような書き方はしません。

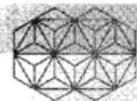
- ・ 敬語 × すでにご紹介したように、今、少子化の問題は深刻である。  
○ すでに述べたように、今、少子化の問題は深刻である。
- ・ 依頼表現 × この問題について改めて考えてみてください。  
○ この問題について改めて考えてみてほしい・考えてみてもらいたい・考えてみたほうがいい。

B 硬い表現と会話で使う表現

◆ 比較的硬い文章の中に日常会話で使う言い方が混じると、文体が統一できません。以下のような文法形式に注意しましょう。

(数字と記号は第1部の課)

意味	硬い文章で使う表現	日常会話で使う表現
たとえ	～ようだ	～みたいだ



時間関係を表す <small>じ かんかんけい あらわ</small>	～に際して・あたって(1) <small>さい</small>	～とき
	～つつある(2)	～ている
限定する 限定しない <small>げんてい</small>	～のみ(F)	～だけ
	～のみならず(6)	～だけじゃなくて
	～はもとより(6)	～はもちろん
例示する <small>れいじ</small>	～など・～といった(10)	～とか
条件を表す <small>じょうけん あらわ</small>	～であれば	～だったら
	～であっても	～だって
	～にせよ(15)	～にしても(15)・～にしたって
理由を表す <small>りゆう あらわ</small>	～ため・～によって(16)	～ものだから(16)・～もので(16)
	～につき(16)	～ことだし(17)
軽く言う <small>かる い</small>	～など(21)	～なんか・～なんて(21)
意見や判断を の述べる <small>いけん はんだん</small>	～おそれがある(22)	～かもしれない
	～まい(22)・～ではあるまいか(22)	～ないんじゃない
	～に相違ない(22) <small>そうい</small>	～にきまっている(22)
	～にほかならない(23)	絶対～だ <small>ぜったい</small>
強くそう感じる <small>つよ かん</small>	～ざるを得ない(25) <small>え</small>	～なくちゃ・～なきや

- ◆ 語彙も文体によって使われるものが違います。同じような意味の言葉でも、硬い文章では漢字だけを使う漢語が多く使われます。

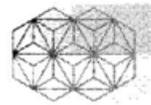
品詞 <small>ひんし</small>	硬い文章で使う表現	日常会話で使う表現
副詞 <small>ふくし</small>	非常に・大変・極めて <small>ひじょう たいへん きわめて</small>	とても・すごく
	わずかに	ちょっと・少々 <small>しょうしょう</small>
	多数・大量に <small>たすう たいりょう</small>	いっぱい
	徐々に・次第に <small>じょじょ しだい</small>	だんだん
動詞 <small>どうし</small>	の述べる・語る <small>かた</small>	しゃべる
接続詞 <small>せつぞくし</small>	しかし・だが	でも・けど
その他 <small>た</small>	このような・こうした	こんな

**練習1** どちらか適当な方を選びなさい。

- このまま温暖化が続けば、多くの生物が絶滅するに(① a 違う b きまっている)。さらに、他の生物(② a のみならず b だけじゃなくて)人間も住めなくなるだろう。
- 自分が悪いことをしたと思ったのなら、(① a 謝らなきゃ b 謝らなければ)ならない。(② a こんな b このような)基本的なことができない大人が(③ a 多すぎるんじゃないでしょう b 多すぎるのではないだろうか)。
- <親しい友達に>「あ、太郎君。ごめん。今、(① a わずかに b ちょっと)困ったことが(② a 起こっちゃって b 発生してしまって)、家を出られないの。遅れる(③ a おそれがある b かもしれない)から、先に行つて。」
- ある調査によると、毎日(① a 本や新聞など b 本とか新聞とか)の活字を読んでいる子供は、(② a そうじゃない b そうでない)子供に比べて、自分の意見を(③ a しゃべる b 伝える)能力が高いことがわかった。
- <新聞記事>首相は23日の記者会見において、新しく大臣に(① a 就任する b なられる)議員の名前を(② a 言う b 発表する)ことになっている。

**練習2** \_\_\_\_\_の部分は文体に合っていません。合うように書き換えなさい。

- <レポート>日本人の学生と留学生を対象に、① やった「大学生活への満足度」に関するアンケート調査の結果を② ご報告いたします。最も違いが大きかった項目は「③ なんてこの大学を選んだか」④ っていう質問に対する答えで、「自分の学力ではここしか入れなかった もんで」⑤⑥とかの消極的な理由が日本人学生に目立った。  
①: \_\_\_\_\_ ②: \_\_\_\_\_ ③: \_\_\_\_\_ ④: \_\_\_\_\_  
⑤: \_\_\_\_\_ ⑥: \_\_\_\_\_
- <新聞記事>宇宙航空開発機構は5日、台風の影響①があることだし、6日早朝7時に予定されていた人工衛星ロケットの打ち上げを、延期すると発表した。新たな打ち上げは、関係者②のお話では、9日午後③だったら調整可能だという。詳細は④決まったらすぐ発表するとしている。  
①: \_\_\_\_\_ ②: \_\_\_\_\_ ③: \_\_\_\_\_ ④: \_\_\_\_\_



**まとめ** つぎ ぶんしょう 次の文章を読んで、文章全体の<sup>ぶんしょうぜんたい</sup>内容を<sup>ないよう</sup>考えて、 から  の中に入る<sup>もつと</sup>最もよいものを1・2・3・4から一つ<sup>えら</sup>選びなさい。

日本人は、たった50年ほどの間に、多くの家電製品に囲まれて大量にエネルギーを使う生活様式へと変化しました。私たちの生活空間はモノで豊かになりましたが、相変わらず生活時間の点では貧乏な状態がつづいています。これまでの研究からは、いくら労働が節約できる製品が開発されても、私たちが求めている生活水準がそれ以上に上昇して 、家事時間は  減らなかったことがわかっています。その傾向はいまでもつづいているのです。

また、生まれてくる子どもは減り続けて、少子高齢化が問題になっています。日本では、仕事をしている人は、自分が普通に暮らすための家事  十分にこなす余裕がないこともわかりました。 、子どものために家事や育児をする時間がなく、少子化は避けられません。新しいモノを次々と大量に購入しては買い換え続けていることと、時間にゆとりを持たないことのあいだには密接な関係が 。いまの日本の生活様式は、「環境を破壊しながら国民が消えていく」ものになってしまっているという点で、持続可能な社会とはほど遠いのが現状です。

(品田知美「家族の日常生活を学問する」『いま、この研究がおもしろいPart2』岩波ジュニア新書による)

**1**

1 しまったんで

2 しまったし

3 しまったのですから

4 しまったために

**2**

1 かなり

2 ほとんど

3 絶対

4 あんまり

**3**

1 できえも

2 だって

3 なんて

4 なんかも

**4**

1 これでは

2 こんなのでは

3 これなら

4 こうしては

**5**

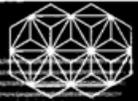
1 あるのではないだろうか

2 あるんじゃないか

3 あるのではないのでしょうか

4 あるんじゃないのでしょうか

# 模擬試験



問題 1 次の文の( )に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

① 就職する( )、林先生には大変お世話になりました。

- 1 において                  2 にあたって                  3 にかけて                  4 にともなって

② このメーカーは、デジタルカメラや携帯電話( )製品を多く作っている。

- 1 という                  2 といった                  3 とする                  4 とした

③ この二つは同じ値段だが、量( )こちらを買ったほうが得だ。

- 1 からいうと                  2 からでは                  3 といえば                  4 にしては

④ 面接では( )、頭が真っ白になってしまった。

- 1 緊張のあまり                  2 緊張のうちに  
3 緊張したところ                  4 緊張したとたん

⑤ 外国で暮らす( )ものの見方が広がるものだ。

- 1 とは                  2 なら                  3 と                  4 のに

⑥ 昔はどの家の父親も厳しく、文句を( )すぐにたたかれた。

- 1 言おうものなら                  2 言うはもとより  
3 言おうとして                  4 言うどころか

⑦ ( )我々のような素人だけで経営がうまくいくのか、心配だった。

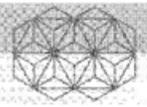
- 1 たとえ                  2 たいして                  3 いかに                  4 果たして

⑧ わざと忘れた( )、許してあげたらどうですか。

- 1 はずではないとすると                  2 のではないとすると  
3 わけではないのなら                  4 つもりではないのなら

⑨ 最初は簡単な仕事でも、今後経験が( )、いろいろな仕事をさせてもらえるようになるだろう。

- 1 増えてくるのによって                  2 増えていくのによって  
3 増えてくるにしたがって                  4 増えていくにしたがって



10 部長「山田さん、例の日程、決まった？」

山田「明日打ち合わせに行ってくるので、( )。」

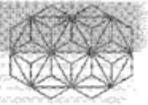
- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 決まり次第、お伝えします | 2 決まり次第、お伝えになります |
| 3 決まった際、お伝えします | 4 決まった際、お伝えになります |

11 今回の事故は、歩行者も信号無視ほこうしゃむしをしているのだから、運転手が悪い( )だろう。

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 ばかりとは言えない   | 2 とばかりは言えない   |
| 3 ばかりとは言いかねない | 4 とばかりは言いかねない |

12 この曲は一生懸命けんめい練習してきただけに、( )。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1 すごく難しかった | 2 ぜひ聞いてください |
| 3 かなり自信がある | 4 とてもいい曲だ   |



問題2 次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

13 スーパーのレジで子供が \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 10円出してやった。

- 1 困っているのを    2 お金が                    3 見かねて                    4 足りなくて

14 そのとき \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ ものだった。

- 1 示された                    2 <sup>う</sup>受け入れ<sup>い</sup>がたい    3 条件は                    4 <sup>われわれ</sup>我々にとって

15 とれたての魚を工場の \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 輸送しています。

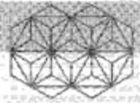
- 1 温度管理の                    2 <sup>てっ</sup>徹底<sup>い</sup>した                    3 もとで                    4 急速冷凍し

16 これから \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 説明させていただきます。

- 1 特に注意すべき    2 において                    3 本日の作業                    4 点について

17 この間のことで何か \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ してしまい、失礼しました。

- 1 そのままに                    2 と思いつつ                    3 お礼を                    4 しなれば



問題3 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、**18** から **22** の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

「インターネットができて、ますます忙しい」

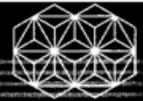
この問題は、まさに自分自身の悩みでもあるのですが。インターネットが発達して便利になったのですから、「インターネットでできた余暇を、これからどう使う？」というふうに **18** のに、現実とはまったく逆で、「インターネットができて、ますます忙しい」ということになってしまっています。

新幹線ができたら、東京と大阪の往復がずっと時間短縮できたのですから、その分、ビジネスマンたちはらくになってもよかったのですが、実際には、**19** 商談をまとめて日帰りの出張ができると、かえって忙しくなった人のほうが多かった。これと同じようなことが、起こっています。昼でも夜でも調べものができるし、いつでも都合のいい時間に連絡のメールを出せる。**20**、世界のどこへでも瞬間的に情報を送れる、となったら、その便利を利用して、少しでも有利なビジネスを展開しようと考えてもおかしくはありません。だって、「よりたくさん生産する」ことが価値だ、という社会なのですから、そこにこんなに便利な道具が登場したら、生産のためにひっきりなしに **21** 当然のことだと言えます。

しかし、そうです。たくさん生産できても、消費する市場がそれに見合った力を持っていなかったら、いくら忙しく働いても、つくったこと、つくったものが、実はムダになってしまう。**22**、真剣に研究するべき課題です。特に、インターネットという、いつでも、いくらでも仕事をし続けられるような道具ができれば、もっと「休み方」を真剣に考えていかないと、キツイことになるはずですよ。

(糸井重里『インターネット的』PHP新書による)

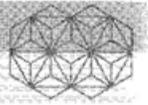
- |             |                               |   |             |
|-------------|-------------------------------|---|-------------|
| <b>18</b> 1 | ならなければおかしくない                  | 2 | なればおかしい     |
| 3           | なってもおかしくない                    | 4 | なってもおかしい    |
| <b>19</b> 1 | この距離 <small>きより</small> くらいなら | 2 | この距離くらいでは   |
| 3           | これほどの距離があれば                   | 4 | これほどの距離では   |
| <b>20</b> 1 | つまり                           | 2 | しかも         |
| 3           | あるいは                          | 4 | それでも        |
| <b>21</b> 1 | 使えば                           | 2 | 使われれば       |
| 3           | 使うのは                          | 4 | 使わせるのは      |
| <b>22</b> 1 | 休み方も、仕事のように                   | 2 | 仕事も、休み方のように |
| 3           | 休み方は、仕事と違って                   | 4 | 仕事は、休み方と違って |



問題 1 次の文の( )に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

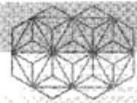
- ① 最近では、この果物は季節( )食べられます。  
 1 もかまわず      2 ほともかく      3 を抜きにして      4 を問わず
- ② 何か食べない( )、おなかがすいて勉強できない。  
 1 ものなら      2 ものでは      3 ことには      4 ことから
- ③ 山田選手は県の代表( )全国大会に出場することになった。  
 1 にして      2 として      3 にとって      4 とあつて
- ④ 彼自身がいろいろな経験をしてきた( )、適切なアドバイスができるのだ。  
 1 わりに      2 ばかりに      3 からこそ      4 ものだから
- ⑤ 今回の問題については、我々も考えられる( )の対策はすべて行っています。  
 1 だけ      2 のみ      3 まで      4 ほど
- ⑥ わたしはあまりふるさとは帰らない。2、3年に1度( )。  
 1 帰るに限る      2 帰るしかない  
 3 帰る限りだ      4 帰るにすぎない
- ⑦ A「あの人、ひどい。どうしてあんなことするのかしら。」  
 B「そんなに( )。わざとやったわけじゃないだろう。」  
 1 怒ることはあるまいか      2 怒ることじゃあるまいか  
 3 怒ることはないじゃないか      4 怒らないことじゃないか
- ⑧ その本は最近読んだと言っていたけど、( )、内容を忘れているね。  
 1 読んでばかりだけあつて      2 読んだばかりだけあつて  
 3 読んでばかりにしては      4 読んだばかりにしては
- ⑨ だれにも言うなと言われると、だれかに( )。  
 1 話すよりほかないものだ      2 話すよりほかないことだ  
 3 話さずにいられないものだ      4 話さずにいられないことだ





問題2 次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- 13 <sup>ねん</sup>念のために確認してみましたが \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ ことでした。  
1 多少の                      2 との                      3 問題ない                      4 時間の変更は
- 14 わたしが住んでいる所では \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 被害は出ていない。  
1 幸いな                      2 ような                      3 ことに                      4 ニュースになっている
- 15 ワインの工場 \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ わけではないのだ。  
1 社員みんなが                      2 働いている                      3 お酒に強い                      4 からといって
- 16 その客は店員の \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ 何も聞いてこなかった。  
1 それ以上                      2 見えて                      3 説明に                      4 満足したと
- 17 前に成功した方法が \_\_\_\_\_ ★ \_\_\_\_\_ のではないだろうか。  
1 有効                      2 限らない                      3 とは                      4 いつでも



問題3 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、**18** から **22** の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

概して教えることが好きな人は、話が長い。それだけ情熱や愛情に **18** ということでもあるが、はっきりいってあまり意味はない。教えられる側は、しばしば「ポイントだけにしてくれ」という気持ちになるものだ。

では、**19** 何か。人に何かを教えるとき、まず「なぜできないのか」を説明したり、「やればできる」的な精神論から入る人は多い。だがその前に、「**20** やればいい」という具体的な“定番”を見せることが重要だ。

**21**、あなたの部下に仕事の遅い人がいたとする。報告・連絡も、パソコンによる資料づくりも時間がかかり、周囲が迷惑していたとしよう。そういう人に、「お前のせいで周囲が迷惑している」とか「心構えができていない」などと責めることは、「教える」になっていない。

必要なのは、まず簡単かつ具体的なアドバイスを一つ与え、**22**。その結果を踏まえた上で、あらためて次のアドバイスを与える。こうして少しずつステップアップしていくのが効率的だ。

(齋藤孝『1分で大切なことを伝える技術』PHP新書による)

**18**

- 1 溢れるあふ                      2 溢れた                      3 溢れている                      4 溢れていた

**19**

- 1 ポイントが                      2 ポイントには                      3 ポイントでは                      4 ポイントとは

**20**

- 1 こういうふうに                      2 そういうふうに  
3 ああいうふうに                      4 どんなふうに

**21**

- 1 つまり                      2 ところで                      3 たとえば                      4 一方

**22**

- 1 実践じっせんさせてみるのだ                      2 実践させてみることだ  
3 実践させてみるのがよい                      3 実践させてみてはどうか

あ

～あげく	90, 136
～あまり	75
あまりの～に	75

い

～以上(は)	79, 136
～一方だ	12, 136

う

～上(で)	16
～上(に)	31
～上は	79, 136
～(よ)うか～まいか	109, 134
～うちに	12
～(よ)うではないか	108
～(よ)うとしている	13
～(よ)うものなら	68, 128, 136
～得る	83

え

～得ない	83
------	----

お

～おかげだ	75, 136
～おそれがある	100, 136

か

～限り	21
～限り(は)	24
～限りでは	24
～がたい	82
～かと思うと	9, 136
～かと思ったら	9, 136
～か～ないかのうちに	9, 134, 136
～かねない	100, 136
～かねる	82
～からいうと	124
～からして	20, 124
～からすると	124
～からといって	65, 124, 140
～からには	79, 136

き

～きり	90, 136
-----	---------

く

～くらい	96, 134
～ぐらい	96, 134

こ

～こと	129
～ことか	117, 129, 140
～ことから	132
～ことだ①	108, 129
～ことだ②	117, 129
～ことだし	78, 129, 136
～ことだろう	117, 129, 140
～ことなく	129
～ことに	129
～ことは～が	129
～ことはない	109, 129, 140, 146

さ

～際(に)	8
～最中だ	12
～さえ	97, 134, 140
～ざるを得ない	113, 126, 136, 146

し

～しかない	105, 146
～次第	17, 136
～次第だ	43

す

～末(に)	91
～ずじまいだ	91, 126, 136
～ずにはいられない	113, 126, 136, 146

せ

～せいだ	75, 136
------	---------

た

～たいものだ	116, 128, 136
～だけ	21
～だけに	78, 136
～だけ(のことは)ある	86, 136

～たところ	90, 132, 136
～たとたん(に)	9, 136
～だの～だの	134
つ	
～つつ	13, 126
～つつ(も)	65, 126
～つつある	13, 126
て	
～て以来 <small>いらい</small>	17
～てからでない	17, 140
～てからでなければ	17
～てこのかた	17
～てしかたがない	112, 136, 146
～てしょうがない	112
～てたまらない	112, 146
～てでも	97, 136
～てならない	112, 136, 146
～ではあるまいか	101, 126
～てはじめて	16
～てほしいものだ	116, 128
～てまで	96
と	
～というか～というか	46, 134
～ということだ	129
～というと	61, 124
～というものだ	104, 128
～というものではない	57, 128, 146
～というものでもない	57
～というわけだ	132
～というわけではない	57, 132, 146
～といえば①	60
～といえば②	61, 124
～といった	47, 124, 140
～といったら①	61, 124
～といったら②	61
～といっても	65, 124
～(か)と思 <small>おも</small> うと	9, 136

～(か)と思 <small>おも</small> ったら	9, 136
～どころか	56, 132
～ところから	132
～ところだった	91, 132
～どころではない①	56, 132, 146
～どころではない②	83, 132, 136, 146
～としたら	68, 124
～として	87, 142
～として～ない	97, 134, 140
～としても	69
～とすると	68, 124, 136
～とすれば	68, 124
～とともに	42
～となったら	68
～(のこと)となると	61, 129
～となると	68, 136
～となれば	68
～とのことだ	129
～とは	60, 134
～とはいいいながら	124
～とはいいうものの	64, 128, 136
～とみえる	100, 136

## な

～ないことには	69, 129, 140
～ないではいられない	113, 136, 146
～ないもの(だろう)か	117, 128
～ないわけに(は)いかない	113, 132, 136, 146
～ながら(も)	64
～など	96, 134
～なんか	96, 134
～なんて	96, 134

## に

～にあたって	8, 122, 142
～において	122, 143
～に <small>お</small> 応じて	43, 122, 142
～にかかわらず	52, 126
～にかかわりなく	52

～に限 <sup>かぎ</sup> って	25, 122, 140
～に限 <sup>かぎ</sup> らず	30
～に限 <sup>かぎ</sup> り	24
～にかけては	34, 136
～に関 <sup>かん</sup> して	34, 122, 143
～にきまっている	101
～に越 <sup>こ</sup> したことはない	105, 146
～にこたえて	35, 122, 143
～に際 <sup>さい</sup> して	8, 122, 142
～に先 <sup>き</sup> 立 <sup>だ</sup> って	122
～にしたがって	42, 122
～にしたら	87, 124
～にしては	86, 124
～にしてみれば	87
～にしても①	69, 124, 140
～にしても②	87
～にしても～にしても	47, 134
～にしろ	69, 124, 140
～にしろ～にしろ	47, 134
～にすぎない	104, 146
～にすれば	87, 124
～にせよ	69, 126, 140
～にせよ～にせよ	47, 134
～に相 <sup>そう</sup> 違 <sup>い</sup> ない	101, 146
～に沿 <sup>そ</sup> って	38, 122, 142, 143
～に対 <sup>たい</sup> して	35, 122, 143
～に違 <sup>ちが</sup> いない	101, 146
～につき	75
～につけて	43
～につれて	42, 122
～にとって	87
～に伴 <sup>とも</sup> って	42, 122, 143
～にほかならない	104, 146
～にもかかわらず	64, 126, 136
～に基 <sup>もと</sup> づいて	38, 122, 142, 143
～によって	74, 122, 143
～にわたって	20, 122, 143

の

～のことだから	78, 129, 136
～のこととなると	61, 129
～のみ	134
～のみならず	30
～のもとで	39, 142
～のもとに	39

は

～ばかりか	30
～ばかりだ	12, 136
～ばかりに	79, 136
～はさておき	53
～はともかく(として)	53
～はもとより	31

へ

～べきだ	105, 126
～べきではない	105, 126

ま

～まい①	101, 126
～まい②	109, 126
～まで	96, 134
～までして	96, 134

む

～向 <sup>む</sup> けだ	39
--------------------	----

も

～もかまわず	52, 126, 136
～もの	74, 128
～ものか①	56, 128
～ものか②	109, 128
～ものがある	117, 128
～ものだ①	104, 128
～ものだ②	108, 128
～ものだ③	116, 128
～ものだから	74, 128, 136
～もので	74, 128
～ものではない	108, 128, 146
～ものなら	68, 128, 136

～ものの 64, 128, 136

や

～やら～やら 46, 134

よ

～ようか～まいか 109, 134

～ようがない 83, 146

～ようではないか 108

～ようとしている 13

～ようものなら 68, 128, 136

～よりほかない 105, 146

わ

～わけがない 56, 132, 146

～わけではない 57, 132, 146

～わけだ 132

～わけにはいかない 82, 132, 136, 146

～わけにもいかない 82

～わりに(は) 86

を

～を<sup>つう</sup>通じて 21, 122, 142

～を<sup>とお</sup>通して 21, 122

～を<sup>と</sup>問わず 52, 126

～を<sup>ぬ</sup>抜きにしては 69, 140

～をはじめ(として) 20, 143

～をめぐって 34, 122

～をもとに(して) 38, 142

新完全マスター **文法**  
日本語能力試験 **N2**



かい とう  
**解 答**

## 1 課

- ① 1. b 2. c 3. a 4. c 5. a  
 ② 1. b 2. c 3. b 4. c  
 ③ 1. a 2. c 3. a 4. b  
 ④ 1. c 2. b 3. c 4. a  
 ⑤ 1. a 2. b 3. a 4. b  
 ①~⑤ 1. c 2. c 3. a 4. a

## 2 課

- ① 1. b 2. b 3. a 4. a 5. c  
 ② 1. c 2. c 3. a 4. b 5. c  
 ③ 1. a 2. b 3. c  
 ④ 1. c 2. a  
 ⑤ 1. a 2. b  
 ⑥ 1. b 2. a 3. c  
 ①~⑥ 1. b 2. a 3. b 4. c 5. c  
 6. a

## 3 課

- ① 1. a 2. a 3. b 4. c  
 ② 1. c 2. a 3. c 4. a 5. b  
 ③ 1. b 2. c 3. c 4. a 5. b  
 ④ 1. c 2. a 3. b  
 ⑤ 1. c 2. c 3. b  
 ①~⑤ 1. b 2. a 3. c 4. a 5. c

## 4 課

- ① 1. b 2. a 3. a  
 ② 1. b 2. a 3. c 4. c  
 ③ 1. c 2. c 3. b 4. a  
 ④ 1. a 2. c 3. a 4. b  
 ⑤ 1. a 2. b 3. a  
 ⑥ 1. c 2. b 3. b  
 ①~⑥ 1. a 2. c 3. b 4. c 5. c

## 5 課

- ① 1. b 2. a 3. c 4. a 5. b

- ② 1. b 2. a 3. b 4. c 5. a  
 ③ 1. c 2. b 3. c 4. a  
 ④ 1. c 2. a 3. b 4. b 5. a  
 ①~④ 1. a 2. a 3. c 4. a 5. b

## 問題(1課~5課)

- ① 2 ② 2 ③ 1 ④ 3 ⑤ 1  
 ⑥ 4 ⑦ 4 ⑧ 2 ⑨ 2 ⑩ 3  
 ⑪ 1 ⑫ 2 ⑬ 2 ⑭ 3 ⑮ 2

## 6 課

- ① 1. a 2. c 3. c 4. b  
 ② 1. c 2. a 3. b  
 ③ 1. b 2. c 3. a 4. a  
 ④ 1. a 2. b 3. b  
 ⑤ 1. a 2. c 3. a  
 ①~⑤ 1. b 2. a 3. c 4. c 5. b  
 6. a

## 7 課

- ① 1. b 2. b 3. a 4. a  
 ② 1. b 2. c 3. c  
 ③ 1. b 2. a 3. c 4. a  
 ④ 1. b 2. c 3. b 4. a  
 ⑤ 1. a 2. c 3. a  
 ①~⑤ 1. c 2. b 3. c 4. b 5. a

## 8 課

- ① 1. a 2. c 3. c 4. a  
 ② 1. a 2. a 3. c  
 ③ 1. a 2. b 3. b  
 ④ 1. c 2. a 3. a 4. b  
 ⑤ 1. b 2. a 3. c  
 ①~⑤ 1. c 2. a 3. b 4. c 5. a

## 9 課

- ① 1. b 2. a 3. b 4. a 5. b  
 ② 1. a 2. c 3. c  
 ③ 1. b 2. c 3. b 4. a 5. c  
 ④ 1. c 2. b 3. a 4. a

5 1. b 2. b

1~5 1. b 2. a 3. b 4. b 5. c  
6. c

### 10 課

1 1. a 2. a 3. c

2 1. b 2. a 3. c

3 1. c 2. c 3. a

4 1. b 2. c 3. b

1~4 1. c 2. a 3. b 4. c 5. a  
6. c 7. a

### 問題(1課~10課)

1 3 2 1 3 3 4 2 5 2

6 2 7 4 8 1 9 3 10 2

11 4 12 3 13 3 14 2 15 3

### 11 課

1 1. c 2. b 3. a 4. b

2 1. c 2. a 3. b

3 1. a 2. c 3. a 4. b

4 1. a 2. c 3. a 4. b 5. a

5 1. a 2. a 3. b

1~5 1. a 2. b 3. c 4. b 5. c

### 12 課

1 1. c 2. b 3. a 4. a

2 1. c 2. b 3. a 4. b

3 1. b 2. a

4 1. c 2. b 3. a 4. b

5 1. a 2. c 3. a 4. b

1~5 1. c 2. a 3. b 4. b 5. a

### 13 課

1 1. c 2. a 3. a 4. b

2 1. c 2. b 3. c 4. a

3 1. b 2. a

4 1. c 2. a 3. b 4. b

5 1. a 2. a 3. b 4. b

1~5 1. c 2. a 3. c 4. a

### 14 課

1 1. c 2. a 3. c

2 1. b 2. c 3. a

3 1. b 2. a 3. b

4 1. a 2. b 3. a

5 1. b 2. c 3. a 4. c

6 1. a 2. c 3. c

1~6 1. b 2. a 3. b 4. a 5. c

### 15 課

1 1. b 2. a 3. a 4. c 5. c

2 1. a 2. b 3. a

3 1. c 2. b 3. c

4 1. c 2. b 3. c

5 1. b 2. a 3. c

6 1. a 2. c

1~6 1. c 2. a 3. b 4. a 5. b  
6. c

### 問題(1課~15課)

1 4 2 2 3 3 4 2 5 1

6 4 7 3 8 4 9 1 10 3

11 3 12 2 13 1 14 1 15 2

### 16 課

1 1. b 2. a 3. b 4. b 5. c

2 1. b 2. a 3. c

3 1. a 2. b 3. c 4. a

4 1. a 2. b 3. b 4. a

5 1. c 2. b 3. c

1~5 1. a 2. c 3. c 4. b 5. a

### 17 課

1 1. a 2. c 3. b

2 1. a 2. b 3. c

3 1. b 2. c 3. a 4. a

4 1. c 2. a 3. c 4. c

5 1. b 2. a 3. b 4. a

1~5 1. c 2. b 3. c 4. a 5. b

**18 課**

- ① 1. b 2. c 3. b 4. a  
 ② 1. a 2. a 3. c  
 ③ 1. b 2. b 3. a  
 ④ 1. b 2. a 3. a  
 ⑤ 1. a 2. b 3. a 4. a  
 ⑥ 1. b 2. c 3. b  
 ①~⑥ 1. a 2. c 3. a 4. c 5. b

**19 課**

- ① 1. b 2. c 3. b 4. a  
 ② 1. c 2. a 3. b  
 ③ 1. b 2. a 3. c  
 ④ 1. a 2. b 3. c  
 ⑤ 1. c 2. a  
 ⑥ 1. b 2. a  
 ①~⑥ 1. b 2. c 3. c 4. a 5. b  
 6. b 7. c 8. a

**20 課**

- ① 1. a 2. b 3. b 4. a  
 ② 1. a 2. c 3. b  
 ③ 1. c 2. c 3. a  
 ④ 1. b 2. b 3. a 4. c  
 ⑤ 1. a 2. a 3. b 4. c  
 ⑥ 1. a 2. b 3. a  
 ①~⑥ 1. c 2. a 3. c 4. b 5. b

**問題(1課~20課)**

- ① 1 ② 4 ③ 3 ④ 3 ⑤ 4  
 ⑥ 2 ⑦ 1 ⑧ 1 ⑨ 2 ⑩ 2  
 ⑪ 1 ⑫ 3 ⑬ 4 ⑭ 1 ⑮ 3

**21 課**

- ① 1. a 2. b 3. a  
 ② 1. b 2. a 3. c  
 ③ 1. a 2. c 3. b 4. a  
 ④ 1. a 2. b 3. c  
 ⑤ 1. a 2. c 3. b 4. a

- ⑥ 1. a 2. b 3. c 4. b  
 ①~⑥ 1. b 2. c 3. a 4. c 5. b

**22 課**

- ① 1. b 2. a 3. c  
 ② 1. b 2. a 3. b 4. c  
 ③ 1. b 2. a 3. c 4. a  
 ④ 1. a 2. c 3. c  
 ⑤ 1. c 2. a 3. b  
 ⑥ 1. a 2. c  
 ①~⑥ 1. a 2. b 3. b 4. a 5. c

**23 課**

- ① 1. b  
 ② 1. a 2. c  
 ③ 1. c 2. a 3. b 4. c  
 ④ 1. a 2. b 3. c  
 ⑤ 1. a 2. c 3. b 4. b  
 ⑥ 1. a 2. a 3. b  
 ⑦ 1. c 2. a 3. c  
 ①~⑦ 1. b 2. a 3. c 4. a 5. c  
 6. b

**24 課**

- ① 1. a 2. c  
 ② 1. b 2. a 3. c  
 ③ 1. a 2. b 3. a 4. b  
 ④ 1. a 2. c 3. b  
 ⑤ 1. a 2. c 3. b 4. b  
 ⑥ 1. a 2. c  
 ①~⑥ 1. c 2. c 3. a 4. b 5. c  
 6. a

**25 課**

- ① 1. b 2. a 3. c 4. b  
 ② 1. c 2. c 3. a 4. b  
 ③ 1. a 2. a 3. b 4. c  
 ④ 1. b 2. a 3. c  
 ⑤ 1. b 2. c 3. a  
 ①~⑤ 1. c 2. a 3. b 4. b 5. a

## 26 課

- ① 1. a 2. b 3. c  
 ② 1. b 2. a 3. a 4. c  
 ③ 1. c 2. b 3. a 4. a  
 ④ 1. b 2. c  
 ⑤ 1. a 2. b 3. c 4. a  
 ⑥ 1. c 2. b 3. c  
 ①~⑥ 1. b 2. a 3. a 4. c 5. b

## 問題(1 課~26 課)

- ① 1 ② 2 ③ 4 ④ 3 ⑤ 1  
 ⑥ 2 ⑦ 3 ⑧ 1 ⑨ 2 ⑩ 4  
 ⑪ 2 ⑫ 1 ⑬ 4 ⑭ 4 ⑮ 3

## A

## 練習1

- A 1. (を)めぐって 2. (に)際して  
 3. (に)伴って 4. (に)わたって  
 5. (に)限って 6. (に)沿って  
 7. (を)通じて 8. (に)よって  
 B 1. (に)基づいた 2. (に)関して  
 3. (に)先立って 4. (に)対して  
 5. (に)応じて 6. (に)あたって  
 7. (に)こたえて 8. (を)通して

## B

- 練習1 A 1. a 2. e 3. d 4. c 5. b  
 B 1. d 2. a 3. e 4. c 5. b  
 練習2 1. a 2. d 3. c 4. c 5. a

## C

- 練習1 ① b ② a ③ c ④ e ⑤ d  
 練習2 1. 立っているの 2. 見つからず  
 3. 願わず 4. 変わる  
 5. 思い 6. 伝える  
 7. ある/あった 8. 言わざる  
 9. 整い 10. 複雑である  
 11. 散ってしまったの

## D

- 練習1 1. 遊んだ 2. 見送る 入る  
 3. 渡す 4. 残念な  
 5. 思う 6. 寄ろう  
 7. なれる 8. して  
 9. 進んでいる/進んだ  
 10. できない 11. 食べた 食べた  
 12. 続く 13. いい  
 14. 珍しい 15. やって見ない  
 16. 提出した 17. 食べる  
 18. 楽な 19. 確かめる  
 20. 変わる

## 練習2

1. こと 2. もの  
 3. もの 4. こと  
 5. もの 6. こと  
 7. こと 8. もの  
 9. こと 10. こと  
 11. もの 12. こと

## 練習3

1. a 2. c 3. b 4. c 5. a  
 6. d

## E

- 練習1 1. a 2. d 3. b 4. c 5. b  
 6. a

## 練習2

1. ところ 2. わけ  
 3. どころ 4. ところ  
 5. わけ 6. わけ

## F

- 練習1 1. 重いというか暗いというか  
 2. 頭が痛いだのおなかか痛いだの  
 3. カーテンやら机やら  
 4. 映画館で見るにしても DVD で見るにし  
 ても  
 5. 5分たったかたたないかのうちに/  
 5分たつたかたたないかのうちに  
 6. 入ろうか入るまいか

## 練習2

1. さえ 2. のみ

3. まで                      4. ぐらい  
5. など                      6. とは  
7. として

## G

- 練習1 1. a    2. a    3. a    4. b    5. b  
6. b    7. b    8. b    9. a    10. a  
11. b    12. a    13. a    14. a

## 第2部 文の文法2

### 1課

- 練習1 ① 4    ② 3    ③ 1    ④ 4  
⑤ 1    ⑥ 3    ⑦ 2    ⑧ 1  
⑨ 2    ⑩ 3    ⑪ 2    ⑫ 1

### 2課

- 練習1 1. a    2. b    3. a    4. a    5. a  
6. a    7. b    8. a    9. a    10. b  
11. b    12. b    13. a  
練習2 ① 4    ② 3    ③ 1    ④ 1  
⑤ 4    ⑥ 2    ⑦ 3    ⑧ 3  
⑨ 3    ⑩ 1    ⑪ 3    ⑫ 2

### 3課

- 練習1 ① 1    ② 4    ③ 2    ④ 1  
⑤ 4    ⑥ 4    ⑦ 1    ⑧ 2  
⑨ 3    ⑩ 2    ⑪ 4    ⑫ 1

## 第3部 文章の文法

### 1課

- 練習1 1. b    2. a    3. a    4. a    5. b  
6. b  
練習2 ① b    ② b    ③ a    ④ a    ⑤ a  
⑥ b    ⑦ b    ⑧ b    ⑨ a  
まとめ ① 2    ② 3    ③ 1    ④ 4  
⑤ 1

## 2課

### 練習1

1. ① 行<sup>おこな</sup>う                      ② 来<sup>き</sup>た  
2. ① 過<sup>す</sup>ぎていた              ② して<sup>し</sup>ていた  
③ 泊<sup>とど</sup>まった  
3. ① 起<sup>お</sup>き<sup>あ</sup>っていた              ② 降<sup>ふ</sup>っていた  
③ 感<sup>かん</sup>じた  
4. ① あ<sup>あ</sup>った                      ② 乗<sup>の</sup>る  
③ 出<sup>で</sup>ていた  
5. ① 帰<sup>かえ</sup>った                      ② 寝<sup>ね</sup>ていた  
③ 読<sup>よ</sup>んでいた                      ④ 見<sup>み</sup>た  
⑤ や<sup>や</sup>っていた                      ⑥ 寝<sup>ね</sup>な<sup>な</sup>かった

### 練習2

1. ① 飼<sup>か</sup>っていた                      ② 見<sup>み</sup>ている  
③ 荒<sup>あ</sup>れた／荒<sup>あ</sup>れていた  
④ 生<sup>は</sup>えていて                      ⑤ 見<sup>み</sup>ていた  
⑥ 立<sup>た</sup>っていた                      ⑦ 困<sup>こま</sup>った  
2. ① 寄<sup>よ</sup>せている                      ② 使<sup>つか</sup>っていた  
③ できる                              ④ 遅<sup>お</sup>くれている  
⑤ 増<sup>ふ</sup>えている                      ⑥ 乗<sup>の</sup>り出<sup>だ</sup>した

- まとめ ① 2    ② 2    ③ 1    ④ 2  
⑤ 3

### 3課

- 練習1 1. ① a    ② b  
2. ① b    ② a  
3. ① b    ② c    ③ a  
4. ① b    ② a  
練習2 1. ① a    ② b    ③ a    ④ a    ⑤ a  
2. ① b    ② a    ③ a    ④ a  
まとめ ① 4    ② 1    ③ 2    ④ 3  
⑤ 2

### 4課

- 練習1 1. ① b    ② a  
2. ① b    ② a  
3. ① a    ② b    ③ a

4. ① a    ② a    ③ a    ④ b  
 5. ① b    ② a    ③ a  
 6. ① a    ② b    ③ a    ④ b  
 7. ① a    ② b    ③ a    ④ a    ⑤ b  
     ⑥ b    ⑦ b  
 8. ① b    ② b    ③ b

まとめ ① 4    ② 1    ③ 2    ④ 2  
 ⑤ 3

### 5 課

- 練習1 1. a    2. b    3. a    4. a    5. b  
 6. ① a    ② b    7. a    8. a    9. b  
 10. ① a    ② b

練習2 1. c    2. b    3. b    4. a    5. b

- 練習3 1. いった    a  
 2. 行って    a  
 3. ①きて                    ②いった    b  
 4. ①いった                ②きた    b  
 5. ①きました               ②いきました  
     ③きました               ④いく    a

まとめ ① 1    ② 3    ③ 1    ④ 2  
 ⑤ 3

### 6 課

- 練習1 1. b    2. b    3. a    4. b    5. b  
 6. a    7. b    8. ① a    ② a    ③ b

#### 練習2

1. ①思おもわれて                ②知しって  
     ③持もたれ  
 2. ①ささせる／ささせた    ②手て伝つわつせて  
     ③言いわれる                ④する  
 3. ①守まもられて                ②出だす  
     ③集あつめられて              ④使つかった  
     ⑤出だされる  
 4. ①ささせられた               ②ししかられて  
     ③ししかって                ④言いった  
     ⑤怒おこらせた  
 5. ①開かまれて                ②立たてて  
     ③営いんんで                ④知しられて  
     ⑤思おもわれる               ⑥降ふる／降ふった

- ⑦含ふくまれる／含ふくまれている  
 ⑧与あたえる

まとめ ① 1    ② 3    ③ 2    ④ 2  
 ⑤ 4

### 7 課

- 練習1 1. a    2. a    3. b    4. b    5. a  
 6. a    7. ① c    ② a    8. ① a    ② c

- 練習2 1. ① c    ② b    ③ c    ④ a  
 2. ① b    ② c    ③ a  
 3. ① b    ② b    ③ c    ④ a  
 4. ① c    ② a    ③ a    ④ b  
 5. ① b    ② a    ③ c    ④ b    ⑤ a

まとめ ① 3    ② 2    ③ 1    ④ 2  
 ⑤ 1

### 8 課

- 練習1 1. a    2. a / b    3. a    4. a  
 5. b    6. b    7. b    8. b  
 9. ① a    ② a    10. ① b    ② b

- 練習2 ① c    ② a    ③ b    ④ a    ⑤ a  
 ⑥ a    ⑦ c

まとめ ① 1    ② 1    ③ 1    ④ 3  
 ⑤ 4

### 9 課

- 練習1 1. が  
 2. は  
 3. ①が    ②が    ③は  
 4. ①は    ②が    ③が    ④が  
 5. ①が    ②は    ③が    ④が  
 6. ①が    ②が  
 7. ①が    ②は    ③が

- 練習2 1. ①は    ②が    ③が    ④は  
 2. ①は    ②が    ③は    ④が    ⑤が  
     ⑥が    ⑦は  
 3. ①は    ②が／は    ③が    ④は  
 4. ①が    ②は    ③は    ④が    ⑤が  
     ⑥が    ⑦が  
 5. ①が    ②は    ③が    ④が    ⑤は

⑥が ⑦は ⑧が

【まとめ】 1 2 2 1 3 2 4 2  
5 2

### 10 課

【練習1】 1. ①b ②c  
2. ①a ②c  
3. ①c ②c  
4. ①b ②a ③b ④c

#### 【練習2】

1. ①すると ②なぜなら  
2. ①そこで ②一方  
③こうして

【まとめ】 1 4 2 3 3 1 4 2  
5 3

### 11 課

【練習1】 1. (仕事と生活の)  
2. (サイレンは)  
3. 省略できない・(豆腐を)崩します  
4. (この番組を)  
5. 省略できない  
6. 省略できない  
7. (わたしが住んでいる所は)・  
省略できない

#### 【練習2】

1. ①わたし ②山田さん  
③山田さん ④スイス  
⑤わたし ⑥いところ  
⑦いところ ⑧いところ  
2. ①「コピーアンドペースト(コピペ)」という  
言葉  
②ほかの人  
③「コピーアンドペースト(コピペ)」という  
言葉  
④大学の先生たち ⑤コピペ論文  
⑥不正なコピペが行われていないかどうか  
を調べるソフト

【まとめ】 1 1 2 3 3 3 4 4  
5 2

### 12 課

【練習1】 1. ①a ②a  
2. ①b ②b ③b  
3. ①b ②a ③b  
4. ①a ②b ③b  
5. ①a ②b

#### 【練習2】 解答例

1. ①行った ②報告する  
③なぜ ④という  
⑤ため ⑥といった／などの  
2. ①により／のため ②の話では／によると  
③であれば ④決まり次第

【まとめ】 1 4 2 2 3 1 4 1  
5 3

### 模擬試験

#### 第1回

【問題1】 1 2 2 2 3 1 4 1  
5 3 6 1 7 4 8 3  
9 4 10 1 11 2 12 3  
【問題2】 13 1 14 4 15 3 16 1  
17 2  
【問題3】 18 3 19 1 20 2 21 3  
22 1

#### 第2回

【問題1】 1 4 2 3 3 2 4 3  
5 1 6 4 7 3 8 4  
9 3 10 4 11 2 12 1  
【問題2】 13 3 14 4 15 1 16 2  
17 3  
【問題3】 18 3 19 4 20 1 21 3  
22 2

西東京にほんご教室  
N i N i C



9784883195657

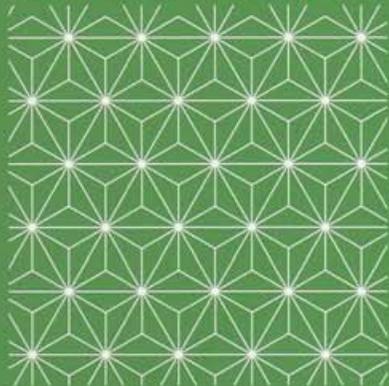


1920081012008

ISBN978-4-88319-565-7  
C0081 ¥1200E

定価: 本体1200円 + 税

新完全マスター 文法



日本語能力試験 N2